

# 上智大学履修要覧

## 〔共通編〕

2018年度

## 本学の教育理念

上智大学は、キリスト教精神を基底とし、真実と価値を求めて、人間形成につとめるものの共同社会である。したがって、本学は、構成員のおのおのが、人格の尊厳と基本的人権を認め合い、責任ある連帯感と謙虚な心構えをもって、それぞれの持ち場で大学の形成に参加することを期待する。

教授は、学術の研究を尊重し、みずからの研究を深めることを通して、人類の精神的・知的文化を新しい世代に伝達するとともに、現代に生起する諸問題に目をそそぎ、人類の当面する課題について、意識を喚起するよう心掛ける必要がある。

学生は、専攻の学問を研究すると同時に、現代社会に対する鋭敏な問題意識と判断力を養成することが必要である。これによって、学生はみずからの人格を形成し、社会の建設に貢献する力を身につけることができるのである。

本学は、その特色をいかして、キリスト教とその文化を研究する機会を提供する。これと同時に、本学は思想の多様性を認め、多種の思想の学問的研究を奨励する。このようにして、人間と世界の問題についての洞察力と批判的精神が養われる。

学問の発展のためには、思想と研究の自由が保障され、厳正な学問的態度が堅持されなければならない。したがって、本学は思想と研究に対して加えられる政治的、イデオロギー的圧力及びいかなる権力の介入も、これを許さない。

われわれは、激動する現代世界に向かって広く窓を開き、人類の希望と苦悩をわかちあい、世界の福祉と創造的進歩に奉仕することを念願する。



### 【校章と校名（ソフィア）の由来】

校章の鷲は真理の光を目ざして力強くはばたく鷲をかたどったもので、その姿は上智大学の本质と理想とを表わしている。

中央に示された文字は、本学の標語「真理の光」Lux Veritatisの頭文字である。

上智大学は、海外では早くからソフィア・ユニバーシティの名で親しまれてきたが、このソフィアはギリシア語のΣΟΦΙΑからとったものであり、その意味は「人を望ましい人間へと高める最上の叡智」である。この叡智こそ本学が学生に与えようとする究極のものであり、本学の名称“上智”(SOPHIA)にほかならない。

# 目 次

本学の教育理念…………… (2)		掲示板の場所・内容……………後見返し
開講科目担当表の見方…………… (6)		
1. ガイドページ	共通事項	2018年度 行事予定表…………… (10) よくあるQ&A…………… (15) 各種問い合わせ先／窓口時間について…………… (17) Loyolaによる掲示について…………… (18) 各種ガイダンスについて…………… (18) 教員との連絡について…………… (19) 公共交通機関運行停止時の取扱いについて… (19) 個人情報の取扱いについて…………… (19)
	教務	1. 授業…………… (22) 2. 単位と科目…………… (25) 3. ナンバリング…………… (26) 4. 履修登録…………… (27) 5. 国際教養学部開講科目の履修について… (32) 6. 履修中止…………… (33) 7. 試験…………… (36) 8. 学力の評価・成績…………… (41) 9. 卒業要件と自己判定…………… (44) 10. 単位換算・単位認定…………… (45) 11. グローバル教育センター取扱プログラムの単位付与について… (48)
	学籍	1. 学籍…………… (52) 2. 証明書…………… (58) 3. 転部・転科／再入学／学士入学…………… (59) 4. 9月卒業・早期卒業…………… (60)
2. 全学共通科目	1 全学共通科目について…………… (64)	
	2 全学共通科目の構成および履修上の規定…………… (70)	
	3 「ウエルネスと身体 (必修)」履修上の注意…………… (78)	
	※含む「ウエルネスの理論と実践 (必修)」 「保健体育系科目 (選択必修)」	
	4 「情報リテラシー演習 (必修)」履修上の注意…………… (80)	
	5 「キリスト教人間学」科目群履修上の注意…………… (81)	
	※含む「人間学 (必修)」 「人間学系科目 (選択必修)」	
	6 「選択科目」履修上の注意…………… (83)	
7 「高学年向け教養科目 (選択)」履修上の注意…………… (83)		
8 開講科目一覧表…………… (84)		
3. グローバル教育センター	1 グローバル教育センターについて…………… (106)	
	2 インターンシップ科目…………… (108)	
	3 グローバル・コンピテンシー・プログラム…………… (110)	
	4 データサイエンスプログラム…………… (145)	
	5 海外短期研修…………… (146)	
	6 実践型プログラム…………… (147)	
	7 SUMMER SESSION IN EAST ASIAN STUDIES AND JAPANESE LANGUAGE…………… (150)	

※国際教養学部，理工英語コースの全学共通科目については，本学ホームページの学部履修要覧ページを参照してください。

4. 履修プログラム	死生学履修プログラムについて……………	(152)		
	死生学履修プログラム科目一覧……………	(153)		
	インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラムについて……………	(157)		
	インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム科目一覧……………	(158)		
5. 語学科目 (14年次生以降対象)	語学科目について……………	(163)	イタリア語……………	(195)
	学科別履修指定言語……………	(168)	ロシア語・(ブラジル)ポルトガル語…	(196)
	英語……………	(170)	ラテン語……………	(196)
	初習言語について……………	(181)	アジア・アフリカ諸語……………	(197)
	ドイツ語……………	(185)	履修科目対応表(15年次生以前対象) ..	(198)
	フランス語……………	(187)	日本語……………	(202)
	イスパニア語……………	(189)	海外短期語学講座……………	(206)
	中国語……………	(191)	開講科目一覧表……………	(207)
	ロシア語……………	(193)		
6. 外国語科目 (13年次生以前対象)	外国語科目について……………	(236)	イタリア語……………	(249)
	学科別履修指定言語……………	(239)	ロシア語・(ブラジル)ポルトガル語…	(250)
	英語……………	(241)	ラテン語……………	(251)
	初習言語について……………	(245)	アジア・アフリカ諸語……………	(251)
	ドイツ語・フランス語……………	(247)	日本語……………	(252)
	イスパニア語・中国語・ロシア語…	(247)	海外短期語学講座・開講科目一覧表…	(256)
7. 資 料	本学の沿革と年譜……………	(258)	研究所・センター等および	
	上智大学学則……………	(261)	事務関係一覧……………	(297)
	上智大学国外留学に関する細則…	(270)	クラス主任について……………	(299)
	編入学者の単位認定に関する細則…	(272)	アカデミック・アドバイザーについて	
	入学前既修得単位認定に関する細則…	(273)	……………	(301)
	留学期間中に修得した単位の換算		教員研究室・オフィスアワー・	
	及び認定に関する取扱要領……………	(274)	学科事務室一覧……………	(303)
	技能審査による単位認定に関する細則…	(276)	授業担当教員一覧……………	(318)
	海外短期語学講座に関する細則…	(277)		
	海外短期研修に関する細則……………	(278)		
	国内他大学との学生交流に関する細則…	(279)		
	学部生の大学院入学前科目履修に			
	関する細則……………	(280)		
	学則第40条第1項運用細則……………	(281)		
	施設(四谷キャンパス教室) ……	(282)		
	施設(目白聖母キャンパス教室) ……	(291)		
	施設(市谷キャンパス教室) ……	(294)		
	施設(キャンパスマップ) ……	(295)		
	施設(市谷キャンパス・目白聖母キャンパス			
	アクセスガイド) ……	(296)		

※教職課程科目及び学芸員課程科目については、『履修要覧(課程編)』を参照してください。

## 授業履修への心構え

大学では、学生が自らの学問的興味・関心に応じて履修計画を立て、授業科目の履修を通じて単位を取得し、卒業要件を満たしていくこととなります。そのようにして卒業要件を満たした者に学位が授与されるのです。上智大学が学生に付与する単位（credit）および学位（degree）は、原語の意味が示すように、本学が学生個々の学力、教養、識見等を社会に対して保証するものです。皆さんは、その自覚をもって授業に取り組み、卒業後には社会で活躍することが期待されています。

皆さんはさまざまに工夫された各学部・学科のカリキュラムをよく理解し、将来の進路を意識した上で綿密な履修計画を立て、着実に単位を取得して卒業を目指してください。今、手にしている履修要覧はそのための必携の資料となります。入学したばかりの新生は、本学が開講する授業科目の全容をつかむことは難しいと思われます。履修科目の選定に際しては、学科の先生方の指導を受けることも必要でしょう。2年次以上の学生は、履修した科目の成績や将来の目標などを踏まえ、かつ学問の体系を意識して年度ごとに履修計画を見直すことが求められます。年度によっては、全学的に、または各学部・学科ごとにカリキュラムや履修制度の大幅な変更が行われる場合がありますので、新しい学年や学期を迎えるにあたっての履修要覧の読み返しは必須です。履修登録の誤りや卒業要件の読み違いで卒業を断念しなければならないこともあります。また、本学は履修登録期間をはじめとして、各種の願書、申請書類の提出期限をきわめて厳格に取り扱っていますので、期限が記されている事項はそれを守るよう特に留意してください。

翻って、キャンパスでの学究活動は単に授業を履修することだけにとどまるものではありません。教員や学友との人間のかかわり、学内で開催されるセミナー・講演会等への参加、課外活動を通じての自己研鑽も学生の資質を磨き上げるために有益なものです。4年間の学生生活は人生にとって最も有意義な期間といっても過言ではありません。皆さんが充実した学生生活を送り、Sophianと呼ばれる価値のある人材として社会に巣立っていかれることを心より願います。

学事センター長

# 開講科目担当表の見方

開講科目担当表において、備考欄に（他）と記載している他学部他学科科目については、開講期と担当者、履修年次は記載してありません（一部学部には記載あり）。  
必要情報は開講元のページを参照するか、Loyolaの時間割参照、シラバス検索から確認するようにしてください。

また、授業を全て外国語で実施する科目は「外国語で行う授業欄」に○で示しています。

科目コードが同一の科目は、原則として重複履修できない。

（重複して履修しても卒業単位にはならない）

授業を全て外国語で実施する科目

[ ] は抽選科目を示す。

[ ] 内は定員

科目の分野とレベルを示す

\*は非常勤教員を示す。

別科目名の授業と合同で行われる場合もある。

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目目群	158006	AAA101	社会心理学入門 I	2	春	上 智 花子	1~4		[200名]	
	280403	BBB102	イギリス文学研究 I	2	春	* 紀尾井 太郎	2~4			
	700517	CCC201	地球環境とその生物	1	秋	四ツ谷 次郎 市 谷 良子 千代田 三郎	1~3		「地球環境概論」と合併	
	776160	CCC202	化学実験	2		* 目白 肇	3・4		夏期集中 同一の授業に	
	761016	DDD301	ドイツ文化と発展	2	休講		2・3	○	隔年開講 において複数の 教員が同時に 担当する科目	
	700219	EEE302	次世代テクノロジー	1	春	石神井 香	2		同時担当	
	550929	FFF401	貧困と格差1	2	春	コーディネータ 秦 野 唯	1		輪講 旧「貧困と格差」 複数教員によ	
	950300	GGG402	キリスト教と哲学 I	2					り輪講形式で 行われる科目	
	他学部他学科科目			他学部他学科開講科目担当表を参照						09年次以降・・・20単位まで選択科目に算入可 08年次以前・・・12単位まで選択科目に算入可
	course : IBEで開講されているすべての科目							2~4		(他) 国際教養学部

今年度休講の科目

履修対象とする年次。この年次以外の学生で履修を希望する学生は、担当教員の許可を得てから登録すること。

備考欄には重要な注意が書かれているので見落とさないこと。

他学部他学科開講科目であるが、自学科の科目として扱うことのできるもの。

開講元が記載されているので開講期、担当者、履修年次などの情報は開講学科のページを参照すること。

◎ 担当表欄外にも履修に関する注意事項が記載されているので、必ず確認すること。

# 1 ガイドページ

---

共通事項

教務

学籍

共通事項

教

務

学

籍

# 共通事項

2018年度 行事予定表	…… p.10
よくあるQ&A	…… p.15
各種問い合わせ先／窓口時間について	…… p.17
Loyolaによる掲示について	…… p.18
各種ガイダンスについて	…… p.18
教員との連絡について	…… p.19
公共交通機関運行停止時の取扱いについて	…… p.19
個人情報の取扱いについて	…… p.19



# 共通事項

## ● 2018年度 行事予定表（春学期）

カレンダー ■ : 休日・祝日・土曜日 □ : 夏期休業・冬期休業・春期休業 ○ : 祝日授業実施日 △ : みなし曜日実施日		学部年間予定																																																									
2018年 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">4月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td></tr> <tr><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td></tr> <tr><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		4月							月	火	水	木	金	土	日							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							3月29日 3月29日, 30日 3月30日 1日 2日～4日 2日 3日～6日 3日～11日 4日, 7日, 8日 7日 9日 12日	<編入学・転部科・学士入学・再入学>ガイダンス <2～4年次生>学科別ガイダンス <在校生>2017年度通年・秋学期科目「成績評価確認願」提出期限 春学期開始 <1年次生>履修登録・学生生活ガイダンス <1年次生>英語プレースメントテスト <1年次生>オリエンテーション・キャンプ <2～4年次生>健康診断 <1年次生>健康診断 英語プレースメントテスト（追試：未受験者用） 入学式 春学期授業開始
4月																																																											
月	火	水	木	金	土	日																																																					
						1																																																					
2	3	4	5	6	7	8																																																					
9	10	11	12	13	14	15																																																					
16	17	18	19	20	21	22																																																					
23	24	25	26	27	28	29																																																					
30																																																											
春学期授業期間 4月12日～7月23日		<履修登録関係日程> ※詳細は p.27～を参照すること。																																																									
		2日～12日 3日～12日 2日～8日 3日～8日 9日 9日～12日 13日 14日～18日 20日	<2～4年次生>履修登録期間 <1年次生>履修登録期間 <2～4年次生>抽選エントリー期間 <1年次生>抽選エントリー期間 <全学部生>抽選科目登録結果発表 <全学部生>抽選科目登録期間（先着順） <全学部生>履修登録確認期間 <全学部生>履修登録修正期間 （抽選科目の先着登録も含む） 履修登録確認																																																								
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">5月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr> <tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		5月							月	火	水	木	金	土	日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				7日～10日 27日 31日	春学期前半科目履修中止期間 オールソフィアンの集い 春学期休学願提出期限							
5月																																																											
月	火	水	木	金	土	日																																																					
	1	2	3	4	5	6																																																					
7	8	9	10	11	12	13																																																					
14	15	16	17	18	19	20																																																					
21	22	23	24	25	26	27																																																					
28	29	30	31																																																								

カレンダー ■ : 休日・祝日・土曜日 ■ : 夏期休業・冬期休業・春期休業 ○ : 祝日授業実施日 △ : みなし曜日実施日		学部年間予定	
<b>6月</b> 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30		4日～8日 9日・23日 29日	春学期履修中止申請期間 春学期補講日 看護4年次生実習期間（6月下旬～8月上旬） 9月卒業願提出期限
<b>7月</b> 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 ※7月16日 海の日は授業実施日		1日・21日 6日～8日 10日 16日 23日 24日～31日	春学期補講日 上南戦（於：南山大学） 春学期試験日程公開 授業実施日（海の日） 春学期授業終了 春学期試験期間（7月31日は予備日） 看護2年次生実習期間（7月31日～8月3日）
<b>8月</b> 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 ※7月31日～9月26日 夏期休業		1日～ 28日～9月20日 28日・29日	夏期休業（9月26日まで） 集中科目開講期間（9月20日まで） <4年次生>成績公開・卒業自己判定 <9月卒業予定者>春学期科目「成績評価確認願」提出期限 春学期追試験（8月下旬） 看護3年次生実習期間（8月下旬～1月下旬）

カレンダー ■ : 休日・祝日・土曜日 □ : 夏期休業・冬期休業・春期休業 ○ : 祝日授業実施日 △ : みなし曜日実施日		学部年間予定																																											
<b>9月</b> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">月 火 水 木 金 土 日</th> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td> </tr> <tr> <td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td> </tr> <tr> <td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td> </tr> <tr> <td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td> </tr> </table> ※8月1日～9月26日 夏期休業 秋学期授業期間 9月27日～1月22日		月 火 水 木 金 土 日												1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10日 10日～20日 11日～20日 12日～20日 20日 20日 21日 21日 24日～25日 27日	9月卒業生発表 <3年次生>成績公開・卒業自己判定 <2年次生>成績公開・卒業自己判定 <1年次生>成績公開・卒業自己判定 学位授与式(9月期) 春学期科目「成績評価確認願」提出期限 春学期終了 秋学期開始 <国際教養学部・理工学部英語コース>入学式, 新入生ガイダンス <国際教養学部・理工学部英語コース>オリエンテーション・キャンブ 秋学期授業開始
月 火 水 木 金 土 日																																													
					1	2																																							
3	4	5	6	7	8	9																																							
10	11	12	13	14	15	16																																							
17	18	19	20	21	22	23																																							
24	25	26	27	28	29	30																																							
		<b>&lt;履修登録関係日程&gt;</b> <b>※詳細は p.27~を参照すること。</b>																																											
		21日～29日 22日～29日 21日～25日 22日～25日 26日 26日～29日 30日～10月1日 10月2日～4日 10月8日	<2～4年次生>履修登録期間 <1年次生>履修登録期間 <2～4年次生>抽選エントリー期間 <1年次生>抽選エントリー期間 <全学部生>抽選科目登録結果発表 <全学部生>抽選科目登録期間(先着順) <全学部生>履修登録確認期間 <全学部生>履修登録修正期間 (抽選科目の先着登録も含む) 履修登録確認																																										

# ● 2018年度 行事予定表 (秋学期)

<p>カレンダー</p> <p>■ : 休日・祝日・土曜日            ■ : 夏期休業・冬期休業・春期休業            ○ : 祝日授業実施日            △ : みなし曜日実施日</p>	学部年間予定																																																		
<p><b>10月</b></p> <table border="1"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr> <tr><td>29</td><td>△30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※8日 体育の日は授業実施日            秋学期授業期間9月27日～1月22日</p>	月	火	水	木	金	土	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	△30	31					<p>8日</p> <p>22日～25日</p> <p>30日</p>	<p>授業実施日 (体育の日)</p> <p>秋学期前半科目履修中止期間            みなし金曜日</p>							
月	火	水	木	金	土	日																																													
1	2	3	4	5	6	7																																													
8	9	10	11	12	13	14																																													
15	16	17	18	19	20	21																																													
22	23	24	25	26	27	28																																													
29	△30	31																																																	
※履修登録関係の日程は9月の欄と p.27 を参照すること																																																			
<p><b>11月</b></p> <table border="1"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td></tr> <tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※23日 勤労感謝の日は授業実施日</p>	月	火	水	木	金	土	日				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			<p>1日</p> <p>2日～4日</p> <p>2日</p> <p>23日</p> <p>30日</p>	<p>創立記念日・先哲祭・ソフィア祭前夜祭 (全学休講)            ソフィア祭            全学休講 ※看護学科3年次生を除く</p> <p>授業実施日 (勤労感謝の日)</p> <p>秋学期休学願提出期限</p>							
月	火	水	木	金	土	日																																													
			1	2	3	4																																													
5	6	7	8	9	10	11																																													
12	13	14	15	16	17	18																																													
19	20	21	22	23	24	25																																													
26	27	28	29	30																																															
<p><b>12月</b></p> <table border="1"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr> <tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>△21</td><td>22</td><td>23</td></tr> <tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr> <tr><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※12月22日～1月4日 冬期休業</p>	月	火	水	木	金	土	日					1	2		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	△21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							<p>3日</p> <p>3日～7日</p> <p>8日・15日</p> <p>21日</p> <p>21日</p> <p>22日～</p>	<p>ザビエル祭 (全学休講)</p> <p>秋学期履修中止申請期間            秋学期補講日</p> <p>みなし月曜日            授業終了            冬期休業 (1月4日まで)</p>
月	火	水	木	金	土	日																																													
				1	2																																														
3	4	5	6	7	8	9																																													
10	11	12	13	14	15	16																																													
17	18	19	20	△21	22	23																																													
24	25	26	27	28	29	30																																													
31																																																			

共通事項  
教務学  
籍

<p style="text-align: center;">カレンダー</p> <p>■ : 休日・祝日・土曜日            ■ : 夏期休業・冬期休業・春期休業            ○ : 祝日授業実施日            △ : みなし曜日実施日</p>	学部年間予定																																																		
<p>2019年</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">1月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr> <tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※12月22日～1月4日 冬期休業            ※1月31日～3月31日 春期休業</p>	1月							月	火	水	木	金	土	日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				<p>5日 12日・19日 9日 13日・20日・31日 22日 23日～30日 31日～</p>	<p>授業再開            秋学期補講日            秋学期試験日程公開            TEAP 実施日*            秋学期授業終了            秋学期試験期間（1月30日は予備日）            春期休業（3月31日まで）</p> <p>* 「ACADEMIC COMMUNICATION 2」の受講者は必ず受験すること。詳細は p.172 を参照。</p>
1月																																																			
月	火	水	木	金	土	日																																													
	1	2	3	4	5	6																																													
7	8	9	10	11	12	13																																													
14	15	16	17	18	19	20																																													
21	22	23	24	25	26	27																																													
28	29	30	31																																																
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">2月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr> <tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※1月31日～3月31日 春期休業</p>	2月							月	火	水	木	金	土	日					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				<p>22日～3月29日 22日～26日</p>	<p>看護2年次生実習期間（2月4日～2月15日）            &lt;4年次生&gt;成績公開・卒業自己判定            &lt;4年次生・早期卒業予定者&gt;秋学期科目「成績評価確認願」提出期限            秋学期追試験（2月中旬～下旬）</p>
2月																																																			
月	火	水	木	金	土	日																																													
				1	2	3																																													
4	5	6	7	8	9	10																																													
11	12	13	14	15	16	17																																													
18	19	20	21	22	23	24																																													
25	26	27	28																																																
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">3月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr> <tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td></tr> </table> <p>※1月31日～3月31日 春期休業</p>	3月							月	火	水	木	金	土	日					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	<p>15日 16日～29日 17日～29日 18日～29日 25日 29日 31日</p>	<p>卒業者発表            在学継続通知書送付（保証人宛郵送）            &lt;3年次生&gt;成績公開・卒業自己判定            &lt;2年次生&gt;成績公開・卒業自己判定            &lt;1年次生&gt;成績公開・卒業自己判定            学位授与式            2018年度秋学期開講科目「成績評価確認願」提出期限            秋学期終了</p>
3月																																																			
月	火	水	木	金	土	日																																													
				1	2	3																																													
4	5	6	7	8	9	10																																													
11	12	13	14	15	16	17																																													
18	19	20	21	22	23	24																																													
25	26	27	28	29	30	31																																													

## ● よくあるQ&A

### Q 各種問い合わせ先を教えてください

A 以下の表を参照してください。場所についてはp.17およびp.282～p.290を参照してください。

履修相談、成績、授業、単位、Loyola パスワードについて	学事センター（教務）各学部担当	2号館1階
証明書、学生証、住所変更、学費につ いて	学事センター（学籍）窓口	2号館1階
課外活動、奨学金、ボランティア、 住居（寮・アパート）、保険、学生相談、障がい学生支援、 学生相互支援室（SSIC）、 アルバイト、事故・被害届、学生金庫、団体学割、託児室	学生センター	2号館1階
交換留学、海外短期語学講座・研修、実践 型プログラム、海外留学保険、留学カウン セリング	グローバル教育センター	2号館1階
グローバル教育センター開講科目 （グローバル・コンピテンシー・プログラ ム、インターンシップ科目等）	グローバル教育センター	2号館2階 （2018年秋～2号館1F に移転予定）
教職・学芸員課程について	課程センター	2号館1階
PCログインパスワード、ソフィアメール、 sophiawifi、Moodle、プリンタ、ネットワー クなどの利用について	情報システム室（総合メディアセンター） 利用相談室 情報システム室 ウェブページ 利用ガ イドを参照 ( <a href="http://ccweb.cc.sophia.ac.jp/">http://ccweb.cc.sophia.ac.jp/</a> )	2号館3階
落とし物、忘れ物	管財グループ	2号館1階
就職活動、インターンシップなど	キャリアセンター	2号館1階
応急処置、健康相談、健康診断証明書	保健センター	11号館入り口前、 ホフマン・ホール2階
大学生活で困ったこと、悩み相談	カウンセリングセンター	10号館3階

### Q 教員の連絡先が知りたいのですが…。

A まず、教員一覧（p.318～）を参照してその教員が「専任教員」か「非常勤教員」なのか調  
べましょう。「職名」に「\*」が付いている教員は「非常勤教員」です。

「専任教員」の場合……p.303から始まる教員研究室・学科事務室一覧のオフィスアワー  
を参照してください。なお、専任教員の個人メールアドレスは公  
開していません。

「非常勤教員」の場合…本学に研究室はありません。原則として、受講している授業の前  
後でコンタクトをとってください。なお、教員によっては授業時  
以外での連絡方法を公開している場合があります。学生へ公開可  
能な連絡先があるかどうか、学生証を持参し、学事センター（教  
務）窓口で問い合わせてください。

詳細はp.19の「教員との連絡について」を参照のこと

**Q 履修の相談をしたいのですが、いつ、どこでできますか？**

A 履修の相談は学事センター(教務)窓口でのみ行っています(電話での相談はできません)。窓口は平日の9:30~11:30, 12:30~17:00(8月, 2~3月は10:00~11:30, 12:30~16:00)に開いていますので、その時間帯に来てください。なお、特別な場合の窓口時間については、その都度Loyola掲示板等でお知らせします。

**Q 時間割に記載されている教室に行ったら違う授業が行われていました。**

A 教室が変更されている可能性があります。Loyolaの「授業掲示板」「時間割表」で最新の教室情報を確認できます。

**Q 授業開始時間が過ぎているのに、教員が来ない場合はどうしたらよいですか？**

A まずは、Loyolaに休講情報が掲示されているか確認してください。  
休講情報が掲示されていないにもかかわらず、授業開始時間から30分経過しても担当教員が入室しない場合は、学事センターに連絡し、その指示に従ってください。

**Q 忌引きのために授業を欠席しなければなりません。公欠届はありますか？**

A 本学には公欠や欠席届の制度はありません。やむを得ず授業を欠席した場合は、各自で担当教員に事情を説明してください。学事センターで欠席の連絡を取り次ぐことは出来ませんので、登校でき次第、受講している科目の担当教員とコンタクトをとってください。(感染症等に罹患した場合はp.24参照)  
定期試験を欠席した場合は、追試験が認められるケースがあります。(p.37~参照)

**Q 休暇や定期試験の日程など、大学のスケジュールを知りたいのですが…。**

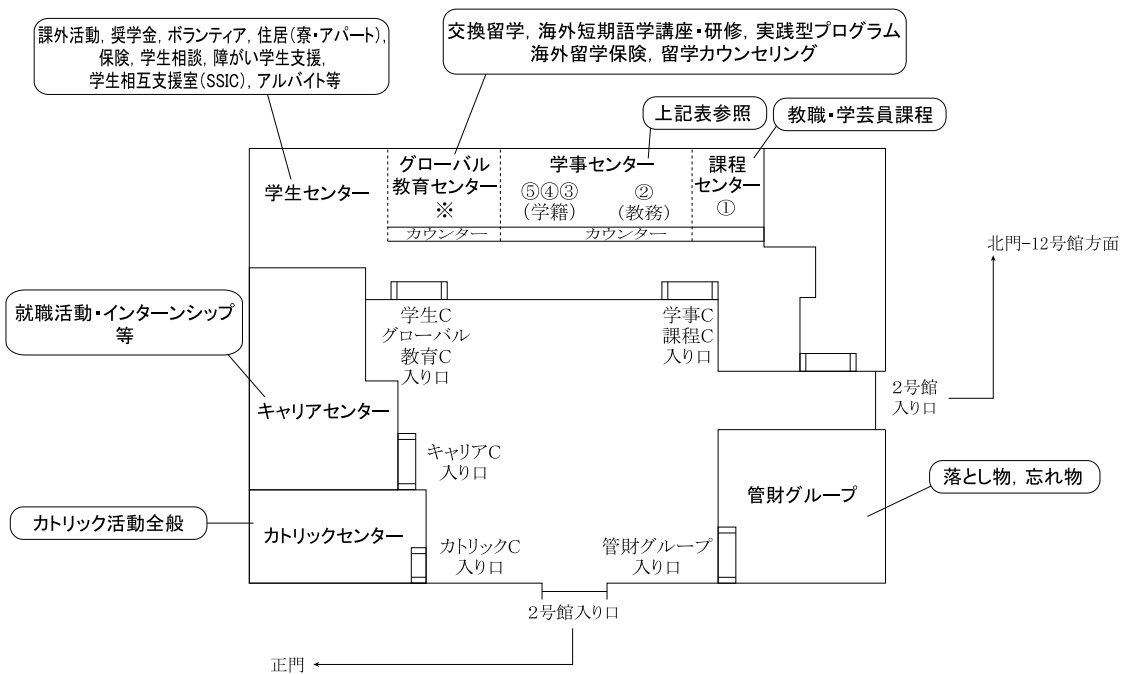
A 2018年度行事予定表(p.10~)を参照してください。

## ● 各種問い合わせ先について

各種問い合わせ内容および窓口番号は下記のとおりです。

問い合わせ内容	窓口番号
教職・学芸員課程について	課程センター窓口 ①番窓口
履修相談、成績、授業、単位について	学事センター（教務）②番窓口 各学部担当
証明書、学生証、休学・留学等について	学事センター（学籍）③番窓口
研究生、科目等履修生、聴講生について	学事センター（学籍）④番窓口
学費について	学事センター（学籍）⑤番窓口

(※) 各種相談は、原則として窓口のみにて受け付けています。  
特に履修相談、成績等については電話では受けられませんので注意してください。



※グローバル教育センター開講科目（グローバル・コンピテンシー・プログラム、インターンシップ等）は  
2号館2階（2018年夏から1階に移転予定）のグローバル教育センターで取り扱っています。  
※部署のレイアウトが2018年夏変更予定。変更に関するお知らせはLoyola掲示板で確認してください。

## ● 窓口時間について

月～金	午前	9:30～11:30	午後	12:30～17:00
	8月・2月・3月	午前	10:00～11:30	午後

- ※ 上記窓口時間外に各種相談、受付、必要書類の提出等を行うことはできません。
- ※ 土曜・日曜・祝日は休業です。
- ※ 特別な場合の窓口時間については、その都度Loyola掲示板等でお知らせします。



## ● Loyola による掲示について

大学から学生へのお知らせは、Webによる教学支援システム「Loyola（ロヨラ）」の掲示によって行います。この掲示を見なかったために生じる不利益は学生本人の責任となります。

授業に関する情報（休講、補講、教室、臨時の教室変更、試験やレポートの告知など）や、学生への個人連絡、また緊急を要する重要な掲示等もLoyolaで行います。

大学が発信する最新の情報を得るためにも毎日必ずLoyolaの掲示板を見るように習慣付けてください。また、紙による掲示を併用する場合がありますので掲示板の位置については後見返しを参照してください。

＜Loyola掲示板＞ 重要な掲示がされますので、毎日確認するようにしましょう！

主な掲示板名	掲示内容
授業掲示板	教室変更・担当教員からのお知らせを掲示します。 ※休講・補講については「掲示板（休/補/教室変更）→ 休講・補講・臨時教室変更参照」を見てください。 履修登録している授業の情報のみ参照できます。
呼び出し	各部署からの、個人連絡メッセージが表示されます。呼び出しの場合は、速やかに対応してください。
大学掲示板	上智大学に関係する行事、または大学からのお知らせ等を掲示します。
学科・専攻別掲示板	各学科・専攻からのお知らせを掲示します。
学事センター（教務）掲示板	履修登録、カリキュラム変更などの重要なお知らせを掲示します。必ず確認してください。
学事センター（学籍・学費）掲示板	学籍・学費・証明書等についてのお知らせを掲示します。

＜その他 Loyolaで確認できること＞

内容	参照メニュー
教室を確認したい	カリキュラム履修関係 → 時間割 → 時間割参照
休講・補講・臨時教室変更情報を見たい	掲示板（休/補/教室変更）→ 休講・補講・臨時教室変更参照
シラバスを見たい	カリキュラム履修関係 → シラバス参照
履修登録をしたい。履修登録した内容を確認したい	カリキュラム履修関係 → 履修登録 → 履修登録・登録状況照会
成績を見たい	成績 → 履修成績照会
自己判定機能を使いたい	成績 → 自己判定
定期試験の日程やレポートの課題を確認したい	定期試験 → 定期試験時間割照会（学生用）
Loyolaの機能や詳しい使い方を知りたい	HOME → Loyola Handbook（学生用）

## ● 各種ガイダンスについて

大学生活は、自らの意志と計画によって勉学し生活していくものです。その一助として、学年のはじめに、科目の選択・登録・カリキュラムの内容、学習活動の手引きを目的とする各種のガイダンスが行われます。必ず出席してください。代表的なものとして、以下のようなガイダンスがあります。

対象者	出席すべきガイダンス
新入生	新入生ガイダンス
2年次生以上	在校生ガイダンス
教職課程履修希望者	教職課程説明会（4月） 教職課程新規履修者ガイダンス（9月）
学芸員課程履修希望者	学芸員課程新規履修者ガイダンス（4月）

この他にも必要に応じて各種ガイダンスが行われます。日時・場所などについては、随時Loyolaでお知らせします。

## ● 教員との連絡について

授業担当教員は、本学に籍を置いている教員（専任教員）と本学に籍がなく担当授業時に来校し講義を行う兼任講師（非常勤教員）がいます。教員と連絡を取りたい場合、専任教員か非常勤教員かによって連絡を取る方法が異なります。

### ■専任教員の場合

学内に研究室があり、学生との相談時間（オフィスアワー）が設けられていますので、その時間であれば相談や面会をすることが可能です。また、オフィスアワー以外の曜日や時間に面会を希望する場合は、教員が所属する学科の事務室へ相談し、教員と連絡を取ってください。

また、各学部学科のクラスまたはゼミ単位でクラス主任およびアカデミック・アドバイザーが置かれています。勉学や履修、進路に関することなど学生生活における問題について相談することができます。

・教員の研究室およびオフィスアワー一覧	： p.303～参照
・各学科の事務室	： p.303～参照（各学科の一番前に記載されています）
・各学科のクラス主任一覧	： p.299参照
・各学科のアカデミック・アドバイザー一覧	： p.301参照

### ■非常勤教員の場合

学内に個人の研究室はありませんので、担当する授業の前後で連絡を取ってください。また、教員によっては学生に対してメールアドレスなどの連絡先を公開している場合があります。

学生に対して連絡先を公開しているかどうか、またその連絡先については学事センター（教務）の窓口で問い合わせることができますので、希望する場合は学生証を持って窓口にきてください。

なお、個人情報保護の観点から電話での連絡先照会は受け付けできません。

また、学事センターが教員へ連絡を取り次ぐことは行っていません。

### ■連絡を取りたい教員が専任か非常勤が分からない場合

授業担当教員一覧（p.318～）から名前を探してください。

職名の欄に「\*」がついている教員は非常勤教員、ついていない教員は専任教員です。

## ● 公共交通機関運行停止時の取扱いについて

台風・大雨など各種の自然災害や事故・ストライキなどによる電車運行停止のため、授業や定期試験を平常通り行うことができないと判断された場合は、休講もしくは試験日の振替などの特別措置をとることがあります。特別措置の内容については、大学ホームページ、Loyola、公式フェイスブックもしくは公式ツイッターでお知らせしますので各自で確認してください。

## ● 個人情報の取扱いについて

上智学院個人情報保護への取組みについては下記URLを参照してください。

[https://www.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy/joho\\_toriatsukai.html](https://www.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy/joho_toriatsukai.html)

# 教務（履修・成績・授業など）

## 1. 授業 … p.22

授業期間・学期期間・授業時間・みなし曜日  
祝日の授業日・教室について・教科書・休講・補講  
欠席した場合・感染症に罹患した場合  
裁判員選任等に伴う授業等の出欠の取扱い

## 2. 単位と科目 … p.25

単位とは・科目の区分・履修度

## 3. ナンバリング … p.26

## 4. 履修登録 … p.27

履修登録日程・履修登録とは  
最高履修限度  
同一科目の重複履修  
抽選科目  
履修登録の注意点

## 5. 国際教養学部開講科目の履修について … p.32

受講資格・必要書類・履修申込方法

## 6. 履修中止 … p.33

履修中止とは・履修中止申請期間  
履修中止申請の注意点・「履修中止願」による申請

## 7. 試験 … p.36

試験の種類  
定期試験（筆記試験）・レポート試験日程等の掲示  
定期試験（筆記試験）の心得  
定期試験（筆記試験）での不正行為の禁止  
公共交通機関運行停止時の取扱い  
追試験  
レポート試験での不正行為の禁止  
試験やレポート・論文作成に臨むにあたって

## 8. 学力の評価・成績 … p.41

評価基準・GPA・成績の公開スケジュール  
成績評価確認願  
成績不振学生との面談について  
単位修得不足者の扱い

## 9. 卒業要件と自己判定 … p.44

卒業要件  
卒業必要単位の確認方法

## 10. 単位換算・単位認定 … p.45

単位換算・単位認定とは  
単位換算・単位認定された科目の成績  
単位換算・単位認定の取扱い期間  
入学前既修得単位認定・編入学単位認定  
教員免許取得のための単位認定  
大学院入学前科目履修制度  
技能審査（TOEFL・TOEFL ITP・TEAP）  
による英語の単位認定  
学生交流協定による単位認定  
留学による単位換算

## 11. グローバル教育センター 取扱プログラムの 単位付与について … p.48

海外短期語学講座による単位付与  
海外短期研修による単位認定・単位付与  
実践型プログラムによる単位付与  
インターンシップ科目による単位付与  
国連ユースボランティア実習による単位付与

# 1. 授業

## ● 授業期間

1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め35週にわたることを原則としています。授業の開始日・終了日、試験期間についてはp.10～の「2018年度行事予定表」で確認してください。

## ● 学期期間

学期の期間は下記のとおりです。

春学期： 4月 1日 ～ 9月20日

秋学期： 9月21日 ～ 3月31日

## ● 授業時間

時限	時 間
0	8 : 15～ 9 : 00
1	9 : 15～10 : 45
2	11 : 00～12 : 30
3	13 : 30～15 : 00
4	15 : 15～16 : 45
5	17 : 00～18 : 30
6	18 : 45～20 : 15

※この他に、通常の授業日時・時間帯とは異なる形式で、土日や補講期間などに集中的に授業を行う「集中講義科目」もあります。この場合の授業日時・教室については別途Loyolaの（教務）掲示板もしくは「授業掲示板」で掲示します。（時間割上では「集中講義」として記載されています。）

## ● みなし曜日

「みなし曜日」とは、祝祭日が集中し十分な授業日数を確保できない曜日が発生した場合、それを補うために通常のカレンダー上の曜日とは違う曜日にみなして取扱う日のことをいいます。

2018年度のみなし曜日については2018年度行事予定表（p.10～）で確認してください。

## ● 祝日の授業日

授業日数を確保するため、特定の祝日にも授業を行うことがあります。2018年度の祝日の授業日については2018年度行事予定表（p.10～）で確認してください。

## ● 教室について

授業は、基本的にLoyolaに登録されている教室で行われます。しかし、授業開始後の受講者数や設備などの事情によって、一時的もしくは恒常的に教室が変更となる場合があります。特に授業開始後しばらくは教室の変更が多く発生しますので、授業の前に確認する習慣をつけてください。

### ■ 恒常的な教室変更の場合

Loyolaの「授業掲示板」に変更後の教室および変更日等について掲示が出ます。

またLoyolaの「カリキュラム履修関係→時間割」または「掲示板（休/補/教室変更）→休講・補講・臨時教室変更参照」でも確認できます。

### ■ 臨時の教室変更の場合

Loyolaの「掲示板（休/補/教室変更）→休講・補講・臨時教室変更参照」画面で確認できます。

## ● 教科書

授業に必要な教科書、参考図書はLoyolaの「カリキュラム履修関係→シラバス参照」で確認できます。特に事前の準備を求められていないものは、初回の授業で教員の指示に従って準備してください。教科書、参考図書は紀伊國屋書店が販売します。Webによる発注となっていますので、購入にあたっての詳細はLoyola掲示板で確認してください。

※目白聖母キャンパス開講科目については、目白聖母キャンパスで購入できます。

## ● 休講

公務、出張、学会、病気などによって担当教員が授業ができなくなり、休講となる場合があります。休講情報は担当教員からの連絡によりLoyolaに掲示されますが、やむを得ず当日のお知らせとなる場合もありますので、授業前にLoyolaを確認する習慣をつけてください。

なお、Loyolaに休講掲示が出ていないにもかかわらず、授業開始時間から30分経過しても担当教員が入室しない場合は、学事センターに連絡し、その指示に従ってください。

## ● 補講

補講は、春学期と秋学期にそれぞれ設けられている補講日に原則として行いますが、このほかにも別日程で行う場合があります。いずれの場合もLoyolaに掲示しますので、教室や日時を確認のうえ受講してください。

2018年度の補講日については2018年度行事予定表（p.10～）で確認してください。なお、補講は休講した分の授業を補うものなので、通常の授業と同様に扱います。

## ● 欠席した場合

本学に公欠や欠席届の制度はありません。 忌引、交通機関遅延、病気、課外活動、就職活動などによってやむを得ず欠席した場合は、各自で担当教員に事情を説明してください。学事センターで欠席の連絡を取りつぐことはできません。ただし、定期試験の場合には、追試が認められるケースもあります（p.37～を参照）。

また、病気や怪我などの理由によって長期にわたり大学に来ることができない場合には、所属する学科の学科長もしくはクラス主任に相談してください（p.299～参照）。

## ● 感染症に罹患した場合

学校保健安全法に定められた感染症（インフルエンザ、はしか、百日咳、風疹、おたふくかぜ、水ぼうそう等）に学生が罹患した場合は、感染拡大を防ぐために所定の期間、登校禁止となります。万が一罹患した場合は、下記のとおり対応してください。

なお、新型インフルエンザなど新しい感染症の場合は、特別な措置がとられることがあります。Loyolaおよびホームページの掲示に注意してください。

1. 医師の指示に従い、感染の危険がなくなるまで自宅療養する。保健センターにFAX（報告用紙は大学ホームページからダウンロード）、Loyola、電話のいずれかで罹患を報告する。
2. 大学ホームページ上から「感染症治癒後登校許可証明書」をダウンロードし、登校が許可されたことを医師に記入してもらう。（登校禁止期間が記載されていれば医療機関発行の様式でも可）。  
※ダウンロードできない場合は、保健センターへ用紙を請求してください。
3. 登校時、上記証明書原本を保健センターに提出する。各担当教員には証明書の写しを提出する。

## ● 裁判員選任等に伴う授業等の出欠の取扱いについて

「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」に基づいて、今般導入された裁判員制度のもとでは、学生は裁判員の辞退等が認められていますが、裁判員になることを希望する学生の意思を尊重するため、学生が裁判員に選任された場合（その選任手続を含む）の授業等の出欠について、下記のとおり取り扱うものとします。

1. 対象となる学生  
本学に在籍する学部・大学院の正規生および科目等履修生（聴講生は含まない）
2. 対象となる事由
  - ①裁判員候補者として裁判員選任手続のために裁判所へ出向くとき
  - ②裁判員として裁判に参加するとき
  - ③補充裁判員として裁判に立会い等をおこなうとき
3. 手続き  
学生は、原則として事前に学事センター（教務）窓口申し出て、裁判員選任用所定の欠席届用紙を受取り、その欠席届とともに、裁判所から送達された文書（「選任手続日のお知らせ（呼出状）」）の写しを担当教員に提出し、当該授業を欠席することについて申し出る。また、事後には裁判所が発行する証明書類を提示して同教員に報告する。
4. 出欠の取り扱い  
上記所定の文書による申し出および報告があった場合、本人の不利益とならないよう、教員側で次のように配慮することといたします。
  - ①授業：「欠席」扱いとしない。代替措置については担当教員の判断による。
  - ②授業内試験：「欠席」扱いとしない。代替措置については担当教員の判断による。
  - ③定期試験：追試験の対象とする。通常の追試験願を期限までに提出する（p.37～参照）。

### \*参考

学生も裁判員候補者として選ばれるものの、法律により裁判員の辞退を申し出ることができる事由に該当するので、出廷に関して想定され得る対応例は次のようになります。

（学生の対応例）

- a) 裁判員の選任手続や裁判員として裁判に参加する
- b) 学生という身分で、一般的に辞退する
- c) 定期試験時など特定の月や日は辞退する  
（辞退を申し出ることができる主な事由）
  - ・1年間を通じて辞退することができる一般的な事由がある…「学生」という身分
  - ・裁判員になることが特に難しい特定の月がある…定期試験時など
  - ・他の期日に行うことができない社会生活上の重要な用務がある場合

## 2. 単位と科目

### ● 単位とは

すべての科目には一定の単位が定められており、これらの科目を履修して試験などに合格すれば単位が修得できます。単位数の計算方法は科目の種類によって異なります。自分が履修している科目が何単位であるかは、履修要覧の各学科や全学共通科目のページにある「開講科目担当表」に記載されています。

**卒業に必要な単位は、各学科または入学年次によって異なります。**自分が所属する学科のページにある、「1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準」「2. 標準配当表」を必ず参照してください。

なお、大学設置基準および学則第22条では、「授業科目の単位数は、1単位履修に45時間の学修を要することを標準とし」と定めています。このように、単位を修得するためには授業時間以外にも学習のための時間が要求されます。

### ● 科目の区分

授業科目は大きく三つの区分に分けられます。全学部共通で開講されている「**全学共通科目**」と「**語学科目**」、各学科で開講されている「**学科科目**」です。なお、13年次生以前の授業科目は「全学共通科目」と「学科科目」二つの区分に分けられています。

【14年次生以降】



【13年次生以前】



※ここで述べる語学科目とは、言語教育研究センター開講の科目を指します。

#### 【区分を確認することの重要性】

授業科目の区分については、科目によっては複数の区分にあてはめることができる科目もあります。これらの科目は**自分の卒業要件にあわせて履修登録の際に区分を決める必要があります。**(複数区分にまたがる科目については、学科によって異なりますので、各学科のページを参照してください。)

このような科目は履修登録時に区分を指定して履修する必要があるため、履修計画を立て、履修区分を予め理解した上で登録してください。科目の区分に関して確認したい場合や不明な点がある場合は、学事センター窓口で相談してください。

### ● 履修度

全学共通科目、語学科目および学科科目は、それぞれ履修度によって、さらに以下の四つに分類されます。

必修科目	必ず履修しなければならない科目
選択必修科目	数科目の中から学生が選択し、各学科所定の単位数を必ず履修しなければならない科目
選択科目	学生が自由に選択して履修する科目
自由科目	学問的興味・関心に応じて学生が任意に履修する科目 (卒業に必要な単位としては認められない)

それぞれ必要な単位数は学科によって異なりますので、詳細については自分の所属する学科のページの「1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準」と「2. 標準配当表」を必ず参照してください。

### 3. ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付けて分類することで、学修の段階や順序を表し、カリキュラムの体系性を明示する仕組みです。

ナンバリングによって科目の分野やレベル設定、履修順序などを読み取ることができます。履修計画を立てる際の指針として役立ててください。

- 1) ナンバリング対象科目  
全学部開講科目が対象です。

- 2) ナンバリング基本方針

↓科目の分野を表す（任意のアルファベット3文字）

AAA 111

↑100の位で科目のレベルを表す

**【100の位のレベル分類】**

- 100番台 導入レベル科目
- 200番台 基礎から専門的レベルへの橋渡しとなる科目
- 300番台 専門領域の科目，もしくは専門的な知識を踏まえ社会との接点を探る科目
- 400番台 専門領域の科目（上級レベル，専門領域の演習）

・各学科の詳細な付番方針・科目の分野については、各学科のページの履修上の注意に記載をしています。

- 3) ナンバリング掲載箇所

開講科目担当表の科目コードの隣の列に記載があります。

※例

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
BGS50100	GBG200	グローバル化と政治学	2	春	上 智 太 郎	1・2		[190名]
BGS50200	GBG201	グローバル化と経済学1	2	春	*上 智 花 子	1・2		[190名]
BGS50201	GBG202	グローバル化と経済学2	2	秋	*上 智 花 子	1・2		[190名]



## 4. 履修登録

### ● 履修登録日程

履修登録は、春学期・秋学期ともに、所定の期間内に、Loyolaで履修登録手続きをする必要があります。

履修登録の際のLoyolaの操作手順や注意事項などの詳細は、「Loyola Handbook」の該当部分を参照し、間違いのないよう手続きをしてください。

#### ■春学期登録日程

	行事	年次	期間	備考
①	卒業自己判定期間	2・3・4年次生	4月1日(日) 10:00～	Loyolaで自己判定ができます。
②	履修登録期間(春学期)	2・3・4年次生	4月2日(月) 10:00 ～4月12日(木) 21:00まで	春学期科目(抽選科目を除く)を履修する場合は、必ずこの期間内にLoyolaで履修登録をおこなうこと。
		1年次生	4月3日(火) 10:00 ～4月12日(木) 21:00まで	
③	抽選エントリー期間	2・3・4年次生	4月2日(月) 10:00 ～4月8日(日) 15:00まで	春学期科目の抽選科目を履修する場合は、必ずこの期間内にLoyolaで抽選科目のエントリーを行うこと。
		1年次生	4月3日(火) 10:00 ～4月8日(日) 15:00まで	
④	抽選科目登録結果発表	全学生	4月9日(月) 13:00～	③の期間にエントリーした科目の抽選結果をLoyolaで確認することができます。
⑤	抽選科目登録期間(先着順)	全学生	4月9日(月) 13:00 ～4月12日(木) 21:00まで	抽選エントリー期間で定員に満たなかった科目および、削除により定員に達していない科目について、Loyolaで先着順に登録を受け付けます。
⑥	履修登録確認期間	全学生	4月13日(金)	履修登録した科目(②, ③, ⑤)の期間に行った登録の結果をLoyolaで確認することができます。
⑦	履修登録修正期間	全学生	4月14日(土) 10:00 ～4月18日(水) 21:00まで	通常科目および抽選科目(一部科目を除く)をLoyolaで修正(追加・削除)することができます。
⑧	履修登録確認期間(春学期最終結果)	全学生	4月20日(金) 13:00～	修正登録した結果(②, ③, ⑤, ⑦)の期間に行った登録をLoyolaで確認することができます。
⑨	卒業自己判定期間	1年次生	5月1日(火) 10:00～	Loyolaで自己判定ができます。

#### ■秋学期登録日程

	行事	年次	期間	備考
①	卒業自己判定期間	2018年9月 入学者を除く 全学生	9月12日(水) 10:00～	Loyolaで自己判定ができます。 (2018年9月入学者は9月21日(金)～)
②	履修登録期間(秋学期)	2・3・4年次生	9月21日(金) 10:00 ～9月29日(土) 21:00まで	秋学期科目(抽選科目を除く)を履修する場合は、必ずこの期間内にLoyolaで履修登録をおこなうこと。
		1年次生	9月22日(土) 10:00 ～9月29日(土) 21:00まで	
③	抽選エントリー期間	2・3・4年次生	9月21日(金) 10:00 ～9月25日(火) 15:00まで	秋学期の抽選科目を履修する場合は、必ずこの期間内にLoyolaで抽選科目のエントリーをおこなうこと。
		1年次生	9月22日(土) 10:00 ～9月25日(火) 15:00まで	
④	抽選科目登録結果発表	全学生	9月26日(水) 13:00～	③の期間にエントリーした科目の抽選結果をLoyolaで確認することができます。

	行事	年次	期間	備考
⑤	抽選科目登録期間 (先着順)	全学生	9月26日(水) 13:00 ～9月29日(土) 21:00まで	抽選エントリー期間で定員に満たなかった科目および、 削除により定員に達していない科目について、Loyolaで先 着順に登録を受け付けます。
⑥	履修登録確認期間	全学生	9月30日(日) ～10月1日(月)	履修登録した科目(②, ③, ⑤)の期間に行った登録)の 結果をLoyolaで確認することができます。
⑦	履修登録修正期間	全学生	10月2日(火) 10:00 ～10月4日(木) 21:00まで	通常科目および抽選科目(一部科目を除く)をLoyolaで修 正(追加・削除)することができます。
⑧	履修登録確認期間 (秋学期最終結果)	全学生	10月8日(月) 13:00～	修正登録した結果(②, ③, ⑤, ⑦)の期間に行った登録) をLoyolaで確認することができます。

## ● 履修登録とは

履修登録は、指定の期間内に各自が履修(授業を受ける)する科目を自ら決定し、自分自身の責任において登録する手続きのことで、履修登録は、抽選科目かどうかで、登録できる期間が異なります。

履修登録の手続きを誤ると、自分が履修しようと思っていた科目の履修が認められず、かつ、成績・単位の修得はできないため、登録は慎重に行ってください。また、登録の際にはLoyola上にある「Loyola Handbook」を熟読するようにしてください。なお、新入生は「履修登録クイックナビ」も参照してください。

ミスを防ぐために、履修登録完了後、必ず再度Loyolaにログインし、希望の科目が登録できているかを確認してください。画面のコピーをとっておくことを推奨します。

また、急なカリキュラム変更については、Loyolaの学事センター(教務)掲示板で都度お知らせしますので、必ず確認してください。

## ● 最高履修限度について

単位修得に必要な十分な学習時間を確保し、勉学の質を維持するため、各学期および年間に履修登録できる単位数は上限(最高履修限度)が定められています。

最高履修限度は学科および入学年次によって異なりますので、自分の所属する学科の「履修上の注意」のページを参照してください。

※最高履修限度は履修登録できる単位数の上限です。単位を修得しなかったもの(履修中止したもの(W)や評価がFとなった科目)も含まれます。

※春学期の上限単位数+秋学期の上限単位数>年間の上限単位数の場合、春学期・秋学期がそれぞれ上限単位数内であっても年間の上限単位数を上回ることはできません。

### ■ 最高履修限度の数の例

春	秋	年間
26	26	44

春学期科目20単位分を履修登録した場合

→秋学期には、年間(44単位)－春学期(20単位)＝24単位までしか登録できません。

上記の最高履修限度はあくまでも一例です。自分の学科の該当ページをよく確認して、年間の履修計画を立てるようにしましょう。

## ● 同一科目の重複履修について

**同一科目を2回以上履修しても、卒業に必要な単位としては認められません。**

同一科目とは、原則として科目コードが同じ科目のことです。

そのため、一度単位を修得した科目を再び履修することは原則としてできません。また、科目コードが異なっても、同一科目とみなされる科目は、履修登録することができません。

ただし、一部の科目については重複履修することができるものもあります。

詳細については各学部学科のページを参照してください。

同一科目の履修が必要な場合は学事センター(教務)窓口にご相談に来てください。

## ● 抽選科目について

抽選科目とは、履修する定員数が定められている科目のことです。

開講科目担当表の備考欄に〔〇〇名〕という形で定員数が記載されています。

抽選科目の履修希望者は、各学期の抽選エントリー期間にLoyolaでエントリーを行う必要があります。

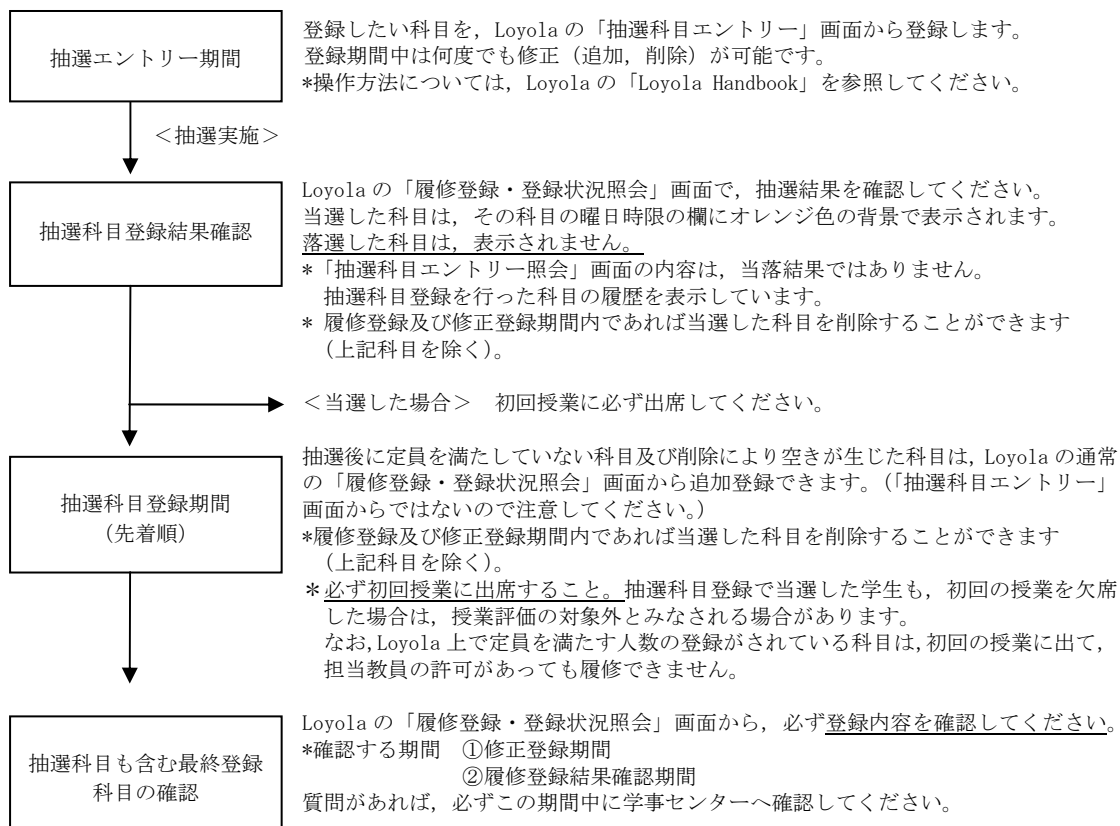
なお抽選はコンピュータにより行われ、当選者のみ自動的に履修登録されます。

**抽選科目に当選した場合、当選した科目を履修登録及び修正登録期間内であれば削除することができます（下記の科目は削除はできません）。**

### ■ 削除できない科目

- ・語学科目（英語選択科目を除く）
- ・キリスト教人間学科目

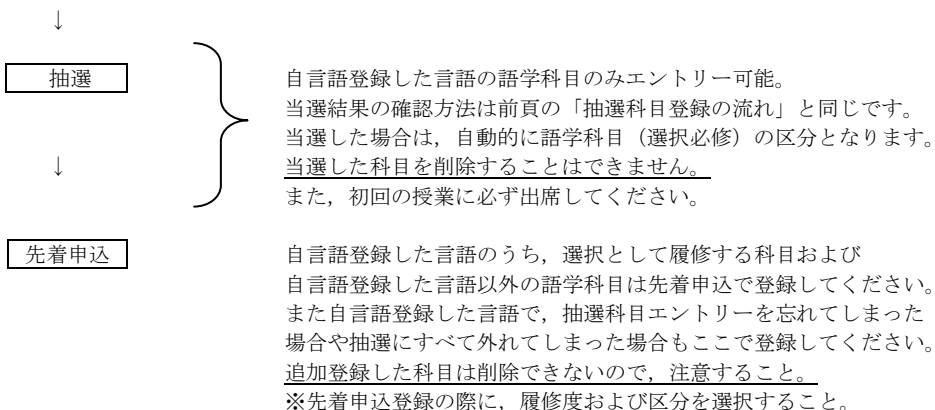
### ■ 抽選科目登録の流れ（14年次生以降の語学科目の抽選の流れは次頁を参照。）



## ■ 抽選科目登録の流れ（14 年次生以降の語学科目履修）

必修（英語を除く）／選択必修として履修する言語を登録（自言語登録）

※この登録をしていないと、抽選科目のエントリーができません。自言語登録の方法はクイックナビを参照すること。



## ■ 抽選科目登録の注意点

- ・当該科目を履修するうえで条件がある場合（例：履修年次、学部学科など）、自身の年次や履修状況、学部学科が条件と異なる場合は登録されません。
- ・エントリーをする曜日時限に別の科目を登録している場合、エントリーした抽選科目は登録されません。
- ・当該年度・学期の履修上限を超過してエントリーした場合、登録されません。
- ・全学共通科目（選択科目）は、抽選に当選する上限科目数は各学期4科目です。なお先着順となった全学共通科目（選択科目）は上限を超えても登録が可能です。

## ● 集中科目について

集中科目とは、主に授業期間外に実施される科目を指します。履修要覧において、これらの科目の開講期は、春学期もしくは秋学期で表示されていますが、備考欄に「集中」と記載されています。履修登録の時期は各開講期の履修登録期間と同じです。また、休業期間中に開講されるため、履修中止をすることはできません。各学期・年度の履修上限にも含まれます。

## ● 履修登録の注意点

### ■ 履修計画を綿密に立てる

卒業に必要な要件を確認しつつ、履修要覧およびシラバスを参照しながら、1年間の履修計画を立てましょう。2年次生以上の学生は、前年度までの単位修得状況も確認する必要があります。科目によっては、秋学期に春学期の続きの科目を履修しなければならない場合もあります。春学期の履修登録時には、秋学期の必修科目の時間割も考慮しましょう。このように、履修計画は年間単位で考えるようにしてください。また、学期および年間の最高履修限度の単位数も意識して履修計画を立てましょう。(最高履修限度についてはp.28「最高履修限度について」を参照)

### ■ 履修登録期間内に必ず登録する

「履修しようとする授業科目は所定の期間に登録しなければならない(学則第50条)」  
履修登録は、上記のように学則第50条で規定されているとおり、所定の期間以外に行うことはできません。登録期間は学年によって異なることがありますので十分気をつけてください。

### ■ 初回の授業へ必ず出席すること

初回の授業では、今後の授業スケジュールや評価方法など重要な説明がある場合がありますので、必ず出席してください。初回の授業の出席から授業評価の対象になっている科目もありますので(シラバスを参照してください)、欠席すると、以後の授業に出席することを認められない場合があります。またその場合でも、履修登録が自動的に削除になることはありません。自分で履修中止を行う必要があります。

### ■ 履修登録の確認を行う

履修登録したつもりが、きちんと登録されていない場合、いくら授業に出席していても評価の対象外となり単位の修得はできません。履修登録は自分自身で責任を持って行うものです。履修登録ミスを防ぐため、履修登録後、履修確認期間に必ず再度確認し、間違えていた場合には修正登録期間に修正してください。

### ■ 履修登録操作に関する注意点

- ・履修登録操作をする際は、「Loyola Handbook」(Loyolaメニューから閲覧可能)をよく読んで行ってください。なお、新入生は「履修登録クイックナビ」も参照してください。
- ・Loyolaによる履修登録では、登録最終日の最終時刻までに登録を完了する必要があります(「履修登録・登録状況照会」画面にて、「登録完了」ボタンをクリックすることで完了します)。登録期間内にログインしていても、最終時刻までに「登録完了」ボタンをクリックしていないと履修登録が完了したことにはならないので、注意してください。登録最終日にパソコン、通信環境のトラブルで登録できなかった場合も、特例の措置はとりません。余裕をもって登録をおこなってください。
- ・履修登録の最終日は、大変混雑が予想されるため、できれば前日を目途に早めに登録を完了するよう心がけてください。期間中であれば、「登録完了」ボタンを押した後でも、繰り返し修正(追加・削除)することが可能です。
- ・履修登録完了後は、登録されている科目に誤りがないかを期間中に必ず確認してください。最終時刻までの間に、「登録完了」ボタンを押した最後の状況が登録されます。
- ・最終段階の「履修登録・登録状況照会画面」をプリントアウトするか、もしくは画面のコピーのデータを保存しておくことを推奨します。その際は「登録完了」ボタンを押して、一旦ログアウトした後、再度ログインしたときのものでプリントアウトしてください。

### ■ 質問は窓口時間内に

履修登録についての質問がある場合は学事センター(教務)窓口で聞いてください。電話での履修相談や問合せは受け付けできません。

## 5. 国際教養学部開講科目の履修について

### ● 受講資格

以下のいずれかの条件を満たしている事。

	条件	証明書類
TOEFL	550 (Internet-basedは79) 点以上	公式スコア* テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TOEFLのITP	550点以上	
TOEIC (IPも可)	730点以上	
IELTS	6.0以上	
TEAP (4技能)	334点以上	
TEAP (CBT)	600点以上	
実用英語検定	1級・準1級	合格証書または証明書*
上智大学協定校交換留学	英語圏・英語で教育を行っている大学への交換留学を修了した者	履修願に大学名を記入

\*いずれもコピー可。また Loyola 外国語検定試験の画面で「承認」となっているスコアについては、該当ページを印刷したものでも受付可。

### ● 必要書類

- ① 履修願 (所定用紙)
- ② 受講資格を証明できるもの (上記証明書類の欄を参照)

### ● 履修申込方法

- ① 履修登録期間までに、Loyola (教務) 掲示板から履修願・Course Scheduleをダウンロードし、履修計画を立てます。履修希望科目選択にあたっては、Loyola上のシラバスを確認して下さい。  
\*なお、以下の科目は国際教養学部正規生のための必修科目のため、他学部生は履修できません。  

ENG001	BASIC SKILLS (WRITING)	ENG110	ACADEMIC ENGLISH SKILLS
ENG111	ENGLISH COMPOSITION 1	ENG112	ENGLISH COMPOSITION 2
ENG115	PUBLIC SPEAKING	THP101	THINKING PROCESS

  
\*また、一部の科目は前提履修を必要としている為、履修を希望する場合は「FLA Bulletin of Information」及びシラバスを参照すること。
- ② 履修願に必要事項を記入し、学事センター (教務) 窓口へ提出してください。  
Loyola上では履修登録はできません。(登録日程の詳細についてはLoyolaの学事センター (教務) 掲示板で確認すること)。以下の点に特に注意してください。  
\*一度提出した履修願は取り下げることができないので、十分注意すること。履修願を提出した科目を取りやめた場合は所定の期間に履修中止申請を行うこと。
- ③ 国際教養学部開講の抽選科目は国際教養学部生の優先科目です。他学部生の履修に関しては、定員に満たなかった科目のみ履修登録が可能です。

なお、履修登録にあたっては、Loyolaで登録した科目が優先的に登録されます。従って、Loyolaで履修登録した科目と、国際教養学部の科目で履修手続を行った科目が曜日時限の重複をしていたり、国際教養学部の科目を履修登録した場合に年間の最高履修限度を超えてしまう場合には、申請した科目は登録されないので十分注意すること。履修登録の結果は、履修登録確認期間内にLoyolaの「履修登録・登録状況照会」画面で各自確認すること。

## 6. 履修中止

### ● 履修中止とは

授業に出席してみたものの、①授業の内容が自分の勉強したいものと違って、②授業のスピードについていけないだけの知識が不足していることに気がついた、③自分の履修計画を見直した結果、履修科目を減らしたい、という場合、定められた期間内に履修中止の手続きをすることができます。

履修中止の手続きは2種類あり、①Loyolaで行うものと、②学事センター（教務）窓口で「履修中止願」（紙）を提出するものがあります。

### ● 履修中止申請期間について

2018年度の履修中止申請期間は下記のとおりです。

#### ■ 春学期申請期間

日	時	結果確認期間	対象科目
5月7日（月）	10：00～10日（木）18：00まで	5月14日（月）10：00～	春学期前半科目
6月4日（月）	10：00～8日（金）18：00まで	6月12日（火）10：00～	春学期科目・春学期後半科目

#### ■ 秋学期申請期間

日	時	結果確認期間	対象科目
10月22日（月）	10：00～25日（木）18：00まで	10月29日（月）10：00～	秋学期前半科目
12月3日（月）	10：00～7日（金）18：00まで	12月11日（火）10：00～	秋学期科目・秋学期後半科目

\*Loyola（Web）画面から、各自確認してください。「入力したつもり」であっても画面に反映されていない場合は無効です。

\*必ず操作終了後、再度ログインしなおしたうえで、履修中止一覧に表示されているか、確認してください。

\*コンピュータの不具合や通信環境のトラブルによって履修中止申請最終日に操作ができなかった場合、特例の措置はとりません。

\*余裕をもって、できる限り締切り前日までに申請を済ませ、履修中止期間中に再確認が行えるようにしてください。

### ● 履修中止申請の注意点

#### ■ 履修中止できない科目

- ① 必修科目（全学共通科目、学科科目を問わず）
- ② 外国語科目／「必修」および「選択必修」としての語学科目（例外についてはp.34「履修中止願」による申請を参照してください）
- ③ 教育実習 ・ 博物館実習
- ④ 集中講義（履修中止期間までに授業が終了するもの。）

ただし、学科によっては必修科目以外にも履修中止できない科目や、履修中止ができる必修科目がある場合があります。各学科とも「履修上の注意」で確認してください。

#### ■ 4年次生は履修登録単位の合計が卒業に必要な単位数、要件を満たしているか、十分に確認してください。

#### ■ 履修中止期間外の履修中止および履修中止の取消はできません

履修中止期間内であれば、Loyola上で履修中止の取消は可能ですが、期間終了後の取消や新たな科目の履修中止は一切認められません（履修中止期間以降に実施される集中科目も含む）。履修中止を行いたい科目がある場合は期間内に余裕をもって行ってください。ただし、履修中止した科目を翌年度以降再度登録することは可能です。

#### ■ 抽選科目でも履修中止することができます

抽選科目に当選したが、履修中止をしたい場合はLoyolaで履修中止をすることができます。（必修科目等の履修中止ができない科目もあります。）

### ■最高履修限度に含まれます

履修中止した科目の単位数分も学期および年間の最高履修限度に含まれます。  
秋学期の履修登録の際には、その分も含めて最高履修限度内で履修計画を立てるようにしてください。

### ■履修中止の確認を行う

履修中止期間終了後の取消や新たな科目の履修中止は一切認められません。申請ミスを防ぐために、履修中止手続完了後、必ず再度Loyolaにログインし、履修中止手続ができていることを確認するようにしてください。画面のコピーをとっておくことを推奨します。

## ●「履修中止願」による申請

2018年度の「履修中止願」の配布・受付期間は下記のとおりです。

行事	期間	結果確認期間	対象科目
春学期「履修中止願」の配布・受付期間	6月4日（月）9：30 ～6月8日（金）17：00まで	6月12日（火）10：00～	春学期科目 (必修科目を除く)
秋学期「履修中止願」の配布・受付期間	12月4日（火）9：30 ～12月7日（金）17：00まで	12月11日（火）10：00～	秋学期科目 (必修科目を除く)

「履修中止願」の申請結果が確認期間になっても反映されない場合は、至急学事センター（教務）窓口まで来てください。

※窓口受付は平日のみ、11：30～12：30を除く。

※看護学科2・3・4年次生は、目白聖母キャンパス事務センターに提出できます。

### ■履修中止願の提出をもってのみ中止が認められる科目

#### 学科科目

神学部：「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」  
文学部：哲学科「卒業論文指導」・「卒業論文」  
史学科「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」  
国文学科「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」  
英文学科(15年次生以降)「RESEARCH PROJECT 1・2」 / (14年次生以前)「卒業論文1・2」  
ドイツ文学科「卒業論文1・2」  
フランス文学科「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」・「卒業論文演習A・B」  
新聞学科「卒業論文a, b」  
総合人間科学部：教育学科「卒業論文」  
心理学科「卒業研究A・B」  
社会福祉学科「論文指導」・「レポート指導」  
法学部：「演習(必修のみ)」  
外国語学部(14年次生以降)：「卒業論文・卒業研究」  
理工学部：物質生命理工学科「ゼミナールⅠ・Ⅱおよび卒業研究Ⅰ・Ⅱ」  
機能創造理工学科「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」  
情報理工学科「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」

\* 上記の学科科目については学科長の承認が必要。学科長の押印がないものは、受付期間内であっても受理できません。



**外国語科目（13 年次生以前）**

外国語科目は以下の場合に限り、履修中止を受け付けます。ただし履修中止が可能かどうかを確認する必要がありますので、希望する場合は必ず受付期間中に Loyola の履修成績照会画面のプリントアウトを持参のうえ、学事センター語学科目担当に相談してください。

- ① 学科選択科目の場合(ただし神学部の学生が「現代外国語」・「古典語」・「現代語」として履修している場合は Loyola からの中止可。)
  - ② 卒業に必要な科目の場合
  - ③ 必修／選択必修として履修する言語の変更を希望する場合(一度「履修中止願」によって履修中止した言語は、次学期以降履修することはできません)
  - ④ 海外短期語学講座の単位付与確認書を提出済で、その単位の修得をもって必要単位の余剰が見込まれる場合
  - ⑤ TOEFL の単位認定で成績が付与され、その単位の修得をもって必要単位の余剰が見込まれる場合
- \* 単位認定の手続きだけでは履修中止とはなりません。別途履修中止の手続きをする必要があります。

\* 担当教員、学科長の許可は不要です。

**語学科目（14 年次以降）**

語学科目は以下の場合に限り、「履修中止願」による履修中止を受け付けます。ただし履修中止が可能かどうかを確認する必要がありますので、希望する場合は必ず受付期間中に Loyola の履修成績照会画面のプリントアウトを持参のうえ、学事センター語学科目担当に相談してください。

看護学科 3・4 年次生は、p.236 「外国語科目（13 年次生以前）」を参照のこと。

- ① 必修もしくは選択必修として履修する言語を変更する場合
  - ② 海外短期語学講座の単位付与にかかる確認書を提出済みで、その単位の修得をもって卒業に必要な単位の余剰が見込まれる場合
  - ③ TOEFL、編入学及び留学等における単位が認定済みであり、それによって必要単位数に余剰が出ている場合
- ※①②について、履修中止が認められた場合、次学期以降にその言語を必修もしくは選択必修として履修することはできません。
- ※③について、すでに申請が認められ、単位が認定済みの場合に限りです。これから申請予定及び申請中の場合は受け付けません。

## 7. 試験

### ● 試験の種類

春学期・秋学期それぞれの学期中および学期末に行われる試験については、その実施時期により以下の種類に分けられます。

試験種類	実施／提出日	日程等の掲示	追試験	備考
授業内試験	授業期間中(主に最終授業日等)に随時実施	各担当教員より授業内に個別に指示	対象外	語学科目は原則授業内試験となる。
定期試験 (筆記試験)	定期試験期間中に実施	学事センターよりLoyolaにて掲示	対象	
レポート試験	学期末の指定された日迄に提出	(日程については下記参照)	—	Loyola掲示は一部の情報のみ。詳細は、各担当教員から授業内に個別に指示される場合あり。

### ● 定期試験（筆記試験）・レポート試験の日程等の掲示

上記のうち、「定期試験（筆記試験）」および「レポート試験」がある科目については、その詳細について下記の日程で学事センターよりLoyolaにて掲示します。

また、授業内試験等の科目については「その他」として掲示されます。

#### 四谷キャンパス/目白聖母キャンパス

	日程掲示／公開日	定期試験（筆記試験）期間
春学期	2018年7月10日(火)	2018年7月24日(火)～7月31日(火)
秋学期	2019年1月9日(水)	2019年1月23日(水)～1月30日(水)

### ● 定期試験（筆記試験）の心得

#### ■ 受験上の注意

- ・Loyolaで試験教室を確認し、指定された試験教室で受験してください（授業実施教室と試験教室は異なる場合があります）。
- ・スマートフォン・携帯電話・PHS・ウェアラブル端末などの電源は切って、鞆の中にしまってください。また、時計の代わりに使用することも認められません。
- ・試験開始後、20分以上遅刻すると理由の如何にかかわらず受験できません。  
交通遅延を含むいかなる理由があっても、所定の試験時間を延長することはありません。試験当日は早めに試験教室へ到着するよう心がけましょう。
- ・途中退場は試験開始30分後から試験終了10分前までとし、それ以外の試験時間中は退場できません。
- ・答案用紙を提出しないと退場できません。
- ・試験監督の指示に従わない場合や私語・態度の不正を注意しても改めない場合、当該学生の試験は無効になります。

#### ■ 持参するもの

- ① 学生証：必ず机上に置くこと。学生証を所持しない学生はいかなる理由があっても受験できません。  
※学生証を忘れた場合は、2号館4階の証明書自動発行機にて「臨時学生証」（有料：500円、当日のみ有効）を発行してください。ただし、試験開始後20分までに「臨時学生証」を持って試験教室に入場できない場合は、他の遅刻者と同様、定期試験の受験ができません。
- ② 筆記用具
- ③ 下敷き：使用希望者のみ。白かそれに近い色に限ります。ノート・書籍などを下敷き代わりにすることはできません。

## ■ 答案について

- ・ 答案は、原則として1枚のみ配布します。配布の答案以外の用紙での提出は、無効になります。
- ・ 書き損じのため新たな用紙を再配布された場合、書き損じの分は回収されます。
- ・ 学生番号・氏名は、必ずボールペンもしくはサインペンで記入してください。未記入の答案は無効になります。

## ● 定期試験での不正行為の禁止

絶対に不正行為を行ってはけません。本学では、不正行為に対して厳格な対応を行います。なお授業期間内に随時行われる授業内試験において不正行為を行った場合も、定期試験と同様に厳しく処分されます。試験においては常に誠実な受験態度で臨んでください。

### 【筆記試験における不正行為の例】

- ・ 持込みが許されていないものを持ち込んで使用すること（カンニング・ペーパーなど）
- ・ 答案を他の学生とすりかえたり、事前に書いた答案を持ち込む行為
- ・ 身代わりに受験をしたり、受験をさせる行為
- ・ 携帯通信端末の使用（時計としての使用も含む）
- ・ 試験の公正な実施を妨げる行為

定期試験期間中の筆記試験において不正行為があった場合、以下の処分が厳しく下されます。

- ① 不正行為の状況により、退学、停学あるいは訓告の処分がなされます。
- ② 不正行為をおこなった科目の成績は「不合格 (F)」となります。加えて、当該定期試験期間中に行われたその他すべての筆記試験科目の成績も「不合格 (F)」となります。
- ③ 該当学生が不正行為をしたことについて、学内に掲示します。

### 【停学になった場合】

- ・ 停学期間は修業年限に算入されません。したがって、4年間（標準修業年限内）で卒業することはできません。
- ・ 奨学金の採用が取り消しになります。また、交換留学、海外短期語学講座・研修等、大学で主催するプログラムの学内選考合格が取り消しになることがあります。

筆記試験において不正行為を行うことは、1科目の成績にとどまらず、あなた自身にとっての大きな不利益をもたらすことになります。安易な気持ちや一時の気の迷いから不正行為をすることの絶対にならないよう注意してください。また、試験前に、持込みの可否、持込みが許されているものの内容についてLoyolaにて充分確認してください。

## ● 公共交通機関運行停止時の取扱い

共通事項の「公共交通機関運行停止時の取扱いについて」(p.19)を参照してください。

## ● 追試験について

下記の事由により、定期試験を受験できなかった学生は、『追試験願』（所定用紙）を提出することによって追試験受験を認められることがあります。追試験を受験するには、所定の期間内に申請し許可を得るとともに追試験料を納める必要があります。

なお、授業内（定期試験期間外）に試験を実施した科目は追試験を申請することができません。

### ① 追試験願を提出する事由

原則として、『病気』、『三親等以内の忌引き』、『災害』、『交通機関の遅延』、『裁判員制度での選任』とします。申請時には試験当日に当該試験を受験できなかったことが証明できる以下の書類を添付し、定められた期日内に手続きを完了させなければなりません。

### ② 各事由の証明書および手続きについて

追試験願の提出にあたり、事由毎に必要な証明書（次頁参照）とLoyolaの定期試験科目照会画面のプリントアウトを必ず持参してください。

1『病気』の場合	医師が発行した診断書または感染症治療後登校許可証明書（本学所定様式） ※領収書は不可
----------	--

診断書は、以下のすべての内容が記載されていることが必要である。

- 病名または病状と診察内容、試験当日に試験を受験できなかったことが記載されていること。
- 受験できなかった試験日が受診日または療養期間として明記されていること。

※ 数日にわたって試験を欠席した場合、該当期間が受診日または療養期間として明記されていることが必要。上記a)b)の内容が記載されていない場合、書類記載内容不備により、追試験申請ができないので注意すること。

※ **なお、感染症の罹患による追試験申請についても、追試験申請期間中の申請が必要となるので、申請期間中に登校できない場合は、期間終了前に学事センターまで問い合わせること。**

2『三親等以内の忌引き』の場合	会葬御礼のはがき等
-----------------	-----------

試験を受験できなかった日付が記載されていること。

※ **移動日は追試験対象とはならないので注意すること。**

3『交通機関の遅延』の場合	各交通機関が発行した遅延証明書（乗車日付が当日のもの、および遅延時間が記載されたもの）インターネット上の遅延証明書を印刷したものでも可。
---------------	--

交通機関が20分以上遅延し、試験会場への到着が試験開始定刻から20分を超えたことにより、定期試験を受験できなかった場合、追試験を申請することができる。ただし、交通機関の遅延当日のみ申請が可能。

※ **試験翌日以降に申し出ても、追試験の申請はできないので注意すること。**

**注意**

遠距離通学や交通機関のストップ等やむを得ない事情で遅延当日に学校に来ることができない場合のみ、**当日17：00まで（5・6限の試験は当該の試験時間が終わるまで）**に学事センター追試験担当まで電話連絡（TEL03-3238-3515）し「仮申請」を行うこと。上記の期間内に「仮申請」を行わなかった場合および「仮申請」の後、所定の期限までに追試験申請を行わなかった場合は、いかなる理由があっても当該遅延による追試験申請はできない。

- ※ **学生本人の自宅から大学へ通常使用している路線の遅延に限る（自宅外からは申請不可）。**申請の際に、学生証裏面の「通学証明書シール」記載の住所を学事センターにて確認の上、申請を受け付ける。
- ※ 遅れた時間以上の遅延証明（例えば、試験開始から30分遅れた場合は、30分以上の遅延証明）でなければ認められない。初めから遅刻入室を想定して登校した場合、追試験の申請は不可。
- ※ 交通遅延が事由の場合、代理申請は不可。

<<交通遅延により試験開始時刻に間に合わなかった場合、遅延の時間により以下の対応を行うこと>>

- ◎ **試験開始後20分以内に到着した場合**  
20分までの遅刻ならば受験可能なため、速やかに試験会場に向かうこと。そのまま受験をする。
- ◎ **試験開始後20分を超えて到着した場合**  
遅延証明書を持って、速やかに2号館1階の学事センター（教務）窓口に来ること。到着時間等を確認し、遅延証明書を提出の上、追試験申請をすることができる。  
★判断に迷う場合は、まず試験教室に行き、試験監督の指示に従うこと。  
※目白聖母キャンパス開講科目については、目白聖母キャンパス事務センター窓口に来ること。

その他、『災害』、『裁判員制度での選任』の場合は、学事センター追試験担当宛に問い合わせをしてください。手続き等の詳細の指示を行います。

- ③ **追試験料**  
1科目あたり2,000円

- ④ **追試験関連スケジュール（予定） ※詳細はLoyola-学事センター（教務）掲示板を確認すること。**

	2018年度春学期	2018年度秋学期
追試験申請期間 (追試験願提出期間)	春学期定期試験期間中（7月下旬）	秋学期定期試験期間中（1月下旬）
追試験料納入期間	7月下旬～8月初旬	1月下旬～2月初旬
追試験日程揭示（Loyola）	8月下旬	2月中旬
追試験日	8月下旬～9月初旬 ※追試験日を選択することはできません。	2月中旬～2月下旬 ※追試験日を選択することはできません。

具体的な追試験申請期間および注意事項等は定期試験前にLoyolaの学事センター（教務）掲示板に掲示します。この掲示板を見なかったために生じる不利益は学生本人の責任となります。

## ● レポート試験での不正行為の禁止

レポート試験においても、不正行為・不適切行為を絶対に行ってはけません。本学ではこれらの不正行為・不適切行為を以下のようにとらえ、厳格な対応を行います。

### [レポート試験における不正行為の例]

- ・書籍や各種資料、インターネットのWeb情報などを、引用先を明記しないまま、自分が考え書いたかのような文章として用いること
- ・当該科目あるいは過去の類似科目などで、先輩や友人・知人など他人が書いたレポートを、自分が書いたものとして提出すること

### [レポート試験における不適切行為の例]

- ・自分が書いたレポートではあるが、他の科目で書いたレポート内容と同じものを使いまわす形で違う科目に提出すること

レポート試験におけるこれらの行為が判明した場合、当該科目が「不合格 (F)」になるだけでなく、定期試験と同様に処分の対象とすることがあります。(定期試験における不正行為の処分についてはp.37参照)

レポート試験における不正行為・不適切行為は、あなた自身の事前の注意深い態度によって十分に防ぐことが可能です。下記の「試験やレポート・論文作成に臨むにあたって」を熟読し、「アカデミック・オネスティ (学問的誠実性)」の遵守を心がけて、そのようなことのないように注意してください。

## ● 試験やレポート・論文作成に臨むにあたって

### ◆ 「アカデミック・オネスティ (学問的誠実性)」の涵養と遵守

上智大学は、その校名Sophiaが意味するように、叡智を究極のものとして尊重します。そのため、以下の (1) (2) にしめされるような「アカデミック・オネスティ (academic honesty/学問的誠実性)」の態度の涵養を、皆さんに求めていきたいと考えます。それは、Men and Women for Others, with Others の考え方にに基づき、他者の尊重・他者との協調を重視する本学の取り組みの方向とも関連するものであります。

- (1) 先人や同時代人の研究・情報源に敬意をはらって学習しつつ、自ら新たに深めていく。
- (2) 継続的な努力をつづけることで、自らの基本的な学力の向上に努める。

学問的にオリジナルであろうとするあまり、守るべき研究上のルールが守られないこと (データの偽装や捏造など)、また、他者の研究成果を自らのものであるかのように偽ったり、それに無自覚的であることなどは、共に「アカデミック・オネスティ」に反する態度であるといえます。

自らの学習の成果を確認する場面である定期試験 (筆記試験やレポート試験) においても、日ごろの学習と変わらぬ「アカデミック・オネスティ」の態度の遵守が求められます。したがって、カンニングやレポートの盗用など、不正行為は強く戒められるものとなります。上智大学の学生らしい知を愛する姿勢を、皆さんが様々な場面で尊重し、涵養していくことを望みます。

## ◆レポートや論文作成の上で守るべき引用の方法について

各授業科目での成績評価方法の一つとして、レポートや論文の提出を求められることがあります。その作成において、最終的には自身による分析や考えを述べる必要があります。内容がひとりよがりにならないためには、過去や現在において行われている様々な研究成果に学び、それを活用して、その上に研究を積み上げていくことが大事になってきます。レポートや論文の作成に際しては、以下の点を守る必要があります。

- ①レポートや論文で論ずる考え方や発想、図表などが、何らかの文献や資料、Webサイトに載っている場合には、どの文献や資料、Webサイトのどの箇所に載っているかを明らかにしなければなりません。
- ②文献や資料、Webサイトから直接引用する場合には、それが引用であることを「 」などで明示し、どの文献や資料のどの箇所から引用したかを明らかにしなければなりません。
- ③言うまでもなく、レポート・論文は自らが書いたものであり、友人・先輩・家族・知人などが書いたものを自分が書いたかのように提出することは許されません。

もし、あなた自身が書いた文章や論文が遠くの身知らぬ人に、あるいは身近で知っている人に、何の許しも相談もなく勝手に「自分が書いたものだ」として使われたら、あなたは どう思うのでしょうか。引用や参照は著作者の権利保護と共に、学習や研究をする者同士のマナーとして考える必要があります。

上記①②の処理を怠って、引用であることを示さないまま、あるいはアイデアを負っている文献や資料を示さないまま、内容を引き写したり記述を進めたりすることは盗用や剽窃（ひょうせつ）と見なされます。海外では、「プレジャリズム(plagiarism)」とも称され、文献やWebサイトからの安易な切り貼りとして強く非難されています。また、他人の書いたものの提出である③が、虚偽行為にあたることは言うまでもありません。盗用や他人が書いたものの提出が明らかになった場合は、筆記試験での不正行為（カンニング）と同様に厳しい処分と厳重注意の対象となります。したがって、引用や参照にあたっては次の2つの重要なルールについて十分に注意を払い、守ってください。

- ▼ (1) 書籍やWebサイトからの引用や参照にあたっては、レポートや論文において、注記をつけて、資料の出所を明らかにします。引用の記載方法などは、学問分野ごとに多少の相違があるので、詳細は各教員に確認してください。以下のような内容を含んでいることが一般的です。

- ◇書籍からの引用例：著者名『書名』出版社名、刊行年、引用頁
- ◇学術誌の論文等の引用例：著者名「論文名」『所収雑誌名』○巻△号、刊行年、引用頁
- ◇Webサイトからの引用例： 作成者名「サイト名や記事名」〈URL <http://www.○○○.△△△>〉  
閲覧日-20XX年11月1日（または最終更新日-20XX年6月30日）

- ▼ (2) 必要があり、他人の文章を自分のレポートや論文に直接取り込んで引用する場合は、その部分に「 」をつけ、直接引用した部分と自分が書いている地の文との違いを明瞭にする必要があります。

◇直接引用する箇所の例：

“著者の上智太郎はこの点について、「大学の存在というものは3つの観点から・・・ととらえる必要がある」と述べている（上智太郎，20XX，p.215）。”

高校段階までなら文献・資料やWebサイトを調べ並べるだけで評価されることもあったでしょうが、大学では誰のどこの研究成果なのかを明らかにし、その上で自分の議論・分析を組み立てていくことが大事になります。レポート・論文の執筆と提出に際しては、上記に記載したように、引用先や参照先の明記ならびに引用文と自分の地の文の明瞭な区別を行って、「アカデミック・オネスティ（学問的誠実性）」を遵守する態度で臨むことを強く求めます。

## 8. 学力の評価・成績

### ● 評価基準

学力の評価は、担当教員の授業方針・評価方針によって、試験（筆記・口頭・実技など）、レポート、授業参加の状況その他に基づいて行われます。

成績評価と判定基準は次のとおりです。

		評価	評点	QPI	内 容
判 定	合 格	A	100～90点	4.0	特に優れた成績を示したもの
		B	89～80点	3.0	優れた成績を示したもの
		C	79～70点	2.0	妥当と認められる成績を示したもの
		D	69～60点	1.0	合格と認められるための最低限度の成績を示したもの
		P	——	—	合格と認められる成績を示したもの
定	不 合 格	F	59点以下	0	合格を「A」「B」「C」「D」とする科目において、合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
		X	——	—	合格を「P」とする科目において、合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
無 判 定	履 修 中 止	W	——	—	所定の期日までに履修中止の手続きをしたもの
	認 定 科 目	N	——	—	修得単位として認定されたもの

各科目の成績評価は成績評価のガイドラインに則って行われます。

#### 【成績評価のガイドライン】

A評価を付与する割合は2割以内を目安とし、最大で3割までとする。

ただし、演習科目、指導科目、30人以下の講義科目等は除く。

各科目の成績は、担当教員がシラバスで明示した成績評価基準に照らして計算された素点に基づき「A」～「F」に評価されますが、本ガイドラインに則り、素点が90点以上となった学生が全体の3割を超えた場合、全体的に調整を行い、上位3割以内のものを「A」評価とし、以下は順次「B」「C」「D」「F」の評価を付すことになります。

したがって、素点が90点以上となっても、「A」評価とならない場合があります。

### ● G. P. A. (Grade Point Average)

各評価のQuality Point Index (=QPI: 上表参照) と呼ばれる値に各科目の単位数をかけたものがQuality Pointとなり、Quality Pointの総合計を履修登録科目の総単位数 (W, N, P, Xとして表示された科目を除く) で割ったものがGPAとなります。W (履修中止)、N (認定科目)、P(合格)、X(不合格) は計算式に含まれません。

#### 【GPAの計算式】

$$\frac{4.0 \times A \text{の修得単位数} + 3.0 \times B \text{の修得単位数} + 2.0 \times C \text{の修得単位数} + 1.0 \times D \text{の修得単位数}}{\text{履修登録科目の総単位数 (W, N, P, Xとして表示された科目を除く)}}$$

## ● 成績の公開スケジュール

2018年度の成績公開スケジュールは以下のとおりです。

対象科目	学年	公開期間	公開方法
春学期科目を含めた累計の成績	4年次生	8月28日（火）～	Loyolaの「成績－履修成績照会」
	3年次生	9月10日（月）～	
	2年次生	9月11日（火）～	
	1年次生	9月12日（水）～	
秋学期科目を含めた累計の成績	4年次生	2月22日（金）～	
	3年次生	3月16日（土）～	
	2年次生	3月17日（日）～	
	1年次生	3月18日（月）～	

## ● 成績評価確認願について

成績評価について疑問のある場合は、「成績評価確認願」を学事センター（教務）窓口で受取り、下記の提出締切日までに提出してください。期日を過ぎた場合の願い出は一切受け付けられません。

なお、4年次生については、各学期、別途受付期間を設けます。本人の申請のみ受け付けますので、日程についてはp.10～の行事日程表やLoyola（教務）掲示板で確認してください。

対象科目	提出締切
2018年度春学期科目	2018年 9月20日（木）17：00まで
2018年度秋学期科目	2019年 3月29日（金）16：00まで

提出にあたっては、該当科目に自分が臨んだ状況を充分吟味し、A～Fの成績評価基準を理解したうえで、学事センターで配布される記入上の注意をよく読み提出して下さい。

なお、以下のような理由による成績評価確認願の提出は受け付けることができません。

- ①単に再評価・再検討を願い出るもの。
- ②担当教員に情状を求めること。（卒業や教職員免許等の取得に関わる、等）
- ③他の学生との対比上の不満を訴えるもの。（友人はB評価だが、なぜ自分はC評価になったのか等）
- ④評価に疑問がなく、その評価になった理由のみを問い合わせるもの。（先生からの講評、解説がほしい、試験等の点数の開示を求めるもの等）
- ⑤「出席はしました」「試験は受けました」等具体的な内容の記載がないもの。



## ● 成績不振学生との面談について

上智大学では、学則第40条において、連続する2か年で合計32単位以上を修得できない場合は退学とすることを定めています。(下記「●単位修得不足者の扱い」参照)

そのような事態を防ぐため、GPA0.5未満の学生に対しては、学年末に所属学科から個別に連絡をし、学生生活や勉学計画を振り返り、今後の履修や勉強の進め方などについて相談する機会を設けます。これらの指導や相談を経ても勉学継続の意欲がないケースでは、退学を勧告する場合があります。

なお、勉学や心身の悩みについては、年間を通して、学科教員だけでなくカウンセラーや職員も相談に乗る体制を整えていますので、希望があればいつでも相談を申し出てください。

\*申込み先は公式ホームページ「学生生活」→「学生生活サポート」→「学内の学生相談窓口」を参照してください。

## ● 単位修得不足者の扱い

**連続する2か年**(注)において、学部学科が指定する科目を含む**合計32単位**以上修得できない者は退学となります。詳細は、p.281の学則第40条第1項運用細則を参照のこと。

(注) 連続する2か年について

神学部、文学部、総合人間科学部、法学部、 経済学部、外国語学部、総合グローバル学部、 理工学部（英語コース除く）	国際教養学部、理工学部英語コース																								
在学した連続2か年度をいう。ただし、休学した学生については、休学期間を含む年度は含めず、前後の年度とする。	休学した期間を除く連続した4学期とする。																								
(例) 前年度の春学期を休学した場合 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">春学期</th> <th style="text-align: center;">秋学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 前々年度</td> <td style="text-align: center;">在学</td> <td style="text-align: center;">在学</td> </tr> <tr> <td>前年度</td> <td style="text-align: center;">休学</td> <td style="text-align: center;">在学</td> </tr> <tr> <td>● 今年度</td> <td style="text-align: center;">在学</td> <td style="text-align: center;">在学</td> </tr> </tbody> </table>		春学期	秋学期	● 前々年度	在学	在学	前年度	休学	在学	● 今年度	在学	在学	(例) 前年度の春学期を休学した場合 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">春学期</th> <th style="text-align: center;">秋学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前々年度</td> <td style="text-align: center;">在学</td> <td style="text-align: center;">●在学</td> </tr> <tr> <td>前年度</td> <td style="text-align: center;">休学</td> <td style="text-align: center;">●在学</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td style="text-align: center;">●在学</td> <td style="text-align: center;">●在学</td> </tr> </tbody> </table>		春学期	秋学期	前々年度	在学	●在学	前年度	休学	●在学	今年度	●在学	●在学
	春学期	秋学期																							
● 前々年度	在学	在学																							
前年度	休学	在学																							
● 今年度	在学	在学																							
	春学期	秋学期																							
前々年度	在学	●在学																							
前年度	休学	●在学																							
今年度	●在学	●在学																							
※●印のついた年度が連続する2か年に該当する。	※●印のついた4学期が連続する2か年に該当する。																								

単位の計算にあたり、以下の点に注意すること。

- ・ 単位の計算は、連続する2か年の修得単位を合算することによって算出される。神学部、文学部、総合人間科学部、法学部、経済学部、外国語学部、総合グローバル学部、理工学部（英語コース除く）の学生は、休学を含む年度に修得した単位は含まない。
- ・ 再入学、学士入学をした者については、再入学、学士入学後の在学年数及び修得単位数を計算する。
- ・ 編入学をした者については、編入学による認定年数を含めた在学年数及び編入学による認定単位を含めた修得単位数を計算する。
- ・ 留学期間が1年を超える場合、超える期間は休学と同様に扱う。
- ・ 連続する2か年に許可を受けた留学等による各種認定単位数は修得単位に含める。

## 9. 卒業要件と自己判定

### ● 卒業要件について

本学に入学した学生が卒業し、学位を取得するためには以下の2つの条件を満たすことが必要です。いずれかの条件を満たせない場合は、卒業できず在学継続（留年）となります。

- 1：修業年限を満たすこと。  
(原則としては4年です。ただし、編入学・再入学・学士入学の場合は修業年限が異なることがあります。)
- 2：卒業に必要な所定の授業科目および必要単位数を修得すること。  
(卒業に必要な所定の授業科目および必要単位数は所属の学科および入学年次等によって異なります。)

### ● 卒業必要単位の確認は自分自身で

①上記の卒業要件を満たすための科目履修の計画を立てること ②卒業要件を満たしているかを確認すること  
以上の事柄は、学生個人の責任で行われるべきものです。

学事センターでは履修に関する相談は行っていますが、卒業の可否についての照会や、一人ひとりの単位の確認および計算は行っていません。卒業の可否についての最終確認は、必ず各自の責任において行ってください。

### ● 卒業必要単位の確認方法について

#### ①履修要覧による確認

卒業に必要な科目および単位数については、所属の学科および入学年次等によって異なります。

まずは、履修要覧の自分の学科および年次の「卒業に要する科目、単位数の最低基準」「標準配当表」「履修上の注意」を熟読したうえで、単位を修得した科目について、卒業必要単位数のどの区分の単位にあたるかを1つずつ確認してください。

#### ②Loyola『自己判定機能』による確認

上記の①履修要覧による確認とあわせて、Loyolaで公開している「自己判定機能」を使った確認もあわせて行いましょう。「自己判定機能」については下記を参照してください。

##### ■自己判定機能とは

Loyola上で、履修中単位数と修得済単位数を合計した累計単位数から不足単位数を算出し、卒業必要科目および単位数の修得状況について各区分ごとに参照することができます。

この機能は卒業に必要な単位数の確認を学生自身がスムーズに行えるよう公開しています。あくまでもシステム上で単位計算を行った結果を示しているもので、卒業を保証するものではありません。

##### ■自己判定機能でうまく反映されないケースがあります

学科によってはカリキュラムが複雑なため、正しく計算・表示されないケースがあります。詳細についてはLoyolaに「自己判定の注意点」として掲載されていますので、必ず確認するようにしてください。

##### ■自己判定機能の公開期間について

自己判定機能はいつでも使用できるわけではなく、公開期間が決まっています。2018年度の公開期間スケジュールについてはLoyolaで確認してください。

## 10. 単位換算・単位認定

### ● 単位換算・単位認定とは

本学入学前に他の大学・短期大学等で修得した単位、もしくは入学後に海外の大学等へ留学し修得した単位を本学の修得単位に相当するものとして認定を受けることができます。

なお、単位認定の種類によって条件や認定の上限単位数などが異なります。単位認定を希望する場合は、詳細についてよく確認してから申請してください。

単位認定は、複数の部署や学科等を回覧し決裁されるため、受付後認定の結果が出るまで約1ヶ月かかります。科目の認定状況によって、その後の履修計画も変わってきますので余裕をもって申請しましょう。

なお、留学の単位換算に関しては、「留学期間中に修得した単位の換算および認定に関する取扱要領」(p.274～)も参照してください。

### ● 単位換算・単位認定された科目の成績について

単位換算および単位認定により認められた単位については、「N(認定)」という成績で表記されます。

また、必修科目を除き、基本的にはそれぞれの科目名ではなく科目の区分(選択必修、選択、〇〇群等)単位でまとめて表記されます。

「N(認定)」で表記されている成績については、履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。また、GPAの計算にも含まれません。

### ● 単位換算・単位認定の取扱い期間について

単位換算・認定の申請書類の提出時期によって、「春学期」および「秋学期」のいずれの学期での「N」(認定)扱いとなるかが異なります。

2018年1月31日(水)～2018年7月23日(月)学事センター受付分→「2018年度春学期」の単位として認定  
2018年7月24日(火)～2019年1月30日(水)学事センター受付分→「2018年度秋学期」の単位として認定

### ● 入学前既修得単位認定について

本学に1年次生として入学した学生(または再入学、学士入学した学生)が、入学以前に他の大学・短期大学・高等専門学校もしくは上智社会福祉専門学校において修得した単位を、30単位を上限として本学の修得単位に相当するものとして認定を受けることができます(入学後3ヶ月以内)。ただし、過去に本学で認定した既修得単位は対象外となります。詳細については、学事センター(教務)窓口にお問い合わせください。また、「入学前既修得単位認定に関する細則」(p.273)も参照してください。

### ● 編入学生の単位認定について

編入学生は、卒業までに修得することが定められている科目のうち、他大学等で既に修得した単位を本学の修得単位に相当するものとして認定を受けることができます。

#### ■ 認定できる単位の上限

- ① 全学共通科目および語学科目、学科科目のそれぞれにつき、各学科で定める卒業に必要な単位数を超えないものとする。
  - ② 認定できる総単位数の上限は、各学科で定める卒業に必要な単位数の2分の1までの範囲内で学科が定める。
- あわせて、「編入学生の単位認定に関する細則」(p.272)も参照してください。

## ● 教員免許取得のための単位認定について

本学の修得単位として認定された単位のうち、教員免許取得のための単位として認定できる場合がありますので、単位認定を希望する場合は、課程センターにお問い合わせください。

## ● 大学院入学前科目履修制度について

成績優秀な学部生は、審査を経て、大学4年次に大学院各研究科があらかじめ指定した科目を履修することができます。本学の大学院進学後、定められた上限単位数の範囲内で入学前単位として認定されます。

※大学院入学前科目履修制度で履修した科目は、学部卒業に必要な単位としては認められません。

大学院入学前科目履修制度を実施している研究科・専攻は次のとおりです。

入学前科目履修の詳細については、各研究科あるいは各専攻事務室にお問い合わせください。

- ・神学研究科
- ・文学研究科フランス文学専攻
- ・総合人間科学研究科社会福祉学専攻
- ・法学研究科（法科大学院のみ）
- ・経済学研究科
- ・地球環境学研究科
- ・理工学研究科
- ・グローバル・スタディーズ研究科国際関係論専攻

詳細については「学部生の大学院入学前科目履修に関する細則」（p.280）も参照してください。

## ● 技能審査（TOEFL・TOEFL ITP・TEAP）による英語の単位認定について

TOEFL, TOEFL ITPもしくはTEAPの試験において、ある一定基準以上のスコアを取得した場合、申請をすることで語学科目「英語」必修科目4単位分として認定を受けることができます。

スコアの基準値および申請方法等の詳細については、「語学科目」（p.177）および「技能審査による単位認定に関する細則」（p.276）を参照してください。

## ● 学生交流協定による単位認定について

在学中に本学と交流協定を締結している国内の他大学において修得した単位を本学の修得単位に相当するものとして認定することができます。

学生交流の形態は、「国内留学型」と「単位互換型」の2種類あります。

本学学生が交流先大学で修得した科目の単位は、「国内留学型」は30単位、「単位互換型」は10単位を上限として本学の修得単位として認定することができます。

学生交流協定の詳細については、学事センター（教務）窓口にお問い合わせください。あわせて「国内他大学との学生交流に関する細則」（p.279）も参照してください。

種類	交流先大学名	認定単位数の上限	交流の形態
国内留学型	清泉女学院大学 エリザベト音楽大学 長崎純心大学 藤女子大学	30単位	所属大学に学籍を置き（本学の学籍上の身分は「留学」）、交流期間中は受入大学で科目履修及び研究を行う。
単位互換型	東京純心大学 東京音楽大学 聖心女子大学	10単位	本学に籍を置き、当該大学における科目履修と並行して受入大学で科目履修及び研究を行う。

## ● 留学による単位換算について

在学中に交換留学（本学と交換留学協定を結んでいる海外の大学への留学）または一般留学（学位授与権があり、事前に学長が許可した大学）において修得した単位を、30単位を上限として本学の修得単位に相当するものとして換算することができます（帰国後3ヶ月以内）。

### ■ 単位換算の計算式

(1) アメリカ等大部分の大学

1回の授業時間(分換算) × 週の授業回数 × 科目の開講期間(週数) ÷ 上智大学の基準時間

(2) スペイン、ブラジル等一部の大学

1年間の総授業時間数 × 60(分換算) ÷ 上智大学の基準時間

上智大学の基準時間

科目種別	基準授業時間数
講義・演習	675分(1単位)
外国語・演習	1,350分(1単位)
実験・実習	2,025分(1単位)
体育実技	1,350分(1単位)

\* 単位換算の計算式の根拠となるクラススケジュールがないと換算はできないので、注意してください。

**※認定された単位「N」は、年間の最高履修限度には含まれません。またGPAの計算にも含まれません。**

その他の詳細については、グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』を参照してください。

## 11. グローバル教育センター取扱プログラムの単位付与について

### ● 海外短期語学講座による単位付与

本学授業休業中に海外の本学協定校等にて実施される語学講座プログラムに参加し、合格した科目については、外国語科目の単位（2単位分）が付与されます。ただし、単位が付与される学期をもって卒業を希望する学生は、プログラムには参加可能ですが単位は付与されません。

語学講座の成績については「P（合格）」もしくは「X（不合格）」のいずれかとなります。「P」「X」で表記されている成績については、GPAの計算に含まれません。

また、当プログラムに関しては履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。

語学講座のプログラム内容や詳細については、「語学科目」（p.206）、グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』および「海外短期語学講座に関する細則」（p.277）を参照してください。

### ● 海外短期研修による単位認定・単位付与

本学授業休業中に海外の本学協定校等にて実施されるプログラムに参加し、外国語による授業で専門科目を学ぶもので、ある程度の語学力がある学生を対象としています。ただし、プログラムが実施される学期をもって卒業を希望する学生は、プログラムには参加可能ですが単位は付与されません。

海外短期研修には2種類あり、それぞれ成績の表記が異なります。

① 研修校で修得した単位を単位換算手続きによって認定するもの

→表記は「N（認定）」となります。

② 本学の開講科目として科目登録を行うもの（単位換算手続きは不要）

→表記は「P（合格）」もしくは「X（不合格）」となります。

「P」「X」「N」で表記されている成績については、GPAの計算に含まれません。

また、当プログラムに関しては履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。

海外短期研修の種類や詳細については、p.146の一覧表、グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』および「海外短期研修に関する細則」（p.278）を参照してください。

### ● 実践型プログラムによる単位付与

本学では、学期中・休業中に海外での現地研修を含むさまざまなプログラムを用意しています。

#### 【夏期・春期休業中実践型プログラム】

本学授業休業中に海外での現地研修を含むプログラムに参加し、合格した科目については、全学共通科目の選択科目の単位が付与されます。ただし、単位が付与される学期をもって卒業を希望する学生は、プログラムには参加可能ですが単位は付与されません。

各プログラムの成績については「P（合格）」もしくは「X（不合格）」のいずれかとなります。「P」「X」で表記されている成績については、GPAの計算にも含まれません。

また、当プログラムに関しては履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。

（ただし、「インドの社会経済・人間開発に学ぶ」「東アジアの諸問題とイエズス会教育」は最高履修限度に含まれます。）

実践型プログラムの詳細については、「グローバル教育センター」（p.147）、全学共通科目選択科目のページを参照してください。

## ● インターンシップ科目による単位付与

本学と協定を結んだ国内外の企業、国際機関の日本代表部などでのインターンシップ（2～4年生対象）と事前事後の講義受講や課題提出を行うことで、全学共通科目選択科目の単位が付与されます。ただし、単位が付与される学期をもって卒業を希望する学生は、プログラムには参加可能ですが単位は付与されません。インターンシップ実施期間、派遣先企業・機関等詳細は「グローバル教育センター」（p.108）を参照するか、グローバル教育センター（2号館2F）にお問い合わせください。

また、学期を通じての派遣となる長期のインターンシップについては、派遣が決定した時点で、当該学期及びその後の履修について必ず学事センターに相談すること。

インターンシップ科目の成績については「P（合格）」もしくは「X（不合格）」のいずれかとなります。「P」「X」で表記されている成績については、GPAの計算に含まれません。

また、インターンシップ科目に関しては履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。

## ● 国連ユースボランティア実習による単位付与

学内および学外選抜と事前研修を経て、秋学期中に国連関係機関にて実践型実習を行うものです。派遣学期中は他の科目の履修はできません。派遣が決定した時点で当該学期及びその後の履修について必ず学事センターに相談すること。事前事後の研修を受けた上で、実習終了後に「P（合格）」もしくは「X（不合格）」のいずれかの成績が付与されます。ただし、単位が付与される学期をもって卒業を希望する学生は、プログラムには参加可能ですが単位は付与されません。

海外短期語学講座、海外短期研修、実践型プログラム、インターンシップ科目、国連ユースボランティア実習全てにおいて、海外での現地研修を伴う場合、実費負担がかかること、プログラム参加者が最少催行人数に満たない場合や、やむを得ない事情で現地プログラムが中止となり、プログラムそのものの開講中止や内容変更もありうるので、慎重に履修計画を立てる必要があります。

## ● サマーセッション

グローバル教育センター開講のサマーセッション科目を履修することができます。サマーセッション科目は学期および年間の最高履修限度には含まれません。登録方法やプログラムの詳細についてはp.150を参照してください。

なお、サマーセッション科目の履修には、別途受講料がかかります。

# 学籍（各種届出・証明書など）

## 1. 学籍

…… p.52

学生番号・学生証・在学期間・在学継続・留学  
休学・復学・停学・退学

個人情報の変更

在留資格（外国籍の学生のみ）

## 2. 証明書

…… p.58

証明書自動発行機による発行のもの

窓口申込による発行のもの

## 3. 転部・転科／再入学／学士入学

…… p.59

転部・転科

再入学・学士入学

## 4. 9月卒業・早期卒業

…… p.60

9月卒業・早期卒業



# 1. 学籍

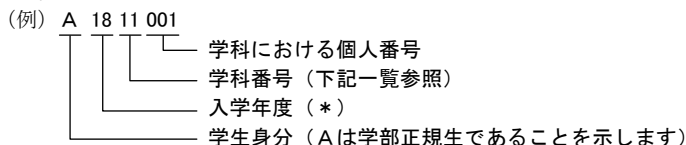
## ● 学籍とは

本学に学生として登録されている者の籍です。大学では、学籍情報として本人氏名、生年月日、国籍、在留資格(外国籍の者)、連絡先、保証人情報等の個人情報や、学生番号、所属、身分(学部生、大学院生等)、学籍異動履歴(入学、休学、留学、卒業)等を管理しています。

ここでは、学生番号や学生証、学籍に関わるルールや手続きについて説明します。

## ● 学生番号

入学すると各人に固有の学生番号が与えられます。学生生活を送る上で大切な番号ですから、正確に記憶して使用しましょう。



\* 編入学者、学士入学者、再入学者は指定された学年にしがっていませんので、実際に入学した年度と異なる場合があります。

### ■ 学科番号一覧

学部	学科	学科番号
神学部	神学科	91
文学部	哲学科	11
	史学科	14
	国文学科	15
	英文学科	16
	ドイツ文学科	17
	フランス文学科	18
	新聞学科	19
総合人間科学部	教育学科	81
	心理学科	82
	社会学科	83
	社会福祉学科	84
	看護学科	85
法学部	法律学科	31
	国際関係法学科	32
	地球環境法学科	33

学部	学科	学科番号
経済学部	経済学科	41
	経営学科	42
外国語学部	英語学科	51
	ドイツ語学科	52
	フランス語学科	53
	イスパニア語学科	54
	ロシア語学科	55
	ポルトガル語学科	56
総合グローバル学部	総合グローバル学科	21
国際教養学部	国際教養学科(春入学)	67
	国際教養学科(秋入学)	68
理工学部	物質生命理工学科	76
	機能創造理工学科	77
	情報理工学科	78

## ● 学生証

学生証は上智大学の学生であることを証明するものです。学生生活を送る上で、学内・学外を問わず提示が必要な場合がありますので、常に携帯してください。特に下記にあげたケースで学生証を持参していない場合、サービスを受けられないことがあります。

学生証は、いかなる理由があっても他人に貸与、譲渡することはできません。また、退学等により学籍を失った場合は、速やかに本学に返却してください。

### ■ 学生証が必要な場合

- ① 試験を受けるとき
- ② 証明書や学割証を取得するため証明書自動発行機を利用するとき
- ③ 本学図書館に入館するとき、図書貸し出しを受けるとき

- ④ 通学定期券を購入するとき
- ⑤ 通学定期券や学割で乗車船し、係員の要請があったとき
- ⑥ 学内窓口で各種申請、提出、問い合わせをするとき
- ⑦ 本学教職員から提示を求められたとき

### ■在籍確認シールの貼り替え

学生証は、裏面に在籍確認シールを貼った状態で、はじめて学生証として機能します。在籍確認シールの有効期限は1年間ですので、**年度はじめに必ず貼り替えてください**。住所を変更して通学区間が変更になった場合や、定期券の発行控欄が足りなくなった場合は、学事センター（学籍・証明書）窓口申し出てください。

### ■記載事項に変更がある場合

学生証の記載事項（氏名や生年月日等）に誤りや変更がある場合は、学事センター（学籍・証明書）窓口申し出てください。

### ■磁気データ不良が原因で読取ができなくなった場合

磁気データ不良により図書館入館、証明書自動発行機の利用ができなくなることがあります。本事象が発生した場合は、学事センター（学籍・証明書）窓口申し出てください。

（お願い）

スマートフォンケースの金具、バッグの留め具等の磁石等の磁気を帯びたものに学生証を近づけた際、磁気データが破損する場合がありますので、一緒に保管等しないようにしてください。

### ■紛失・汚損・破損してしまった場合

再発行となりますので、「**学生証再発行願**」（所定用紙）に手数料分の証紙（1,000円）を購入・貼付の上、学事センター（学籍・証明書）窓口申し込んでください。

## ● 在学期間

本学に在学可能な期間は8年間です。なお、休学期間はこの在学期間に含まれません（学則第38条）。

本学の教育課程を修了するために必要な期間（修業年限）は、早期卒業の場合を除き、4年です。なお、休学・停学期間および1年を越える留学期間は修業年限に含まれません。（学則第13条、第57条の2）

## ● 在学継続

入学後4年間で卒業の要件を満たさなかった場合は、在学継続となります。

在学を継続することになった場合、有効期限を延長した学生証を、3月下旬に学生本人住所宛、郵送します。

休学期間を除く在学期間が3.5年以上の者で、卒業に要する残余単位数が12単位以下の者については、自動的に学費が減額となります（国際教養学部を除く）。詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

## ● 留学

本学における「留学」には、「交換留学」と「一般留学」があります。所定の「留学願」を期日までに提出しなくてはなりません。学籍上「留学」の扱いにはなりませんが、休学して海外勉学したり、長期休暇中に短期のプログラムに参加するなどの方法もあります。

留学の種類や期間によって、学費、願出書類、修業年限への算入や単位換算の可否などが異なります。留学を希望する学生は、グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』を熟読の上、計画を立てて手続きを行ってください。

### ■留学の資格

交換留学または一般留学の場合、留学を開始する学期までに本学に少なくとも1年以上在学し、32単位以上を修得しておく必要があります。

## ■期間

「留学」できる期間は1学期または2学期（1年）で、最大2年間まで可能ですが、修業年限に含まれるのは、そのうち1年間までです。

## ■提出期限

交換留学の場合は、グローバル教育センターの指定した期日までに「留学願」を提出してください。

一般留学の場合は、留学開始の1ヶ月前かつ留学を希望する学期の前日までに「留学願」を学事センター（学籍・証明書）窓口提出してください。

## ■保険の加入

大学が関知するすべての海外渡航プログラムに参加する学生は、大学の指定する保険ならびに危機管理サービスに加入することを義務付けられています。これは、一般留学や休学による海外勉強も含まれます。詳細はグローバル教育センターに問い合わせてください。

## ■帰国届

帰国後は1ヶ月以内に「帰国届」を学事センター（学籍・証明書）窓口提出してください。交換留学の場合は、交換留学レポートをグローバル教育センターに提出して確認印を受けてから提出してください。

## ■単位換算

留学中に修得した科目の単位は、最高30単位まで本学の単位に換算することができます（ただし休学による海外勉強の場合を除く）。詳しくはp.46「10.単位換算・単位認定」、および『留学ハンドブック』を参照してください。

# ● 休学

病気、その他のやむを得ない理由で休学しようとする場合は、所属学科長またはクラス主任と相談のうえ、所定の「休学願」に必要事項を記入して学事センター（学籍・証明書）窓口提出してください。なお、病気の場合は医師の診断書を添付する必要があります。

また、休学して海外留学をする学生は、大学の指定する保険ならびに危機管理サービスに加入することが義務付けられています。保険に関する詳細はグローバル教育センターに問い合わせてください。

なお、休学期間は修業年限に含まれないので、休学期間分は卒業が延期されます。また、卒業要件を満たしているも、休学している学期は卒業することができません。

## ■期間

休学できる期間は1学期（春学期・秋学期）単位です。休学期間は、連続2年、通算4年を超えることはできません。（学則第32条）

## ■提出期限

	休学期間	提出期限
春学期休学	4月1日～9月20日	5月31日（木）
秋学期休学	9月21日～3月31日	11月30日（金）

**提出期限を過ぎた場合は、どのような理由であっても受理できません**ので注意してください。郵送による提出の場合、提出期限当日の消印有効になります。連続2年分まで一括して受け付けることができます。なお、前もって休学の計画がある場合は、休学をする年度または学期がはじまる1ヶ月前までに「休学願」を提出してください。

## ■学費

休学期間中の授業料等学費は減額されます。詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

## ● 復学

休学期間が満了した場合は、自動的に復学となるので復学の届出は必要ありません。ただし下記の場合は、復学を希望する学期が始まる前日までに、所定の「**復学届**」を提出してください。

- ① 病気により休学した場合（「**医師の診断書**」を添付してください）。
- ② 2学期以上の休学・留学について許可が下りている場合で一部の学期で休学・留学の事由が終了したため、休学・留学期間を短縮して復学する場合（1学期以下に短縮することはできません）。

## ● 停学

試験の際の不正行為等に対しては、学則第60条により停学、退学等厳しい処分が行なわれます。なお停学期間は修業年限に算入されませんので、標準修業年限（4年）内に卒業することはできません。無期停学の場合は、解除日の翌日から、有期停学の場合は期間満了の翌日から復学扱いとなります。

## ● 退学

退学には自主退学と退学を命ぜられるものと2種類あります。

### ■ 期日

退学の期日は学期末日（9月20日または3月31日）に限ります。

### ■ 自主退学

事情により退学しようとする場合は、所属学科長またはクラス主任と相談のうえ、所定の「**退学願**」に必要事項を記入し、原則として希望する退学の期日までに学事センター（学籍・証明書）窓口に**学生証を添付して**提出してください。

退学を願い出る者はその時期までの授業料等学費を納入済みでなければなりません。

なお、春学期末日を退学日とする「**退学願**」を春学期末までに提出し、許可された場合のみ、学費は減額されます。詳細は学事センター（学費）窓口に問い合わせてください。

### ■ 退学を命ぜられるもの

下記の者は退学を命じられます。

- ① 在学期間満了  
在学期間（休学期間は含まない）が8年を満了した者。
- ② 学則40条該当者  
連続する2年間において、学部学科が指定する科目を含む合計32単位以上を修得できなかった者。
- ③ 授業料等学費未納  
定められた授業料等学費を期限までに納付しない者。
- ④ その他  
学則第60条、61条に該当する者など。

## ● 個人情報の変更

### ■住所・電話番号の変更

本人または保証人の住所や電話番号に変更があった場合は、Loyolaの「学生住所変更」メニューから変更してください。国外に居住する保証人の住所変更はLoyolaからできないため、学事センター（学籍・証明書）窓口備付けの「住所変更届」を提出してください。

本人の住所変更の場合は、Loyolaで変更した後に、学事センター（学籍・証明書）窓口で学生証裏面の「在籍確認シール」を受け取り、貼り替えてください。

### ■本人氏名の変更

本人氏名の変更があった場合は、「住民票の写し」（本人氏名・性別・生年月日が記載されたもの。本籍・続柄・マイナンバーは不要。）を添付して、学事センター（学籍・証明書）窓口備付けの「氏名変更届」を提出してください。

### ■保証人の変更

保証人を変更する場合は、学事センター（学籍・証明書）窓口備付けの「保証人変更届」を提出してください。

※保証人とは

日本国内に居住し、一家計を立てる成年者で、本人の学費と一身上に関する一切の責任を負うことのできる者で、原則として父母です。ただし、外国籍の者については、国外に居住する者も可とします。保証人には、学費請求書類、学事上の重要事項通知、大学の広報紙等の郵送、緊急事態について電話連絡をする場合があります。ただし、国外保証人には郵送されない書類があります。また、休学・留学・退学等の申請には保証人自筆の署名と捺印が必要です。

### ■国籍の変更

学生本人の国籍の変更があった場合は、「住民票の写し」（本人氏名・性別・生年月日・国籍・在留資格・在留期間・在留カード番号が記載されたもの）を学事センター（学籍・証明書）に提出してください。

## ● 在留資格（外国籍の学生のみ）

### ■在留資格・期間の報告

外国籍の者は全員、在留資格に関わらず在留資格と在留期間について、大学に報告する必要があります。入学時に提出した住民票の写しに書かれた在留期間を更新したり、在留資格を変更したときは、速やかに在留カードのコピーを学事センター（学籍・証明書）窓口に提出してください。提出がない場合、LoyolaのID使用停止、奨学金受給資格の喪失、その他在学の上で不利となる扱いを受けることがあります。

「留学」の在留資格の在籍者については、入学、卒業、退学時および所在不明となった場合に入国管理局に報告します。

### ■在留資格「留学」

在留資格とは、外国籍の者が入国・在留して従事することができる活動について明らかにしたものです。在留カードは在留資格を証明するもので、常に携帯しなくてはなりません。

大学で学修するための在留資格が「留学」です。在留資格に該当する活動を行うことなく、日本に3ヶ月以上滞在すると在留資格が取消の対象となります。「留学」の場合、休学や退学がこれに該当しますので、休学、退学する場合は速やかに出国するか、在留資格を変更する必要があります。

### ■「留学」の在留期間更新

外国籍の者で「留学」の在留期間の更新を希望する場合は、在留期間更新許可申請書の「申請人等作成用1~3」を記入し、「所属機関1~2」の作成を学事センター（学籍・証明書）で申し込んでください。手数料は200円、所要日数は3日程度です。

在留資格の有効期限については、学生自身で意識しなくてはなりません。有効期限の3ヶ月前から前日まで、入国管理局で在留資格の延長申請ができますので、延長の必要がある場合は早めに申請の準備を進めてください。在留期間を過ぎて更新の手続きをしていない場合は不法滞在となり、処罰の対象となる可能性がありますので、注意してください。

在留期間更新が許可され、新たな在留カードが発行された時は、速やかに在留カードのコピーを学事センター（学籍・証明書）窓口に提出してください。

## ■在留資格変更

外国籍の者で、他の在留資格から「留学」に変更を希望する場合は、在留資格変更許可申請書の「申請人等作成用 1～3」を記入し、「所属機関 1～2」の作成を学事センター（学籍・証明書）で申し込んでください。手数料は 200 円、所要日数は 3 日程度です。在留資格を変更した場合は、14 日以内に区役所等に届け出てください。また、新たな在留カードが発行された時は、速やかに在留カードのコピーを学事センター（学籍・証明書）窓口へ提出してください。

## ■休学等で日本国外に出国し「留学」の在留資格が失効する場合

外国籍の者で、休学等で日本国外に出国し「留学」の在留資格が失効する場合、在留資格認定証明書（COE）の再申請が必要になります。再申請手続の詳細は学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせください。

## 2. 証明書

各種証明書は、証明書自動発行機によるものと、窓口申込によるものがあります。証明書の種類を確認のうえ、申込を行ってください。それぞれの発行手順等は下記のとおりです。

### ● 証明書自動発行機による発行のもの (注1)

証明書種類	発行手数料	所要日数	備考
在学証明書 (和文・英文)	200円	即日	証明書自動発行機の設置場所 ・2号館4F ・目白聖母キャンパス (事務センター内)  取扱い時間 月～金 9:00～17:00 ＊行事等で変更する場合は掲示します。
成績証明書 (和文・英文)	200円		
卒業見込証明書 (和文・英文) (注2)	200円		
学割証 (年間10枚)	無料		
健康診断証明書 (本学所定用紙・和文)	300円		
臨時学生証 (定期試験期間中のみ発行)	500円		

証明書自動発行機のアナウンスに従って操作してください。

- (注1) 学生証がないと発行できません。証明書自動発行機は在学生のみ利用可能です。  
 (注2) 卒業見込証明書は、あくまでも学生本人がその必要要件を満たすことにより卒業が可能であることを証明するものであり、大学が卒業の保証をするものではありません。4年次生 (最終学年の授業開始日となる日) 以降に発行します。休学期間中は卒業見込み証明書を発行できません。  
 (注3) 暗証番号については学事センター (学籍・証明書) で問い合わせてください。  
 (注4) 年間10枚を超えて学割証を発行する場合は、学生センターにお問い合わせください。

### ● 窓口申込による発行のもの

証明書種類	発行手数料	所要日数
教員免許状取得見込証明書	400円	3業務日後発行
在留資格変更及び在留期間更新許可申請に係る証明書	200円	月・火申込→同週の金曜日発行 水・木申込→次週の月曜日発行
授業料等納付金証明書	300円	金 申込→次週の水曜日発行
調査書	500円	事前にご確認ください
学生証再発行	1,000円	即日発行

取扱い窓口：2号館1F学事センター (学籍・証明書)

- ① 窓口に着付けの申込票に必要な事項を記入してください。
- ② 発行手数料分の証紙を証紙販売機で購入し、所定欄に貼付してください。
- ③ 申込票に学生証を添えて窓口へ提出してください。領収票をお渡します。
- ④ 所要日数経過後、窓口へ領収票を提示してください。証明書をお渡します。

## 3. 転部・転科／再入学／学士入学

### ● 転部・転科

所属する学部他学科、もしくは他学部他学科へ移籍を志望する場合、次の条件を満たす者は、転部科を願い出ることができます。出願後、各学科において試験を行います。

#### ■ 出願資格

- ① 出願時に休学期間を除き、4学期以上在学の者（4学期目在学中の者を含む）
- ② 出願時までに修得済みの語学科目（必修のみ）および全学共通科目のGPA（2013年度以前の入学者は全学共通科目のGPA）が、2.6（小数第2位切り捨て）以上である者。
- ③ 志望先の定める条件を満たしていること。
- ④ 相当の理由があること。

#### ■ 転部科の制限

- ① 一度転部科をした者は、以後転部科を願い出ることはいけません。
- ② 編入学者及び再入学者は、転部科を願い出ることはいけません。

### ● 再入学

本学を退学した者が、以前在籍していた学部・学科に再び入学することを再入学といいます。

#### ■ 出願資格

下記のいずれかに該当すること。

- ① 学則39条適用退学者（自主退学：2019年4月1日再入学の場合、2018年9月20日以前の退学）
- ② 学則64条適用退学者（学費未納退学：2019年4月1日再入学の場合、2018年9月20日以前の退学）
- ③ 学則40条適用退学者（32単位制退学：2019年4月1日再入学の場合、2018年3月31日以前の退学）
- ④ 学則60条適用退学者（本分違反行為処分：2019年4月1日再入学の場合、2018年3月31日以前の退学）
- ⑤ 学則61条適用退学者（在学不適4項目処分：2019年4月1日再入学の場合、2018年3月31日以前の退学）

ただし、以下の者は出願できません。

- ① 学則38条在学期間満了（8年間在籍）で退学した者。
- ② 再入学後再び退学した者。

#### ■ 出願期間

2018年12月上旬予定

### ● 学士入学

本学卒業者（卒業見込者を含む）で、卒業学部他学科、あるいは他学部他学科に入学を希望する者を対象に、学士入学の制度があります。出願後、各学科において試験を行います。

出願できる学科は受入先学科に定員の余裕がある場合となり、年度によって異なりますので注意してください。詳細は、学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせください。

※2019年4月からの転部・転科、再入学、学士入学の各要項は2018年11月より配布予定です。

詳細は学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせください。



## 4. 9月卒業・早期卒業

### ● 9月卒業

卒業要件を満たした者は、期日までに申し出ることによって9月卒業が可能です。たとえ卒業要件を満たしていたとしても9月卒業は自動的に適用されるわけではありません。2018年9月に卒業を希望する学生は、**2018年6月29日（金）**までに学事センター（教務）窓口へ所定用紙で申し出てください。詳細についてはLoyola（教務）掲示板で確認してください。

なお、授業料等学費は減額されます。詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

### ● 早期卒業

本学の標準修業年限は4年となっていますが、①本学に3年以上在学し、②卒業に必要な所定の授業科目の単位を優秀な成績をもって修得し、③早期卒業を希望する場合には、当該学部の教授会の議を経て学長が早期卒業を認定することができます。現在、早期卒業を認めている学部は、以下の学部です。

- ① **法学部**  
詳細については各学科のページを参照してください。
- ② **経済学部**  
詳細については各学科のページを参照してください。
- ③ **総合グローバル学部**  
詳細については総合グローバル学部のページを参照してください。
- ④ **国際教養学部**  
詳細は国際教養学部の「Bulletin of Information」を参照してください。
- ⑤ **理工学部**  
詳細については理工学部のページを参照してください。

#### ■学費

- ① 在籍しない学年の学費は徴収しません。
- ② 3.5年卒業の場合、授業料等学費は減額されます。（国際教養学部を除く）  
詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

# 3 全学共通科目

全学共通科目について

全学共通科目（構成および履修上の規定）

「ウエルネスと身体（必修）」履修上の注意  
 ※含む「ウエルネスの理論と実践（必修）」「保健体育系科目（選択必修）」

「情報リテラシー演習（必修）」履修上の注意

「キリスト教人間学」科目群履修上の注意  
 ※含む「人間学（必修）」「人間学系科目（選択必修）」

「選択科目」履修上の注意

「高学年向け教養科目（選択）」履修上の注意

開講科目一覧表

全学共通科目について

全学共通科目構成および履修上の規定

「ウエルネスと身体」履修上の注意

「情報リテラシー演習」履修上の注意

「キリスト教人間学」科目群履修上の注意

「選択科目」履修上の注意

「高学年向け教養科目」履修上の注意

開講科目一覧表

1	全学共通科目について
---	------------

本学は、すべての学生が共通に学ぶ全学共通教育科目を編成し提供する。  
 全学共通科目においては、本学の教育の根幹となる「キリスト教ヒューマニズム」に基づき、「他者のために、他者とともに生きる人間」(Men and Women for Others, with Others)として、民族・文化・宗教の多様性を認め、「対話」を行いうる教養と「国際性」を兼ね備えた人材の養成を目指し、以下の科目群を配置する。

(CP1) 1年次の必修科目として「ウエルネスと身体」を置き、その履修を通じて、「他者のために、他者とともに生きる人間」の実践に必要な、他者・外界とのコミュニケーションや自己表現に欠くことができない「身体」について、ウエルネスや身体知の理解および体験学習を通して学び、多角的に考える機会を提供する。

(CP2) 選択必修科目として「キリスト教人間学」科目群を置き、哲学・倫理学・宗教学を基盤とした考えに触れつつ、「キリスト教ヒューマニズム」の精神を理解し、現実生きる人間とその生き方を総合的に考える機会を提供する。

(CP3) 選択科目では、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」の4分野にわたり、様々な学問分野に関する学習機会の提供を行い、学際的・国際的な「対話」を通して、世界に主体的に問いかけ、問題を発見し、それを自分の言葉で語る力を養う機会を提供する。

(CP4) 社会に出る前に再び自己を見つめ直す機会として、一定の専門性を身につけた3・4年次生が受講する「高学年向け教養科目」を選択科目の中に置き、個別の専門領域を越えた学問横断的発想や、大学における知と現代社会との関係づけなど、多様な視点や事例を提供する授業を通して、急激に変化するグローバル社会に対応しうるより深い教養を身につける機会を提供する。

# 全学共通科目の履修について

## 1. 上智大学の全学共通教育

### 上智大学の全学共通教育はキリスト教ヒューマニズムを基礎とする教育である

上智大学は、「キリスト教精神を基盤におき、真理と普遍的価値観を求める教育研究により、人間形成につとめることを目的とする共同社会」です。上智大学で行われているさまざまな教育研究のなかでも、全学共通教育は、それらすべての教育の根本である「キリスト教ヒューマニズム」に基づいています。キリスト教ヒューマニズムとは、絶対的な価値に思いを至しつつ、人間と社会や自然の諸問題をその根本から考え、真の解決を目指そうとする考え方であり、生き方でもあります。

そうした考え方と生き方によって豊かな人間形成と平和な世界を実現するために、本学の学生諸君は、「他者のために、他者とともに生きる人間」(Men and Women for Others, with Others)として、心身のバランスと深い教養を兼ね備えた人格を自覚的、主体的に育てていくことが求められます。上智大学の全学共通教育は、学生諸君がみずから問題を意識し、問いかけ、解決するためのさまざまな機会を提供します。全学共通教育によって身につけるさまざまな価値観を、みずからの人格形成のために役立ててください。

### 「キリスト教人間学」科目群がキリスト教ヒューマニズム教育の基礎をなす

上智大学の全学共通科目は、「必修科目」、「選択必修科目」と「選択科目」に大別されます。そのなかで、上に述べた教育の根本を示し、「キリスト教ヒューマニズム」教育の基礎を担うのが、本学のユニバーシティ・アイデンティティ科目である「キリスト教人間学」科目群です。

キリスト教人間学とは、キリスト教的な観点から、人間の超越性に開かれた哲学・倫理学・宗教学を基盤に、諸科学などの成果をも援用して、現実に生きる人間とその生き方を総合的に考える学問です。そこでは、「思索の基盤を深める」「キリスト教の精神に学ぶ」「人間として生きる」「よりよい世界をつくる」という4つの基本区分に沿って、他者とともに生き、他者に奉仕し、社会をより良く変革する人間、人間性のあらゆる次元を探求し、広く深みのある連帯を追求する人間となることが目標とされます(p.81の「キリスト教人間学科目群の共通講義概要」および「評価基準」を参照)。

本学で学ぶ諸君は、本学の教育のコア科目である「キリスト教人間学」科目群へ参加することを通じて、みずからの成長に真摯に取り組み、他者とのかかわりを大切にし、倫理的思考と判断力を備え、超越的価値にも目を開きつつ、地球的な視野に立ってより人間的な世界を築き上げる人間となるよう努力してください。

### 全学共通の必修科目は現代の人間形成に欠かせない分野である

「ウエルネスと身体」が、全学共通教育の必修科目として課されています。「ウエルネスと身体」は、スポーツや運動に関する科目というだけでなく、人間として生きていく上で不可欠な、身体知と健康の問題を自覚し総合的に実践する科目です。他者とともに生き、他者に奉仕し、社会をより良く変革する人間となるために欠かすことのできない重要な科目です。

### 高学年向け教養科目を履修して、社会に出る前に自分自身を見つめなおす

14年次生からの大きな特徴としては、3・4年次に履修しなくてはならない「高学年向け教養科目」を履修することです。これは、社会の急激な変化に対応し、今後のグローバル社会で活躍するために、学科科目によりある程度専門性を身につけた上で高いレベルの教養科目を学修することを目的としています。

グローバル化の進む社会への対処のしかたを学んだり、社会との実践的なかかわり方を学べる科目、社会と専門分野の関係性、現代社会における学問のあり方、専門分野どうしとの関係性を学べる科目、実践・体験を重んじる科目が用意されています。これらの科目を履修することにより、専門教育だけでは身につけることのできない、深く豊かな教養を持つ人間になってください。

### ナンバリングを活用し、履修計画を立ててみる

全ての科目にナンバリングを導入しています。(ガイドページp.26参照)付されている数字が難易度の目安となります。科目ごとのシラバスやナンバリングを参考にして、必要な教養を身につけることができるよう、履修計画を立ててください。

なお、開講科目担当表に記載されたナンバリングには意味があります。p.67の表を参考にしてください。

### 学際的な科目を受講して広範かつ専門的な視野をもつことができる

上智大学の全学共通科目の顕著な特色は、それらの科目が原則として、本学のいずれかの学部学科に所属している専任教員によって開講されていることです。そのため、各開講科目のテーマと内容には、本学の各研究分野の専門的な特色が反映されています。したがって、漫然と授業を受ければ一般的な教養が習得されるという類のものとは異なり、どの授業でも、学生諸君の積極的な受講態度が求められています。

上智大学の全学共通科目の中には、本学のルーツとアイデンティティ、地球環境問題、人権問題や平和問題など、専門分野の枠を超えた広い視野に触れることができる学際的な科目が多数開講されています。

学際的な総合分野から個別の専門分野までにわたるこれら広範な科目群は、9学部を擁する総合大学としての上智大学が豊富な人材と研究機構をもち、そこに所属する人々が専門性を保持しながら、「キリスト教ヒューマンイズム」を基盤として全学的な協力関係をつくることで実現されるものです。本学の全学共通科目にそうした科目群が開講され、すべての学生諸君が利用できるということは、他では得ることのできない貴重な機会です。ぜひともこの教育資源を十分に活用して、自分の中に豊かな人間性を育て、「他者のために、他者とともに生きる人間」(Men and Women for Others, with Others) となってください。

全学共通科目について

全学共通科目構成および履修上の規定

「エルサレムと身体」必修履修の注意

「情報テラ」必修履修の注意

「キリスト教入門」科目群履修上の注意

「選択科目」履修上の注意

「高学年向け教養科目」選択履修の注意

一開講科  
一 覧 表

# 全学共通科目の全体構成

## 》》》思索の基盤を深める

哲学・倫理学・宗教学を基盤として、人間を知り学問を深めるための基本を学びます。

## 》》》キリスト教の精神に学ぶ

聖書・神学への理解などを通じて、キリスト教ヒューマニズムの神髄に触れます。

## ● キリスト教人間学 ● (選択必修)

キリスト教的な観点に基づき、現実  
に生きる人間とその生き方について  
4つの側面から総合的に学びます。

## 》》》人間として生きる

人間の尊厳を知り、自己を高  
めながら他者のために生きる  
姿勢を身につけます。

## 》》》よりよい世界をつくる

環境保全や人権尊重、平和維  
持など全地球的に取り組むた  
めの態度・考え方を養います。



## ● 必修科目 ●

現代社会で働き生きる人間にとって不可欠  
な心と体、情報、コミュニケーションに関す  
る知識とスキルを学びます。

## 》》》ウエルネスと身体

よりよく生きるための重要なメディアである身体  
(身体知)について学び、トータルな健康を求める  
ウエルネスへの理解を深めます。

## 》》》外国語科目 (13年次生以前)

あらゆる学問に欠かせないグローバルなコミュニ  
ケーション能力と、異なる文化・社会・価値観への  
理解力を高めます。

## ● 選択科目 ●

現代社会を取り巻く複雑な課題に対処でき  
るよう、専門分野の枠を超えた4つの視点  
から学際的にアプローチします。

## 》》》建学の理念

ルーツと伝統／キリスト教精神

本学のアイデンティティを知り、キリスト教ヒュー  
マニズムを体得します。

## 》》》思索の基盤

哲学／倫理／宗教

物事の本質を捉え、より深く考えるための基盤と  
なる叡智を身につけます。

## 》》》人間と文化

言語文学系／歴史文化系／身体文化系／基礎科学系

人類社会の未来を築く人間に欠かせない幅広い  
教養と知見を養います。

## 》》》共生と世界

地球環境系／生命社会系／人権平和系／情報社会系

ひとつの学問領域では解決できない全地球的な  
課題への理解を深めます。

## 2. 全学共通科目の選択必修，選択科目履修方法について

1項の全学共通教育における使命に基づき，本学では多領域にわたって科目群や科目数を整え，充実したかたちで開講している。したがって学生はその一つの領域に偏ることなく，できるだけ幅広く履修し，また，専攻分野との有機的な関連づけを考慮し，学際的な理解を深める機会とするなど，各自が個性的で調和のとれた履修形態を主体的に選択することが強く望まれる。

全学共通科目（選択必修・選択）は，基本的には専攻の学科科目と並行して履修することによってその成果が期待されるものである。したがって学生は，うわべだけの履修に終わりがちな短期間での過密・集中的な履修を避け，また無計画で便宜的かつ安易な履修に陥ることなく，「コース・メニュー」を組み立てるなど，各自の関心に応じてある程度系統だった実のある履修形態を主体的に工夫することが強く期待される。

なお，学生は自分のニーズに合った適正な履修方法を考えるに当たって，所属学科の教員はもとより，全学共通科目担当教員の助言を求めることができる。

## 3. 全学共通科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについてはp. 26を参照すること。

分野名（アルファベット）	分野名（日本語）	履修度
HPE	ウェルネスと身体	必修
SCH	キリスト教人間学	選択必修
GFI	◎建学の理念<ルーツと伝統>	選択
GFC	◎建学の理念<キリスト教精神>	
GTP	◎思索の基盤<哲学>	
GTE	◎思索の基盤<倫理>	
GTR	◎思索の基盤<宗教>	
GHL	◎人間と文化<言語文学系>	
GHH	◎人間と文化<歴史文化系>	
GHB	◎人間と文化<身体文化系>	
GHS	◎人間と文化<基礎科学系>	
GCE	◎共生と世界<地球環境系>	
GCL	◎共生と世界<生命社会系>	
GCR	◎共生と世界<人権平和系>	
GCI	◎共生と世界<情報社会系>	

## 4. 履修登録について

所定の期間に各自で行うこと。クラス指定や必修科目であっても自動的に登録されないので，十分注意すること。履修登録については，p.27～および各ページの履修上の注意，「Loyolaハンドブック（Loyolaに掲載）」，「履修登録クイックナビ（新生のみ配布）」を必ず参照すること。

## 5. 重複履修について

同一科目を2回以上履修しても，卒業に必要な単位として認められない。  
同一科目とは，原則として科目コードが同じ科目である。

## 6. 抽選科目について

開講科目担当表の備考欄に [○名] というようにカッコで囲まれた定員数が記載されていて，Loyolaの時間割表上に赤字で表記されている科目が抽選科目である。

抽選科目の履修登録方法についてはp.29～および「Loyola Handbook（Loyolaに掲載）」，「履修登録クイックナビ（新生のみ配布）」を参照すること。

なお，選択科目は1学期に4科目まで，高学年向け教養科目は1学期に1科目まで（除く集中講義）しか当選しない。

2	<h1>全学共通科目</h1> <h2>(構成および履修上の規定)</h2>
---	--

※国際教養学部、理工英語コースについては全学共通科目の構成が異なる。詳細はそれぞれの「BULLETIN OF INFORMATION2018-2019」を参照すること。  
 ※各自の該当する学部・年次を確認した上で該当するページを参照すること。



# 全学共通科目の構成および履修上の規定

## 14年次生以降

※総合グローバル学部生はp.71, 総合人間科学部看護学科(16年次生以前)はp.72参照

※文学部英文学科, 外国語学部英語学科, 総合グローバル学部, 総合人間科学部看護学科(16年次以前)の学生は全学共通科目の構成や履修上の規定が異なるため, 各自の所属学科の構成表・履修上の規定を参照すること。国際教養学部・理工学部英語コースについては, 各「Bulletin of Information 2018-2019」を参照すること。

## 1. 全学共通科目の構成

履修度	科目群	合計必要単位数
必修科目	ウェルネスと身体(2単位)	2
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目 (20単位)	建学の理念, 思索の基盤, 人間と文化, 共生と世界 高学年向け教養科目(3・4年次に履修)	18 2
		26

### (文学部英文学科, 外国語学部英語学科)

履修度	科目群	合計必要単位数
必修科目	ウェルネスと身体(2単位)	2
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目 (16単位)	建学の理念, 思索の基盤, 人間と文化, 共生と世界 高学年向け教養科目(3・4年次に履修)	14 2
		22

## 2. 全学共通科目履修上の規定

### 1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウェルネスと身体」(2単位)を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

### 2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から**4単位**履修すること。(原則として1年次生で履修すること。)4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。詳細については、p.81~を参照すること。

### 3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、高学年向け教養科目(2単位)も含め、合計**20単位**(文学部英文学科、外国語学部英語学科は**16単位**)履修すること。

①科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」の中から履修すること。

・語学科目(p.161~)については、8単位までを全学共通科目の選択科目として充当することができる。

②「高学年向け教養科目」(p.83)(2単位)は3・4年次に履修しなくてはならない。2単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。

・学科が教育上その必要性を認めるときには、必修科目を除く全学共通科目の中から12単位までを学科の指定に従い、学科科目として充当することができる。ただし、学科により取り扱いが異なるので所属学科の「履修上の注意」等の頁を参照すること(特に記載のない場合には認められていない)。

## (総合グローバル学部)

### 1. 全学共通科目の構成

履修度	科 目 群	合計必要単位数
必修科目	ウエルネスと身体 (2単位)	2
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目	建学の理念, 思索の基盤, 人間と文化, 共生と世界	20
		26

### 2. 全学共通科目履修上の規定

#### 1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウエルネスと身体」(2単位)を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

#### 2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から**4単位**履修すること。(原則として1年次生で履修すること。)4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。詳細については、p.81~を参照すること。

#### 3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、**20単位**履修すること。

科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」の中から履修すること。

- ・語学科目 (p.161~) については、8単位までを全学共通科目の選択科目として充当することができる。

全学共通科目について

全学共通科目構成および履修上の規定

ウエルネスと身体履修上の注意

情報テラシー履修上の注意

キリスト教人間学科目履修上の注意

「選択科目」履修上の注意

「2学年向け教養科目」履修上の注意

一開講科表目

## (総合人間科学部看護学科 (16年次生以前))

### 1. 全学共通科目の構成

履修度	科 目 群	合計必要単位数
必修科目	外国語科目 (8単位) ウエルネスと身体 (2単位)	10
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目	建学の理念, 思索の基盤, 人間と文化, 共生と世界, 学全科目	16
		30

### 2. 全学共通科目履修上の規定

#### 1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウエルネスと身体」(2単位)、「外国語科目」(8単位) (p.179参照) を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

#### 2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から4単位履修すること。(原則として1年次生で履修すること。) 4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。詳細については、p.81～を参照すること。

#### 3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、16単位履修すること。  
科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」の中から履修すること。

## 1. 全学共通科目の構成

履修度	科目群	合計必要単位数
必修科目	外国語科目 (8単位) ウエルネスと身体 (2単位)	10
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目	建学の理念, 思索の基盤, 人間と文化, 共生と世界, 学全科目	16
		30

## 2. 全学共通科目履修上の規定

## 1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウエルネスと身体」(2単位)、「外国語科目」(8単位) (p.236～参照) を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

## 2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から**4単位**履修すること。(原則として1年次生で履修すること。) 4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。詳細については、p.81～を参照すること。

## 3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、**16単位**履修すること。  
科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」の中から履修すること。

- ・学科が教育上その必要性を認めるときには、必修科目を除く全学共通科目の中から**12単位まで**を学科の指定に従い、学科科目として充当することができる。ただし、学科により取り扱いが異なるので所属学科の「履修上の注意」等の頁を参照すること (特に記載のない場合には認められていない)。

## 1. 全学共通科目の構成

履修度	科目群	合計必要単位数
必修科目	外国語科目（8単位） ウエルネスと身体（2単位），情報リテラシー演習（2単位）	12
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目	建学の理念，思索の基盤，人間と文化，共生と世界，学全科目	14
		30

## 2. 全学共通科目履修上の規定

## 1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウエルネスと身体」（2単位）、「情報リテラシー演習」（2単位）、「外国語科目」（8単位）（p.236～参照）を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

## 2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から4単位履修すること。（原則として1年次生で履修すること。）4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。詳細については、p.81～を参照すること。

## 3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、14単位履修すること。

科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」の中から履修すること。

- ・学科が教育上その必要性を認めるときには、必修科目を除く全学共通科目の中から12単位までを学科の指定に従い、学科科目として充当することができる。ただし、学科により取り扱いが異なるので所属学科の「履修上の注意」等の頁を参照すること（特に記載のない場合には認められていない）。

## 理工学部09～11年次生

### 1. 全学共通科目の構成

履修度	科目群	合計必要単位数
必修科目	人間学（2単位）、外国語科目（8単位） ウエルネスの理論と実践（2単位）、情報リテラシー演習（2単位）	14
選択必修科目	人間学系科目、保健体育系科目	6
選択科目	建学の理念、思索の基盤、人間と文化、共生と世界、学全科目	10
		30

### 2. 全学共通科目履修上の規定

#### 1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「人間学」（2単位）、「ウエルネスの理論と実践」（2単位）、「情報リテラシー演習」（2単位）、「外国語科目」（8単位）（p.236参照）を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

※「人間学」の未履修者は、「キリスト教人間学科目」のうち、人間学未履修者指定科目を履修すること。

（p.82参照）

※「ウエルネスの理論と実践」の未履修者は「ウエルネスと身体」を履修すること。

※「情報リテラシー演習」の未履修者はp.80を参照すること。

#### 2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、人間学系科目と保健体育系科目の中から6単位履修すること。

ただし、人間学系科目については4単位から6単位、保健体育系科目については2単位までが、卒業に必要な単位数として認められる。選択必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択科目に充当することはできない。

#### 3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、10単位履修すること。

科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」の中から履修すること。

- ・学科が教育上その必要性を認めたときには、必修科目を除く全学共通科目の中から12単位までを学科の指定に従い、学科科目として充当することができる。ただし、学科により取り扱いが異なるので所属学科の「履修上の注意」等の頁を参照すること（特に記載のない場合には認められていない）。

3	全学共通科目 (履修上の注意)
---	--------------------

※以下の対照表を参考にして、各自の該当するページを参照すること。

履修度	科目(群)	14年次生以降	09～13年次生 ※除く理工学部 09～12年次生	理工学部 12年次生	理工学部 09～11年次生
必修	人間学 (p.82)	×	×	×	○
	ウエルネスと身体 (p.78～)	○	○	○	×
	ウエルネスの理論と実践 (p.78～)	×	×	×	○
	情報リテラシー演習 (p.80～)	×	○ ※欄外注1参照	○	○
選択必修	キリスト教人間学科目 (p.81～)	○	○	○	×
	人間学系科目 (p.82)	×	×	×	○
	保健体育系科目 (p.79)	×	×	×	○
選択	高学年向け教養科目 (p.83)	○ ※欄外注2参照	×	×	×

注1：ただし、神学部09～12年次生、それ以外の学部の09・10年次生のみ該当

注2：ただし、総合グローバル学部生および看護学科（16年次生以前）は除く

# 「ウエルネスと身体」(必修)履修上の注意

## ※含む「ウエルネスの理論と実践」(必修) / 「保健体育系科目」(選択必修)

### 1. 必修科目について

#### 18年次生

授業科目	単位	履修時間
ウエルネスと身体	2	週1コマ, 春学期または秋学期

#### 受講クラスについて

- 1) 「ウエルネスと身体」は学科ごとに指定された曜日・時限で複数のクラスに分けて授業を行う。  
下記日時に、各自が受講するクラスと登録コードをLoyolaにて掲示するので、掲示を確認してから履修登録期間中に各自で登録を行うこと。  
【掲示日時】4月6日(金)正午 Loyola「学事センター(教務)掲示板」にて発表  
(春学期に履修する学生を対象としたクラスのみ掲示。秋学期に履修する学生のクラスは9月下旬に同掲示板にて掲示を行うので、各自確認のうえ登録すること。)  
<注意>指定されたクラスで受講すること。また、クラスの変更は認められないので十分注意すること。
- 2) 特別の事情がない限り、定められた年次(原則として1年次)に履修すること。ただし、ドイツ文・フランス文・ドイツ語・フランス語学科のドイツ語・フランス語既習者及び哲学科等で、必修の学科科目と時間割が重複した場合に限り、受講クラスの変更を認める場合があるので、時間割が重複した場合は、必ず授業開始前に保健体育研究室事務室(7号館2階225号室)まで相談に来ること。
- 3) 「特別クラス」での受講を希望するものは、<18年次生・17年次生以前共通>の2)を参照すること。

#### 17年次生以前

#### 受講クラスについて

17年次生以前で単位を修得していない学生(含む「ウエルネスの理論と実践」(理工学部09~11年次生対象))は、18年次生対象の「ウエルネスと身体」を履修すること。

春学期開講科目の受講希望者は、4月4日(水)10:00-12:00、秋学期開講科目の受講希望者は、9月19日(水)10:00-12:00 7号館2F保健体育会議室(7-220)において受講クラスの決定を行うので必ず来室すること(先着順受付、人数制限あり)。受講クラスが決定した学生は、その場で追加登録の許可用紙を交付するので、下記期限内までに学事センターに提出すること。

#### <許可用紙提出期間>

春学期開講クラス 4月12日(木)~18日(水)まで(窓口時間内)

秋学期開講クラス 9月27日(木)~10月3日(水)まで(窓口時間内)

※再履修者は、Loyolaで履修登録することができないので、許可用紙提出期間内に必ず許可用紙を提出すること。

※提出期間内に許可用紙の提出がない場合は、許可を得ているも履修登録できず無効となるので注意すること。

また、提出された場合でも既にLoyolaで登録されている科目と曜日・時限が重複する場合や、最高履修限度を超過してしまう場合は登録できないので、履修登録エラーのないように注意すること。

※割り当てられた受講クラスの変更は原則として認められない。

※「特別クラス」での受講を希望するものは、下記2)を参照すること。

#### 18年次生・17年次生以前共通

#### 1) 初回授業について

- (7) 指定された時間帯および教室に平服で集合し、ガイダンスに出席すること。
- (4) ガイダンスには、テキスト、筆記用具、3×3cmの顔写真を持参すること。
- (9) テキスト『身体のリベラルアーツ』は、春・秋とも、各学期のはじめに購入し初回の授業に必ず持参すること(秋学期分は秋学期に販売する)。

#### 2) 「特別クラス」について

- (7) 心身の健康障害その他の理由で、指定された「ウエルネスと身体」クラスを履修することが困難である学生のために、秋学期金曜日2時限に開講する。
- (4) 受講希望者は、指定されたクラスの授業開始以前に、保健体育研究室事務室(7号館2階225室)まで来室すること。担当教員と相談のうえ、受講可否の決定後、初回授業の翌日から履修登録修正期間内に各自Loyolaで履修登録を行うこと。(登録コードはGSF19000)
- (9) 特別クラス初回授業は、9月28日(金)2時限に7号館2階220室でガイダンスを行う。



## 2. 保健体育系科目（選択必修科目）について

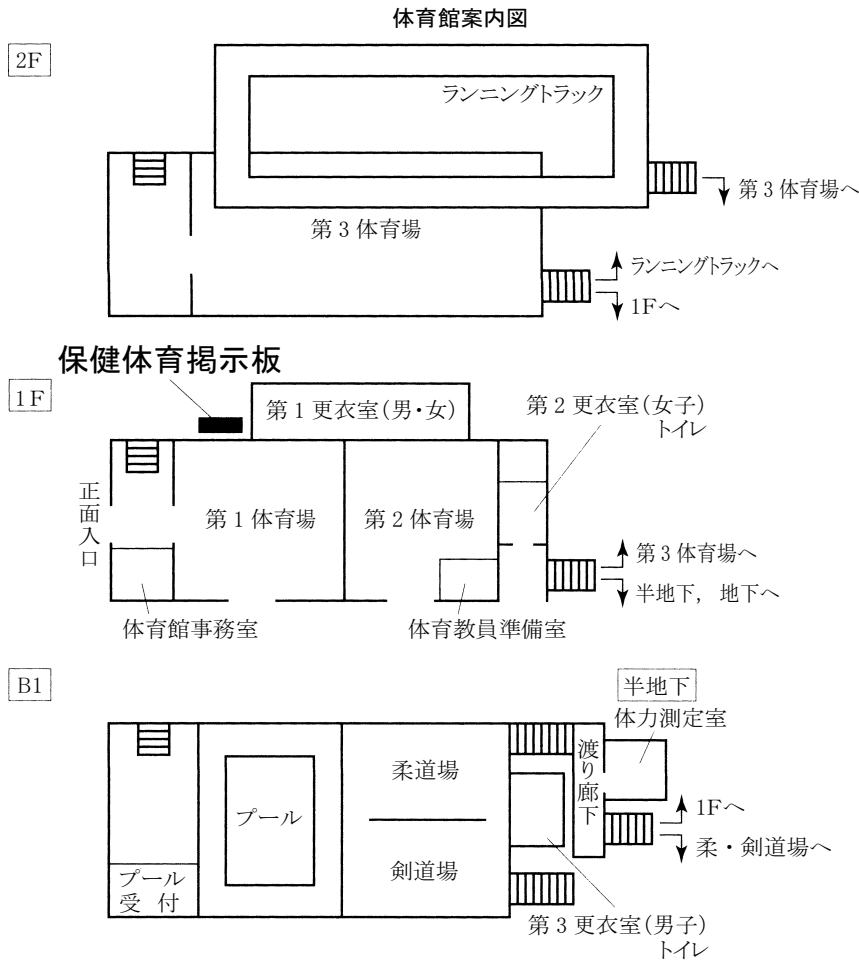
### 理工学部09～11年次生対象

「エアロビクス&トータルフィットネス」以外の全ての科目が選択必修となる。（他の科目を選択科目（スポーツコース）への読替はできない。）したがって、選択必修6単位のうち、2単位までが卒業に必要な単位として認められる。余剰分の単位を選択科目に充当することはできない。

### 〔保健体育に関する掲示について〕

保健体育科目に関する学生への連絡は、Loyola掲示板的「授業掲示板」「学事センター（教務）掲示板」および体育館第1更衣室脇掲示板（保健体育掲示板）、保健体育研究室事務室前掲示板に掲示する。

保健体育掲示板の位置は下図のとおり。



全学共通科目について

全学共通科目構成および履修上の注意

「エルゴと身体」必修履修上の注意

「情報テラー」必修履修上の注意

「リスト教大歴史」科目群必修上の注意

「選択科目」履修上の注意

「高学年向け教養科目」選択履修上の注意

一開講科表目

---

## 「情報リテラシー演習」(必修) 履修上の注意

---

### 09・10年次生(ただし神学部・理工学部は09～12年次生も含む)

※上記の学生で必修科目「情報リテラシー演習」の単位を修得していない場合  
学科によって以下のとおり履修クラスが異なっているので注意すること。

1) 情報理工学科

＝選択科目「情報リテラシー(情報学)」を履修し、「情報リテラシー演習」(必修)の単位に充当すること。  
(p.96参照)

2) 上記以外の学科

＝選択科目「情報リテラシー(一般)」(もしくは「情報リテラシー(一般・英語)」)を履修し、「情報リテラシー演習」(必修)の単位に充当すること。(p.96参照)

なお、「情報リテラシー(一般)」「情報リテラシー(一般・英語)」「情報リテラシー(情報学)」はすべて抽選科目となるので、各自、抽選科目登録期間に登録すること。

# 「キリスト教人間学」(選択必修)履修上の注意

## ※含む「人間学」(必修) / 「人間学系科目」(選択必修)

09～18年次生 (除く理工学部09～11年次生)

### 1. 「キリスト教人間学」科目群の共通講義概要

上智大学は、創立以来、キリスト教ヒューマニズムに基づく人間教育を基本理念としており、Men and Women for Others, with Others, すなわち、他者と共に生き、他者に奉仕し、社会をより良く変革する人間を育成することに努めている。それは、自己の成長に真摯に取り組む、他者とのかかわりを大切に、倫理的思考・判断力を備え、超越的価値にも目を開きつつ、地球的な視野に立って、より人間的な世界を築き上げることのできる人間を育成することである。このような教育目標の具現に必要なとされる、固有な学びの視点を培うために、本学ではユニバーシティ・アイデンティティ科目として「キリスト教人間学」科目群を設け、選択必修科目として全学部の学生に履修を課している。

「キリスト教人間学」科目群は、より詳しくは以下のような共通理念に基づいて開設、運営される。

1. 「キリスト教人間学」は、「人間性の諸次元をあますところなく見つけ、全人類の連帯を倦むことなく追求する現代のキリスト教ヒューマニズム」を支柱とする、本学の建学精神の発露であり、本学の教育のコア科目である。
2. 「キリスト教人間学」は、キリスト教的な観点から、人間の超越性に開かれた哲学・倫理学・宗教学を基盤に、諸科学の成果なども援用しつつ、人間存在の総合的な理解をめざし、「人間とその生き方」を探求することを旨とする。
3. 「キリスト教人間学」は、各自の思想や人間性の発展の基礎であることから、受講者が自ら問い、考え、選ぶ、行動するという自覚的で主体的な営みがとくに重視される。
4. 「キリスト教人間学」は、受講者一人ひとりがそれぞれに見合った仕方では「人間とは何か」、「生きる意味とは何か」など、人間性の根本問題に主体的に取り組むため、以下の手段によって履修を支援する。
  - a) 履修上の目安として、「思索の基盤を深める」「キリスト教の精神に学ぶ」「人間として生きる」「よりよい世界をつくる」の4基本区分を設ける。
  - b) より高い選択性担保の一環として、「春学期開講」と「秋学期開講」の区別を活かし、原則として、「春」「秋」それぞれ1科目ずつ、計4単位を履修する。
  - c) さらに学ぶの道を開くため、選択必修4単位分を超えて履修した科目は、全学共通科目の選択科目として、「卒業のために必要な単位数」への算定を可能とする。

### 2. 「キリスト教人間学」科目群の共通評価基準

何らかの試験を実施し、出席を毎回確認する。欠席が4回を超えた場合には、原則として成績評価の対象としない。

### 3. 履修ブロック

**18年次生は下記の指定されたブロックから履修すること。指定ブロック以外の科目を履修することはできない。**原則として1年次生のうちに2科目4単位(春学期1科目2単位、秋学期1科目2単位)を履修すること。17年次生以前は全てのブロックの科目を履修することができる。

ブロック	学部学科	曜日時限
A	文学部(哲、史、国文、新聞)、理工学部(英語コースを除く)	火曜1時限
B	法学部、経済学部	火曜4時限
C	総合人間科学部、外国語学部(イスパニア語、ポルトガル語)、総合グローバル学部	金曜1時限
D	神学部、文学部(英文、ドイツ文、フランス文)、外国語学部(英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語)	金曜4時限
E	国際教養学部、理工学部英語コース	火曜5時限

## 4. 履修方法について

キリスト教人間学科目は全て抽選科目である。抽選エントリー期間に各自、登録を行なうこと。第1希望科目の抽選に外れた場合は、第2、第3希望…と順次抽選が行われる。抽選エントリーの際には、指定ブロック内の全ての科目に優先順位をつけないと登録できないので、あらかじめ履修希望する順位を決めておくこと。

### 理工学部09～11年次生

## 5. 「人間学」(必修)について

「人間学」(必修)の単位を修得していない学生は、「キリスト教人間学科目」の<人間として生きる>のカテゴリー内の科目のうち、人間学未履修者用科目欄に◎印がある指定科目を履修し、「人間学」(必修)の単位に充当すること(p.93参照)。

※キリスト教人間学科目(選択必修科目)は、全て抽選科目となるので、抽選科目登録期間に各自、登録を行うこと。

## 6. 「人間学系科目」(選択必修)について

「キリスト教人間学科目」を履修することで人間学系科目(選択必修)として読み替えを行う。過去に副題と同じ科目名の人間学系科目を履修している場合は、重複して履修することはできない。

例)「キリスト教人間学(かかわりの人間学)」→昨年まで開講されていた「かかわりの人間学」と同一科目として扱うため、履修できない。

※共通評価基準、履修ブロック(キリスト教人間学科目の開講ブロックであれば全てのブロックを履修可能)、履修方法については、2～4項までを参照すること。なお、抽選の登録方法に関して、「人間学」を未履修の学生は、「人間学未履修者科目」欄に◎印のある科目を上位に、付いていない科目を下位に、指定ブロック内の全ての科目に順位を付けて事前登録を行うこと。

## 「選択科目」履修上の注意

### 1. 履修上の注意

- ・抽選科目の場合は、抽選エントリー期間に各自、登録を行うこと。
- ・抽選のエントリー方法は、学期中毎週行う授業と、集中講義の科目とでカテゴリーが分かれている。エントリーはカテゴリーごとに最大10科目まで可能である。
- ・抽選の段階においては、抽選に当選する上限科目数は各学期4科目となっている。
- ・集中講義は、他の科目と同様、登録は通常の履修登録期間の際に行うこと。詳しい日程・教室は Loyola 「学事センター（教務）掲示板」を参照すること。
- ・各科目の履修上の条件等については、開講科目一覧表の備考欄及びシラバスを参照すること。
- ・受講者が多数になり、教室の定員を鑑みて収容できない場合は、抽選科目でなくとも登録を制限する場合がある。
- ・国際教養学部、理工学部英語コースの学生は履修方法が異なる。詳細はそれぞれの「BULLETIN OF INFORMATION 2018-2019」を参照すること。

#### 17年次生以前

- ・「学科科目で全学共通科目として認められる科目（学全科目）」は2018年度より廃止となりました。

## 「高学年向け教養科目」（選択）履修上の注意

**14年次生以降** ※看護学科生（16年次生以前）、総合グローバル学部生を除く

### 1. 履修上の注意

- ・卒業に必要な2単位を超えて履修した場合は、選択科目に充当することができる。
- ・抽選科目の場合は、抽選エントリー期間に各自、登録を行うこと。
- ・抽選のエントリー方法は、学期中毎週行う授業と、集中講義の科目とでカテゴリーが分かれている。エントリーはカテゴリーごとに最大10科目まで可能である。
- ・年次に関わらず、どの時間帯の科目も履修可能。
- ・集中講義は、他の科目と同様、登録は通常の履修登録期間の際に行うこと。詳しい日程・教室は Loyola 「学事センター（教務）掲示板」を参照すること。
- ・看護学科（16年次生以前）、総合グローバル学部の学生は原則として履修できない。履修できる科目に関しては備考に注として示しているが、卒業要件にはならない。
- ・国際教養学部、理工学部英語コースの学生は、それぞれの「BULLETIN OF INFORMATION 2018-2019」も参照すること。

に  
全  
学  
共  
通  
科  
目  
に  
関  
し  
て

全  
学  
共  
通  
科  
目  
の  
履  
修  
上  
の  
注  
意

「  
ウ  
ェ  
ル  
ス  
」  
と  
身  
体  
的  
な  
注  
意

情  
報  
テ  
ラ  
ー  
リ  
テ  
ラ  
ー  
に  
関  
し  
て  
の  
注  
意

「  
ウ  
ェ  
ル  
ス  
」  
と  
身  
体  
的  
な  
注  
意

「  
ウ  
ェ  
ル  
ス  
」  
と  
身  
体  
的  
な  
注  
意

「  
ウ  
ェ  
ル  
ス  
」  
と  
身  
体  
的  
な  
注  
意

一  
開  
講  
科  
目  
表

全学共通科目〔必修科目〕 ウエルネスと身体

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	曜日	時限	担当者	外国語	学科・クラス	
全学共通科目〔必修科目〕	ウエルネスと身体	GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	月	1	鈴木 守 島崎 崇史 谷口 広明 笹原 仲明 原 仲慶 竹 碧 村 碧 りょうこ		ポルトガル語,機能創造理工
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	月	3	島崎 崇史 笹川 広明 谷口 仲明 原 仲碧 師岡 文男 島 健		ドイツ語,フランス語, スペイン語
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	火	1	師岡 文男 谷口 広明 原 仲碧 島 健 竹 碧 村 碧 りょうこ		神, ドイツ文, 地球環境法
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	水	1	谷口 広明 原 仲碧 吉田 美和子 笹島 崇史		フランス文, 教育, 社会福祉
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	水	3	谷口 広明 島崎 崇史 *廣瀬 立朗 竹村 碧 笹川 りょうこ 川 慶	○	物質生命理工, 国際教養(春入学) ※英語で行うクラス あり
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	木	1	鈴木 守 吉原 美和子 原 仲明 竹 碧 村 碧 りょうこ		情報理工
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	金	1	吉田 美和子 笹川 広明 谷口 仲明 竹村 碧 島崎 崇史		史, 国文, ロシア語
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	月	1	谷口 広明 笹川 守 鈴木 文男 師岡 崇史 島崎 仲明 原 碧		総合グローバル
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	月	3	谷口 広明 島崎 崇史 島 守 鈴木 文男 笹川 慶		英語
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	火	1	谷口 広明 島崎 守 師岡 文男 竹村 碧 原 碧		看護, 国際関係法

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開 講 期	曜 日	時 限	担 当 者	外 国 語	学科・クラス	
全学共通科目〔必修科目〕	ウエルネスと身体	GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	水	2	谷口 広明 原 仲 崇 島 崎 史 笹 川 慶 吉 田 美和子 竹 村 りょうこ *廣 瀬 立 朗	○	心理, 経営, 理工英語コース ※英語で行うクラス あり
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	水	3	*廣 村 りょうこ 笹 川 立 朗 師 岡 慶 谷 口 文 男 原 仲 明 島 崎 碧	○	哲, 社会, 国際教養 (秋入学) ※英語で行うクラス あり
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	木	1	吉 田 美和子 竹 村 りょうこ 島 崎 崇 史 原 仲 碧 鈴 木 守		法律
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	木	3	原 仲 碧 笹 川 慶 竹 村 りょうこ 吉 田 美和子 島 崎 崇 史		経済
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	金	1	吉 田 美和子 師 岡 文 男 竹 村 りょうこ 笹 川 慶 谷 口 広 明 島 崎 崇 史		英文, 新聞
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	金	2	吉 田 美和子		特別クラス

全学共通科目  
について

全学共通科目構成  
および履修上の規定

〔必修〕履修上の注意  
ウエルネスと身体

〔必修〕履修上の注意  
情報リテラシー演習

〔必修〕履修上の注意  
ユースト教人留学  
科目群履修上の注意

履修上の注意  
〔選択科目〕

〔選択〕履修上の注意  
〔2学年向け教養科目〕

開講科目  
一覧表

全学共通科目〔選択必修科目〕キリスト教人間学科目：09年次生以降（除く理工学部09～11年次生）

全学共通科目〔選択必修科目〕人間学系科目：理工学部09～11年次生

●SCH（Studies in Christian Humanism）/●GS Electives：FLA&FST

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	ブロック	外国語	備考		
全学共通科目〔選択必修科目〕	キリスト教人間学科目／人間学系科目	<b>&lt;思索の基盤を深める&gt;</b>									
		GSG10600	SCH105	キリスト教人間学（倫理学入門）	2	春	石井雅之	A		[80名]	
		GSG10300	SCH100	キリスト教人間学（哲学入門）	2	春	*芝元航平	A		[80名]	
		GSG10900	SCH103	キリスト教人間学（古代中世の哲学）	2	春	荻野弘之	B		[80名]	
		GSG15400	SCH109	キリスト教人間学（日本の哲学）	2	春	角田佑一	B		[80名]	
		GSG15500	SCH106	キリスト教人間学（哲学的人間論）	2	春	*芝元航平	C		[80名]	
		GSG15400	SCH109	キリスト教人間学（日本の哲学）	2	春	角田佑一	C		[80名]	
		GSG10600	SCH105	キリスト教人間学（倫理学入門）	2	春	石井雅之	D		[80名]	
		GSG10500	SCH101	キリスト教人間学（哲学）	2	春	*中畑邦夫	D		[80名]	
		GSG18900	SCH108	キリスト教人間学（美の哲学）	2	春	桑原俊介	D		[80名]	
		GSG15400	SCH109	キリスト教人間学（日本の哲学）	2	秋	角田佑一	A		[80名]	
		GSG18710	SCH114	キリスト教人間学（哲学と宗教）	2	秋	長町裕司	A		[80名]	
		GSG18730	SCH116	キリスト教人間学（科学の哲学）	2	秋	杉尾一	A		[80名]	
		GSG10400	SCH102	キリスト教人間学（哲学の根本問題）	2	秋	*中畑邦夫	B		[80名]	
		GSG10600	SCH105	キリスト教人間学（倫理学入門）	2	秋	石井雅之	B		[80名]	
		GSG10200	SCH111	キリスト教人間学（宗教学）	2	秋	高山貞美	B		[80名]	
		GSG13400	SCH113	キリスト教人間学（キリスト教の人間理解）	2	秋	HAIDAR Juan	C		[80名]	
		GSG10600	SCH105	キリスト教人間学（倫理学入門）	2	秋	石井雅之	C		[80名]	
		GSG15400	SCH109	キリスト教人間学（日本の哲学）	2	秋	角田佑一	D		[80名]	
		GSG10400	SCH102	キリスト教人間学（哲学の根本問題）	2	秋	*中畑邦夫	D		[80名]	
		GSG11000	SCH104	キリスト教人間学（近現代の哲学）	2	休講					
		GSG10500	SCH101	キリスト教人間学（哲学）	2	休講					
		GSG11400	SCH112	キリスト教人間学（東洋の自然観）	2	休講					
		GSG10200	SCH111	キリスト教人間学（宗教学）	2	休講					
		<b>&lt;キリスト教の精神に学ぶ&gt;</b>									
		GSG18651	SCH135	キリスト教人間学（聖書にみる人間観）	2	春	月本昭男	A			[80名]
		GSG18680	SCH137	キリスト教人間学（キリスト教の礼拝とシンボル）	2	春	FIRMANSYAH Antonius	A			[80名]
		GSG18660	SCH134	キリスト教人間学（キリスト教と音楽）	2	春	森裕子	B			[80名]
		GSG14800	SCH121	キリスト教人間学（新約聖書入門）	2	春	久保文彦	B			[80名]
		GSG13100	SCH133	キリスト教人間学（仏教とキリスト教）	2	春	高山貞美	B			[80名]
		GSG14800	SCH121	キリスト教人間学（新約聖書入門）	2	春	久保文彦	C			[80名]
		GSG18660	SCH134	キリスト教人間学（キリスト教と音楽）	2	春	森裕子	C			[80名]
		GSG18680	SCH137	キリスト教人間学（キリスト教の礼拝とシンボル）	2	春	FIRMANSYAH Antonius	D			[80名]
		GSG14000	SCH120	キリスト教人間学（旧約聖書入門）	2	春	*石原良明	D			[80名]
		GSG18660	SCH134	キリスト教人間学（キリスト教と音楽）	2	秋	森裕子	A			[80名]
		GSG14800	SCH121	キリスト教人間学（新約聖書入門）	2	秋	久保文彦	A			[80名]
		GSG18690	SCH132	キリスト教人間学（福音としてのキリスト教）	2	秋	瀬本正之	A			[80名]
		GSG18690	SCH132	キリスト教人間学（福音としてのキリスト教）	2	秋	瀬本正之	B			[80名]
		GSG14000	SCH120	キリスト教人間学（旧約聖書入門）	2	秋	*石原良明	B			[80名]
		GSG13100	SCH133	キリスト教人間学（仏教とキリスト教）	2	秋	高山貞美	C			[80名]
		GSG18690	SCH132	キリスト教人間学（福音としてのキリスト教）	2	秋	瀬本正之	C			[80名]
		GSG14800	SCH121	キリスト教人間学（新約聖書入門）	2	秋	久保文彦	D			[80名]
		GSG14500	SCH130	キリスト教人間学（イエスとその神）	2	秋	光延一郎	D			[80名]
		GSG18660	SCH134	キリスト教人間学（キリスト教と音楽）	2	秋	森裕子	D			[80名]
		GSG18680	SCH137	キリスト教人間学（キリスト教の礼拝とシンボル）	2	休講					
GSG18680	SCH137	キリスト教人間学（キリスト教の礼拝とシンボル）	2	休講							
GSG18720	SCH138	キリスト教人間学（旧約聖書にみられる人間）	2	休講							



履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	ブロック	外国語	備考	人間学未履修者用科目	
全学共通科目〔選択必修科目〕 キリスト教人間学科目／人間学系科目	<b>&lt;人間として生きる&gt;</b>										
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学 (かかわりの人間学)	2	春	*中 畑 邦 夫	A		[80名]	◎	
	GSG18500	SCH156	キリスト教人間学 (祈りの人間学)	2	春	原 敬 子	A		[80名]		
	GSG12000	SCH184	キリスト教人間学 (生活の中のジェンダー)	2	春	平 尾 桂 子	A		[80名]		
	GSG18760	SCH160	キリスト教人間学 (愛の人間学)	2	春	小 山 英 之	B		[80名]		
	GSG13300	SCH151	キリスト教人間学 (キリスト教と文学)	2	春	片 山 はるひ	B		[80名]		
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学 (かかわりの人間学)	2	春	武 田 なほみ	B		[80名]	◎	
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学 (かかわりの人間学)	2	春	瀬 本 正 之	C		[80名]	◎	
	GSG11500	SCH158	キリスト教人間学 (いのちの倫理:原点)	2	春	竹 内 修 一	C		[80名]		
	GSG13300	SCH151	キリスト教人間学 (キリスト教と文学)	2	春	片 山 はるひ	C		[80名]		
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学 (かかわりの人間学)	2	春	瀬 本 正 之	D		[80名]	◎	
	GSG18760	SCH160	キリスト教人間学 (愛の人間学)	2	春	小 山 英 之	D		[80名]		
	GSG18500	SCH156	キリスト教人間学 (祈りの人間学)	2	春	原 敬 子	D		[80名]		
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学 (かかわりの人間学)	2	秋	*芝 元 航 平	A		[80名]	◎	
	GSG18760	SCH160	キリスト教人間学 (愛の人間学)	2	秋	小 山 英 之	A		[80名]		
	GSG18500	SCH156	キリスト教人間学 (祈りの人間学)	2	秋	原 敬 子	B		[80名]		
	GSG18750	SCH161	キリスト教人間学 (生と死の人間学)	2	秋	武 田 なほみ	B		[80名]		
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学 (かかわりの人間学)	2	秋	*田 村 和 子	B		[80名]	◎	
	GSG18500	SCH156	キリスト教人間学 (祈りの人間学)	2	秋	原 敬 子	C		[80名]		
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学 (かかわりの人間学)	2	秋	吉 川 まみ	C		[80名]	◎	
	GSG11600	SCH159	キリスト教人間学 (いのちの倫理:展望)	2	秋	竹 内 修 一	C		[80名]		
	GSG18750	SCH161	キリスト教人間学 (生と死の人間学)	2	秋	武 田 なほみ	C		[80名]		
	GSG12000	SCH184	キリスト教人間学 (生活の中のジェンダー)	2	秋	平 尾 桂 子	D		[80名]		
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学 (かかわりの人間学)	2	秋	*田 村 和 子	D		[80名]	◎	
	GSG18760	SCH160	キリスト教人間学 (愛の人間学)	2	秋	小 山 英 之	D		[80名]		
	GSG18750	SCH161	キリスト教人間学 (生と死の人間学)	2	休講						
	GSG13300	SCH151	キリスト教人間学 (キリスト教と文学)	2	休講						
	GSG13300	SCH151	キリスト教人間学 (キリスト教と文学)	2	休講						
	<b>&lt;よりよい世界をつくる&gt;</b>										
	GSG16200	SCH174	キリスト教人間学 (キリスト教と人権)	2	春	久 保 文 彦	A		[80名]		
	GSG18110	SCH185	キリスト教人間学 (環境教育)	2	春	吉 川 まみ	A		[80名]		
	GSG12800	SCH177	キリスト教人間学 (暴力と人間)	2	春	AUGUSTINE Sali	A		[80名]		
	GSG18110	SCH185	キリスト教人間学 (環境教育)	2	春	吉 川 まみ	B		[80名]		
	GSG10700	SCH115	キリスト教人間学 (現代倫理の諸問題)	2	春	石 井 雅 之	B		[80名]		
	GSG10100	SCH179	キリスト教人間学 (倫理学)	2	春	ペンカラム ジョンジョセフ	C		[80名]		
	GSG18110	SCH185	キリスト教人間学 (環境教育)	2	春	吉 川 まみ	C		[80名]		
GSG10700	SCH115	キリスト教人間学 (現代倫理の諸問題)	2	春	石 井 雅 之	C		[80名]			
GSG18110	SCH185	キリスト教人間学 (環境教育)	2	春	吉 川 まみ	D		[80名]			
GSG16200	SCH174	キリスト教人間学 (キリスト教と人権)	2	春	久 保 文 彦	D		[80名]			
GSG11210	SCH172	キリスト教人間学 (環境時代と人間の尊厳)	2	秋	吉 川 まみ	A		[80名]			
GSG10700	SCH115	キリスト教人間学 (現代倫理の諸問題)	2	秋	石 井 雅 之	A		[80名]			
GSG16200	SCH174	キリスト教人間学 (キリスト教と人権)	2	秋	久 保 文 彦	B		[80名]			
GSG11210	SCH172	キリスト教人間学 (環境時代と人間の尊厳)	2	秋	吉 川 まみ	B		[80名]			
GSG12400	SCH180	キリスト教人間学 (グローバル化の現状と思想)	2	秋	ペンカラム ジョンジョセフ	C		[80名]			
GSG16200	SCH174	キリスト教人間学 (キリスト教と人権)	2	秋	久 保 文 彦	C		[80名]			
GSG11210	SCH172	キリスト教人間学 (環境時代と人間の尊厳)	2	秋	吉 川 まみ	D		[80名]			
GSG10700	SCH115	キリスト教人間学 (現代倫理の諸問題)	2	秋	石 井 雅 之	D		[80名]			
GSG14600	SCH175	キリスト教人間学 (キリスト教的人間観と現代社会の諸問題)	2	休講							
GSG17800	SCH170	キリスト教人間学 (平和学入門)	2	休講							

全学共通科目  
 に  
 つ  
 つ  
 い  
 て  
 全学共通科目構成  
 およ  
 び  
 履  
 修  
 上  
 の  
 規  
 定  
 注  
 意  
 エル  
 ズ  
 と  
 身  
 体  
 注  
 意  
 情  
 報  
 シ  
 シ  
 注  
 意  
 科  
 目  
 履  
 修  
 上  
 の  
 注  
 意  
 履  
 修  
 上  
 の  
 注  
 意  
 選  
 択  
 履  
 修  
 上  
 の  
 注  
 意  
 一  
 開  
 講  
 科  
 目  
 表

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	ブロック	外国語	備考	
全学共通科目〔選択必修科目〕	キリスト教人間学科目／人間学系科目	<b>&lt;キリスト教人間学&gt; ※注1参照</b>								
		GSG17000	SCH194	PHILOSOPHY OF THE HUMAN PERSON	2	春	Haidar Juan	E	○	[5名]
		GSG18770	SCH199	PHILOSOPHY OF RELIGIOUS LANGUAGE	2	春	FIRMANSYAH Antonius	E	○	[5名]
		GSG19000	SCH196	FREEDOM AND LEADERSHIP: IGNATIAN SPIRITUALITY FOR LIFE	2	春	POLITO Michael	E	○	[5名]
		GSG18611	SCH191	MODERN/CONTEMPORARY PHILOSOPHY	2	春	鈴木伸国	E	○	[5名]
		GSG16800	SCH190	PHILOSOPHY OF HUMAN RIGHTS AND HUMAN DIGNITY	2	秋	寺田俊郎	E	○	[5名]
		GSG17500	SCH192	PHILOSOPHY OF HUMAN NATURE	2	秋	鈴木伸国	E	○	[5名]
		GSG17000	SCH194	PHILOSOPHY OF THE HUMAN PERSON	2	秋	Haidar Juan	E	○	[5名]
		GSG19000	SCH196	FREEDOM AND LEADERSHIP: IGNATIAN SPIRITUALITY FOR LIFE	2	秋	POLITO Michael	E	○	[5名]
		GSG18641	SCH198	FOUNDATIONS: TIME AND SACRED RHYTHMS	2	休講				
		GSG18640	SCH197	FOUNDATIONS: TERRITORY & SACRED SPACE	2	休講				
		<b>&lt;SCH (Studies in Christian Humanism)&gt;</b>								
		<b>(For FLA/FST Students 国際教養学部・理工英語コース生用)</b>								
		GSG17000	SCH194	PHILOSOPHY OF THE HUMAN PERSON	2	春	Haidar Juan	E	○	[65名]
		GSG18770	SCH199	PHILOSOPHY OF RELIGIOUS LANGUAGE	2	春	FIRMANSYAH Antonius	E	○	[65名]
		GSG19000	SCH196	FREEDOM AND LEADERSHIP: IGNATIAN SPIRITUALITY FOR LIFE	2	春	POLITO Michael	E	○	[65名]
		GSG18611	SCH191	MODERN/CONTEMPORARY PHILOSOPHY	2	春	鈴木伸国	E	○	[65名]
		GSG16800	SCH190	PHILOSOPHY OF HUMAN RIGHTS AND HUMAN DIGNITY	2	秋	寺田俊郎	E	○	[65名]
		GSG17500	SCH192	PHILOSOPHY OF HUMAN NATURE	2	秋	鈴木伸国	E	○	[65名]
		GSG17000	SCH194	PHILOSOPHY OF THE HUMAN PERSON	2	秋	Haidar Juan	E	○	[65名]
GSG19000	SCH196	FREEDOM AND LEADERSHIP: IGNATIAN SPIRITUALITY FOR LIFE	2	秋	POLITO Michael	E	○	[65名]		
GSG18641	SCH198	FOUNDATIONS: TIME AND SACRED RHYTHMS	2	休講						
GSG18640	SCH197	FOUNDATIONS: TERRITORY & SACRED SPACE	2	休講						

(注1) 履修するためにはTOEFL550点以上 (iBT79点以上) を目安とする。

(注2) 下記の科目は同一科目のため、どちらか一方しか卒業に必要な単位として認められない。

科目コード	ナンバリング	現在開講している科目名	変更年度	科目コード	過年度開講の同一科目
GSG17800	SCH170	キリスト教人間学(平和学入門)	2011	GSG12600	キリスト教人間学 (平和と人間)
GSG18651	SCH135	キリスト教人間学(聖書にみる人間観)	2015	GSG18650	キリスト教人間学 (聖書における人間観)
GSG18750	SCH154	キリスト教人間学(生と死の人間学)	2016	GSG11900	キリスト教人間学 (死生学)
GSG18720	SCH122	キリスト教人間学(旧約聖書にみられる人間)		GSG15200	キリスト教人間学 (宗教体験としての回心)
GSG18110	SCH171	キリスト教人間学 (環境教育)	2017	GSG18100	キリスト教人間学(持続可能な社会づくりと環境教育)

全学共通科目〔選択科目〕

◎建学の理念

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
全学共通科目 〔選択科目〕	<b>&lt;ルーツと伝統&gt;</b>							
	099330	GFL101	上智大学(ソフィア)のルーツとアイデンティティ	2	秋	コーディネータ 原森 敬子 森 裕子		輪講, [100名]

◎思索の基盤

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
全学共通科目 〔選択科目〕	<b>&lt;哲学&gt;</b>							
	099354	GTP101	論理の世界	2	秋	浅見 昇 吾		[200名]
	099511	GTP102	結婚の哲学	2	秋	長町 裕 司		[250名]
	<b>&lt;倫理&gt;</b>							
	099392	GTE101	生命倫理の世界	2	春	浅見 昇 吾		[200名]
	<b>&lt;宗教&gt;</b>							
	099349	GTR101	諸宗教における自然と人間	2	秋	コーディネータ 高山 貞 美		輪講, 隔年開講, [100名], 注1参照
	099490	GTR201	日本の宗教と文学 1	2	春	鎌田 東 二		[200名]
	099491	GTR202	日本の宗教と文学 2	2	秋	鎌田 東 二		[200名]

◎人間と文化

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
全学共通科目 〔選択科目〕	<b>&lt;言語文学系&gt;</b>							
	099210	GHL101	フランス文学入門 I	2	春	永井 敦 子		[100名]
	099211	GHL102	フランス文学入門 II	2	休講			
	099401	GHL103	ドイツ文学案内	2	春	高橋 明 彦		[200名]
	099521	GHL118	ロシア文学入門	2	秋	原 求 作		[200名]
	099522	GHL206	ヨーロッパ文学のアダプテーション	2	秋	コーディネータ 小川 公 代		輪講, [120名]
	099104	GHL115	日本古典文学入門 I	2	秋	本 廣 陽 子		[200名], 注3参照
	099105	GHL116	日本古典文学入門 II	2	秋	西 澤 美 仁		注3参照
	099106	GHL117	日本古典文学入門 III	2	休講			隔年開講, 注3参照
	099165	GHL113	日本近代文学序説 I (小説)	2	休講			注3参照
	099103	GHL114	日本近代文学序説 II (詩歌)	2	春	木 村 洋		注3参照
	099099	GHL208	[漢文 I] 中国古典入門	2	春	長尾 直 茂		注3参照, [100名]
	099100	GHL209	[漢文 II] 中国の文学と文章	2	休講			注3参照
	099101	GHL210	[漢文 III] 中国の詩文を読む	2	休講			注3参照
	099240	GHL211	[漢文 IV] 中国文学と日本文学	2	秋	*楊 昆 鵬		注3参照
	099153	GHL106	文章構成法 I	2	秋	瀬間 正 之		[100名], 注2参照
	099154	GHL107	文章構成法 II	2	春	*岩 澤 克		[100名], 注2参照
	099155	GHL108	文章構成法 III	2	春	*遠藤 佳 那子		[100名], 注2参照
	099156	GHL109	文章構成法 IV	2	秋	服 部 隆		[100名], 注2参照
	099157	GHL110	文章構成法 V	2	休講			隔年開講, [100名], 注2参照

全学共通科目  
 に つ い て  
 全学共通科目構成  
 および履修上の規定  
 エルネストと身体  
 情報リテラシー  
 情報リテラシー  
 科目群履修上の注意  
 「選択科目」  
 履修上の注意  
 「学年向け教員」  
 履修上の注意  
 一開講科目  
 表

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
全学共通科目〔選択科目〕	099158	GHL201	国語表現Ⅰ	2	秋	*遠藤 佳那子		[100名], 注2参照
	099159	GHL202	国語表現Ⅱ	2	春	本 廣 陽 子		[100名], 注2参照
	099160	GHL203	国語表現Ⅲ	2	春	西 澤 美 仁		[100名], 注2参照
	099161	GHL204	国語表現Ⅳ	2	秋	木 村 洋		隔年開講, [100名], 注2参照
	099391	GHL205	国語表現Ⅴ	2	秋	豊 島 正 之		[100名], 注2参照
	099162	GHL111	国語の歴史Ⅰ	2	春	服 部 隆		[200名], 注3参照
	099163	GHL112	国語の歴史Ⅱ	2	休講			[200名], 注3参照
	002171	GHL104	言語と人間Ⅰ	2	春	コーディネータ 高橋 亮介		輪講, [250名]
	002172	GHL105	言語と人間Ⅱ	2	秋	コーディネータ 高橋 亮介		輪講, [250名]
	099367	GHL212	実践英語ライティング -PRACTICAL ENGLISH WRITING-	2	秋	MCEVOY Jason	○	[25名]
	099439	GHL213	LANGUAGE POLITICS IN THE EUROPEAN UNION	2	春	CONSTANTINESCU Cezar	○	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
全学共通科目〔選択科目〕	＜歴史文化系＞							
	099086	GHH109	歴史学Ⅰ（日本史）	2	春	西 岡 芳 文		[200名]
	099087	GHH110	歴史学Ⅱ（東洋史）	2	春	笹 川 裕 史		[200名]
	099088	GHH111	歴史学Ⅲ（西洋史）	2	秋	中 川 亜 希		[200名]
	010701	GHH203	日本史	2	秋	北 條 勝 貴		[200名]
	010850	GHH204	東洋史	2	春	*宮 古 文 尋		[200名]
	010902	GHH205	西洋史	2	春	坂 野 正 則		[250名]
	047003	GHH112	文化人類学Ⅰ a	2	春	*綾 部 真 雄		[250名]
	047003	GHH112	文化人類学Ⅰ a	2	春	*大 川 真 由 子		[250名]
	047004	GHH113	文化人類学Ⅰ b	2	秋	*綾 部 真 雄		[250名]
	047004	GHH113	文化人類学Ⅰ b	2	秋	*大 川 真 由 子		[250名]
	099451	GHH119	東南アジア研究入門	2	春	*桐ヶ谷 賢一		[150名]
	010828	GHH104	南アジア研究入門	2	春	AUGUSTINE Sali		[100名]
	010829	GHH107	アフリカ研究入門	2	春	眞 城 百 華		[200名]
	099167	GHH101	東南アジア史入門Ⅰ	2	春	根 本 敬		[120名], 注1参照
	010816	GHH102	東南アジア史入門Ⅱ	2	秋	丸 井 雅 子 川 島 緑		輪講, [200名]
	099449	GHH117	中東イスラーム研究入門Ⅰ	2	春	小 牧 昌 平		[200名], 注1参照
	099450	GHH118	中東イスラーム研究入門Ⅱ	2	秋	澤 江 史 子		[200名]
	099452	GHH206	東南アジアと日本	2	春	寺 田 勇 文		[100名]
	099539	GHH121	AFRICAN POSTCOLONIAL CONSCIOUSNESS	2	春	MAYEMBA Bienvenu	○	イエズス会特別海外招聘 客員教員担当科目
	099421	GHH116	INTRODUCTION TO WORLD ECONOMIC HISTORY	2	春	倉 田 正 充	○	
	011115	GHH114	音楽の歴史Ⅰ	2	休講			隔年開講, [100名]
	099166	GHH115	音楽の歴史Ⅱ	2	秋	*北 川 森 央		隔年開講, [100名], 注10参照
	011001	GHH108	西洋美術史Ⅰ	2	春	*阿 部 真 弓		[200名]
	011003	GHH202	西洋美術史Ⅱ	2	秋	*阿 部 真 弓		[200名]
	099492	GHH120	ナショナルリズムと芸術	2	春	コーディネータ 浅見 昇吾		輪講, [210名]
	099523	GHH103	CULTURE OF EAST ASIA	2	春	O'DAY Robin	○	海外招聘客員教員担当科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考		
全学共通科目〔選択科目〕	<b>&lt;身体文化系&gt;</b>									
	GSH11500	GHB101	テニス初級	1	春	*乙戸光男		[16名], 注5・6参照		
	GSH11600	GHB102	テニス	1	春	竹村りょうこ		[16名], 注5・6参照		
	GSH11600	GHB102	テニス	1	秋	竹村りょうこ		[16名], 注5・6参照		
	GSH11600	GHB102	テニス	1	秋	*乙戸光男		[16名], 注5・6参照		
	GSH11800	GHB104	水泳	1	春	島健		[24名], 注5・6参照		
	GSH11900	GHB105	サッカー	1	春	原仲碧		[30名], 注5・6参照		
	GSH11900	GHB105	サッカー	1	休講			[40名], 注5・6参照		
	GSH12000	GHB106	フットサル	1	秋	原仲碧		[30名], 注5・6参照		
	GSH12000	GHB106	フットサル	1	休講			[30名], 注5・6参照		
	GSH12100	GHB107	卓球	1	秋	島崎崇史		[40名], 注5・6参照		
	GSH12200	GHB108	ソフトボール	1	休講			[40名], 注5・6参照		
	GSH12200	GHB108	ソフトボール	1	春	島崎崇史		[40名], 注5・6参照		
	GSH12300	GHB109	バレーボール初級	1	春	*廣紀江		[42名], 注5・6参照		
	GSH12400	GHB110	バレーボール	1	春	*廣紀江		[42名], 注5・6参照		
	GSH12400	GHB110	バレーボール	1	秋	*廣紀江		[42名], 注5・6参照		
	GSH12400	GHB110	バレーボール	1	秋	*廣紀江		[42名], 注5・6参照		
	GSH12500	GHB111	ゴルフ	1	休講			[20名], 注5・6参照		
	GSH12600	GHB112	フライングディスク入門	1	秋	師岡文男		[40名], 注5・6参照		
	GSH12700	GHB113	フライングディスク	1	春	笹川慶		[40名], 注5・6参照		
	GSH12700	GHB113	フライングディスク	1	秋	島健		[40名], 注5・6参照		
	GSH12800	GHB114	バドミントン入門	1	春	竹村りょうこ		[36名], 注5・6参照		
	GSH12900	GHB115	バドミントン	1	休講			[36名], 注5・6参照		
	GSH12900	GHB115	バドミントン	1	秋	笹川慶		[36名], 注5・6参照		
	GSH13000	GHB116	エアロビクス	1	春	*池田美知子		[30名], 注5・6参照		
	GSH13000	GHB116	エアロビクス	1	秋	*池田美知子		[30名], 注5・6参照		
	GSH13600	GHB118	エアロビクス&トータルフィットネス	1	春	*池田美知子		[25名], 注5・6参照		
	GSH10100	GHB119	レクリエーション・ニュースポーツ	1	春	師岡文男		[40名], 注5・6参照		
	GSH14000	GHB121	ダンスパフォーマンス	1	春	*國寶真美		[25名], 注5・6参照		
	GSH11700	GHB103	バスケットボール	1	春	谷口広明		[35名], 注5・6参照		
	GSH11700	GHB103	バスケットボール	1	秋	*山崎紀春		[35名], 注5・6参照		
	演習科目	GSH13110	GHB117	日本の身体技法の理論と実践	2	春	*長谷川智		[20名]	
		GSH13120	GHB122	ヨーガの理論と実践 -ラージャヨーガからヨーガの 日本的展開-	2	秋	*長谷川智		[20名]	
		GSH10600	GHB202	救急法の理論と実践	2	秋	島健		[24名]	
		GSH10700	GHB203	気功の理論と実践	2	春	*遠藤卓郎		[30名]	
		GSH10800	GHB204	スキースポーツの理論と実践	2	秋	谷口広明 吉田美和子 笹川慶		輪講, ☆ (25名), 注4参照, 学外実習あり, 初回授業は剣道場	
		GSH11000	GHB206	スクーバ・ダイビングの理論と実践	2	春	島健		☆ (24名), 注4参照, 学外実習あり, 初回授業は剣道場	
		GSH13960	GHB220	身体知演習 ボディーワーク	2	春	吉田美和子		[24名]	
		GSH13960	GHB220	身体知演習 ボディーワーク	2	秋	吉田美和子		[24名]	
		GSH13970	GHB221	身体知演習 ヨガ	2	春	吉田美和子		[24名]	
		GSH13980	GHB222	身体知演習 身体技法	2	秋	*遠藤卓郎		[30名]	
		講義科目	GSH15000	GHB123	ソマティック (身心) 教育入門	2	春	吉田美和子		[30名]
			GSH16000	GHB124	健康づくりの科学	2	春	島崎崇史		[100名]
GSH14120	GHB120		健康と身体運動の科学入門	2	春	笹川慶		[65名]		
002165	GHB215		現代文化としてのスポーツ I	2	春	コーディネータ 竹村りょうこ		輪講, [70名]		

全学共通科目  
について

全学共通科目構成  
および履修上の規定

「必修履修の注意」  
「履修上の注意」

「情報リテラシー」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

「英語」  
履修上の注意

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
全学共通科目 講義科目 (選択科目)	002166	GHB216	現代文化としてのスポーツⅡ	2	秋	コーディネーター 岡 文 男		輪講, [100名]
	099366	GHB213	知としての身体を考える	2	秋	コーディネーター 吉 田 美和子		輪講, [70名]
	GSH1100	GHB210	人間と運動・スポーツ	2	春	鈴木 守		[60名]
	GSH11300	GHB212	レジャー・スポーツ・レクリエーション論	2	春	師岡 文 男		[100名]
	099411	GHB217	演劇から見える世界と人間	2	秋	コーディネーター 東 郷 公 徳		輪講, [200名]
<b>&lt;基礎科学系&gt;</b>								
	099125	GHS101	宇宙の科学	2	春	和南城 伸 也		[150名], 理工学部生履修不可
	099125	GHS101	宇宙の科学	2	秋	和南城 伸 也		[150名], 理工学部生履修不可
	099126	GHS102	身近な物理	2	秋	江 馬 一 弘 桑 原 英 樹 大 概 東 巳 坂 間 弘		輪講, [300名], 理工学部生履修不可
	099288	GHS201	ナノテクノロジー	2	秋	坂 間 弘 下 村 和 彦		輪講, [120名], 理工学部生履修不可
	099416	GHS202	技術の歴史	2	秋	長 嶋 利 夫		[150名], 理工学部生履修不可, 注1参照
	099343	GHS103	数学入門Ⅰ	2	秋	平 田 均		[105名], 理工学部生・経済学科生履修不可
	099344	GHS104	数学入門Ⅱ	2	春	辻 元		理工学部生・経済学科生履修不可
	099286	GHS105	現代数学A	2	春	中 島 俊 樹		[180名]
	099287	GHS106	現代数学B	2	秋	角 皆 宏		
	099345	GHS203	図形の世界	2	春	辻 元		理工学部生履修不可
	099346	GHS204	数の世界	2	秋	角 皆 宏		理工学部生履修不可
	099524	GHS107	現代物理学の世界A (ノーベル賞のインパクト)	2	春	星 野 正 光 黒 江 晴 彦		輪講, [200名]
	099525	GHS108	現代物理学の世界B (ノーベル賞とテクノロジー)	2	秋	星 野 正 光 黒 江 晴 彦		輪講, [200名]
	099128	GHS109	化学と生活Ⅰ－物質の理解－	2	春	南 部 伸 孝		[200名], 理工学部生履修不可
	099129	GHS110	化学と生活Ⅱ－身のまわりの化学－	2	秋	鈴 木 教 之 内 田 寛		輪講, [200名], 理工学部生履修不可
	099526	GHS112	化学と生活Ⅲ－環境と生命－	2	春	白 杵 豊 展 長 尾 宏 隆 橋 本 剛		輪講, [120名], 理工学部生履修不可
	099245	GHS111	自然科学史Ⅰ	2	春	*吉 田 幸 司		[250名]
	099246	GHS205	自然科学史Ⅱ	2	秋	*吉 田 幸 司		[250名]
	099542	GHS116	CHEMISTRY AND GOOD COOKING	2	春	Yu Chin Hui	○	海外招聘客員教員担当科目
	099457	GHS113	INTRODUCTION TO EDUCATION RESEARCH	2	春	丸 山 英 樹	○	[50名]
	099457	GHS113	INTRODUCTION TO EDUCATION RESEARCH	2	秋	丸 山 英 樹	○	[50名]
	099527	GHS207	留学準備講座	2	春	水 谷 裕 佳		[40名]
	099527	GHS207	留学準備講座	2	秋	水 谷 裕 佳		[40名]
	099412	GHS206	つくるⅠ (キャリア形成Ⅰ)	2	秋	コーディネーター 黒 江 晴 彦 高 富 和 夫 五 橋 理 恵 味 靖		輪講, [200名], 理工学部同窓会連携講座

◎共生と世界

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
全学共通科目〔選択科目〕	<b>&lt;地球環境系&gt;</b>							
	GSH10300	GCE102	野外活動と環境	2	春	師岡文男		[35名], 学外実習あり
	099414	GCE204	環境問題と科学技術	2	休講			[50名], 注7参照
	099459	GCE213	環境社会経営論	2	休講			輪講, 隔年開講, [110名]
	099186	GCE202	地球環境学 I	2	春	コーディネータ 井上直己		輪講, [180名], 三菱商事(株)連携講座
	099187	GCE203	地球環境学 II	2	秋	コーディネータ 鈴木政史		輪講, [180名], 三菱商事(株)連携講座
	099114	GCE205	地球環境と科学技術 I	2	春	コーディネータ 黄光偉		輪講, [180名], 三菱商事(株)連携講座
	099115	GCE206	地球環境と科学技術 II	2	秋	コーディネータ 鷺田豊明		輪講, [180名], 三菱商事(株)連携講座
	099714	GCE207	INTRODUCTION TO TRANS-DISCIPLINARY HUMAN DEVELOPMENT	2	春	コーディネータ 杉浦未希子	○	輪講, SAIMSプログラム科目, 注11参照
	099714	GCE207	INTRODUCTION TO TRANS-DISCIPLINARY HUMAN DEVELOPMENT	2	秋	コーディネータ 杉浦未希子	○	輪講, SAIMSプログラム科目, 注11参照
	099710	GCE208	CONSERVATION	2	春	杉浦未希子	○	[70名], SAIMSプログラム科目
	099710	GCE208	CONSERVATION	2	秋	杉浦未希子	○	[70名], SAIMSプログラム科目
	099716	GCE210	SUSTAINABLE DEVELOPMENT	2	春	杉浦未希子	○	[70名], SAIMSプログラム科目
	099716	GCE210	SUSTAINABLE DEVELOPMENT	2	秋	杉浦未希子	○	[70名], SAIMSプログラム科目
	<b>&lt;生命社会系&gt;</b>							
	099213	GCL101	入門毒物学	2	春	笹川展幸		[120名]
	099139	GCL110	我々をとりまく微生物の世界	2	休講			[100名]
	099289	GCL108	脳とホルモンの行動学	2	春	千葉篤彦		[100名]
	099290	GCL109	生命のしくみ-栄養・酵素・健康-	2	休講			[100名]
	099292	GCL111	発生生物学入門	2	春	安増茂樹		[150名]
	099322	GCL112	環境分子生物学入門	2	春	神澤信行		[150名]
	065025	GCL104	心理学 I A	2	春	*平尾元尚		[200名], 注12参照
	065026	GCL107	心理学 I B	2	秋	*平尾元尚		[200名], 注12参照
	099528	GCL102	心理学入門	2	春	*石井辰典		[300名], 注12参照
	099528	GCL102	心理学入門	2	春	*大谷保和		[200名], 注12参照
	099528	GCL102	心理学入門	2	休講			[200名], 注12参照
	099528	GCL102	心理学入門	2	秋	*大谷保和		[200名], 注12参照
	099419	GCL201	INTRODUCTION TO PSYCHOLOGY	2	秋	*駒井章治	○	[200名], 注12参照
	099415	GCL203	国際サービスラーニング論	2	春	伊藤高章		[60名]
	099415	GCL203	国際サービスラーニング論	2	秋	伊藤高章		[60名]
	099493	GCL208	赤十字と国際活動	2	秋	コーディネータ 山口淑恵		輪講, [105名], 日本赤十字連携講座
	099460	GCL207	問題解決の認知科学入門 -主体性をもって学ぶとは	2	春	*安西祐一郎		[100名]
099712	GCL205	ENVIRONMENTAL SCIENCE	2	春	杉浦未希子	○	[70名], SAIMSプログラム科目	
099712	GCL205	ENVIRONMENTAL SCIENCE	2	秋	杉浦未希子	○	[70名], SAIMSプログラム科目	

全学共通科目について

全学共通科目構成および履修上の規定

「必修」履修の注意

「情報」履修の注意

「英語」履修の注意

「選択」履修の注意

「履修」履修の注意

「開講」履修の注意

「開講」履修の注意

「開講」履修の注意

「開講」履修の注意

「開講」履修の注意

「開講」履修の注意

「開講」履修の注意

「開講」履修の注意

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
全学共通科目 〔選択科目〕	＜人権平和系＞							
	040001	GCR107	憲法	2	春	*吉川和宏		[300名], 神・文・総合人間・外国語学部対象, 法学部生履修不可
	040001	GCR107	憲法	2	秋	*玉巻弘光		経済・理工・国際教養学部対象, 法学部生履修不可
	040001	GCR107	憲法	2	秋	江藤祥平		[300名], 法学部生履修不可
	030531	GCR108	法律学	2	秋	永野仁美		[200名], 法学部生履修不可
	030403	GCR109	政治学	2	秋	加藤浩三		[100名], 法学部生履修不可
	099467	GCR113	国際政治史入門	2	春	宮城大蔵		[200名]
	031554	GCR105	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	春	廣里恭史	○	[100名]
	031553	GCR106	INTRODUCTION TO UNITED NATIONS	2	秋	植木安弘	○	
	099500	GCR114	オリンピック・パラリンピック概論	2	春	コーディネータ 師岡文男		輪講, [100名]
	099529	GCR101	パラリンピアンと考える障がい者スポーツと共生社会	2	春	コーディネータ 師岡文男		輪講, [100名], あいおいニッセイ同和損害保険(株) 連携講座
	099502	GCR115	共生する社会と身体・スポーツ	2	春	コーディネータ 島 健		輪講, [80名]
	099516	GCR117	共生社会創生論 -障がい者スポーツ・芸術を通じた共生社会の実現に向けて-	2	秋	コーディネータ 大塚 晃		輪講, [65名]
	099342	GCR203	グローバル・コンサーンと平和の促進	2	休講			輪講, 隔年開講, [100名]
	099461	GCR112	グローバル社会への招待	2	春	水谷裕佳		[120名], 注1参照
	099461	GCR112	グローバル社会への招待	2	秋	水谷裕佳		[120名], 注1参照
	099473	GCR111	INTRODUCTION TO CONFLICTS AND HUMAN SECURITY	2	春	東 大作	○	[120名]
	099473	GCR111	INTRODUCTION TO CONFLICTS AND HUMAN SECURITY	2	秋	東 大作	○	[120名]
	099505	GCR110	立場の心理学1: マジョリティの特権を考える	2	休講			[200名], 注1参照
	099505	GCR110	立場の心理学1: マジョリティの特権を考える	2	休講			[200名], 注1参照
	099506	GCR201	立場の心理学2: 特権の自覚と行動をつなぐ	2	休講			[50名], 注15参照
	099484	GCR242	現代国際情勢と日本外交	2	休講			[120名]
	099437	GCR215	アフリカにおける開発援助とビジネス展開	2	秋	コーディネータ 山崎瑛莉		輪講, [60名], 上級生優先, 豊田通商・アフリカ開発銀行連携講座
	099499	GCR218	アフリカと開発: 2030アジェンダと持続可能な社会づくり	2	秋	山崎瑛莉		[100名]
	099440	GCR216	APPROACHES TO INTERCULTURAL COMPETENCE	2	秋	CONSTANTINESCU Cezar	○	
	099443	GCR219	国際緊急人道支援と強靱な社会づくり	2	秋	コーディネータ 山崎瑛莉		輪講, [100名], 国際協力機構連携講座
	099350	GCR208	グローバル化と国際貢献	2	秋	コーディネータ 山崎瑛莉		輪講, [150名]
	099368	GCR209	国際協力概論 -日本による開発援助の潮流と仕組み-	2	春	コーディネータ 丸山英樹		輪講, [250名], 国際協力機構連携講座



履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考	
全学共通科目 〔選択科目〕	099447	GCR225	GLOBALIZATION AND ORGANIZATIONS	2	春	POLITO Michael	○	[35名]	
	099447	GCR225	GLOBALIZATION AND ORGANIZATIONS	2	秋	POLITO Michael	○	[35名]	
	099471	GCR238	INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 1	2	春	東 大 作	○	[100名]	
	099472	GCR239	INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 2	2	秋	東 大 作	○	[100名]	
	099470	GCR237	人間・環境開発論	2	春	丸 山 英 樹		[120名]	
	099470	GCR237	人間・環境開発論	2	秋	丸 山 英 樹		[120名]	
	099444	GCR220	開発教育：開発をめぐる課題を世界はどのように学ぶのか	2	春	山 崎 瑛 莉		[70名]	
	099474	GCR224	自主研究(グローバル課題研究)：人間の安全保障と平和構築	2	春	東 大 作		[110名]	
	099485	GCR241	国際開発コンサルティング	2	春	丸 山 英 樹		[120名]	
	099503	GCR217	国際開発金融機関入門1	2	春	*村 井 暁 子		[30名]，注1参照	
	099504	GCR228	国際開発金融機関入門2	2	休講			[30名]，注1参照	
	099530	GCR202	文化復興と民族：北米先住民の現在	2	春	水 谷 裕 佳		[40名]，注1参照	
	099531	GCR211	CULTURAL REVITALIZATION AND COMMUNITY BUILDING	2	秋	水 谷 裕 佳	○	[40名]	
	099532	GCR212	持続可能な開発目標 (SDGs) を学ぶ	2	秋	コーディネータ 東 大 作		輪講，[60名]	
	099533	GCR213	SCIENCE AND TECHNOLOGY AND INNOVATION IN LATIN AMERICA	2	春	BOTELHO Antonio	○	海外招聘客員教員担当科目	
	099534	GCR214	RENEWABLE ENERGY IN LATIN AMERICA	2	秋	BOTELHO Antonio	○	海外招聘客員教員担当科目	
	＜情報社会系＞								
		099149	GCI101	メディア・対話・レトリックⅠ	2	春	コーディネータ 浅 見 昇 吾		輪講，[300名]
		099150	GCI102	メディア・対話・レトリックⅡ	2	秋	コーディネータ 浅 見 昇 吾		輪講，[300名]
		099151	GCI201	メディア・対話・レトリックⅢ	2	春	コーディネータ 浅 見 昇 吾		輪講，[50名]，演習
		099487	GCI242	JAPANESE POP CULTURE	2	秋	NEVES Mauro	○	[50名]，LAP科目
		030601	GCI109	経済学	2	春	青 木 研		[250名]，経済学部生履修不可
		030601	GCI109	経済学	2	秋	蓬 田 守 弘		[250名]，経済学部生履修不可
		099541	GCI129	資本市場の役割と証券投資	2	春	コーディネータ 竹 内 明 香		輪講，[150名]，野村証券連携講座
		099494	GCI125	教養としての経済知識	2	秋	南 橋 尚 明		[100名]，経済学部生履修不可
		099495	GCI126	経済と環境	2	秋	堀 江 哲 也		[100名]，経済学部生履修不可
	099535	GCI107	INTRODUCTION TO STATISTICS	2	春	本 田 文 子	○	[85名]	
	099409	GCI122	経営学入門	2	春	*芦 田 尚 道		[300名]，経済学部生履修不可	
	099409	GCI122	経営学入門	2	春	*芦 田 尚 道		[300名]，経済学部生履修不可	
	099409	GCI122	経営学入門	2	秋	*関 承 基		[300名]，経済学部生履修不可	
	099409	GCI122	経営学入門	2	秋	*関 承 基		[300名]，経済学部生履修不可	

全学共通科目について  
 全学共通科目構成および履修上の規定  
 エルネストと身体  
 必修履修の注意  
 情報リテラシー  
 必修履修の注意  
 エルネスト教大留学  
 科目履修上の注意  
 「選択科目」履修上の注意  
 〔学年向け教養科目〕  
 必修履修上の注意  
 一開講科目表

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
全学共通科目 〔選択科目〕	099121	GCI105	簿記入門	2	休講			[200名], 経済学部生履修不可
	099122	GCI106	会計学入門	2	秋	西澤 茂		[300名], 経済学部生履修不可
	032702	GCI103	企業と社会	2	秋	竹之内 秀行		[150名], 経済学部生履修不可
	099120	GCI104	経営社会と人間の行動	2	春	細 萱 伸子		[150名], 経済学部生履修不可
	099380	GCI225	グローバル・ビジネスの現状と課題	2	秋	コーディネータ 竹之内 秀行 *長谷川 知子		輪講, 選抜あり, 経団連 連携講座, 注9参照
	099545	GCI250	企業経営論 (エアライン)	2	秋	コーディネータ 西澤 茂		輪講, [150名], ANAホールディ ングス株式会社連携講座
	099189	GCI112	社会学	2	春	*金崎 一郎		[350名], 神・文・総合人間 科学部対象
	099189	GCI112	社会学	2	春	*石田 健太郎		[200名]
	099189	GCI112	社会学	2	秋	*金崎 一郎		[350名], 法・経・外・理工学 部対象
	099107	GCI110	社会学A	2	春	藤村 正之		[200名]
	099194	GCI111	社会学B	2	秋	藤村 正之		[250名]
	099489	GCI237	メディアと情報の社会学	2	春	*松田 美佐		[100名]
	099512	GCI127	質問力を磨く	2	春	*松本 美奈		[50名], 読売新聞連携講座
	099513	GCI128	質問力で社会と向き合う	2	秋	*松本 美奈		[50名], 読売新聞連携講座
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	林 等		[86名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	山中 高夫		[66名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	澁谷 智治		[44名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	萬代 雅希		[66名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	一柳 満久		[60名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	久森 紀之		[86名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	山下 遥		[66名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	秋	小川 将克		[86名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	秋	藤井 麻美子		[86名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	秋	一柳 満久		[66名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	休講			情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	休講			情報理工学科履修不可, 注8参照
	003350	GCI115	情報リテラシー (一般・英語)	2	秋	ゴンサルバス タッド	○	[70名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003350	GCI115	情報リテラシー (一般・英語)	2	秋	荒井 隆行	○	[44名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003378	GCI116	情報リテラシー (情報検索)	2	春	田村 恭久		[110名]
	003378	GCI116	情報リテラシー (情報検索)	2	秋	田村 恭久		[86名]
	003330	GCI117	情報リテラシー (統計処理)	2	春	*宮田 庸一		[44名], 情報理工学科履修不可
	003330	GCI117	情報リテラシー (統計処理)	2	秋	野村 一郎		[86名]
	099403	GCI119	情報リテラシー (情報学)	2	春	川端 亮		[86名]
	099403	GCI119	情報リテラシー (情報学)	2	春	宮本 裕一郎		[86名]
	003340	GCI118	情報リテラシー (データの収集・分析・利用)	2	休講			
	003340	GCI118	情報リテラシー (データの収集・分析・利用)	2	秋	川端 亮		[110名]
	003361	GCI205	情報フルエンシー (プログラミング技法)	2	春	川端 亮		[70名]
	003361	GCI205	情報フルエンシー (プログラミング技法)	2	休講			
	003360	GCI204	情報フルエンシー (システム情報処理)	2	秋	川端 亮		[66名]

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
全学共通科目〔選択科目〕	003364	GCI211	情報フルエンシー (システムコンサルティング)	2	秋	田村 恭久		[110名]
	003369	GCI207	情報フルエンシー (情報科学と人間)	2	春	高岡 詠子		[86名]
	003371	GCI208	情報フルエンシー (マルチメディア表現方法)	2	春	荒井 隆行		[44名]
	003373	GCI215	情報フルエンシー (情報とネットワーク社会)	2	秋	萬代 雅希		[66名]
	003374	GCI209	情報フルエンシー (ITパスポート講座1)	2	休講			
	003375	GCI216	情報フルエンシー (ITパスポート講座2)	2	休講			
	099507	GCI247	情報フルエンシー (システム開発ハッカソン)	2	春	田村 恭久		[110名]
	099508	GCI248	情報フルエンシー (教育工学)	2	秋	田村 恭久		[110名]
	099396	GCI213	情報フルエンシー (Cプログラミング)	2	秋	伊呂原 隆		[66名], 理工学部生履修不可
	003379	GCI219	情報フルエンシー (ゲームプログラミング)	2	秋	田村 恭久		[86名]
	099477	GCI235	情報フルエンシー (Pythonによるアルゴリズムと問題解決の技法)	2	春	宮本 裕一郎		[86名]
	099478	GCI236	情報フルエンシー (ウェブ開発のためのJavaScriptプログラミング)	2	春	ゴンサルベス タッド		[70名], 情報理工学科生履修不可
	099395	GCI212	情報フルエンシー (HTMLとCSSを用いたWebページ作成技法)	2	秋	菊池 昭彦		[59名]
	099536	GCI202	情報フルエンシー (電気回路・電子回路)	2	春	林 等		[86名]
	099536	GCI202	情報フルエンシー (電気回路・電子回路)	2	秋	林 等		[86名]
	099124	GCI220	マルチメディア情報社会論	2	春	コーディネータ 音好 宏 矢入 郁子		輪講, [300名]
	099284	GCI221	情報化社会と情報倫理	2	春	*前野 譲二		[250名]
	099195	GCI222	情報と職業	2	秋	*坂本 明子		[130名]
	099190	GCI120	マス・コミュニケーション論 I	2	春	*賈 曦		[100名]
	099191	GCI223	マス・コミュニケーション論 II	2	秋	国枝 智樹		[60名]
	099348	GCI226	教養としてのインテリジェンス -国際情報リテラシーの課題と方法-	2	秋	コーディネータ 音好 宏 阿部 るり		輪講, [150名], 教育イノベーション・プログラム
	099369	GCI228	社会統計学 -国際的な統計データの解釈-	2	秋	*藤本 隆史		[25名]
	099514	GCI231	ビジネスデータ分析理論 (データサイエンス基礎)	2	秋	*大原 佳子		[100名], MRI連携講座, 注1参照, データサイエンスプログラム基礎科目
	099425	GCI232	データ活用と経営戦略 (データサイエンス基礎)	2	秋	*百瀬 公朗		[100名], MRI連携講座, データサイエンスプログラム基礎科目
	099480	GCI238	アナリティクスによる事業戦略 (データサイエンス応用)	2	春	*百瀬 公朗		[100名], MRI連携講座, 注13参照, データサイエンスプログラム応用科目
	099482	GCI243	ビジネスデータ分析実践 (データサイエンス応用)	2	春	*大原 佳子		夏期集中講義, [10名], MRI連携講座, 注14・16参照, データサイエンスプログラム応用科目
	099422	GCI229	グローバル・ベンチャー	2	秋	*高橋 透		[50名], 上級生優先
	099426	GCI233	グローバル企業のビジネス展開 -THE DYNAMICS OF A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-	2	秋	コーディネータ 鈴木 隆		輪講, [100名], 上級生優先, ボルボ・グループ連携講座

全学共通科目  
に  
つ  
い  
て

全学共通科目目  
構成  
の  
規  
定

エ  
ル  
ド  
と  
身  
体

情  
報  
テ  
ク  
ノ  
ロ  
ジ  
ー

モ  
ド  
ル  
ス  
ト  
教  
育  
学

「選  
択  
科  
目」  
上  
の  
注  
意

「高  
学  
年  
向  
け  
教  
育  
科  
目」  
上  
の  
注  
意

一  
開  
講  
科  
目  
表

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
全学共通科目 〔選択科目〕	099483	GCI240	グローバル金融証券市場分析	2	春	*引 間 雅 史		[100名], 注1参照
	099481	GCI239	グローバル共生社会における金融と投資	2	秋	*引 間 雅 史		[100名]
	099319	GCI224	現代の証券市場と上場会社	2	春	*杉 山 佳 子		[150名], 東証連携講座
	099510	GCI230	企業のグローバル人材とリーダーシップ	2	秋	コーディネータ 浦 元 義 照		輪講, [60名], ソフィア経 済人倶楽部連携講座
	099370	GCI121	キャリアディベロップメント	2	春	*松 本 久美子		[42名], 1年次生優先
	099370	GCI121	キャリアディベロップメント	2	春	*村 上 洋		[42名], 1年次生優先
	099370	GCI121	キャリアディベロップメント	2	春	*荒 木 勉		[50名], 1年次生優先
	099537	GCI203	キャリアディベロップメント 上級	2	秋	*松 本 久美子		[42名], 1年次生優先
	099515	GCI249	大転換期の日本企業 -持続可能な社会に向けて-	2	秋	日比谷 武		[60名]
	099538	GCI206	社会的価値創出のためのプ ロジェクト形成論	2	春	コーディネータ 山 崎 瑛 莉		輪講, [30名]
	099540	GCI214	グローバル企業のリスクと その対応	2	秋	コーディネータ 杉 浦 未希子		輪講, [100名], AON連携講 座

(注 1) 下記の科目は同一科目のため、どちらか一方しか卒業に必要な単位として認められない。

科目コード	現在開講している科目名	変更年度	科目コード	変更年度以前の科目名
099349	諸宗教における自然と人間	2011	099109	環境と人間
099416	技術の歴史	2014	063002	技術史・技術論
099451	東南アジア研究入門	2016	010821	東南アジア研究入門 I
099483	グローバル金融証券市場分析		467964	証券投資論 I
099461	グローバル社会への招待		099429	グローバリゼーション入門 1
			099430	グローバリゼーション入門 2
099503	国際開発金融機関入門1	2017	099441	国際開発金融機関の基礎
099504	国際開発金融機関入門2		099468	国際開発金融機関の応用
099505	立場の心理学1:マジョリティの特権を考える		099438	立場の心理学:マジョリティの特権を考える
099514	ビジネスデータ分析理論 (データサイエンス基礎)		099424	ビジネスデータ分析入門 (データサイエンス基礎)
099530	文化復興と民族: 北米先住民の現在	2018	099462	先住民研究 1
			099463	先住民研究 2

- (注 2) 「文章構成法 I～V」「国語表現 I～V」については、それぞれ 2 単位までしか卒業に必要な単位として認められない。  
ただし、国文学科の学生は、「文章構成法 I～V」「国語表現 I～V」については合計 2 単位までしか卒業に必要な単位として認められない。
- (注 3) 国文学科の学生は履修不可。ただし、交換留学生の履修については認める。
- (注 4) ☆印の科目は初回授業（第 1 回目）で受講者を決定するための抽選を行う。したがって、初回授業で抽選結果を確認してから履修登録を行うこと。  
授業内抽選で当選した場合には、初回授業の翌日から修正登録期間内に各自 Loyola で科目の登録を行うこと。落選した場合には登録ができない。当選した場合でも自動的に科目の登録は行われない。
- (注 5) 初回授業はガイダンスを実施するので第 3 体育場（体育館 2F）に平服で集合すること。
- (注 6) 同一種目（科目コードが同じ科目）の授業は、2 科目以上履修しても 1 科目しか卒業に必要な単位として認められない。
- (注 7) 「地球環境と科学技術 I」、「地球環境と科学技術 II」、「地球環境学 I」、「地球環境学 II」のうち少なくとも 1 科目を修得済みであることが望ましい。
- (注 8) 「情報リテラシー演習」「情報リテラシー（一般）※含む英語」は同一科目であるため、重複履修不可。
- (注 9) 受講にあたっては語学力と事前レポートで受講者選抜を行う。詳細は Loyola「グローバル教育センター掲示板」に掲載するので確認すること。
- (注 10) 「音楽の歴史 I」を修得済みであることが望ましい。
- (注 11) SAIMS プログラムを通じて ASEAN に留学を予定している学生は、留学前後の春学期か秋学期のいずれかに履修することが必要。
- (注 12) 「心理学入門」、「心理学概論（2017 年度まで開講）」、「心理学 IA（科目コード：065005, 065015, 065025）」、「心理学 IB（科目コード：065006, 065016, 065026）」、「INTRODUCTION TO PSYCHOLOGY」、「心理学（2014 年度まで開講）」については名称の異なる 2 科目（合計 4 単位）までしか卒業に必要な単位として認められない。
- (注 13) この科目は、「データ活用と経営戦略」または「ビジネスデータ分析入門（2016 年度まで開講）」および「ビジネスデータ分析理論」を履修済みの学生が優先的に履修可能。
- (注 14) この科目の履修にあたっては、「ビジネスデータ分析入門（2016 年度まで開講）」および「ビジネスデータ分析理論」を履修済みで、成績が B 以上であることが条件となる。
- (注 15) この科目の履修にあたっては、「立場の心理学：マジョリティの特権を考える（2016 年度まで開講）」および「立場の心理学 1：マジョリティの特権を考える」を履修済みであること。
- (注 16) 履修登録は春学期科目の履修登録期間に行う。詳しい日程・教室は Loyola「学事センター（教務）掲示板」を参照すること。

に  
全  
学  
共  
通  
科  
目  
と  
す  
る  
に  
関  
し  
て  
の  
注  
意  
事  
項

必  
修  
履  
修  
上  
の  
注  
意  
事  
項

情  
報  
リ  
テ  
ラ  
シー  
演  
習  
履  
修  
上  
の  
注  
意  
事  
項

モ  
リ  
ス  
ト  
大  
学  
の  
履  
修  
上  
の  
注  
意  
事  
項

選  
修  
上  
の  
注  
意  
事  
項

選  
修  
上  
の  
注  
意  
事  
項

選  
修  
上  
の  
注  
意  
事  
項

一  
開  
講  
科  
目  
表

●実践型プログラム科目 ※事前選抜あり（一部通常の履修登録の方法による）。詳細は、p.147～を参照すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
全学共通科目〔選択科目〕	N99308	GCL206	アフリカに学ぶ	2	春	山崎 瑛 莉		夏期集中講義
	N99308	GCL206	アフリカに学ぶ	2	休講			
	N99334	GCR116	ミクロネシア・エクスポートツアー	2	春	*佐藤 昭 治		夏期集中講義
	N99314	GCR204	AJCU-AP サービスマーケティング・プログラム	2	春	POLITO Michael		夏期集中講義
	N99309	GCR204	AJCU-AP サービスマーケティング・プログラム	4	休講			
	N99302	GCR205	GLP グローバルリーダーシップ・プログラム	2	春	POLITO Michael		夏期集中講義
	N99333	GCR206	カンボジア・サービスマーケティング・プログラム	2	春	未 定		夏期集中講義，注1参照
	N99335	GCR247	エストニア・スタディツアー： 持続可能な社会構築に向けた教育の可能性	2	春	丸山 英 樹		夏期集中講義
	N99336	GCR248	インドの社会経済・人間開発に学ぶ： 南インドのケララ州を事例に	2	春	デナカム ジョンジョセフ		[20名]，夏期集中講義，注3参照
	N99337	GCR249	国際公務員をめざして (実務型国連集中研修)	2	春	植木 安 弘		夏期集中講義
	N99305	GCR207	国連の役割と機能 (国連集中研修プログラム)	2	秋	植木 安 弘		春期集中講義
	N99307	GCR210	インド・サービスマーケティング・プログラム	4	秋	伊藤 高 章		春期集中講義
	N99319	GCR240	国連ユースボランティア実習	6	秋	水谷 裕 佳		秋学期派遣，注2参照
	N99320	GCR243	ペルー・スタディツアー 「往還する南米日系人」	2	秋	NEVES Mauro DIAS Nilta		春期集中講義，LAP科目
	N99331	GCR245	ワシントンD.C.・国際政治の現場を学ぶ	2	秋	*春原 剛		春期集中講義
	N99332	GCR246	メコン経済回廊スタディツアー： 肌で感じるASEAN共同体	2	秋	廣里 恭 史		春期集中講義
	N99338	GCR221	東アジアの諸問題とイエズス会教育 (上智・西江共同開講科目)	2	秋	AUGUSTINE Sali 具 正 謨		一部海外実習あり

(注1) 「カンボジア・エクスポートツアー（科目コード：N99303）」と同一科目のため，どちらか一方しか卒業に必要な単位として認められない。

(注2) 学期通じての派遣になるため，派遣される学期内の科目の履修は原則として不可。派遣が決定した時点で必ず学事センターに相談に来ること。

(注3) 履修登録は通常の履修登録期間に Loyola で行う。詳細はシラバスを確認のうえ履修登録を行うこと。

●インターンシップ科目 ※選抜あり。p.108～を参照すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
全学共通科目〔選択科目〕	N99317	GCR244	グローバルインターンシップ (短期)	2	春	コーディネータ 浦 元 義 照		夏期集中講義，2年生以上対象
	N99317	GCR244	グローバルインターンシップ (短期)	2	秋	コーディネータ 浦 元 義 照		春期集中講義，2年生以上対象
	N99313	GCI234	ボルボ・グループインターンシップ -A DOOR TO A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-	2	春	コーディネータ 鈴木 隆		夏期集中講義，ボルボ・グループ連携講座，2年生以上対象
	N99313	GCI234	ボルボ・グループインターンシップ -A DOOR TO A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-	2	休講			春期集中講義，ボルボ・グループ連携講座
	N99330	GCI244	経済同友会連携インターンシップ	2	春	日比谷 武		夏期集中講義，2年生以上対象
	N99330	GCI244	経済同友会連携インターンシップ	2	秋	日比谷 武		春期集中講義，2年生以上対象

## 全学共通科目〔選択科目〕高学年向け教養科目（14年次生以降）

※3・4年次で履修すること。（3年次で履修した方が望ましい。）

※総合人間科学部看護学科（2016年次生以前）、総合グローバル学部の学生は原則として履修できない。（履修できる科目については備考を参照すること。）

### ◎建学の理念

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考	
全学共通科目〔選択科目〕	高学年向け教養科目	＜ルーツと伝統＞							
		099724	GFI302	カトリック社会教説とキリスト教ヒューマニズム	2	秋	コーディネータ 瀬本正之		輪講，[90名]
		＜キリスト教精神＞							
		099723	GFC301	全人的和解への招きとしてのキリスト教ヒューマニズム	2	春	コーディネータ 瀬本正之		輪講，[90名]
		099759	GFC302	CATHOLIC SOCIAL THOUGHT AND THE CATHOLIC CHURCH TODAY	2	秋	POLITO Michael	○	[60名]

### ◎思索の基盤

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考	
全学共通科目〔選択科目〕	高学年向け教養科目	＜哲学＞							
		099768	GTP301	科学技術の哲学	2	春	杉尾一		[90名]
		＜倫理＞							
		099745	GTE305	応用倫理の世界	2	春	浅見昇吾		[90名]
		099745	GTE305	応用倫理の世界	2	休講			[90名]
		077902	GTE302	グローバル化の倫理学	2	休講			[90名]
		099701	GTE301	ケアの臨床哲学	2	秋	コーディネータ 寺田俊郎		輪講，[90名]
		099729	GTE304	生命倫理の諸問題と現代社会	2	春	コーディネータ 浅見昇吾		夏期集中講義，輪講，[90名]，注2参照
		099769	GTE303	INSTRUMENTAL VALUE OF HOPE IN BUSINESS AND ECONOMY	2	秋	ROBOUAM Thierry	○	[90名]，注4参照
		099743	GTE306	科学技術の倫理	2	春	*小出泰士		[90名]
		099743	GTE306	科学技術の倫理	2	秋	*小出泰士		[90名]
		＜宗教＞							
		099746	GTR304	宗教思想の構造	2	春	鎌田東二		[90名]
		099749	GTR305	聖地の比較宗教学	2	秋	鎌田東二		[90名]
		099727	GTR302	東西宗教芸術の伝統と今日的な宗教的靈性	2	春	コーディネータ 長町裕司		輪講，[90名]
		099726	GTR301	宗教思想の伝統と現代	2	秋	コーディネータ 長町裕司		輪講，[90名]
		099728	GTR303	宗教的人間論	2	秋	佐藤直子		[90名]

に全学共通科目について  
全学共通科目構成および履修上の規定  
必修履修の注意  
情報リテラシー履修の注意  
「選択科目」履修上の注意  
「高学年向け教養科目」履修上の注意  
一開講科目表

◎人間と文化

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
全学共通科目〔選択科目〕 高学年向け教養科目	＜言語文化系＞							
	099770	GHL302	アメリカ小説と村上春樹	2	春	山口和彦		[90名]
	099755	GHL301	MUSICAL THEATRE AND MIDDLEBROW CULTURE	2	秋	新井潤美	○	[90名]
	＜歴史文化系＞							
	099761	GHH301	4大陸に広がるボルトガル語圏社会で生きる・働く	2	秋	コーディネータ 子安昭子		輪講, [90名]
	099762	GHH302	環境史ケーススタディ:北米地域	2	休講			[90名]
	099771	GHH303	イスパニア語圏で暮らす・働く・活動する	2	秋	コーディネータ 谷洋之		輪講, [90名]
	＜基礎科学系＞							
	099785	GHS304	持続可能な社会に向けたものづくり:自動車技術	2	秋	高井健一 申鉄龍 一柳満久		輪講, [90名]
	099760	GHS305	ものづくり企業論 -グローバル企業の実例に学ぶ-	2	春	*村上洋		[90名]
	099760	GHS305	ものづくり企業論 -グローバル企業の実例に学ぶ-	2	秋	*村上洋		[90名]
	099748	GHS303	キャリア形成論	2	春	コーディネータ 高尾智明		輪講, [90名]
	099748	GHS303	キャリア形成論	2	秋	コーディネータ 高尾智明		輪講, [90名]
	099703	GHS301	つくるⅡ (キャリア形成Ⅱ)	2	秋	竹原昭一郎 星野正光 曹文静		[90名], 同時担当, 理工学部同窓会連携講座
	099763	GHS306	キャリアワークショップ 「問題解決のための思考法」	2	春	*宇野・岡野・松村・鈴木		輪講, [30名], 大和総研連携講座, 注3参照, Aグループ
	099763	GHS306	キャリアワークショップ 「問題解決のための思考法」	2	春	*宇野・岡野・松村・鈴木		輪講, [30名], 大和総研連携講座, 注3参照, Bグループ
	099763	GHS306	キャリアワークショップ 「問題解決のための思考法」	2	秋	*宇野・岡野・松村・鈴木		輪講, [30名], 大和総研連携講座, 注3参照, Aグループ
	099763	GHS306	キャリアワークショップ 「問題解決のための思考法」	2	秋	*宇野・岡野・松村・鈴木		輪講, [30名], 大和総研連携講座, 注3参照, Bグループ
	099730	GHS302	先端工業化学と地球環境科学	2	秋	コーディネータ 木川田喜一		輪講, [90名]
	099772	GHS307	社会の中の数学	2	秋	コーディネータ 平田均		輪講, [90名], 理工学部生履修不可



◎共生と世界

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考	
全学共通科目〔選択科目〕	高学年向け教養科目	<b>&lt;生命社会系&gt;</b>							
		099721	GCL302	脳と心理学	2	休講			隔年開講, [90名]
		099720	GCL303	アートと心理学	2	春	藤山 直樹 他		輪講, 夏期集中講義, 隔年開講, [100名], 注2参照
		099773	GCL301	出産と子育てに関する情報と意思決定	2	秋	島田 真理恵 磯山 あけみ 稲田 千晴		輪講, [90名]
		099774	GCL304	ヒューマンケアサイエンス	2	春	コーディネータ 笹川 展 幸 新倉 貴 子 久森 紀 之		輪講, [120名]
		099781	GCL305	現代社会と福祉的課題	2	春	コーディネータ 伊藤 富士江		輪講, 夏期集中講義, [90名], 注2参照
		099782	GCL306	医療における対人関係	1	春	久田 満		春学期集中講義, 目白聖母キャンパスで実施, 注1・2参照
		<b>&lt;人権平和系&gt;</b>							
		099731	GCR303	法律実務への招待	2	春	コーディネータ 森下 哲 朗		輪講, [90名]
		099722	GCR302	ジェンダーと法	2	春	コーディネータ 三浦 ま り		輪講, [90名]
		099732	GCR304	現代日本の国際関係	2	春	樋渡 由 美		[90名]
		099734	GCR305	現代日本の安全保障	2	秋	樋渡 由 美		[90名]
		099775	GCR315	多文化共生社会におけるESD・市民教育	2	秋	コーディネータ 奈須 正 裕		輪講, [90名]
		099758	GCR313	グローバル化と人権	2	秋	上野 俊 彦		[90名]
		099707	GCR301	マイノリティとグローバル社会	2	秋	水谷 裕 佳		[90名]
		099776	GCR316	地理的境界と人々の暮らし	2	春	水谷 裕 佳		[90名]
		099741	GCR311	MIGRATION AND CO-EXISTENCE 1: TRADE AND INEQUALITY	2	春	伊藤 毅	○	[100名], 注1参照, LAP科目
		099742	GCR312	MIGRATION AND CO-EXISTENCE 2: MIGRATION AND DEVELOPMENT	2	秋	コーディネータ 浦元 義 照	○	輪講, [100名], 注1参照, LAP科目
		099740	GCR307	国際比較教育学	2	秋	丸山 英 樹		[125名]
		099740	GCR307	国際比較教育学	2	秋	丸山 英 樹		[125名]
		099486	GCR310	国際関係と日本の政治外交	2	春	*佐藤 昭 治		[40名]
		099486	GCR310	国際関係と日本の政治外交	2	秋	*佐藤 昭 治		[40名]
		099735	GCR308	平和構築とメディア	2	春	東 大 作		[100名]
		099735	GCR308	平和構築とメディア	2	秋	東 大 作		[100名]
		<b>&lt;情報社会系&gt;</b>							
		099765	GCI308	総合的戦略論の展開	2	秋	コーディネータ 音好 宏 り 阿部 順		輪講, [90名], 教育イノベーション・プログラム
		099750	GCI304	社会学のフロンティア	2	秋	今井 順 猿谷 弘 江 植田 今日子		輪講, [90名]
		099783	GCI316	現代日本の生活変容	1	秋	藤村 正 之		秋学期集中講義, 目白聖母キャンパスで実施, 注1・2参照
		099777	GCI311	グローバル経済と地域	2	春	コーディネータ MONFORT Brieuc		輪講, [90名]

全学共通科目について  
 全学共通科目構成および履修上の規定  
 エルサレムと身体  
 情報リテラシー  
 留学生と教員  
 「選択科目」の注意  
 「高学年向け教養科目」の注意  
 開講科目表

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考	
全学共通科目〔選択科目〕	高学年向け教養科目	099704	GCI301	開発経済学	2	春	高橋 和志		[90名]
		099756	GCI305	新たな価値創出のために： 日本企業のイノベーションへの取り組み	2	春	コーディネータ 中里 透		輪講, [150名], (一財) 経済広報センター連携講座
		099736	GCI302	グローバル・ビジネスの フロンティア	2	春	コーディネータ 小 阪 玄次郎 *長谷川 知子		輪講, 春学期集中講義, 経団 連携講座, 注1・2・5参照
		099784	GCI315	HOSPITALITY BUSINESS IN ASIA	2	秋	*WANG Denis	○	秋学期集中講義, 注1・2参照
		099757	GCI306	大学マネジメント	2	秋	コーディネータ 杉 本 徹 雄		輪講, [90名], 注1参照
		099767	GCI310	ロジスティクス	2	秋	*荒 木 勉		[90名], ヤマトグループ総 合研究所・CRE連携講座
		099752	GCI307	現代社会における情報	2	春	コーディネータ 川 端 亮		輪講, [90名], 理工学部生 履修不可
		099778	GCI312	キャリアデザイン演習	2	春	*鈴木 美 伸		[30名]
		099778	GCI312	キャリアデザイン演習	2	秋	*鈴木 美 伸		[30名]
		099779	GCI313	キャリアデザイン演習1 (外国人留学生対象)	2	春	*窪 田 英 樹		
099780	GCI314	キャリアデザイン演習2 (外国人留学生対象)	2	秋	*窪 田 英 樹				

(注1) 総合グローバル学部生・看護学科生(16年次生以前)および13年次以前の学生も履修できるが、卒業要件とはならない。

(注2) 履修登録は通常の春学期および秋学期科目の履修登録期間に行う。講義の詳しい日程・教室はLoyola「学事センター(教務)掲示板」を参照すること。

(注3) 「キャリアワークショップ「問題解決のための思考法」と「ケースディスカッション「キャリアと組織」」(総合グローバル学部開講)は同一内容科目のため、どちらか一方しか卒業に必要な単位として認められない。

(注4) 国際教養学部および理工英語コース以外の学生が履修する場合は、語学要件あり。そのため、Loyolaでは登録できず、国際教養学部開講科目と同様の手続きで登録を行う。詳細はp.32参照。

なお、国際教養学部および理工英語コースの学生に関しては通常の抽選科目の登録方法でエントリーを行うこと。

(注5) 募集時期・選抜方法等の詳細はLoyola「グローバル教育センター掲示板」に掲載するので確認すること。

### ●インターンシップ科目 ※選抜あり。p.108～を参照すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考	
全学共通科目〔選択科目〕	高学年向け教養科目	N99318	GCR309	グローバルインターンシップ (短期・高学年)	2	春	コーディネータ 浦 元 義 照		夏期集中講義
		N99318	GCR309	グローバルインターンシップ (短期・高学年)	2	秋	コーディネータ 浦 元 義 照		春期集中講義
		N99315	GCR306	グローバルインターンシップ (長期)	6	春	コーディネータ 小 松 太 郎		春学期派遣, 注1・2参照
		N99315	GCR306	グローバルインターンシップ (長期)	6	秋	コーディネータ 小 松 太 郎		秋学期派遣, 注1・2参照
		N99316	GCI303	ボルボ・グループインターンシップ -A DOOR TO A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-(高学年)	2	春	コーディネータ 鈴 木 隆		夏期集中講義, ボルボ・グ ループ連携講座
		N99316	GCI303	ボルボ・グループインターンシップ -A DOOR TO A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-(高学年)	2	休講			春期集中講義, ボルボ・グ ループ連携講座

(注1) 学期通じての派遣になるため、他の科目の履修に関しては派遣先により異なる。詳細は必ずインターンシップの説明会に参加すること。なお、インターンシップの参加のために授業を欠席することは認められないので、履修計画とインターンシップの日程が重ならないよう注意すること。

(注2) 総合グローバル学部生・看護学科生(16年次生以前)および13年次以前の学生は参加できるが、卒業要件とはならない。

# 4 グローバル教育センター

グローバル教育センターについて

インターンシップ科目

グローバル・コンピテンシー・プログラム

データサイエンスプログラム

海外短期研修

実践型プログラム

SUMMER SESSION IN EAST ASIAN STUDIES AND JAPANESE LANGUAGE

グローバル教育  
センターについて

インターン  
シップ  
科目

グローバル  
コンピテン  
シー  
プログラム

データサイ  
エンス  
プログラム

海外  
短期  
研修

実践  
型  
プログラム

Summer  
Session  
in  
East  
Asian  
Studies  
and  
Japanese  
Language

---

# グローバル教育センターについて

---

グローバル教育センターは、全学生を対象に、グローバル社会に対応する多様な科目や海外勉学の機会を提供しています。グローバル社会で活躍するためには、高度な専門性、外国語運用能力だけでなく、幅広く高度な教養の修得が欠かせません。

グローバル教育センターが実施する科目やプログラムは、主に以下のように分類されます。これからグローバル化が加速する社会に生きていく皆さんには、これらの機会を大いに活用してほしいと願っています。

## ① 講義科目（全学共通科目）

国際関係、国際協力、教育、ビジネス、メディア、環境など、幅広い分野で講義科目を開講しています。高度な教養を身に付けるだけでなく、自分の専門分野の学習をさらに深めるため、あるいは学際的な学びへと発展させるために、積極的な履修を期待しています。2018年度、当センターは約100科目の全学共通科目を開講しますが、そのうち約30科目が英語による科目です。履修に際し必要となる英語力のレベルは、科目によって異なりますが、英語力向上や留学準備、留学後や卒業後のキャリア検討のため、英語科目にもチャレンジしてみてください。

## ② インターンシップ科目（全学共通科目）

本学と協定を結んだ企業、国際機関、団体などでインターンシップ（就業体験）をすることで全学共通科目の単位が付与されます。インターンシップは、夏期・春期休業中に2～6週間実施する短期型と、学期中に3～5ヵ月間で実施をする長期型があります。【p.108～を参照】

## ③ グローバル・コンピテンシー・プログラム（13年次生以降対象・学部横断型プログラム）

「国際協力」、「グローバル・ビジネス」、「グローバル・メディア」、「グローバル・アクション」の4コースがあり、グローバル化対応能力を養うための実践的で高度な教養教育プログラムです。【p.110～を参照】

## ④ データサイエンスプログラム（全学共通科目）

グローバル社会で必要な素養であるデータ分析力や情報活用力を身に付けることを目指すプログラムです。【p.145～を参照】

## ⑤ 海外短期語学講座

夏期・春期休業中の3～5週間、本学の交換留学協定校等が主催する語学プログラムに参加します。所定の成果を修めた者には、当該言語科目の単位が付与されます。言語教育研究センター開講科目ですが、グローバル教育センターがプログラムを運営しています。【p.206～を参照】※

## ⑥ 海外短期研修

夏期・春期休業中の2～6週間、本学の交換留学協定校等で実施される短期プログラムに参加し、外国語で専門科目を学びます。認定・単位数はプログラムにより異なります。本研修参加のためには一定の語学能力が求められており、語学能力を活用しながら集中的に専門科目を学びたい学生に向いています。【p.146～を参照】※

## ⑦ 実践型プログラム

主に夏期・春期休業中に、海外でのボランティア、体験学習などの現地研修を含むプログラムに参加し、単位を取得するプログラムです。【p.147～を参照】※

⑧ Sophia AIMS (SAIMS) プログラム

本学の提携大学である ASEAN 諸国 4 カ国の 7 大学との交換留学プログラムで、各大学が提供する様々な分野を 1 学期間、英語で学ぶことができます。また、ASEAN からの留学生と共に、SAIMS プログラム科目を履修します。【p.149 を参照】※

⑨ Sophia-Nanzan Latin America Program (LAP)

本学が南山大学及び上智大学短期大学部と連携して実施する中南米 6 カ国 13 大学への交換留学プログラムです。相手国の言語や文化の修得のみならず、インターンシップやサービスマーケティング、短期プログラムなどによる多層的な学生交流プログラムです。【p.149 を参照】※

⑩ 交換留学

本学が協定を結んでいる交換留学協定校 (55 カ国 278 校 : 2018 年 3 月現在) へ 1 学期～1 年間留学するプログラムです。※

⑪ Summer Session in East Asian Studies and Japanese Language

6 月と 7 月に海外の大学生等を対象に日本およびアジアの社会、政治、経済、芸術、言語に関わる講義を英語で提供する 4 週間のサマーセッションを開講しています。留学生向けのプログラムですが、定員に空きがある科目については本学の学生も履修可能です。【p. 150 を参照】

※⑤～⑩のプログラム詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」も参照してください。

# インターンシップ科目

本学と協定を結んだ実習先（グローバル企業、国際機関の日本代表部、国際協力団体、報道機関など）でインターンシップ（就業体験）をし、事前・事後の講義受講や課題提出を行うことで全学共通科目（選択科目）の単位が付与されます。就業・実務経験を通じて、大学で学んだ専門知識や技能をグローバル社会の中でどのように活かすのか、あるいは自分が残りの大学生活で何を学ぶべきか、といった気づきを得るため、主体的に学ぶ姿勢が求められる科目です。

インターンシップ科目の履修にあたっては、別途説明会・選抜を行います。説明会・募集情報は、Loyolaの「グローバル教育センター（インターンシップ科目）」掲示板で発表します。最新の情報はグローバル教育センター窓口（2号館2階）で確認してください。

## 1. 科目の種類と実習先一覧

科目名（単位数）	学期（実習期間）	予定実習先（年度・学期により募集がない場合あり）※は海外での実習	
経済同友会連携 インターンシップ （2単位） 【対象学年：2年生】	春学期 （8・9月 2～4週間） 秋学期 （2・3月 2～4週間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オイシックスドット大地</li> <li>・花王</li> <li>・コニカミノルタ</li> <li>・住友生命保険</li> <li>・住友林業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本空輸※</li> <li>・第一生命保険</li> <li>・日本航空</li> <li>・野村證券</li> <li>・パナソニックグループ</li> <li>・富士ゼロックス</li> <li>・みずほ証券</li> <li>・三井住友銀行</li> <li>・リコー</li> </ul>
グローバル インターンシップ （短期） （2単位）	春学期 （8・9月 2～6週間） 秋学期 （2・3月 2～6週間） 【対象学年：2年生以上】	グローバルビジネス分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオン</li> <li>・エーオンホールディングスジャパン</li> <li>・SBIホールディングス（上海／北京／シンガポール）※</li> <li>・オンワード樺山</li> <li>・ニチレイ</li> <li>・日本アイ・ビー・エム</li> <li>・富士ゼロックス上海 / シンガポール※</li> <li>・三菱商事</li> </ul>
		国際協力分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ開発銀行（AFDB）</li> <li>・国際協力機構（JICA）</li> <li>・国際協力推進協会（APIC）</li> <li>・国際通貨研究所</li> <li>・国連開発計画（UNDP）</li> <li>・国連食糧農業機関（FAO）</li> <li>・国連人口基金（UNFPA）</li> <li>・国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）</li> <li>・南洋貿易</li> <li>・三菱商事 ※カンボジア</li> <li>・Rehabilitation International N.Y.※</li> </ul>
		グローバル・メディア分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同通信社 ニューヨーク支局 / ワシントン支局※</li> <li>・トムソンロイター ニューヨーク※</li> <li>・日本経済新聞社</li> <li>・フォーリン・プレスセンター</li> <li>・読売新聞社 ロンドン支局※</li> </ul>
		グローバル・ポリティクス分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在日ブルキナファソ大使館</li> <li>・日米研究インスティテュート</li> <li>・ワシントンD.C.本部※</li> </ul>
ボルボ・グループ インターンシップ （2単位） -A Door to a World Leader in Sustainable Transport Solutions-	春学期 （8・9月 3～4週間） 【対象学年：2年生以上】	ボルボ・グループ UDトラックス	
グローバル インターンシップ （長期） （6単位）	春学期・秋学期 （3～5ヶ月） 【対象学年：3年生以上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・智利三菱商事※</li> <li>・ボルボグループ（スウェーデン、米国、フランス、インド等）※</li> <li>・日本国際ボランティアセンター</li> <li>・日本貿易振興機構（JETRO）</li> <li>・日本ユネスコ協会連盟</li> </ul>	

## 2. 履修にあたっての注意事項

- ・実習先により、実施時期、対象学年、申込要件が異なります。詳細は、Loyolaの「グローバル教育センター（インターンシップ科目）」掲示板に掲載される「履修申込要項」を十分に確認してください。
- ・インターンシップ科目は選抜によって履修者を決定し、通常の履修登録期間とは異なる時期に履修登録を行います。派遣が決定した時点で、該当学期及びその後の履修について、必ず学事センターに相談してください。
- ・実習先によっては、前年度、もしくは前の学期に募集・選抜を実施します。募集情報は、Loyolaの「グローバル教育センター（インターンシップ科目）」掲示板に掲載しますので、早めに確認するようにしてください。
- ・成績評価は、“P”（合格）もしくは“X”（不合格）のいずれかとなります。“P”、“X”で表記される成績については、GPAの計算に含まれません。
- ・「インターンシップ科目」は、履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。
- ・「インターンシップ科目」履修学期をもって卒業見込の学生は、参加は可能ですが単位は付与されません。
- ・国際教養学部の学生は参加するインターンシップ科目の単位数分の学費がかかります。学費の請求は履修登録の処理が終わってからになります。

# グローバル・コンピテンシー・プログラム

## 1. グローバル・コンピテンシー・プログラムとは

本プログラムは、自身の利益のためではなく、地球的な視野に立ち、世界の平和、人権擁護など、弱者への想いを常に心がける「他者のために、他者とともに」という本学の教育理念を体現する社会のリーダーを数多く輩出することを目的としている。高度な外国語能力とコミュニケーション能力を備え、幅広い人間性と高い倫理感に裏打ちされたグローバル・コンピテンシー＝グローバル化対応能力を発揮するための実践的、実務的な教養教育プログラムである。学科科目で専門性を身につけながら、さらに高度な教養教育プログラムを求める者を対象とする。

## 2. 4つの開設コース

「国際協力」、「グローバル・ビジネス」、「グローバル・メディア」、「グローバル・アクション」の4コース。

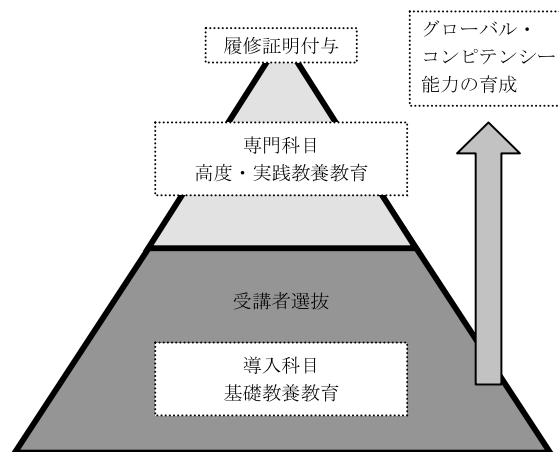
全学共通科目、学科科目から各プログラムで指定された科目を履修し、所定の単位を修得すれば、そのコースの履修証明を取得することができる。

## 3. 受講対象者

2013年度以降に1年次として入学した学生が対象。

\*本プログラム参加希望者は、原則として申込時までに導入科目を履修し、修得することが必要である。

## 4. プログラム履修イメージ



## 5. 受講者申込・選抜（2017年次生以降と2016年次生以前の学生で異なる）

### (1) 申込条件

- ①各コースが定める指定の導入科目を履修済（もしくは履修中）であること \*注1
- ②申込時に全科目のGPAが、各コースが定める基準値以上であること \*注2
- ③申込時に各コースが定める必要な外国語要件を満たしていること

\*注1 指定科目未履修の場合でも、申込を認める場合がある。例外要件は各コースの申込条件を参照のこと。なお、学科必修科目との時間割重複など、申込までに導入科目の履修が難しい場合は個別にグローバル教育センターGCP担当に申し出て相談すること。

\*注2 プログラムの具体的な基準値、語学要件については各コースの概要参照。

### (2) 申込時期（11月以降を予定）

17年次生以降：1年次秋学期

16年次生以前：2年次秋学期



### (3) 申込に必要な書類

- ① プログラム履修願（所定フォーム）
- ② 各コースの志望動機エッセイ（字数制限あり）
- ③ 最新の成績通知書（GPAが記載されたもの）
- ④ 語学能力を証明する書類（スコアについてはコピーでも可）

### (4) 選抜方法

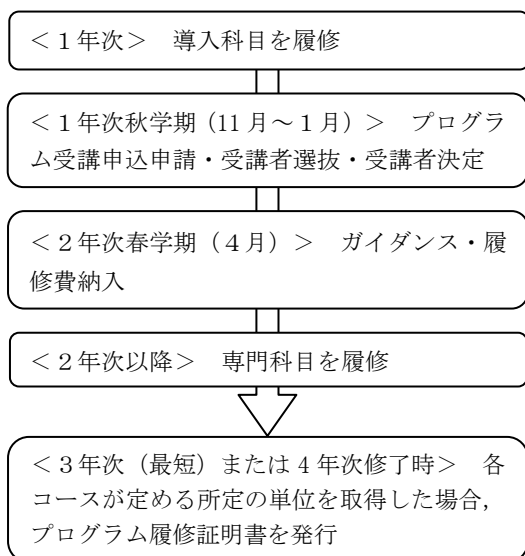
- ① 書類審査（エッセイ含む）
- ② 面接（各コースコーディネーター教員などによる面接を行う場合もある）

### (5) 受講手続きについて

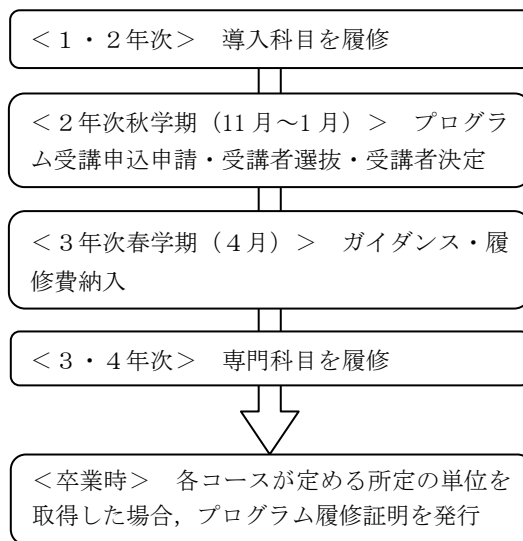
正式にプログラム受講が確定した後、プログラム履修費として、24,000円を納入すること。

## 6. プログラム履修の流れ

### 17年次生以降



### 16年次生以前



## 7. プログラム受講・履修上の注意

- ・専門科目のうち、オリジナル科目（GCP生のみが履修可能な科目）については卒業に必要な単位とはならないので注意すること。各コースのオリジナル科目については各コース概要参照。
- ・専門科目のうちオリジナル科目については、プログラム受講者全員の学科必修科目等との時間割重複を避けるため、6限や土曜日、休業中の集中講義などの時間帯で実施する場合があるので注意すること。
- ・導入科目の中には抽選科目も含まれるが、プログラム受講希望者が優先的に当選するわけではないので、この点も注意して履修計画を立てること。
- ・国際教養学部開講科目を履修するためには、別途語学要件が定められている。詳細はp.32を参照のこと。
- ・1人で複数のコース受講はできない。
- ・各コースの実践活動（インターンシップ、ボランティア等）に伴う各種経費（交通費、遠方・国外の場合に発生する期間中滞在費など）については、すべて自己負担となる。
- ・プログラムの履修中に所属学科の卒業要件を満たした場合は、卒業となる。プログラム履修のために在学継続をすることはできないので、特に途中で留学を検討している場合は履修計画を綿密にたてること。
- ・いったん納入したプログラム履修費は、いかなる理由があっても返金しないので注意すること。
- ・国際教養学部生は、オリジナル科目のみ付与単位分の授業料が免除される。
- ・秋入学の学生は3セメスター目に申込可能。（プログラム修了は最短で7セメスター終了時）

## 8. プログラム最新情報

履修願フォーム、プログラムの最新情報などについては、Loyola「グローバル教育センター（グローバル・コンピテンシー・プログラム）掲示板」で通知するので、受講を考えている学生はこまめに確認すること。

## 17年次生以降

### 「国際協力」コース

#### 1. コースの目的

今日の国際社会には、開発、人権、環境をはじめとする地球規模課題（Global Agenda）が山積している。こうした諸課題を解決するためには国境を越えた国際協力が不可欠であり、各国の政府機関・援助機関に加えて国際機関や国際NGOなどが果たす役割の重要性は、今後ますます高まっていく。そこで、これらの国際協力関連機関でのキャリアを目指す学生たちに対して、これからの時代の国際協力の専門家に求められる基礎的な知識・技能・経験を身につける機会を提供することが、本コースの目的である。

#### 2. コースコーディネーター

総合人間科学部教育学科教授 小松 太郎

#### 3. コース概要

「国際協力」コース修了に必要な合計科目・単位数は10科目・20単位以上です。

#### ◆ 導入科目（1年次）

	科目内容
2科目：4単位	<p>* 選択必修：2科目 (特に※の科目を履修すること)</p> <p>国際協力について、その基本的仕組みや課題について学ぶ。</p>

		科目名	単 位	開講元
導入科目	選択必修	※グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
		※国際協力概論-日本による開発援助の潮流と仕組み-	2	全学共通科目
		※教養としてのインテリジェンス-国際情報リテラシーの課題と方法-	2	全学共通科目
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS	4	国際教養学部
		国際政治史入門	2	全学共通科目
		国際政治学	4	法学部
		INTRODUCTION TO UNITED NATIONS	2	全学共通科目
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
		平和学	2	神学部
		南アジア研究入門	2	全学共通科目
		中東イスラーム研究入門 I	2	全学共通科目
		東南アジア研究入門	2	全学共通科目
		アフリカ研究入門	2	全学共通科目
		ロシア・ユーラシアの国際関係 B	2	外国語学部 (ロシア語学科)

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆ 専門科目（2年次以降）

	科目内容
(1) 基礎理論科目 (講義による知識・ 方法論の習得) 2科目：4単位	* 必修科目：1科目 * 選択科目：1科目  国際協力に携わるうえで必要となる基礎的知識（政治，経済，法律，国際関係等）および国際協力の分析方法を身につける。
(2) 実践科目 (ケーススタディ) 3科目：6単位	* 必修科目：1科目 * 選択科目：2科目  国際協力に関するケーススタディを通じ，国際協力活動の具体的な実践課程と課題を複眼的な視点から分析する力を養う。
(3) 実務スキル科目 (基礎的技能の習得と 向上) 3科目：6単位	* 必修科目：1科目 * 選択科目：2科目  国際協力の実践活動に必要な基礎的技能を取得する。
(4) 国際協力業務・ フィールド体験	* インターンシップ，ボランティア，スタディーツアー等  実践活動を通じて，国際協力の業務や途上国フィールド体験することが推奨される。
*国際キャリアセミナー	* 2年春休みに実施予定。必ず参加すること。  将来的に国際協力に従事することを念頭に，国際協力を仕事とすることの意味や課題，ならびにキャリアパスを考える。

グローバル教育  
センターについて

科目  
インターンシップ

グローバル  
プログラム

グローバル  
サイエンス  
プログラム

海外  
短期  
研修

実践  
プログラム  
型

国際  
キャリア  
パス

		科目名	単 位	開講元	
専 門 科 目	基 礎 理 論 科 目	必修	国際協力基礎理論	2	グローバル教育センター
		選 択	保健統計学	2	看護学科
			教育学特殊講義Ⅲ -SOCIOLOGICAL PERSPECTIVES ON EDUCATION AND INTERNATIONAL DEVELOPMENT-	2	教育学科
			アジア開発経済論	2	経済学科
			国際経済学 1	2	総合グローバル学部
			国際経済学 2	2	総合グローバル学部
			国連研究 1	2	総合グローバル学部
			国連研究 2	2	総合グローバル学部
			特講（国際機構）A	2	総合グローバル学部
			国連の役割と機能（国連集中研修）	2	全学共通科目
			国際法各論	2	法学部
			国際紛争処理法	2	法学部
			地理的境界と人々の暮らし	2	全学共通科目
		実 践 科 目	必修	国際協力事例研究	2
	選 択		市民が関わる国際協力	2	外国語学部
			市民社会・国際協力論概説	2	外国語学部
			国際看護学概論	2	看護学科
			国際教育開発論 1	2	総合グローバル学部
			国際教育開発論 2	2	総合グローバル学部
			アジアの環境と開発	2	総合グローバル学部
			ブラジル社会開発協力	2	外国語学部 (ポルトガル語学科)
	実 務 ス キ ル 科 目	必修	国際協力プロジェクト・マネジメント	2	グローバル教育センター
		選 択	統計学 1	2	総合グローバル学部
			統計学 2	2	総合グローバル学部
			社会統計学-国際的な統計データの解釈-	2	全学共通科目
			実践英語ライティング-PRACTICAL ENGLISH WRITING-	2	全学共通科目
			教育調査研究法演習 -教育情報処理-	2	教育学科
			INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2	言語教育研究センター (語学科目)
			INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2	言語教育研究センター (語学科目)
			ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1	言語教育研究センター (語学科目)
	ACADEMIC WRITING	1	言語教育研究センター (語学科目)		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

#### 4. 「国際協力」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP20030	GCP201	国際協力基礎理論	2	春	*菅原 鈴香		GCP (国際協力) 履修者のみ受講可
	GCP30010	GCP301	国際協力事例研究	2	秋	小松 太郎	○	GCP (国際協力) 履修者のみ受講可
	GCP30020	GCP302	国際協力プロジェクト・マネジメント	2	春	*杉山 竜一 *笠井 千賀子		GCP (国際協力) 履修者のみ受講可, 夏期集中講義

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

#### 5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件（必要な知識等）

- 国際協力を携わるうえで必要な語学力。英語はもとより、特に国際機関での勤務を志望する者は早い段階からの国連公用語を中心とする他の外国語の習得が望ましい。
- 複眼的思考力や課題解決力に基づいた時事問題に対する分析手法。
- 現在の国際問題を考えるうえで前提となる世界史の基礎知識。

#### 6. 申込条件

- 指定の導入科目を履修済（もしくは履修中）であること。ただし、申込までに異なる2科目以上に抽選エントリーしたが落選し、1科目もしくはすべて未履修の場合は、1年次秋学期に当該科目がある場合には必ず抽選エントリー、履修したうえで申し込むこと。（単位が修得できなかった場合はプログラム受講資格取消となる。）
- 1年次春学期の全科目のGPAが2.8以上であること
- 下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア*
TOEIC	660点以上	テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	
実用英語検定 (英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目 (英語)	ACADEMIC COMMUNICATION1・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中、またはELEMENTARYを修得済であること	不要

\*いずれもコピー可。

## 17年次生以降

### 「グローバル・ビジネス」コース

#### 1. コースの目的

近年、ビジネスを取り巻く環境はグローバル化の程度を高めており、もはや一国のみに閉じた経済・経営活動は成立が困難になってきている。グローバル化によって、ビジネスの多様性と不確実性は一層高まっている。異なった価値観をもつ顧客やビジネス・パートナーを理解し、変化の早い流動的な状況で重要な決断を迫られる局面が今後ますます増加していく。本コースでは、多様性・不確実性が高いグローバルなビジネス環境において重要な役割を果たし、社会に貢献していくための基盤となる能力を養うために、多様なグローバル・ビジネスの現状に触れ、問題解決のガイドとなる経済・経営の諸理論・コンセプトを学習・習得する機会を提供することを目的としている。

#### 2. コースコーディネーター

経済学部経営学科准教授 関 廷媛

#### 3. コース概要

「グローバル・ビジネス」コース修了に必要な合計科目・単位数は10科目・20単位以上です。

#### ◆導入科目（1年次）

	科目内容
2科目：4～6単位	<経済学部生以外> * 必修科目：1科目 * 選択科目：1科目  全学共通科目および全学科目として指定されている国際教養学部開講のIBE科目から選択する。
	<経済学部生> * 必修科目：1科目 * 選択科目：1科目  全学共通科目および経済学科・経営学科のB群指定科目から選択する。

#### <経済学部生以外>

		科目名	単位	開講元
導入科目	必修	経営学入門	2	全学共通科目
		選択	経営学系	2
	グローバル・ビジネスの現状と課題	2	全学共通科目	
	企業と社会	2	全学共通科目	
	経営社会と人間の行動	2	全学共通科目	
	簿記入門	2	全学共通科目	
	会計学入門	2	全学共通科目	
	経済学系	INTRODUCTION TO WORLD ECONOMIC HISTORY	2	全学共通科目
	教養としての経済知識	2	全学共通科目	
	経済と環境	2	全学共通科目	
	経済学	2	全学共通科目	
	IBE科目	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	4	国際教養学部
		PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	4	国際教養学部

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

<経済学部生>

		科目名	単位	開講元
導入科目	必修	経営学概論Ⅱ	2	経営学科
		経営学総論	2	経済学科
導入科目	選択	経営学系		
		グローバル・ビジネスの現状と課題	2	全学共通科目
		経営戦略論Ⅰ	2	経営学科
		経営戦略論Ⅱ	2	経営学科
		経営組織論Ⅰ	2	経営学科
		経営組織論Ⅱ	2	経営学科
		マーケティング戦略論Ⅰ	2	経営学科
		マーケティング戦略論Ⅱ	2	経営学科
		簿記Ⅰ	2	経営学科
		簿記Ⅱ	2	経営学科
	原価計算論Ⅰ	2	経営学科	
	原価計算論Ⅱ	2	経営学科	
	経済学系			
	ミクロ経済学B	2	経済学科	
	ミクロ経済学C	2	経済学科	
	経済発展論	2	経済学科	
	CONTEMPORARY ISSUES IN INTERNATIONAL DEVELOPMENT	2	経済学科	
	TALES OF ECONOMIC GLOBALIZATION	2	経済学科	
	GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2	経済学科	
	企業経済論Ⅰ	2	経営学科	
企業経済論Ⅱ	2	経営学科		
消費者行動論	2	経営学科		
財務諸表論Ⅰ	2	経営学科		
財務諸表論Ⅱ	2	経営学科		
管理会計論Ⅰ	2	経営学科		
管理会計論Ⅱ	2	経営学科		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆専門科目（2年次以降）

科目・単位数	科目内容<経済学部生以外・経済学部生で指定科目が異なる>
(1)応用科目（講義） 4科目：8単位	*必修科目：1科目 *選択科目：3科目  経済学・経営学のうちグローバル・ビジネスに関連する学科科目
(2)実践科目（演習） 4科目：8単位	*選択必修科目：2科目 *選択科目：2科目  ビジネス実務に関する実践的能力・スキルを養う科目
(3)グローバル・ビジネス実践	*インターンシップ等を通じて、グローバルビジネスの現場を体験することが推奨される。

グローバル教育センターについて  
科目  
インターンシップ  
グローバル教育プログラム  
デジタルサイエンスプログラム  
海外短期研修  
実践プログラム型  
Global Business

<経済学部生以外>

			科目名	単位	開講元
専門科目	応用(講義)	必修	グローバルビジネス基礎セミナー	2	グローバル教育センター
		選択	国際経済史	2	経済学科
			GLOBAL ECONOMIC HISTORY	2	経済学科
			TALES OF ECONOMIC GLOBALIZATION	2	経済学科
			GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2	経済学科
			国際経営論Ⅰ	2	経営学科
			国際経営論Ⅱ	2	経営学科
			国際経営論Ⅲ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅰ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅱ	2	経営学科
			英文会計	2	経営学科
			国際貿易論Ⅰ	2	経済学科
			国際貿易論Ⅱ	2	経済学科
			国際マクロ経済学	4	経済学科
			アジア開発経済論	2	経済学科
			グローバル時代の企業戦略	2	経営学科
			アジア経済成長論	2	経済学科
			特別講義(開発援助論)	2	経済学科
			INTERNATIONAL TRADE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL FINANCE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL MARKETING	4	国際教養学部
		INTERNATIONAL BUSINESS	4	国際教養学部	
		グローバル化と経済学 1	2	総合グローバル学部	
	グローバル化と経済学 2	2	総合グローバル学部		
	国際経済学 1	2	総合グローバル学部		
	国際経済学 2	2	総合グローバル学部		
	開発経済学	4	総合グローバル学部		
	グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部		
	アジアとグローバル企業	2	総合グローバル学部		
	実践(演習)	選択必修	グローバルビジネス応用セミナーⅠ:事例分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅡ:データ分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅢ:英語で学ぶ経営学	2	グローバル教育センター
		選択	経営英語(BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY)	2	経営学科
経営英語Ⅰ			2	経営学科	
経営英語Ⅱ			2	経営学科	
経営英語(INTERNATIONAL BUSINESS)			2	経営学科	
グローバル・ビジネスのフロンティア			2	全学共通科目	
CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS			2	経営学科	
経済英語Ⅰ(INTERMEDIATE)			2	経済学科	
経済英語Ⅱ(INTERMEDIATE)	2	経済学科			
経済英語Ⅰ(SPECIALIZED)	2	経済学科			
経済英語Ⅱ(SPECIALIZED)	2	経済学科			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。



<経済学部生>

		科目名	単位	開講元	
専門科目	応用(講義)	必修	グローバルビジネス基礎セミナー	2	グローバル教育センター
		選択	GLOBAL ECONOMIC HISTORY	2	経済学科
			国際経済史	2	経済学科
			国際経営論 I	2	経営学科
			国際経営論 II	2	経営学科
			国際経営論 III	2	経営学科
			人的資源管理論 I	2	経営学科
			人的資源管理論 II	2	経営学科
			英文会計	2	経営学科
			国際貿易論 I	2	経済学科
			国際貿易論 II	2	経済学科
			国際マクロ経済学	4	経済学科
			アジア開発経済論	2	経済学科
			グローバル時代の企業戦略	2	経営学科
			アジア経済成長論	2	経済学科
			特別講義(開発援助論)	2	経済学科
			INTERNATIONAL TRADE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL FINANCE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL MARKETING	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL BUSINESS	4	国際教養学部
	グローバル化と経済学 1		2	総合グローバル学部	
	グローバル化と経済学 2	2	総合グローバル学部		
	国際経済学 1	2	総合グローバル学部		
	国際経済学 2	2	総合グローバル学部		
	開発経済学	4	総合グローバル学部		
	グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部		
	アジアとグローバル企業	2	総合グローバル学部		
	実践(演習)	選択必修	グローバルビジネス応用セミナーⅠ:事例分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅡ:データ分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅢ:英語で学ぶ経営学	2	グローバル教育センター
		選択	経営英語(BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY)	2	経営学科
			経営英語Ⅰ	2	経営学科
			経営英語Ⅱ	2	経営学科
経営英語(INTERNATIONAL BUSINESS)			2	経営学科	
グローバル・ビジネスのフロンティア			2	全学共通科目	
CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS			2	経営学科	
経済英語Ⅰ(INTERMEDIATE)			2	経済学科	
経済英語Ⅱ(INTERMEDIATE)			2	経済学科	
経済英語Ⅰ(SPECIALIZED)			2	経済学科	
経済英語Ⅱ(SPECIALIZED)			2	経済学科	

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて  
 科目インディキシング  
 グローバルプログラム  
 デジタルサイエンスプログラム型  
 海外短期研修  
 実践プログラム型  
 総合グローバル学部

#### 4. 「グローバル・ビジネス」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP20020	GCP202	グローバルビジネス基礎セミナー	2	春	関 廷 媛		GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ受講可
	GCP30030	GCP303	グローバルビジネス応用セミナーⅠ：事例分析	2	春	* 田 口 力		GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ受講可
	GCP30040	GCP304	グローバルビジネス応用セミナーⅡ：データ分析	2	秋	* 西 原 文 乃		GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ受講可
	GCP30050	GCP305	グローバルビジネス応用セミナーⅢ：英語で学ぶ経営学	2	秋	* GASPARI Paul	○	GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ受講可

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

#### 5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件（必要な知識等）

- ・不確実で複雑な環境下で高い成果を達成しようとする気概。
- ・未知の状況を解明しようとする、知的好奇心。
- ・多様な人々の、異なった価値観や考え方を受け入れ、チームとして仕事を進めていける柔軟性。
- ・言語や文化を異にする人々とも共感し、理解し合えるコミュニケーション能力。

#### 6. 申込条件

- ・指定の導入科目を修得済（もしくは履修中）であること。ただし、経済学部以外の学生で必修科目「経営学入門」について、英語の学科指定ブロックと重なっていたために履修ができなかった場合、1年次秋学期に当該科目がある場合には必ず履修登録すること。（単位が修得できなかった場合にはプログラム受講資格は取り消しとなる。）
- ・1年次春学期の全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア*
TOEIC	660点以上	テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	
実用英語検定 (英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目 (英語)	ACADEMIC COMMUNICATION1・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中、またはELEMENTARYを修得済であること	不要

\*いずれもコピー可。

## 「グローバル・メディア」コース

## 1. コースの目的

人類が直面する地球規模の諸課題を直視し、解決に導いていくためには、国際社会の理解・支持と協調が肝要となる。健全なジャーナリズムの存在が民主主義の発展に不可欠であることは言うまでもないが、他方において、現代社会における国際政治経済のアクターは、戦略的な情報発信力、国際世論への喚起力なくしては、そのプレゼンスを示し得ない。特に情報通信ネットワークの発達などによる世界規模での情報化の進展により、報道現場やメディア・ビジネスの現場で国際的に活躍できるジャーナリスト、コーディネーター、国際機関やNGOなどの広報担当者など、メディア・コミュニケーションの理論と実践を理解し、的確に発信できる人材が強く求められている。本コースでは、グローバル・メディア・コミュニケーションの基礎的な知識、技能を身につけ、国際理解の促進に寄与することの意義を考える機会を提供することを目的としている。

## 2. コースコーディネーター

文学部新聞学科教授 音 好宏

## 3. コース概要

「グローバル・メディア」コース修了に必要な合計科目・単位数は10科目・20単位以上です。

## ◆導入科目（1年次）

科目・単位数	内容<新聞学科生とそれ以外で一部指定科目が異なる>
2科目：4単位	<p>* 選択必修科目：2科目 (新聞学科生とそれ以外で一部指定科目が異なる)。</p> <p>* 推奨科目 必修ではないが、履修を推奨する。</p>

			科目名	単位	開講元
導入科目	選択必修	全学部共通	マルチメディア情報社会論	2	全学共通科目
			グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
			教養としてのインテリジェンス-国際情報リテラシーの課題と方法-	2	全学共通科目
	以外新聞学科生	新聞学科生	マス・コミュニケーション論Ⅰ	2	全学共通科目
			マス・コミュニケーション論Ⅱ	2	全学共通科目
	推奨	新聞学科生	コミュニケーション論Ⅰ	2	新聞学科
			憲法	2	全学共通科目
			INTRODUCTION TO UNITED NATIONS	2	全学共通科目
			INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
			グローバル・コンサーンと平和の促進	2	全学共通科目
情報化社会と情報倫理	2	全学共通科目			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆専門科目（2年次以降）

科目・単位数	内容
(1) 応用科目 (講義による知識・方法論の習得)  <b>5科目：10単位</b>	<b>*必修科目：1科目</b> <b>*選択必修科目：3科目以上</b>  グローバル・メディア、グローバル・コミュニケーション、グローバル・ジャーナリズムに関する専門的知識、理論、および、その現状と課題について学ぶ。
(2) 実務科目/ グローバル・メディア実践 (基礎的スキルの修得と向上)  <b>3科目：6単位</b>	<b>*必修科目：1科目</b> <b>*選択科目：2科目</b> (オリジナル科目「グローバル・メディア実践プログラム」は必修ではないが、履修を推奨する。)  グローバル・メディア、グローバル・コミュニケーションの現場での実践的知識、技能を取得する。  <b>*社会実践活動（インターンシップ等）を通じてグローバル・メディア、グローバル・コミュニケーションの実務を経験する、もしくは、専門科目で得た知識、技能を生かしコンテンツ制作を行うことが推奨される。</b>

		科目名	単位	開講元	
専門科目	応用科目	必修	グローバル・メディア実践入門	2	グローバル教育センター
		選択必修	国際コミュニケーション論Ⅰ	2	新聞学科
	国際コミュニケーション論Ⅱ		2	新聞学科	
	マス・メディア論Ⅰ		2	新聞学科	
	人間行動とマス・メディアⅠ		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅠa		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅠb		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅡa		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅡb		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅢa		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅢb		2	新聞学科	
	選択	ライフスタイルの社会学	2	社会学科	
		ライフコースの社会学	2	社会学科	
		計画と政策の社会学	2	社会学科	
		格差と不平等の社会学	2	社会学科	
		経済と文化	2	社会学科	
		経済とネットワーク	2	社会学科	
		メディアと情報の社会学	2	全学共通科目	
		外交政策1	2	総合グローバル学部	
		外交政策2	2	総合グローバル学部	
		国際政治史1	2	総合グローバル学部	
		国際政治史2	2	総合グローバル学部	
		グローバリゼーションと市民社会1	2	総合グローバル学部	
		グローバリゼーションと市民社会2	2	総合グローバル学部	
		フィールドワークの技法と実践	2	総合グローバル学部	
		国際政治経済論（経済学的アプローチ）1	2	総合グローバル学部	
		国際政治経済論（経済学的アプローチ）2	2	総合グローバル学部	
国際教育開発論1		2	総合グローバル学部		
国際教育開発論2	2	総合グローバル学部			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

			科目名	単位	開講元
専門科目 実務科目／グローバル・メディア実践	必修 選択		実践メディア英語	2	グローバル教育センター
			グローバル・メディア実践プログラム	2	グローバル教育センター
			時事問題研究 I	2	新聞学科
			時事問題研究 II	2	新聞学科
			時事問題研究特殊 I a (国内)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊 I b (国内)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊 II a (国際)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊 II b (国際)	2	新聞学科
			ジャーナリズムの現在 I	2	新聞学科
			ジャーナリズムの現在 II	2	新聞学科
			メディア実践 I	2	新聞学科
			メディア実践 II	2	新聞学科

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

#### 4. 「グローバル・メディア」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP30060	GCP306	グローバル・メディア実践入門	2	春	*黄 盛 彬		GCP (グローバル・メディア) 履修者のみ受講可
	GCP30070	GCP307	実践メディア英語	2	秋	国 枝 智 樹	○	GCP (グローバル・メディア) 履修者のみ受講可
	GCP30080	GCP308	グローバル・メディア実践プログラム (※)	2	秋	コーディネータ 音 好 宏		GCP (グローバル・メディア) 履修者のみ受講可、輪講

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

(※) の科目はテレビセンターで実施するため、別途実習費が必要となる。

#### 5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件 (必要な知識等)

- ・人類が直面する地球規模の課題や国際社会で発生する時事問題への強い関心。
- ・複眼的な思考力や課題発見・解決力、情報発信力、表現力を高めようとする意欲があること。
- ・グローバルなメディア・コミュニケーション、ジャーナリズムに携わる上で必要な語学力。
- ・グローバル化、情報化が進む現代社会の諸問題を考える上で前提となる近現代史の基礎知識。
- ・アーカイブス、ウェブ等から積極的に情報探索を行える情報リテラシー。

#### 6. 申込条件

- ・指定の導入科目を履修済 (もしくは履修中) であること。ただし、申込までに異なる2科目以上に抽選エントリーしたが落選し、1科目もしくはすべて未履修の場合は、1年次秋学期に当該科目がある場合には、必ず抽選エントリー、履修すること。(単位が修得できなかった場合にはプログラム受講資格は取り消しとなる。)
- ・1年次春学期の全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア*
TOEIC	660点以上	テスト実施日より2年以内のもの
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	のみ有効
実用英語検定 (英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目 (英語)	ACADEMIC COMMUNICATION1・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中、またはELEMENTARYを修得済であること	不要

\*いずれもコピー可。

## 17年次生以降

### 「グローバル・アクション」コース

#### 1. コースの目的

現代世界には、貧困、教育、環境、正義に関わる諸問題が渦巻いている。本コースの目的は、これらの問題に私達がどのように関わっているか、また私達のアクションが世界にどのような影響を与えるかを理解することである（“Think globally”）。そして、様々なボランティア、サービス・ラーニング、フィールドワークなどを通して、NGO/NPO、市民活動に学び、さらなる実践へと結びつける方途を見出してゆくことである（“Act locally”）。草の根運動を検証することで、社会的正義や市民社会といった理念が人々の生活にどう関係しているかを学び、世界の問題を解決へと導く方法を模索する。なお、このコースは日・英両言語を用いて科目を履修するバイリンガル・コースである。

#### 2. コースコーディネーター

国際教養学部教授 SLATER David

#### 3. コース概要

「グローバル・アクション」コース修了に必要な科目・単位数は10科目（うち英語によるもの最低2科目）・20単位以上です。

#### ◆導入科目（1年次）

科目・単位数	内容	備考
2科目：4単位～	<p>* 選択必修：2科目</p> <p>科目は「Global Politics」, 「Society &amp; Culture」, 「Environment &amp; Development」の3クラスターに分けられている。3つのクラスターのうち、異なる2つのクラスターから履修すること。</p>	1科目は英語による科目を履修することを推奨する。

		科目名	単位	開講元
導入科目	Global Politics	INTRODUCTION TO UNITED NATIONS	2	全学共通科目
		THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS	4	国際教養学部
		INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	国際教養学部
		CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4	国際教養学部
	Society & Culture	ジェンダーの社会学	2	社会学科
		グローバル・コンサーンと平和の促進	2	全学共通科目
		生命倫理の世界	2	全学共通科目
		INTRODUCTION TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
		ANTHROPOLOGY OF JAPAN	4	国際教養学部
		NATURE AND CULTURE	4	国際教養学部
		FUNDAMENTALS OF RELIGION	4	国際教養学部
		INTRODUCTION TO SOCIOLOGY	4	国際教養学部
		INTRODUCTION TO JAPANESE SOCIETY	4	国際教養学部
	Environment & Development	地球環境と科学技術Ⅰ	2	全学共通科目
		地球環境と科学技術Ⅱ	2	全学共通科目
		グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
		国際協力概論 -日本による開発援助の潮流と仕組み-	2	全学共通科目
		地球環境学Ⅰ	2	全学共通科目
		地球環境学Ⅱ	2	全学共通科目
環境問題と科学技術		2	全学共通科目	

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

		科目名	単位	開講元
導入科目	Environment & Development	環境法入門	2	法学部
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
		CONSERVATION	2	全学共通科目
		ENVIRONMENTAL ISSUES 1	4	国際教養学部
		HUMAN GEOGRAPHY	4	国際教養学部

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

#### ◆専門科目（2年次以降）

科目・単位数	内容	備考
(1)リテラシー科目 (知識習得) / サービス・ラーニング関連科目 6科目：12単位～	<b>* 選択必修科目：2科目</b> <b>* 選択科目：4科目</b> グローバル化した世界の多様な問題に対して、人びとがどのような方法を用いて市民活動を実践し、世界に貢献してきたかを学ぶ	6科目中、英語による科目を最低2科目必修とする。
(2)プロジェクト科目（実践） 2科目：4単位	<b>* 必修科目：2科目</b> 「プロジェクト・プランニング」で作成した計画書に基づき、「PRAXIS IN CIVIL SOCIETY」を通じて社会貢献プロジェクトを実践する	

		科目名	単位	開講元	
専門科目	リテラシー科目（知識習得） / サービス・ラーニング関連科目	選択必修	ANTHROPOLOGY OF JAPAN: RACE, CLASS AND GENDER	4	国際教養学部
			CIVIL SOCIETY, NPO AND CITIZEN POWER	2	グローバル教育センター
			グローバル化世界と日本の市民社会	2	グローバル教育センター
		選択	社会哲学Ⅰ	2	哲学科
			社会哲学Ⅱ	2	哲学科
			政治哲学Ⅰ	2	哲学科
			政治哲学Ⅱ	2	哲学科
			教育学特殊講義Ⅱ-教育の思想-	2	教育学科
			教育学特殊講義Ⅲ -SOCIOLOGICAL PERSPECTIVES ON EDUCATION AND INTERNATIONAL DEVELOPMENT-	2	教育学科
			アフリカ文化理解と医療保健活動	2	看護学科
			環境法総論	2	法学部
			環境法各論	2	法学部
			環境社会学	2	法学部
			LEGAL WRITING	2	法学部
			LAW AND SOCIETY	2	法学部
			環境経済学	2	経済学科
			ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCE ECONOMICS	2	経済学科
	環境マネジメント論	2	経営学科		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて  
インディシンプ  
・プロジェクト  
・グローバル  
・デジタルサイエンス  
・プロジェクト  
・海外短期  
・実践型  
・国際教養学部

			科目名	単 位	開講元
専 門 科 目	リ テ ラ シー 科 目 ( 知 識 習 得 ) ／ サ ー ビ ス ・ ラ ー ニ ン グ 関 連 科 目	選 択	HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1	2	外国語学部 (英語学科)
			HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	外国語学部 (英語学科)
			PSYCHOLOGY OF DISCRIMINATION	2	外国語学部 (英語学科)
			INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	外国語学部 (英語学科)
			INTERCULTURAL INTERACTION 2	2	外国語学部 (英語学科)
			ヨーロッパ政治経済論	2	外国語学部 (ドイツ語学科)
			ヨーロッパ政治経済入門	2	外国語学部 (ドイツ語学科)
			ロシア・ユーラシア経済概論	2	外国語学部 (ロシア語学科)
			ロシア・ユーラシア経済特論	2	外国語学部 (ロシア語学科)
			ラ米現代史概論	2	外国語学部 (イスパニア語学科)
			ラ米政治社会特論	2	外国語学部 (イスパニア語学科)
			NGO と社会運動の人類学	2	総合グローバル学部
			アジアの環境と開発	2	総合グローバル学部
			アフリカ社会経済論	2	総合グローバル学部
			民衆イスラーム論	2	総合グローバル学部
			イスラームとジェンダー	2	総合グローバル学部
			特講(国際機構)A	2	総合グローバル学部
			特講(国際機構)B	2	総合グローバル学部
			グローバル化と文化 1	2	総合グローバル学部
			グローバル化と文化 2	2	総合グローバル学部
			WOMEN AND MEN IN THE LABOR MARKET	4	国際教養学部
			RELIGION, CONFLICT AND VIOLENCE	4	国際教養学部
			NONPROFIT NGOS IN COMPARATIVE CONTEXTS	4	国際教養学部
			JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS	4	国際教養学部
			POLITICAL ECOLOGY	2	国際教養学部
			ENVIRONMENTAL POLITICS OF AGRICULTURE	4	国際教養学部
			SEMINAR IN POLITICAL SCIENCE	4	国際教養学部
			AGRARIAN SOCIETIES	4	国際教養学部
			NATIONALISM, CITIZENSHIP AND DEMOCRACY IN JAPAN	4	国際教養学部
			COMPARATIVE POLITICS OF ADVANCED INDUSTRIAL DEMOCRACIES	4	国際教養学部
			NATURE AND SOCIETY	4	国際教養学部
			ADVANCED READINGS IN ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
			POLITICAL LEADERSHIP	4	国際教養学部
POLITICAL ECONOMY OF DEVELOPMENT	4	国際教養学部			
SOCIETY AND POLITICS	4	国際教養学部			
ANTHROPOLOGY PRACTICUM 2	4	国際教養学部			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。



			科目名	単位	開講元
専門科目	リテラシー科目(知識習得) サービスラーニング関連科目	選択	INDIGENOUS RELIGION	4	国際教養学部
			HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1	2	国際教養学部
			HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2	2	国際教養学部
			国際サービスラーニング論	2	全学共通科目
			ボランティア論	2	神学部
			AJCU-AP サービスラーニング・プログラム	4	全学共通科目
			アフリカに学ぶ	2	全学共通科目
			インド・サービスラーニング・プログラム	4	全学共通科目
			カンボジア・サービスラーニング・プログラム	2	全学共通科目
			専門科目	プロジェクト科目(実践)	必修
PRAXIS IN CIVIL SOCIETY	2	グローバル教育センター			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

#### 4. 「グローバル・アクション」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP30090	GCP309	プロジェクト・プランニング	2	春	* ROSSITTO Sarajejan		GCP (グローバル・アクション) 履修者のみ受講可
	GCP30090	GCP309	プロジェクト・プランニング	2	秋	* ROSSITTO Sarajejan		GCP (グローバル・アクション) 履修者のみ受講可
	GCP30100	GCP310	CIVIL SOCIETY, NPO AND CITIZEN POWER	2	秋	* 松元千枝	○	GCP (グローバル・アクション) 履修者のみ受講可
	GCP30110	GCP311	グローバル化世界と日本の市民社会	2	春	伊藤高章		GCP (グローバル・アクション) 履修者のみ受講可
	GCP30120	GCP312	PRAXIS IN CIVIL SOCIETY	2	秋	コーディネータ SLATER David		秋学期集中, GCP (グローバル・アクション) 履修者のみ受講可

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

#### 5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件 (必要な知識等)

- ・「弱者」に対する強い関心があり、自ら進んで社会に貢献しようとする気持ちがあること。
- ・人びとの多様性を認める姿勢があること。
- ・大きな地球の問題に立ち向かおうとする意識があること。
- ・英語を自分の武器にする、という気持ちがあること。

#### 6. 申込条件

- ・指定の導入科目を修得済 (もしくは履修中) であること。ただし、学科必修科目との時間割重複など、申込までに導入科目の履修が難しい場合は、1年次秋学期に当該科目がある場合には、必ず履修登録のうえで申し込むこと。(単位が修得できなかった場合にはプログラム受講資格は取り消しとなる。)
- ・1年次春学期の全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア*
TOEIC	660点以上	テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	
実用英語検定 (英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目 (英語)	ACADEMIC COMMUNICATION1・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中、またはELEMENTARYを修得済であること	不要

\*いずれもコピー可。

## 16年次生以前

### 「国際協力」コース

#### 1. コースの目的

今日の国際社会には、開発、人権、環境をはじめとする地球規模課題（Global Agenda）が山積している。こうした諸課題を解決するためには国境を越えた国際協力が不可欠であり、各国の政府機関・援助機関に加えて国際機関や国際NGOなどが果たす役割の重要性は、今後ますます高まっていく。そこで、これらの国際協力関連機関でのキャリアを目指す学生たちに対して、これからの時代の国際協力の専門家に求められる基礎的な知識・技能・経験を身につける機会を提供することが、本コースの目的である。

#### 2. コースコーディネーター

総合人間科学部教育学科教授 小松 太郎

#### 3. コース概要

「国際協力」コース修了に必要な合計科目・単位数は12科目・24単位以上です。

#### ◆ 導入科目（1～2年次）

科目・単位数	内容
4科目：8～12単位	国際協力について、その基本的仕組みや課題について学ぶ。 ＊ <b>選択必修科目：2科目</b> 「グローバル化と国際貢献」、「国際協力概論」、「教養としてのインテリジェンス」 ＊ <b>選択科目：2科目</b> 指定科目は「国際関係」「国際協力」「地域研究」にカテゴリー分けされている。 異なるカテゴリーから1科目ずつ修得すること。

		科目名	単位	開講元	
導入科目	選択必修	グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目	
		国際協力概論 -日本による開発援助の潮流と仕組み-	2	全学共通科目	
		教養としてのインテリジェンス -国際情報リテラシーの課題と方法-	2	全学共通科目	
	選択	国際関係	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS	4	国際教養学部
			INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	国際教養学部
			国際政治史入門	2	全学共通科目
			国際政治学	4	法学部
	国際協力	グローバル・コンサーンと平和の促進	2	全学共通科目	
		INTRODUCTION TO UNITED NATIONS	2	全学共通科目	
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目	
		国際サービスラーニング論	2	全学共通科目	
		ボランティア論	2	神学部	
		平和学	2	神学部	
		国際法総論	4	法学部	
		開発経済学	4	総合グローバル学部	
グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部			
	CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4	国際教養学部		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

			科目名	単 位	開講元
導 入 科 目	選 択	地 域 研 究	南アジア研究入門	2	全学共通科目
			民族関係論	2	神学部
			SOCIOLOGY OF NATIONALISM	2	社会学科
			グローバル化の社会学	2	社会学科
			中東イスラーム研究入門Ⅰ	2	全学共通科目
			中東イスラーム研究入門Ⅱ	2	全学共通科目
			東南アジア研究入門	2	全学共通科目
			アフリカ研究入門	2	全学共通科目
			アフリカと開発：2030アジェンダと持続可能な社会づくり	2	全学共通科目
			ロシア・ユーラシアの国際関係 B	2	外国語学部 (ロシア語学科)

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

### ◆ 専門科目（3～4年次）

科目・単位数	内容
(1)基礎理論科目 (講義による知識・ 方法論の習得) 2科目：4単位	*必修科目：1科目、選択科目：1科目  国際協力に携わるうえで必要となる基礎的知識（政治、経済、法律、国際関係等）および国際協力の分析方法を身につける。
(2)実践科目 (ケーススタディ) 3科目：6単位	*必修科目：1科目、選択科目：2科目  国際協力に関するケーススタディを通じ、国際協力活動の具体的な実践課程と課題を複眼的な視点から分析する力を養う。
(3)実務スキル科目 (基礎的技能の習得と向上) 3科目：6単位	*必修科目：1科目、選択科目：2科目  国際協力の実践活動に必要な基礎的技能を取得する。
(4)国際協力業務・ フィールド体験	*インターンシップ、ボランティア、スタディーツアー等を通じて国際協力の業務や途上国フィールド体験することが推奨される。
国際キャリアセミナー	*将来的に国際協力に従事することを念頭に、国際協力を仕事とすることの意味や課題、ならびにキャリアパスを考える。 (2年春休みに実施予定。国際協力コース参加者は必ず参加すること)

グローバル教育  
センターについて

科目  
インターンシップ  
目

グローバル  
プログラム

プロ  
ク  
ラ  
ム  
イ  
ン  
テ  
ル  
ナ  
シ  
ョ  
ナ  
ル

研  
海  
外  
短  
修  
期

ブ  
実  
ク  
ラ  
ム  
型

自  
ら  
の  
研  
究  
を  
進  
め  
る

			科目名	単 位	開講元		
専 門 科 目	基 礎 理 論 科 目	必 修	国際協力基礎理論	2	グローバル教育センター		
		選 択	保健統計学	2	看護学科		
			教育学特殊講義Ⅲ －SOCIOLOGICAL PERSPECTIVES ON EDUCATION AND INTERNATIONAL DEVELOPMENT－	2	教育学科		
			アジア開発経済論	2	経済学科		
			国際経済学 1	2	総合グローバル学部		
			国際経済学 2	2	総合グローバル学部		
			国連研究 1	2	総合グローバル学部		
			国連研究 2	2	総合グローバル学部		
			特講（国際機構）A	2	総合グローバル学部		
			国連の役割と機能（国連集中研修）	2	グローバル教育センター		
			国際法各論	2	法学部		
			国際紛争処理法	2	法学部		
			地理的境界と人々の暮らし	2	全学共通科目		
			実 践 科 目	必 修	国際協力事例研究	2	グローバル教育センター
	選 択	市民が関わる国際協力		2	外国語学部		
		市民社会・国際協力論概説		2	外国語学部		
		国際看護学概論		2	看護学科		
		国際教育開発論 1		2	総合グローバル学部		
		国際教育開発論 2		2	総合グローバル学部		
		アジアの環境と開発		2	総合グローバル学部		
		ブラジル社会開発協力		2	外国語学部 (ポルトガル語学科)		
		実 務 ス キ ル 科 目		必 修	国際協力プロジェクト・マネジメント	2	グローバル教育センター
				選 択	統計学 1	2	総合グローバル学部
	統計学 2		2		総合グローバル学部		
	社会統計学-国際的な統計データの解釈-		2		全学共通科目		
	実践英語ライティング-PRACTICAL ENGLISH WRITING-		2		全学共通科目		
	教育調査研究法演習 -教育情報処理-		2		教育学科		
	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A		2		言語教育研究センター (語学科目)		
	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B		2		言語教育研究センター (語学科目)		
	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS		1		言語教育研究センター (語学科目)		
	ACADEMIC WRITING	1	言語教育研究センター (語学科目)				

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

#### 4. 「国際協力」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP20030	GCP201	国際協力基礎理論	2	春	*菅原 鈴香		GCP (国際協力) 履修者のみ受講可
	GCP30010	GCP301	国際協力事例研究	2	秋	小松 太郎	○	GCP (国際協力) 履修者のみ受講可
	GCP30020	GCP302	国際協力プロジェクト・マネジメント	2	春	*杉山 竜一 *笠井 千賀子		GCP (国際協力) 履修者のみ受講可, 夏期集中講義

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

#### 5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件（必要な知識等）

- 国際協力に携わるうえで必要な語学力。英語はもとより、特に国際機関での勤務を志望する者は早い段階からの国連公用語を中心とする他の外国語の習得が望ましい。
- 複眼的思考力や課題解決力に基づいた時事問題に対する分析手法。
- 現在の国際問題を考えるうえで前提となる世界史の基礎知識。

#### 6. 申込条件

- 指定の導入科目を履修済（もしくは履修中）であること。ただし、選択必修科目について、申込までに異なる2科目以上に抽選エントリーしたが落選し、1科目もしくはすべて未履修の場合は、2年次秋学期に当該科目がある場合には必ず抽選エントリー、履修したうえで申し込むこと。（単位が修得できなかった場合はプログラム受講資格取消となる。）
- 2年次春学期までの全科目のGPAが2.8以上であること
- 下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア*
TOEIC	660点以上	テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	
実用英語検定 (英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目 (英語)	ACADEMIC COMMUNICATION1・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中、またはELEMENTARYを修得済であること	不要

\*いずれもコピー可。

グローバル教育センターについて  
 インターシッピング  
 グローバルシニアプログラム  
 デジタルサイエンスプログラム  
 研海外短期  
 プログラム実践型  
 国際教育センター

## 16年次生以前

### 「グローバル・ビジネス」コース

#### 1. コースの目的

近年、ビジネスを取り巻く環境はグローバル化の程度を高めており、もはや一国のみに閉じた経済・経営活動は成立が困難になってきている。グローバル化によって、ビジネスの多様性と不確実性は一層高まっている。異なった価値観をもつ顧客やビジネス・パートナーを理解し、変化の早い流動的な状況で重要な決断を迫られる局面が今後ますます増加していく。本コースでは、多様性・不確実性が高いグローバルなビジネス環境において重要な役割を果たし、社会に貢献していくための基盤となる能力を養うために、多様なグローバル・ビジネスの現状に触れ、問題解決のガイドとなる経済・経営の諸理論・コンセプトを学習・習得する機会を提供することを目的としている。

#### 2. コースコーディネーター

経済学部経営学科准教授 関 延媛

#### 3. コース概要

「グローバル・ビジネス」コース修了に必要な合計科目・単位数は11～13科目・26単位以上です。

#### ◆導入科目（1～2年次）

科目・単位数	内容<経済学部生以外・経済学部生で指定科目が異なる>
3～5科目：10単位	<経済学部生以外> ＊必修科目：1科目 ＊選択科目：3～4科目 全学共通科目（経団連開講の基礎科目含む）および全学共通科目として指定されているFLA開講のIBE科目から選択する。
	<経済学部生> ＊必修科目：1科目 ＊選択科目：3～4科目 全学共通科目（経団連開講の基礎科目）および経済学科・経営学科のB群指定科目から選択する。

#### <経済学部生以外>

		科目名	単 位	開講元
導入 科目	必修	経営学入門	2	全学共通科目
		選択	経営学系	2
	グローバル・ビジネスの現状と課題		2	全学共通科目
	企業と社会		2	全学共通科目
	経営社会と人間の行動		2	全学共通科目
	簿記入門		2	全学共通科目
	経済学系	会計学入門	2	全学共通科目
		INTRODUCTION TO WORLD ECONOMIC HISTORY	2	全学共通科目
		教養としての経済知識	2	全学共通科目
		経済と環境	2	全学共通科目
	IBE科目	経済学	2	全学共通科目
		PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	4	国際教養学部
	PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	4	国際教養学部	

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

<経済学部生>

		科目名	単位	開講元	
導入科目	必修	経営学概論Ⅱ	2	経営学科	
		経営学総論	2	経済学科	
	選択	経営学系	グローバル・ビジネスの現状と課題	2	全学共通科目
			経営戦略論Ⅰ	2	経営学科
			経営戦略論Ⅱ	2	経営学科
			経営組織論Ⅰ	2	経営学科
			経営組織論Ⅱ	2	経営学科
			マーケティング戦略論Ⅰ	2	経営学科
			マーケティング戦略論Ⅱ	2	経営学科
			簿記Ⅰ	2	経営学科
			簿記Ⅱ	2	経営学科
			原価計算論Ⅰ	2	経営学科
			原価計算論Ⅱ	2	経営学科
			経済学系	ミクロ経済学B	2
		ミクロ経済学C		2	経済学科
		経済発展論		2	経済学科
		CONTEMPORARY ISSUES IN INTERNATIONAL DEVELOPMENT		2	経済学科
		TALES OF ECONOMIC GLOBALIZATION		2	経済学科
		GLOBAL DEVELOPMENT GOALS		2	経済学科
		企業経済論Ⅰ		2	経営学科
		企業経済論Ⅱ	2	経営学科	
消費者行動論	2	経営学科			
財務諸表論Ⅰ	2	経営学科			
財務諸表論Ⅱ	2	経営学科			
管理会計論Ⅰ	2	経営学科			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆専門科目（3～4年次）

科目・単位数	科目内容<経済学部生以外・経済学部生で指定科目が異なる>
(1)応用科目（講義） 4科目：8単位	*必修科目：1科目，選択科目：3科目 経済学・経営学のうちグローバル・ビジネスに関連する学科科目
(2)実践科目（演習） 4科目：8単位	*選択必修科目：2科目，選択2科目 ビジネス実務に関する実践的能力・スキルを養う科目
(3)グローバル・ビジネス実践	*インターンシップ等を通じて、グローバルビジネスの現場を体験することが推奨される。

グローバル教育センターについて  
科目  
インターンシップ  
グローバル教育プログラム  
デジタルサイエンスプログラム  
海外短期研修  
実践プログラム型  
GLOBALEARNING

<経済学部生以外>

			科目名	単位	開講元
専門科目	応用(講義)	必修	グローバルビジネス基礎セミナー	2	グローバル教育センター
		選択	国際経済史	2	経済学科
			GLOBAL ECONOMIC HISTORY	2	経済学科
			TALES OF ECONOMIC GLOBALIZATION	2	経済学科
			GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2	経済学科
			国際経営論Ⅰ	2	経営学科
			国際経営論Ⅱ	2	経営学科
			国際経営論Ⅲ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅰ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅱ	2	経営学科
			英文会計	2	経営学科
			国際貿易論Ⅰ	2	経済学科
			国際貿易論Ⅱ	2	経済学科
			国際マクロ経済学	4	経済学科
			アジア開発経済論	2	経済学科
			グローバル時代の企業戦略	2	経営学科
			アジア経済成長論	2	経済学科
			特別講義(開発援助論)	2	経済学科
			INTERNATIONAL TRADE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL FINANCE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL MARKETING	4	国際教養学部
		INTERNATIONAL BUSINESS	4	国際教養学部	
		グローバル化と経済学 1	2	総合グローバル学部	
	グローバル化と経済学 2	2	総合グローバル学部		
	国際経済学 1	2	総合グローバル学部		
	国際経済学 2	2	総合グローバル学部		
	開発経済学	4	総合グローバル学部		
	グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部		
	アジアとグローバル企業	2	総合グローバル学部		
	実践(演習)	選択必修	グローバルビジネス応用セミナーⅠ:事例分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅡ:データ分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅢ:英語で学ぶ経営学	2	グローバル教育センター
		選択	経営英語(BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY)	2	経営学科
経営英語Ⅰ			2	経営学科	
経営英語Ⅱ			2	経営学科	
経営英語(INTERNATIONAL BUSINESS)			2	経営学科	
グローバル・ビジネスのフロンティア			2	全学共通科目	
CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS			2	経営学科	
経済英語Ⅰ(INTERMEDIATE)			2	経済学科	
経済英語Ⅱ(INTERMEDIATE)	2	経済学科			
経済英語Ⅰ(SPECIALIZED)	2	経済学科			
経済英語Ⅱ(SPECIALIZED)	2	経済学科			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。



<経済学部生>

			科目名	単位	開講元
専門科目	応用(講義)	必修	グローバルビジネス基礎セミナー	2	グローバル教育センター
		選択	GLOBAL ECONOMIC HISTORY	2	経済学科
			国際経済史	2	経済学科
			国際経営論Ⅰ	2	経営学科
			国際経営論Ⅱ	2	経営学科
			国際経営論Ⅲ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅰ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅱ	2	経営学科
			英文会計	2	経営学科
			国際貿易論Ⅰ	2	経済学科
			国際貿易論Ⅱ	2	経済学科
			国際マクロ経済学	4	経済学科
			アジア開発経済論	2	経済学科
			グローバル時代の企業戦略	2	経営学科
			アジア経済成長論	2	経済学科
			特別講義(開発援助論)	2	経済学科
			INTERNATIONAL TRADE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL FINANCE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL MARKETING	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL BUSINESS	4	国際教養学部
			グローバル化と経済学 1	2	総合グローバル学部
			グローバル化と経済学 2	2	総合グローバル学部
			国際経済学 1	2	総合グローバル学部
			国際経済学 2	2	総合グローバル学部
			開発経済学	4	総合グローバル学部
			グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部
			アジアとグローバル企業	2	総合グローバル学部
	実践(演習)		選択必修	グローバルビジネス応用セミナーⅠ:事例分析	2
		グローバルビジネス応用セミナーⅡ:データ分析		2	グローバル教育センター
		グローバルビジネス応用セミナーⅢ:英語で学ぶ経営学		2	グローバル教育センター
		選択	経営英語(BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY)	2	経営学科
			経営英語Ⅰ	2	経営学科
			経営英語Ⅱ	2	経営学科
経営英語(INTERNATIONAL BUSINESS)			2	経営学科	
グローバル・ビジネスのフロンティア			2	全学共通科目	
CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS			2	経営学科	
経済英語Ⅰ(INTERMEDIATE)			2	経済学科	
経済英語Ⅱ(INTERMEDIATE)			2	経済学科	
経済英語Ⅰ(SPECIALIZED)			2	経済学科	
経済英語Ⅱ(SPECIALIZED)			2	経済学科	

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて  
 インターシッピング  
 グローバルシニアプログラム  
 デジタルサイエンスプログラム  
 海外短期研修  
 実践プログラム型  
 総合グローバル学部

#### 4. 「グローバル・ビジネス」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP20020	GCP202	グローバルビジネス基礎セミナー	2	春	関 廷 媛		GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ受講可
	GCP30030	GCP303	グローバルビジネス応用セミナーⅠ：事例分析	2	春	* 田 口 力		GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ受講可
	GCP30040	GCP304	グローバルビジネス応用セミナーⅡ：データ分析	2	秋	* 西 原 文 乃		GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ受講可
	GCP30050	GCP305	グローバルビジネス応用セミナーⅢ：英語で学ぶ経営学	2	秋	* GASPARI Paul	○	GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ受講可

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

#### 5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件（必要な知識等）

- ・不確実で複雑な環境下で高い成果を達成しようとする気概。
- ・未知の状況を解明しようとする、知的好奇心。
- ・多様な人々の、異なった価値観や考え方を受け入れ、チームとして仕事を進めていける柔軟性。
- ・言語や文化を異にする人々とも共感し、理解し合えるコミュニケーション能力。

#### 6. 申込条件

- ・指定の導入科目を修得済（もしくは履修中）であること。ただし、経済学部以外の学生で必修科目「経営学入門」について、英語の学科指定ブロックと重なっていたために履修ができなかった場合は、2年次秋学期に当該科目がある場合には、必ず履修登録のうえで申し込むこと。（単位が修得できなかった場合にはプログラム受講資格は取り消しとなる。）
- ・2年次春学期までの全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア*
TOEIC	660点以上	テスト実施日より2年以内のもの
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	のみ有効
実用英語検定 (英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目 (英語)	ACADEMIC COMMUNICATION I・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中、またはELEMENTARYを修得済であること	不要

\*いずれもコピー可。

## 「グローバル・メディア」コース

## 1. コースの目的

人類が直面する地球規模の諸課題を直視し、解決に導いていくためには、国際社会の理解・支持と協調が肝要となる。健全なジャーナリズムの存在が民主主義の発展に不可欠であることは言うまでもないが、他方において、現代社会における国際政治経済のアクターは、戦略的な情報発信力、国際世論への喚起力なくしては、そのプレゼンスを示し得ない。特に情報通信ネットワークの発達などによる世界規模での情報化の進展により、報道現場やメディア・ビジネスの現場で国際的に活躍できるジャーナリスト、コーディネーター、国際機関やNGOなどの広報担当者など、メディア・コミュニケーションの理論と実践を理解し、的確に発信できる人材が強く求められている。本コースでは、グローバル・メディア・コミュニケーションの基礎的な知識、技能を身につけ、国際理解の促進に寄与することの意義を考える機会を提供することを目的としている。

## 2. コースコーディネーター

文学部新聞学科教授 音 好宏

## 3. コース概要

「グローバル・メディア」コース修了に必要な合計科目・単位数は12科目・24単位以上です。

## ◆導入科目（1～2年次）

科目・単位数	内容<新聞学科生とそれ以外で一部指定科目が異なる>
4科目：8～10単位	<p>*<b>選択必修科目：2科目</b> 指定の全学共通科目および学科科目の中から2科目を履修する</p> <p>*<b>選択科目：2科目</b> 指定の全学共通科目・学科科目から選択し履修する。</p>

			科目名	単位	開講元
導入科目	選択必修	全学 部 共 通	マルチメディア情報社会論	2	全学共通科目
			グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
			教養としてのインテリジェンス-国際情報リテラシーの課題と方法-	2	全学共通科目
		以外 新聞 学科 生	マス・コミュニケーション論Ⅰ	2	全学共通科目
			マス・コミュニケーション論Ⅱ	2	全学共通科目
	選択	新聞 学科 生	コミュニケーション論Ⅰ	2	新聞学科
			憲法	2	全学共通科目
			INTRODUCTION TO UNITED NATIONS	2	全学共通科目
			INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
			グローバル・コンサーンと平和の促進	2	全学共通科目
			情報化社会と情報倫理	2	全学共通科目
			SOCIOLOGY OF NATIONALISM	2	社会学科
			グローバル化の社会学	2	社会学科
			国際社会学1	2	総合グローバル学部
			国際社会学2	2	総合グローバル学部
CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4	国際教養学部			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆専門科目（3～4年次）

科目・単位数	内容
(1)応用科目 (講義による知識・方法論の習得) 5科目：10単位	*指定科目：5科目 (うち選択必修から3科目以上履修すること)  グローバル・メディア、グローバル・コミュニケーション、グローバル・ジャーナリズムに関する専門的知識、理論、および、その現状と課題について学ぶ。
(2)実務科目 (基礎的スキルの修得と向上) 3科目：6単位	*グローバル・メディア、グローバル・コミュニケーションの現場での実践的知識、技能を取得する。
(3)グローバル・メディア実践	*社会実践活動（インターンシップ等）を通じてグローバル・メディア、グローバル・コミュニケーションの実務を経験する、もしくは、専門科目で得た知識、技能を生かしコンテンツ制作を行うことが推奨される。（インターンシップ、実践活動等の参加は任意とする。） *オリジナル科目「グローバル・メディア実践プログラム」は必修ではないが、履修を推奨する。

			科目名	単位	開講元
専門科目	応用科目	必修	グローバル・メディア実践入門	2	グローバル教育センター
		選択必修	国際コミュニケーション論Ⅰ	2	新聞学科
	国際コミュニケーション論Ⅱ		2	新聞学科	
	マス・メディア論Ⅰ		2	新聞学科	
	人間行動とマス・メディアⅠ		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅠa		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅠb		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅡa		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅡb		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅢa		2	新聞学科	
	外国ジャーナリズムⅢb		2	新聞学科	
	選択		ライフスタイルの社会学	2	社会学科
		ライフコースの社会学	2	社会学科	
		計画と政策の社会学	2	社会学科	
		格差と不平等の社会学	2	社会学科	
		経済と文化	2	社会学科	
		経済とネットワーク	2	社会学科	
		メディアと情報の社会学	2	全学共通科目	
		外交政策1	2	総合グローバル学部	
		外交政策2	2	総合グローバル学部	
		国際政治史1	2	総合グローバル学部	
		国際政治史2	2	総合グローバル学部	
		グローバリゼーションと市民社会1	2	総合グローバル学部	
		グローバリゼーションと市民社会2	2	総合グローバル学部	
		フィールドワークの技法と実践	2	総合グローバル学部	
		国際教育開発論1	2	総合グローバル学部	
	国際教育開発論2	2	総合グローバル学部		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

			科目名	単位	開講元
専門科目	実務科目	必修	実践メディア英語	2	グローバル教育センター
		選択	時事問題研究Ⅰ	2	新聞学科
			時事問題研究Ⅱ	2	新聞学科
			時事問題研究特殊Ⅰa(国内)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊Ⅰb(国内)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊Ⅱa(国際)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊Ⅱb(国際)	2	新聞学科
			ジャーナリズムの現在Ⅰ	2	新聞学科
			ジャーナリズムの現在Ⅱ	2	新聞学科
	グローバルメディア実践	選択	グローバル・メディア実践プログラム	2	グローバル教育センター
		メディア実践Ⅰ	2	新聞学科	
メディア実践Ⅱ		2	新聞学科		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

#### 4. 「グローバル・メディア」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP30060	GCP306	グローバル・メディア実践入門	2	春	*黄 盛 彬		GCP(グローバル・メディア)履修者のみ受講可
	GCP30070	GCP307	実践メディア英語	2	秋	国 枝 智 樹	○	GCP(グローバル・メディア)履修者のみ受講可
	GCP30080	GCP308	グローバル・メディア実践プログラム(※)	2	秋	コーディネータ 音 好 宏		GCP(グローバル・メディア)履修者のみ受講可、輪講

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

(※)の科目はテレビセンターで実施するため、別途実習費が必要となる。

#### 5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件(必要な知識等)

- ・人類が直面する地球規模の課題や国際社会で発生する時事問題への強い関心。
- ・複眼的な思考力や課題発見・解決力、情報発信力、表現力を高めようとする意欲があること。
- ・グローバルなメディア・コミュニケーション、ジャーナリズムに携わる上で必要な語学力。
- ・グローバル化、情報化が進む現代社会の諸問題を考える上で前提となる近現代史の基礎知識。
- ・アーカイブス、ウェブ等から積極的に情報探索を行える情報リテラシー。

#### 6. 申込条件

- ・指定の導入科目を履修済(もしくは履修中)であること。ただし、選択必修科目について、申込までに異なる2科目以上に抽選エントリーしたが落選し、1科目もしくはすべて未履修の場合は、2年次秋学期に当該科目がある場合には、必ず抽選エントリー、履修したうえで申し込むこと。(単位が修得できなかった場合にはプログラム受講資格は取り消しとなる。)
- ・2年次春学期までの全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア*
TOEIC	660点以上	テスト実施日より2年以内のもの
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	のみ有効
実用英語検定(英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目(英語)	ACADEMIC COMMUNICATION1・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中、またはELEMENTARYを修得済であること	不要

\*いずれもコピー可。

## 16年次生以前

### 「グローバル・アクション」コース

#### 1. コースの目的

現代世界には、貧困、教育、環境、正義に関わる諸問題が渦巻いている。本コースの目的は、これらの問題に私達がどのように関わっているか、また私達のアクションが世界にどのような影響を与えるかを理解することである（“Think globally”）。そして、様々なボランティア、サービス・ラーニング、フィールドワークなどを通して、NGO/NPO、市民活動に学び、さらなる実践へと結びつける方途を見出してゆくことである（“Act locally”）。草の根運動を検証することで、社会的正義や市民社会といった理念が人々の生活にどう関係しているかを学び、世界の問題を解決へと導く方法を模索する。なお、このコースは日・英両言語を用いて科目を履修するバイリンガル・コースである。

#### 2. コースコーディネーター

国際教養学部教授 SLATER David

#### 3. コース概要

「グローバル・アクション」コース修了に必要な科目・単位数は11～12科目（うち英語によるもの最低3科目）・24単位以上です。

#### ◆導入科目（1年次～）

科目・単位数	内容	備考
4科目：8単位～	<p>*選択科目：4科目</p> <p>・科目は「Global Politics」、「Society &amp; Culture」、「Environment &amp; Development」の3クラスターに分けられている。プログラム修了までに各クラスターから最低1科目は履修すること。</p>	2年次秋学期の受講申込までに3科目は履修すること。うち1科目以上は英語による科目を必修とする。

		科目名	単 位	開講元
導入科目	Global Politics	SOCIOLOGY OF NATIONALISM	2	社会学科
		グローバル化の社会学	2	社会学科
		INTRODUCTION TO UNITED NATIONS	2	全学共通科目
		THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS	4	国際教養学部
		INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	国際教養学部
		CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4	国際教養学部
	Society & Culture	愛とケアの思想史	2	神学部
		ジェンダーの社会学	2	社会学科
		国際社会学 1	2	総合グローバル学部
		グローバル・コンサーンと平和の促進	2	全学共通科目
		民族関係論	2	神学部
		平和学	2	神学部
		生命倫理の世界	2	全学共通科目
		社会心理学 I	2	心理学科
		INTRODUCTION TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
		ANTHROPOLOGY OF JAPAN	4	国際教養学部
		NATURE AND CULTURE	4	国際教養学部
		FUNDAMENTALS OF RELIGION	4	国際教養学部
		INTRODUCTION TO SOCIOLOGY	4	国際教養学部
INTRODUCTION TO JAPANESE SOCIETY	4	国際教養学部		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

		科目名	単位	開講元
導入科目	Environment & Development	地球環境と科学技術 I	2	全学共通科目
		地球環境と科学技術 II	2	全学共通科目
		グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
		アフリカと開発：2030 アジェンダと持続可能な社会づくり	2	全学共通科目
		開発経済学	4	総合グローバル学部
		開発の社会学	2	社会学科
		地球環境学 I	2	全学共通科目
		地球環境学 II	2	全学共通科目
		環境問題と科学技術	2	全学共通科目
		環境法入門	2	法学部
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
		CONSERVATION	2	全学共通科目
		ENVIRONMENTAL ISSUES 1	4	国際教養学部
HUMAN GEOGRAPHY	4	国際教養学部		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

### ◆専門科目（3～4年次）

科目・単位数	内容	備考
(1)リテラシー科目 (知識習得) 5科目：10単位～	<p>※必修科目：1科目            選択必修科目：2～3科目            選択科目：1～2科目</p> <p>グローバル化した世界の多様な問題に対して、人びとがどのような方法を用いて市民活動を実践し、世界に貢献してきたかを学ぶ。</p>	5科目中、英語による科目を最低2科目必修とする。
(2)サービス・ラーニング関連科目 1～2科目：4単位～	<p>指定のサービス・ラーニング関連科目から4単位以上履修。</p> <p>なお、1・2年次ですでに履修している場合はそれも可とする。原則として、実践型プログラムを最低1科目履修する。</p>	指定プログラムは7.を参照
(3)プロジェクト科目（実践） 1科目：2単位	<p>※必修科目：1科目</p> <p>プランニングに基づき社会貢献プロジェクトを実践する</p>	

		科目名	単位	開講元
専門科目	必修	プロジェクト・プランニング	2	グローバル教育センター
		選択必修	ANTHROPOLOGY OF JAPAN: RACE, CLASS AND GENDER	4
		CIVIL SOCIETY, NPO AND CITIZEN POWER	2	グローバル教育センター
		グローバル化世界と日本の市民社会	2	グローバル教育センター
	選択	社会哲学 I	2	哲学科
		社会哲学 II	2	哲学科
		政治哲学 I	2	哲学科
		政治哲学 II	2	哲学科
		教育学特殊講義 II-教育の思想-	2	教育学科

グローバル教育センターについて  
 科目  
 インターシッピング  
 グローバル教育センター  
 プログラム  
 データサイエンス  
 プログラム  
 海外短期  
 実践型  
 プログラム  
 自己学習  
 自己学習

			科目名	単 位	開講元
専 門 科 目	リ テ ラ シー 科 目 ( 知 識 習 得 )	選 択	教育学特殊講義 III -SOCIOLOGICAL PERSPECTIVES ON EDUCATION AND INTERNATIONAL DEVELOPMENT-	2	教育学科
			アフリカ文化理解と医療保健活動	2	看護学科
			環境法総論	2	法学部
			環境法各論	2	法学部
			環境社会学	2	法学部
			LEGAL WRITING	2	法学部
			LAW AND SOCIETY	2	法学部
			環境経済学	2	経済学科
			ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCE ECONOMICS	2	経済学科
			環境マネジメント論	2	経営学科
			HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1	2	外国語学部 (英語学科)
			HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	外国語学部 (英語学科)
			PSYCHOLOGY OF DISCRIMINATION	2	外国語学部 (英語学科)
			INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	外国語学部 (英語学科)
			INTERCULTURAL INTERACTION 2	2	外国語学部 (英語学科)
			ヨーロッパ政治経済論	2	外国語学部 (ドイツ語学科)
			ヨーロッパ政治経済入門	2	外国語学部 (ドイツ語学科)
			ロシア・ユーラシア経済概論	2	外国語学部 (ロシア語学科)
			ロシア・ユーラシア経済特論	2	外国語学部 (ロシア語学科)
			ラ米現代史概論	2	外国語学部 (スペイン語学科)
			ラ米政治社会特論	2	外国語学部 (スペイン語学科)
			NGO と社会運動の人類学	2	総合グローバル学部
			アジアの環境と開発	2	総合グローバル学部
			アフリカ社会経済論	2	総合グローバル学部
			民衆イスラーム論	2	総合グローバル学部
			イスラームとジェンダー	2	総合グローバル学部
			特講(国際機構)A	2	総合グローバル学部
			特講(国際機構)B	2	総合グローバル学部
			グローバル化と文化 1	2	総合グローバル学部
			グローバル化と文化 2	2	総合グローバル学部
			WOMEN AND MEN IN THE LABOR MARKET	4	国際教養学部
			RELIGION, CONFLICT AND VIOLENCE	4	国際教養学部
			NONPROFIT NGOS IN COMPARATIVE CONTEXTS	4	国際教養学部
			JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS	4	国際教養学部
POLITICAL ECOLOGY	2	国際教養学部			
ENVIRONMENTAL POLITICS OF AGRICULTURE	4	国際教養学部			
SEMINAR IN POLITICAL SCIENCE	4	国際教養学部			
AGRARIAN SOCIETIES	4	国際教養学部			
NATIONALISM, CITIZENSHIP AND DEMOCRACY IN JAPAN	4	国際教養学部			



			科目名	単位	開講元
専門科目	リテラシー科目 (知識習得)	選択	COMPARATIVE POLITICS OF ADVANCED INDUSTRIAL DEMOCRACIES	4	国際教養学部
			NATURE AND SOCIETY	4	国際教養学部
			ADVANCED READINGS IN ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
			POLITICAL LEADERSHIP	4	国際教養学部
			POLITICAL ECONOMY OF DEVELOPMENT	4	国際教養学部
			SOCIETY AND POLITICS	4	国際教養学部
			ANTHROPOLOGY PRACTICUM 2	4	国際教養学部
			INDIGENOUS RELIGION	4	国際教養学部
		必修 (実践)	プロジェクト科目	PRAXIS IN CIVIL SOCIETY	2

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

#### 4. 「グローバル・アクション」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP30090	GCP309	プロジェクト・プランニング	2	春	*ROSSITTO Sarajejan		GCP (グローバル・アクション) 履修者のみ受講可
	GCP30090	GCP309	プロジェクト・プランニング	2	秋	*ROSSITTO Sarajejan		GCP (グローバル・アクション) 履修者のみ受講可
	GCP30100	GCP310	CIVIL SOCIETY, NPO AND CITIZEN POWER	2	秋	*松元千枝	○	GCP (グローバル・アクション) 履修者のみ受講可
	GCP30110	GCP311	グローバル化世界と日本の市民社会	2	春	伊藤高章		GCP (グローバル・アクション) 履修者のみ受講可
	GCP30120	GCP312	PRAXIS IN CIVIL SOCIETY	2	秋	コーディネータ SLATER David		秋学期集中, GCP (グローバル・アクション) 履修者のみ受講可

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

#### 5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件 (必要な知識等)

- ・「弱者」に対する強い関心があり、自ら進んで社会に貢献しようとする気持ちがあること。
- ・人びとの多様性を認める姿勢があること。
- ・大きな地球の問題に立ち向かおうとする意識があること。
- ・英語を自分の武器にする、という気持ちがあること。

#### 6. 申込条件

- ・指定の導入科目を修得済 (もしくは履修中) であること。ただし、学科必修科目との時間割重複など、申込までに導入科目の履修が難しい場合は、2年次秋学期に当該科目がある場合には、必ず履修登録のうえに申し込むこと。(単位が修得できなかった場合にはプログラム受講資格は取り消しとなる。)
- ・2年次春学期までの全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア*
TOEIC	660点以上	テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	
実用英語検定 (英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目 (英語)	ACADEMIC COMMUNICATION1・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中、またはELEMENTARYを修得済であること	不要

\*いずれもコピー可。

## 7. サービス・ラーニング関連科目（科目詳細は各開講元のページを参照）

・下記の科目から4単位以上履修する。原則として、実践型プログラムを最低1科目履修する。

			科目名	単位	開講元
専門科目	サービス・ラーニング関連科目	選択	ボランティア論	2	神学部
			国連ユースボランティア実習	6	全学共通科目
			HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1	2	国際教養学部
			HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2	2	国際教養学部
			AJCU-AP サービスラーニング・プログラム	4	全学共通科目
			アフリカに学ぶ	2	全学共通科目
			インド・サービスラーニング・プログラム	4	全学共通科目
			カンボジア・サービスラーニング・プログラム	2	全学共通科目
			国際サービスラーニング論	2	全学共通科目

※科目の名称、内容については変わる可能性がある。

# データサイエンスプログラム

グローバル社会で必要な素養であるデータ分析や情報を活用できる力を養うため、株式会社三菱総合研究所（MRI）との連携により開講するプログラム（科目群）です。全学共通科目（選択科目）として開講されます。

このプログラムは、基礎科目・応用科目からなり、経営の視点に立ったデータ活用法を体系的に学ぶことができます。所定の科目を履修した場合、プログラム履修証明を発行します。

応用科目は社会人とともに学ぶ講座です。なお、基礎科目だけの履修も可能です。

## <プログラムの概要>

### ●基礎科目

#### ①「データ活用と経営戦略（データサイエンス基礎）」2単位（秋学期開講）

内容：企業が直面するさまざまな経営課題を時間的・空間的に俯瞰し、課題の本質と経営戦略との関係理解を深めながら、データ活用がどのように進化し、経営に貢献しているかについて学ぶ。

#### ②「ビジネスデータ分析理論（データサイエンス基礎）」2単位（秋学期開講）（旧「ビジネスデータ分析入門」）

内容：ビジネスデータ分析の活用事例の理解から始め、データ分析を行う上で必要となる基礎事項の理解を深めるとともに、データ分析において必要となる分析手法の基礎理論の理解を目指す。

※なお、本講義では和記号、積分記号、指数関数などある程度の数学的知識を有することを前提とするため、特に微積分（数Ⅱ）、データの分析（数Ⅰ）を履修し理解していること。統計学に関する入門レベルの科目を履修していることが望ましい。

### ●応用科目

#### ③「ビジネスデータ分析実践（データサイエンス応用）」2単位（夏期集中講義）

内容：実際のビジネスにおけるデータ活用について、「ビジネスデータ分析入門」で学んだ内容を踏まえて実習形式で体得することを目指す。

開講時期：この科目は、夏期集中講義として、2018年9月6・7・13・14日に開講予定です。

履修条件：2015年度または2016年度に「ビジネスデータ分析入門」または「ビジネスデータ分析理論（2017年度から開講）」を履修し、成績評価がB以上であること。

#### ④「アナリティクスによる事業戦略（データサイエンス応用）」2単位（春学期開講）

内容：ビッグデータを活用している最先端の業界の実務担当者を講師とする、ケーススタディ型の講義科目。取扱う業界の分野例：流通・広告・アパレル・コールセンター業など（予定）

履修条件：「データ活用と経営戦略」または「ビジネスデータ分析入門（2016年度まで開講）」「ビジネスデータ分析理論（2017年度から開講）」を履修済の学生が、優先的に履修可能。

上記①②③④の4科目の履修・単位修得をもってプログラム修了とし、履修証明書を発行します。証明書発行希望者はグローバル教育センター（2号館2F）に申し出ること。

# 海外短期研修

※下記内容は変更、中止される可能性があります。また下記以外にも、追加で新たに実施が決定されることもあります。最新の情報についてはグローバル教育センター（2号館1階）に確認してください。

## ①本学の修得単位として認定するもの

大学名	講義での使用言語	実施国名	授業期間	付与単位数	対象学科	成績・単位の取り扱い
カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA)	英語	アメリカ	夏期休業中	参加者の履修科目による	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 全学共通科目（選択科目）または学科科目として認定可。語学科目としての認定不可。</li> <li>* 事前に所属学科長と面談・相談のうえ参加し、学生が帰国後単位換算願を提出する必要がある。</li> <li>* 2018年度秋学期分単位として認定し、修了した者の成績は“N”（認定）となる。</li> </ul>
アンジェ高等商業科学大学 (ESSCA)	英語	ハンガリー	春期休業中	参加者の履修科目による	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 全学共通科目（選択科目）または学科科目として認定可。語学科目としての認定不可。</li> <li>* 事前に所属学科長と面談・相談のうえ参加し、学生が帰国後単位換算願を提出する必要がある。</li> <li>* 2019年度春学期分単位として認定し、修了した者の成績は“N”（認定）となる。</li> <li>* 本学の交換協定に基づき実施されるため、授業料は免除となる（航空運賃、宿舍費等は自己負担）。</li> </ul>

※両プログラムとも国際教養学部生が単位認定された場合は認定単位数分の授業料が発生する。

## ②本学の開講科目として取り扱うもの

大学名	講義での使用言語	実施国名	授業期間	付与単位数	対象学科	成績・単位の取り扱い	開講学部・学科
カリフォルニア大学デービス校	英語	アメリカ	夏期休業中	2	理工学部のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 理工共通科目 I 群の自由科目として算入可。ただし卒業に必要な単位には充当できない。</li> <li>* 2018年度春学期分単位として付与され、修了した者の成績は“P”となる。</li> </ul>	理工学部共通
オックスフォード大学	英語	イギリス	夏期休業中	2	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。語学科目としての算入不可。</li> <li>* 2018年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。</li> </ul>	外国語学部
ロンドン大学 SOAS	英語	イギリス	夏期休業中	4	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。語学科目としての算入不可。</li> <li>* 2018年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。</li> </ul>	外国語学部
トリア大学	ドイツ語	ドイツ	夏期休業中	2	ドイツ語学科のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 外国語学部ドイツ語学科選択科目「ドイツ語 III」として算入可。</li> <li>* 2018年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。</li> <li>* 問合せ先：ドイツ語学科事務室</li> </ul>	外国語学部
教皇立ハベリアナ大学	イスパニア語	コロンビア	夏期休業中	2	全学部生可（ただし、定員を超えた場合はイスパニア語学科生優先）	<ul style="list-style-type: none"> <li>* イスパニア語学科生は学科科目として算入可。ただし、専攻外国語としてのイスパニア語科目として算入する場合は学科の指導に従うこと。</li> <li>* イスパニア語学科生以外は全学共通科目（選択科目）または学科科目として導入可。</li> <li>* 2018年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。</li> </ul>	外国語学部
ジョージ・ワシントン大学	英語	アメリカ	休講	2	全学部生可（ただし、定員を超えた場合は法学部生優先）	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 法学部生は学科科目として算入可。</li> <li>* 法学部生以外は全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。</li> <li>* 語学科目としては算入不可。</li> <li>* 2018年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。</li> </ul>	法学部
ノースカロライナ大学シャーロット校	英語	アメリカ	春期休業中	2	理工学部のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 理工共通科目 I 群の自由科目として算入可。ただし卒業に必要な単位には充当できない。</li> <li>* 2018年度秋学期分単位として付与され、修了した者の成績は“P”となる。</li> </ul>	理工学部共通
パリ政治学院	英語	フランス	春期休業中	4	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。語学科目としての算入不可。</li> <li>* 2018年度秋学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。</li> </ul>	外国語学部
西オーストラリア大学	英語	オーストラリア	春期休業中	4	全学部生可（ただし、定員を超えた場合は法学部生優先）	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 法学部生は学科科目として算入可。</li> <li>* 法学部生以外は全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。</li> <li>* 語学科目としては算入不可。</li> <li>* 2018年度秋学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。</li> </ul>	法学部

※詳細は各開講ページのページを参照すること。

# 実践型プログラム

※下記内容は変更、中止される可能性があります。最新の情報についてはグローバル教育センター（2号館1階）に確認してください。

プログラム名	授業期間	付与単位数	成績・単位の取り扱い	プログラム概要
AJCU-AP サービスラーニング・プログラム	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	イエズス会の教育の精神“Men and Women for others, with others”に基づいた人間的な成長を目指し、環境保全・地域開発をテーマに、アジア諸国の学生と共に社会貢献について考え、現地にて実践するプログラム。(2018年度は本学にて実施予定)
GLP グローバルリーダーシップ・プログラム	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	イエズス会5大学（上智、西江大学（韓国）、輔仁大学（台湾）、アテネオ・デ・マニラ大学（フィリピン）、サナタ・ダルマ大学（インドネシア））から学生が集い、テーマに沿って学内での事前・事後指導、現地での討論等を通じてキリスト教の人間教育を理解し、グローバル社会で活躍するリーダーの育成を目指すプログラム。(2018年度は西江大学にて実施予定)
カンボジア・サービスラーニング・プログラム	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	カンボジアに赴き、現地の人々と時間を共有し、異国の文化や歴史に触れることにより、他者を思いやる気持ち、異文化を理解する気持ちを育むのみならず、学生が日々生活している恵まれた環境や生きることの意味を省みる機会を通じて、本学の教育精神“Men and Women for Others, with Others”を実体験として学ぶプログラム。
ミクロネシア・エクスポートツアー	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	ミクロネシアにて、現地の人々との交流やユネスコ文化遺産でもあるナン・マトール遺跡の見学等を通じて文化・社会・環境について学ぶプログラム。
インドの社会経済・人間開発に学ぶ:南インドのケララを実例として	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	南インドのケララ州の経済開発、労働問題、人間開発などの特徴や課題について、現地の状況に直接触れながら学ぶプログラム。 (p.100もあわせて確認すること)
国際公務員をめざして (実務型国連集中研修)	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	ニューヨーク国連本部にて、国際公務員制度や採用プロセスの説明に加え、履歴書の書き方やコンピテンシー面接などの実践的演習を行う。国連本部で研修することにより、実際の現場を身近に感じ、より現実的、効果的に学ぶことを目的とする。

グローバル教育センターについて  
 科目  
 インターシッピング  
 学外プログラム  
 データサイエンス  
 プログラム  
 海外短期  
 実践型  
 プログラム  
 国際公務員  
 実務型国連集中研修

プログラム名	授業期間	付与単位数	成績・単位の取り扱い	プログラム概要
アフリカに学ぶ	夏期休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	アフリカ地域の歴史と現在（政治・経済・文化・日常生活）について、現地での講義と実習（産業育成・農業関連施設、芸術・エコツーリズムなどのセンター、日本大使館、JICA事務所、国連機関等を予定）を中心に学ぶプログラム。
エストニア・スタディツアー	夏期休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	エストニアの教育機関・団体などの活動を見学し、現地の学生とのディスカッションを通して、持続可能な社会の構築について理解を深める。特に、自然環境、言語と文化、多様な教育形態を日本と比較しながら把握する。
国連の役割と機能 (国連集中研修プログラム)	春期休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	国連の役割と機能に関する理解を深めるために、実際に国連の活動に従事している職員達からニューヨーク国連本部で講義を受ける。その講義を通じて国連の理論と実践をより深く研究する。
インド・サービスマンシップ・プログラム	春期休業中	4	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	インドのデリー・アグラ・バラナシ・コルカタに滞在し、インドの歴史や文化、宗教を学ぶとともに、マザーテレサが設立した「神の愛の宣教者会」諸施設で、ボランティア活動を行う国際サービスマンシップ・プログラム。
ワシントンD.C.・国際政治の現場を学ぶ	春期休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	21世紀の国際政治の中心地、アメリカ首都ワシントンD.C.に滞在し、国際政治が実際どのような人物、組織、政策によって動いているのかを学ぶ。
メコン経済回廊 スタディツアー:肌で感じるASEAN共同体	春期休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	ベトナム、カンボジア、タイの三カ国に滞在し、経済特区や企業訪問、インフラ視察、文化遺産訪問、連携大学での学生交流等を通じて同地域の経済発展について学ぶプログラム。
ペルー・スタディツアー 「往還する南米日系人」	春期休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	教皇立ペルー・カトリック大学をホスト校とし、上智大学、南山大学、上智大学短期大学部の学生が合同参加するプログラム。ペルーの文化や歴史に関する講義を受講するとともに、博物館や史跡等でのフィールドワーク、現地の日系人コミュニティや現地小学校での教育文化交流等を行う。
国連ユースボランティア実習	秋学期	6	* 学内選抜後、UNVでの審査を経て、派遣先が決定する。 * 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2018年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	国連ボランティア計画（UNV）と日本の大学が連携して、学生を開発途上国へボランティアとして派遣するプログラム。派遣学生は、約5ヶ月間、開発途上国で国連や政府機関、NGOスタッフ、そして現地の人々とともに開発支援活動に従事し単位を修得する。

※国際教養学部の学生が参加する際には、付与単位数分の授業料がかかる。

## <Sophia AIMS(SAIMS)プログラム科目>

「ヒューマン・エコロジー：社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、ASEANの学生と協働して既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取り組むことを目指す学融合型プログラムです。自らASEAN諸国へ留学すること、ASEANから本学で受け入れている学生との交流を通じて、国際的な視野を持った人材育成を目指しています。

※下記の科目はプログラムに参加しない学生でも受講は可能で、授業言語はすべて英語で行う。(語学スコア等の提出は求めないがTOEFL79 (iBT) 相当の英語力が必要。ただし、「HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1」「HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2」はスコアの提出が必要。)

※担当教員等の詳細は各開講元のページを、単位の取り扱いについては所属学科のページを参照すること。「HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1」「HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2」の詳細については、国際教養学部の「BULLETIN OF INFORMATION」を参照すること。また、SAIMSプログラム自体の問い合わせに関してはグローバル教育センター(2号館1F)に問い合わせること。

科目名	開講学期	開講元
INTRODUCTION TO TRANS-DISCIPLINARY HUMAN DEVELOPMENT	春・秋	全学共通科目
CONSERVATION	春・秋	全学共通科目
ENVIRONMENTAL SCIENCE	春・秋	全学共通科目
HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1	春(夏期実習あり)	国際教養学部
HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2	春(夏期実習あり)	国際教養学部
SUSTAINABLE DEVELOPMENT	春・秋	全学共通科目

## <Sophia-Nanzan Latin America Program (LAP) 科目>

本科目は本学が、南山大学及び上智大学短期大学部と連携して実施する「大学の世界展開力強化事業(中南米)」を構成する主要な科目です。自らの学問分野に立脚しながらも、多角的な視野で問題の解決に向けて協働できる人材の養成を目標にしています。LAPで開講する以下の科目は中南米をはじめとする海外からの留学生と共に学ぶことや、国内外での多文化体験を通じてこの目標に沿った学修成果を目指します。

※「MIGRATION AND CO-EXISTENCE 1: TRADE AND INEQUALITY」および「MIGRATION AND CO-EXISTENCE 2: MIGRATION AND DEVELOPMENT」はLAPを利用して留学する予定のない学生でも受講は可能。授業はすべて英語で行う。(語学スコア等の提出は求めないがTOEFL79 (iBT) 相当の英語力が必要。)

※ペルー・スタディツアーは主に日本語と英語で授業を行う。英語力は現地での授業の受講やコミュニティでの交流に必要な中級レベル以上が必要。

※担当者等の詳細は( )内の各開講元のページを、単位の取り扱いについては所属学科のページを参照すること。またLAP自体の問い合わせに関してはグローバル教育センター(2号館1F)に問い合わせること。

科目名	開講学期
MIGRATION AND CO-EXISTENCE 1: TRADE AND INEQUALITY (全学共通科目)	春
MIGRATION AND CO-EXISTENCE 2: MIGRATION AND DEVELOPMENT (全学共通科目)	秋
ペルー・スタディツアー「往還する南米日系人」(全学共通科目)	秋(春期休業中)
教皇立ハベリアナ大学 短期研修(外国語学部)	春(夏期休業中)
JAPANESE POP CULTURE (全学共通科目)	秋

(注) 以下の5演習の履修年次は3・4年次となっているが、LAP 枠で3年次春に留学を開始する者は、2年次に受講することが可能である。

科目名	開講学期(開講元)
「日本・ラテンアメリカ比較演習(比較文学)」	春(イスパニア語学科)
「日本・ラテンアメリカ比較演習(日本とブラジルの経済)」	春(ポルトガル語学科)
(隔)「日本・ラテンアメリカ比較演習(経済発展)」	秋(イスパニア語学科)
(隔)「日本・ラテンアメリカ比較演習(社会開発と社会運動)」	秋(イスパニア語学科)
「日本・ラテンアメリカ比較演習(在日ブラジル人教育事情)」	秋(ポルトガル語学科)

## <東アジアの諸問題とイエズス会教育(上智・西江共同開講科目)>

本科目(全学共通科目)は、西江大学の学生との交流を含む科目です。TV会議システム等を利用した合同授業を実施するほか、週末(2泊3日)を利用して学期期間中に双方の国を行き来します。隣国理解を軸とし、2018年度は「東アジアにおける移民・難民」の課題研究を目的とする科目となります。

なお韓国への渡航に関する費用は自己負担となります。また履修にあたっては、別途説明会および事前選抜を行います。説明会・募集情報は、Loyolaの「グローバル教育センター」掲示板で発表します。

グローバル教育センターについて

科目・インディシブ

名門プログラム

デジタルサイエンス

研海外短期

実践型

自己責任教育

# SUMMER SESSION IN EAST ASIAN STUDIES AND JAPANESE LANGUAGE

1961年に始まり50年以上の歴史を持つ上智大学のSummer Session in East Asian Studies and Japanese Languageは、海外の大学生等を対象とした4週間の短期プログラムです。日本及びアジアの社会、政治、経済、芸術、言語に関わる講義や日本語を学ぶコースを英語で開講することにより、受講者に日本及びアジアの視点から今日の世界を考察してもらうことを目的としています。これまでに世界中の国々から累積で10,000人以上が参加している歴史あるプログラムです。

本学の学生も履修が可能ですが、通常の学期中に毎日授業が行われるプログラムのため、他の科目の履修と重複しないよう十分注意が必要です。

## 1. 開講期間と科目

開講期間はSession 1（6月）とSession 2（7月）があり、開講される科目は異なります。（一部共通科目あり）

Session 1 2018年6月4日から6月29日まで（ただし、毎週金曜日は授業がありません）

科目コード	科目名	単位
POZ310	CONTEMPORARY JAPANESE POLITICS	2
ENZ200	GLOBAL SUSTAINABILITY OUTLOOK AND PRACTICE IN JAPAN	2
ARZ330	JAPANESE ART (A)	2
IBZ200	JAPANESE BUSINESS AND ECONOMY	2
HSZ330	JAPANESE HISTORY:EDO AND TOKYO (A)	2
LNZ200	JAPANESE LANGUAGE AND CULTURE	2
LIZ300	EAST ASIAN CINEMA	2

Session 2 2018年7月2日から7月27日まで（ただし、毎週金曜日は授業がありません）

科目コード	科目名	単位数
SOZ440	CONTEMPORARY CHINESE SOCIETY	2
IBZ416	CONTEMPORARY JAPANESE ECONOMY	2
SOZ480	CONTEMPORARY JAPANESE SOCIETY	2
IBZ436	DEVELOPMENT ISSUES : ASIA AND THE WORLD	2
ARZ340	JAPANESE ART (B)	2
IBZ447	JAPANESE BUSINESS & MANAGEMENT	2
HSZ312	JAPANESE HISTORY:EDO AND TOKYO (B)	2
LNZ200	JAPANESE LANGUAGE AND CULTURE	2
LIZ334	JAPANESE LITERATURE AND THE CITY	2
SOZ330	JAPANESE POPULAR CULTURE	2
LIZ450	JAPANESE THEATER	2
RPZ340	SURVEY OF JAPANESE RELIGIONS	2
HSZ340	TOPICS IN JAPANESE HISTORY	2

## 2. 履修時の注意点

- ・4月中旬、上記科目のうち、履修登録ができる科目を掲示します。通常の履修登録期間とは異なる時期に履修登録を行いますので、詳細はLoyolaの「グローバル教育センター」掲示板に掲載される「履修申込要項」を確認してください。
- ・各科目には受入定員があります。希望者が多い場合は抽選となります。
- ・講義は全て英語で行われるため、下記いずれかの外国語要件を満たす必要があります。  
TOEFL/PBT: 550, TOEFL/iBT: 79, IELTS: 6.0
- ・受講する場合は別途受講料の支払いが必要になります。



# 5 履修プログラム

---

死生学履修プログラムについて

死生学履修プログラム科目一覧

インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラムについて

インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム科目一覧

死生学履修プログラムについて

科目一覧

インクルーシブ社会教育推進プログラムについて

科目一覧

# 死生学履修プログラムについて

## 1) 死生学履修プログラムとは

本プログラムは、本学の教育精神「他者のために、他者とともに」を具現化する一つの形として、本学において多数開講されている宗教や倫理に関わる科目、人間ケア関係の科目、および現代世界の諸相や地球的課題に対処する科目等を抽出・体系化し、現代社会における「宗教の公共性」、「死生観・生命倫理」、「臨床スピリチュアルケア」という3つのテーマについて体系的な学びの機会を提供することを目的としている。また同時に、大学院実践宗教学研究科死生学専攻への入学を希望する本学の学部学生のための導入教育として位置づけられる。

## 2) 開設コースについて

大学院実践宗教学研究科死生学専攻に合わせて、「第一群（宗教の公共性）」、「第二群（死生観・生命倫理）」、「第三群（臨床スピリチュアルケア）」の3つのコースを置く。

全学共通、学科科目から各コースで指定された科目を履修し、所定の単位を修得すれば、そのコースの履修証明を取得することができる。

## 3) 履修要件

在学中に、全学共通科目と学科科目を合わせて22単位修得する必要があるが、学科科目は5つの領域（宗教領域、哲学・倫理領域、心理領域、社会・社会福祉領域、スピリチュアルケア領域）に区分され、コースごとに領域で履修すべき単位数が定められている。

コース	領域						計
	全学共通※	宗教	哲学・倫理	心理	社会・社会福祉	スピリチュアルケア	
第一群 (宗教の公共性)	8	6	4	0	2	2	22
第二群 (死生学・生命倫理)	8	4	6	0	2	2	22
第三群 (臨床スピリチュアルケア)	8	2	2	2	2	6	22

※「キリスト教人間学」含む

(単位)

## 4) 受講対象者・人数

2015年度以降に1年次として入学した学生が対象  
1学年10～15名程度（コースごとの定員は無し）

## 5) 受講者申込・選抜

### (1) 申込条件

- ①2年次春学期までに、「キリスト教人間学」を2科目4単位以上取得済であること
- ②2年次春学期までの全科目のGPAが2.5以上であること

### (2) 申込時期

2年次秋学期

### (3) 申込に必要な書類

- ①プログラム履修願（所定フォーム）
- ②志望理由を記したレポートの提出（A4サイズ1枚程度、書式自由）
- ③最新の成績通知書（2年次春学期までの成績・GPAが記載されたもの）  
※Loyolaから出力可

### (4) 選抜方法

- ①書類審査（レポート含む）
- ②面接（死生学専攻教員などによる面接）

5) 申込から選抜までの流れ

- 申込期間 2018年9月18日(火)～25日(月) (予定)
- 書類提出先 実践宗教学研究科事務室 (10号館3階)  
※取扱時間9時～17時 ただし昼休み(11時半～12時半)及び土日祭日除く
- 面接期間 2018年9月25日(月)～26日(火) (予定)  
※面接時間は、書類提出時に確定
- 結果通知 2018年9月26日(火) Loyola掲示板(呼出し掲示)にて通知

6) プログラム受講・履修上の注意

- ・プログラム選抜結果が通知されるのは、秋学期の抽選科目エントリー終了後となる。そのため、プログラムの受講を予定している学生は、プログラムに選抜されることを前提とした履修計画を行うこと。
- ・ただし、抽選科目に落選した場合や、プログラムに選抜されなかった場合における履修手続き等において特別な措置はないので、留意すること。
- ・履修登録の際の条件や、科目を受講する際の留意点等については、開講元の学科ならびに担当教員の意向に従うこととし、本プログラム受講者ということでの特別な措置はないので、留意すること。
- ・プログラムの履修要件を満たした者には、「プログラム履修証明(仮)」を発行する。
- ・学生1名につき1コースのみの申請となるため、他のコースの条件を満たしたとしても、証明書の発行は申請時の1コースのみとなる。

7) 問合せ

プログラムの詳細については、以下に問い合わせること  
 実践宗教学研究科事務室 (10号館3階) (内線4699)  
 なお、プログラム履修願フォーム、プログラムの情報などについては、Loyola「学科・専攻別掲示板」で通知するので、確認すること。

8) 「死生学履修プログラム」科目一覧

※2018年度の開講状況や科目の履修条件等については、履修要覧の該当部分を参照すること

科目名	単位	第一群 (宗教の 公共性)	第二群 (死生観・ 生命倫理)	第三群 (スピリチュアルケア)	領域区分	開講元	備考
[キリスト教人間学]	各2	○	○	○	—	全学共通科目	
諸宗教における自然と人間	2	○	○		—	全学共通科目	
生命倫理の世界	2		○	○	—	全学共通科目	
宗教思想の伝統と現代	2	○			—	全学共通科目	
東西宗教芸術の伝統と今日的な宗教的霊性	2	○			—	全学共通科目	
ケアの臨床哲学	2			○	—	全学共通科目	
心理学 I A	2			○	—	全学共通科目	
心理学 I B	2			○	—	全学共通科目	
心理学概論	2			○	—	全学共通科目	2017年度まで開講
心理学入門	2			○	—	全学共通科目	
アートと心理学	2			○	—	全学共通科目	
社会学	2			○	—	全学共通科目	
生命倫理の諸問題と現代社会	2		○		—	全学共通科目	
インド・サービスラーニング・プログラム	4			○	—	全学共通科目	
日本の宗教と文学1	2	○	○	○	—	全学共通科目	
日本の宗教と文学2	2	○	○	○	—	全学共通科目	
応用倫理の世界	2		○		—	全学共通科目	

科目名	単位	第一群 (宗教の 公共性)	第二群 (死生観・ 生命倫理)	第三群 (スピリチュアルケア)	領域区分	開講元	備考
宗教思想の構造	2	○		○	—	全学共通科目	
聖地の比較宗教学	2	○		○	—	全学共通科目	
キリスト教の歴史Ⅰ	2	○		○	宗教	神学部	
キリスト教の歴史Ⅱ	2	○		○	宗教	神学部	
イエス・キリストⅠ	2	○			宗教	神学部	
イエス・キリストⅡ	2	○			宗教	神学部	
靈性の歴史	2	○	○	○	宗教	神学部	
宗教学	2	○	○	○	宗教	神学部	
宗教史	2	○	○	○	宗教	神学部	
科学と宗教	2	○	○		宗教	哲学科	2016年度まで開講
宗教哲学	2	○		○	宗教	哲学科	
日本美術史	2	○		○	宗教	史学科	
東洋美術史	2	○		○	宗教	史学科	
西洋美術史	2	○		○	宗教	史学科	
古典文学史A	2	○	○		宗教	国文学科	
古典文学史B	2	○	○		宗教	国文学科	
古典文学史C	2	○	○		宗教	国文学科	
古典文学史D	2	○	○		宗教	国文学科	
フランス語圏研究B(政治と宗教)	2	○	○		宗教	フランス語学科	
フランス語圏宗教研究概論	2	○	○		宗教	フランス語学科	
フランス語圏宗教研究特論	2	○	○		宗教	フランス語学科	
ヨーロッパの宗教と社会	2	○	○		宗教	フランス語学科	
キリスト教倫理Ⅰ	2	○	○	○	哲学・倫理	神学部	
キリスト教倫理Ⅱ	2	○	○	○	哲学・倫理	神学部	
キリスト教と哲学Ⅰ	2	○		○	哲学・倫理	神学部	
キリスト教と哲学Ⅱ	2	○		○	哲学・倫理	神学部	
生圏の倫理	2	○	○	○	哲学・倫理	神学部	
道徳哲学	2	○	○		哲学・倫理	神学部	
悪の思想史	2	○	○		哲学・倫理	神学部	
倫理神学の諸問題	2	○	○		哲学・倫理	神学部	
カトリック社会思想	2	○	○	○	哲学・倫理	神学部	
キリスト教思想史	2	○			哲学・倫理	哲学科	
人間論Ⅰ	2	○	○	○	哲学・倫理	哲学科	
人間論Ⅱ	2	○	○	○	哲学・倫理	哲学科	
社会哲学Ⅰ	2	○	○	○	哲学・倫理	哲学科	

科目名	単位	第一群 (宗教の 公共性)	第二群 (死生観・ 生命倫理)	第三群 (スピリチュアルケア)	領域区分	開講元	備考
社会哲学Ⅱ	2	○	○	○	哲学・倫理	哲学科	
応用倫理学Ⅰ	2		○	○	哲学・倫理	哲学科	
応用倫理学Ⅱ	2		○	○	哲学・倫理	哲学科	
仏教思想	2	○		○	哲学・倫理	哲学科	
東洋思想	2	○		○	哲学・倫理	哲学科	
心理学基礎論Ⅰ(思想と歴史)	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
心理学基礎論	2			○	心理	心理学科	
カウンセリング概論Ⅰ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
認知行動療法概論	2			○	心理	心理学科	
カウンセリング概論Ⅱ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
心理学的支援法	2			○	心理	心理学科	
老年心理学Ⅰ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
老年心理学	2			○	心理	心理学科	
老年心理学Ⅱ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
障害者・障害児心理学	2			○	心理	心理学科	
コミュニティ心理学Ⅰ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
コミュニティ心理学				○	心理	心理学科	
コミュニティ心理学Ⅱ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
健康・医療心理学	2			○	心理	心理学科	
心理臨床学Ⅰ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
臨床心理学概論	2			○	心理	心理学科	
心理臨床学Ⅱ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
臨床心理学	2			○	心理	心理学科	
深層心理学Ⅰ(深層心理学史)	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
深層心理学Ⅱ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
社会心理学Ⅰ	2			○	心理	心理学科	
社会心理学Ⅱ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
社会心理学Ⅱ(社会・集団・家族心理学)	2			○	心理	心理学科	
社会心理学	2		○		社会・社会福祉	社会学科	
家族社会学Ⅰ	2		○	○	社会・社会福祉	社会学科	
家族社会学Ⅱ	2		○	○	社会・社会福祉	社会学科	
ライフコースの社会学	2	○	○	○	社会・社会福祉	社会学科	
エイジングと世代の社会学	2	○	○	○	社会・社会福祉	社会学科	
ライフスタイルの社会学	2	○	○	○	社会・社会福祉	社会学科	
宗教社会学Ⅰ	2	○	○		社会・社会福祉	社会学科	

科目名	単位	第一群 (宗教の 公共性)	第二群 (死生観・ 生命倫理)	第三群 (スピリチュアルケア)	領域区分	開講元	備考
宗教社会学Ⅱ	2	○	○		社会・社会福祉	社会学科	
文化社会学	2	○	○		社会・社会福祉	社会学科	
災害の社会学	2		○	○	社会・社会福祉	社会学科	
社会老年学	2		○	○	社会・社会福祉	社会福祉学科	2016年度まで開講
ソーシャルワーク論Ⅰ	2			○	社会・社会福祉	社会福祉学科	
ソーシャルワーク論Ⅱ	2			○	社会・社会福祉	社会福祉学科	
ソーシャルワーク論Ⅲ	2			○	社会・社会福祉	社会福祉学科	
ソーシャルワーク論Ⅳ	2			○	社会・社会福祉	社会福祉学科	
スピリチュアリティとケア実践	2		○	○	スピリチュアルケア	神学部	
パストラル・ケア	2		○	○	スピリチュアルケア	神学部	
宗教体験と人間性	2	○	○	○	スピリチュアルケア	神学部	2017年度まで開講
倫理と霊性	2	○	○	○	スピリチュアルケア	神学部	
ボランティア論	2		○	○	スピリチュアルケア	神学部	
愛とケアの思想史	2	○	○	○	スピリチュアルケア	神学部	
ボランティア演習	2		○	○	スピリチュアルケア	神学部	2017年度まで開講
社会福祉原論	2		○	○	スピリチュアルケア	社会福祉学科	
社会福祉倫理学	2		○	○	スピリチュアルケア	社会福祉学科	
コミュニティソーシャルワーク論	2			○	スピリチュアルケア	社会福祉学科	
ケアマネジメント論	2		○	○	スピリチュアルケア	社会福祉学科	
医学一般	2		○	○	スピリチュアルケア	社会福祉学科	
相談援助の基盤と専門職	2			○	スピリチュアルケア	社会福祉学科	
看護学概論	2		○	○	スピリチュアルケア	看護学科	
生と死/痛みのケアリング・コロキウム	2		○	○	スピリチュアルケア	看護学科	2016年度まで開講
生と死のケアリング・コロキウム	2		○	○	スピリチュアルケア	看護学科	

# インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム ～オリンピック・パラリンピック東京 2020 大会を契機として～ について

## 1) インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラムとは

本学では、2016年度から、ソフィア・オリンピック・パラリンピック・プロジェクトを立ち上げ、活動を行っている。その取り組みの一つに、「オリンピック・パラリンピックを機として、共生社会を展望する教養科目群のマッピングと体系化」を掲げており、本プログラムを通して、次のとおり、体系的な学びの機会を提供する。

- (1) オリンピック・パラリンピックの東京開催を機に開設された科目を個別に受講するだけでなく、指定する科目を履修するプログラムを設置することにより、系統的にインクルーシブな社会を理解するためのプログラムとする。
- (2) 必要な単位数を修得した学生に履修証明を発行する。これが動機付けとなり、学生が積極的に受講することを期待する。
- (3) オリンピック・パラリンピック東京2020大会をゴールとするのではなく、その先の共生社会の構築に向けた人材育成を到達目標とする。

## 2) 受講対象者

2016年度以降に1年次として入学した学部生を対象とする。

## 3) プログラムの概要および修了要件

全学共通科目、学科科目から指定された科目を履修し、所定の単位を修得すれば、プログラムの履修証明を取得することができる。事前の申し込みは不要であり、選抜も行わない。

プログラムの概要および修了要件は、次のとおり。

- (1) プログラムに必要な科目・単位数は、5科目以上（10単位以上）とする。
- (2) これら科目の履修・単位数修得に加えて、修了レポートを課す。
- (3) 科目・単位数の内訳は、①導入科目（選択必修）から1科目以上（2単位以上）、②応用科目（選択）から4科目以上（8単位以上）、とする。
- (4) 導入科目および応用科目は、「インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム～オリンピック・パラリンピック東京2020大会を契機として～」科目一覧を参照のこと。

## 4) 履修から修了までの手続き

- (1) 「インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム～オリンピック・パラリンピック東京2020大会を契機として～」科目一覧を確認し、導入科目および応用科目それぞれに、通常の履修登録を行う。
- (2) プログラム修了者への履修証明発行手続きは、毎年1月に、Loyola掲示板にて案内する。
- (3) 履修証明発行希望者は、Loyola掲示板の案内に従い、卒業年度に所定の申請書に必要書類（成績証明書および修了レポート）を添付して事務局に提出すること。

## 5) プログラム受講・履修上の注意

- (1) 抽選科目について、本プログラム履修希望者への優先登録などの特別な措置は行わない。
- (2) 履修登録の際の条件や、科目を受講する際の留意点等については、開講元の学科ならびに担当教員の意向に従うこととし、本プログラム履修希望者への特別な措置は行わない。
- (3) プログラム修了者への履修証明は申請に基づき発行することとし、プログラム修了要件を満たしていても申請を行わない場合は発行しない。

インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム	
受講申し込み・選抜	なし
修了に必要な科目・単位等	5科目以上（10単位以上）の単位修得および修了レポート
単位数の内訳	導入科目（選択必修）から、1科目以上（2単位以上） 応用科目（選択）から、4科目以上（8単位以上）
受講手続き	開始時は特になし プログラム修了者で履修証明発行を希望する者は、卒業年度に履修証明発行申請を行うこと。

## 6) 問い合わせ

本プログラムの詳細については、以下に問い合わせること。  
文学部保健体育研究室事務室（7号館2階）（内線3381）

## 7) 「インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム ～オリンピック・パラリンピック東京2020大会を契機として～」科目一覧

科目名	単位	導入科目	応用科目		開講所属
			知る・理解する	生きる	
オリンピック・パラリンピック概論	2	○			全学共通科目
共生する社会と身体・スポーツ	2	○			全学共通科目
共生社会創生論－障がい者スポーツ・芸術を通じた共生社会の実現に向けて－	2	○			全学共通科目
国際サービスラーニング論	2			○	全学共通科目
ケアの臨床哲学	2		○		全学共通科目
現代文化としてのスポーツⅠ	2			○	全学共通科目
現代文化としてのスポーツⅡ	2			○	全学共通科目
知としての身体を考える	2			○	全学共通科目
人間と運動・スポーツ	2			○	全学共通科目
レジャー・スポーツ・レクリエーション論	2			○	全学共通科目
赤十字と国際活動	2			○	全学共通科目
ジェンダーと法	2		○		全学共通科目
言語と人間Ⅰ	2		○		全学共通科目
言語と人間Ⅱ	2		○		全学共通科目
人間・環境開発論	2		○		全学共通科目
立場の心理学1:マジョリティの特権を考える	2			○	全学共通科目
立場の心理学2:特権の自覚と行動をつなぐ	2			○	全学共通科目
マイノリティとグローバル社会	2		○		全学共通科目
スピリチュアリティとケア実践	2			○	神学部
ボランティア論	2			○	神学部
愛とケアの思想史	2		○		神学部
世界のスポーツ・身体文化論	2		○		文学部
国際教育学Ⅰ	2		○		教育学科
国際教育開発学Ⅰ	2		○		教育学科
国際教育学Ⅱ	2		○		教育学科
国際教育開発学Ⅱ	2		○		教育学科
生涯学習とスポーツ	2			○	教育学科
エイジングと世代の社会学	2		○		社会学科
ライフスタイルの社会学	2			○	社会学科
ライフコースの社会学	2			○	社会学科
ジェンダーの社会学	2		○		社会学科
グローバル化の社会学	2		○		社会学科
開発の社会学	2		○		社会学科
社会福祉原論	2		○		社会福祉学科



科目名	単位	導入科目	応用科目		開講所属
			知る・理解する	生きる	
ケアマネジメント論	2			○	社会福祉学科
当事者福祉論	2			○	社会福祉学科
ソーシャルワーク入門	2			○	社会福祉学科
公的扶助論	2		○		社会福祉学科
社会福祉の歴史と社会福祉思想	2		○		社会福祉学科
介護概論	2			○	社会福祉学科
介護技術	2			○	社会福祉学科
社会福祉倫理学	2		○		社会福祉学科
障害の理解と支援	2		○		社会福祉学科
生と死のケアリング・コロキウム	2		○		看護学科
社会保障法	4		○		法学部
特別講義（貧困とコミュニティの経済学Ⅰ）	2		○		経済学科
特別講義（貧困とコミュニティの経済学Ⅱ）	2		○		経済学科
難民とアメリカ	4		○		外国語学部
市民が関わる国際協力	2			○	外国語学部
グローバル社会学	2		○		総合グローバル学科
東南アジア社会とジェンダー	2		○		総合グローバル学科
イスラームとジェンダー	2		○		総合グローバル学科
CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4		○		国際教養学部
THE ENCOUNTER OF RELIGIONS IN THE MODERN WORLD	4		○		国際教養学部
RELIGION, CONFLICT AND VIOLENCE	4		○		国際教養学部
福祉・人間工学	2		○		機能創造理工学科
福祉情報学	2		○		情報理工学科
ヒューマンコミュニケーション	2		○		情報理工学科

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

# 6 語学科目 (14年次生以降対象)

語学科目について

学科別履修指定言語

英語

初習言語について

ドイツ語

フランス語

イスパニア語

中国語

ロシア語

イタリア語

ロシア語・(ブラジル)ポルトガル語, ラテン語

アジア・アフリカ諸語他

履修科目対応表 (14・15年次生対象)

日本語

海外短期語学講座

開講科目一覧表

語学科目  
について

学科別履修  
指定言語

英  
語

初習言語  
について

ドイツ  
語

フランス  
語

イハ  
ニ  
語

中  
国  
語

コ  
リ  
ア  
語

イ  
タ  
リ  
ア  
語

ポ  
ル  
ト  
ガ  
ル  
語  
、  
ラ  
テ  
ン  
語

ア  
ジ  
ア  
・  
ア  
フ  
リ  
カ  
諸  
語  
他

履  
修  
科  
目  
対  
応  
表

日  
本  
語

海  
外  
短  
期  
語  
学  
講  
座

開  
講  
科  
目  
一  
覧  
表

# 語学科目について

## 〔言語教育研究センターカリキュラム・ポリシー〕

独仏英と日本のイエズス会員によって設立された上智大学は創設当初から強い国際性をもった大学であり、外国語教育を重視してきました。世界がグローバル化し、複数言語や文化を尊重し、社会で共存していく多言語・多文化主義が当然となった現在でも、その伝統を受け継いでいます。言語教育研究センターでは、一人一人が複数の言語を使う複言語主義の考えに則りつつ、英語、日本語、ヨーロッパ諸語、アジア・アフリカ諸語など多数の外国語科目を開講することで大学のグローバル化を推進し、全学の学生が以下に掲げる3つの能力や知識を身につけることを目指しています。

- 1) グローバル化、多様化の進む世界の中で活躍していくために必要な外国語の運用能力
- 2) 外国語を使って自らの考えを論理的に構成し、発表し、更に議論できる素地
- 3) 複言語主義に基づいたさまざまな言語と文化に対する理解

この目標を実現するために英語、初習言語、日本語のそれぞれで以下のようなカリキュラムを設定しています。

【英語】1年次の必修科目 ACADEMIC COMMUNICATION (AC) 1&2 では、内容言語統合型学習 (CLIL) の手法を取り入れています。AC1 では英語で学び考えるための運用能力 (EAP = English for Academic Purposes) を高め、AC2 では、AC1 で身につけたスキルをもとに学術的な内容を英語で学ぶことで、批判的思考力や協働力を伸ばします。AC1 の修得者を対象として、各自の専門性や必要性、興味関心に応じて自由に履修できる選択科目を配置し、機能的英語能力を身につけさせます。

【初習言語】ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語では、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく身につけることを目的とした週2回の総合科目を、初級から上級までを5つのレベルにわけて段階的に学べるように編成しています。さらに、各自の目的と興味に応じて履修できる選択科目を置き、発展的・応用的な力を身につける機会を提供しています。上記5言語以外については、各言語の特性に応じた運用能力を高めることを目的とし、初学者から段階的に学べる科目編成としています。

【日本語】欧米やアジア諸国などからの留学生を対象としたノンネイティブ向けのクラスから、帰国生やインターナショナルスクール出身者などの日本語ネイティブ向けのクラスまで、多様化している学習背景や必要度を考慮した幅広い科目編成を行い、学生が各自の必要度に合った科目を履修し、段階的に日本語の運用能力を高める機会を提供しています。

# 英語の到達目標について

上智大学では英語の到達目標として、卒業までにCEFR（\*）のB2レベル以上を獲得することを奨励しています。入学時に受けるプレイスメント・テストで必修科目のレベル分けがありますが、プレイスされたレベルによる到達目標は下記のとおりです。1年次の終了時にはTEAP4技能試験を使用して、語学力の到達度を確認します。自分の英語力の弱み強みを確認して、4年間で目標のB2レベル以上を達成できることを目指してください。言語教育研究センターでは、英語の授業のほかにLanguage Learning Commons（LLC・6号館1F）で語学力向上をサポートするさまざまなサービスを行っています。授業と組み合わせて積極的に利用してください。

\*CEFRとは、Common European Framework of Reference for Languages（ヨーロッパ言語共通参照枠）の略称です。語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際標準規格として、広く活用されています。たとえばCEFRのB2は、自分の専門分野の技術的な議論や社会生活での幅広い話題について自然に会話ができ、明確かつ詳細に自分の意見を表現できるレベルとされています。

## ●ACADEMIC COMMUNICATIONのレベル分けによる達成目標

B2以下の目標レベルになっている場合も、最終的にはB2レベルを目指すことを奨励する。

INTRODUCTORY	B1
ELEMENTARY	B1
INTERMEDIATE I	B2
INTERMEDIATE II	B2
ADVANCED I	B2
ADVANCED II	C1

## ●各試験団体のデータによるCEFRとの対照表

CEFR	TEAP (2技能)	TEAP (4技能)	TEAP (CBT)	TOEFL iBT	TOEFL ITP	TOEIC (L&R)	IELTS	英検
C2							8.5-9.0	
C1		400	800	95-120	627-677	945-	7.0-8.0	1級
B2	164	334-399	600-795	72-94	543-626	785-	5.5-6.5	準1級
B1	100	226-333	420-595	42-71	460-542	550-	4.0-5.0	2級
A2	88	150-225	235-415		337-459	225-	3.0	準2級
A1						120-	2.0	3-5級

文部科学省作成資料及び各検定試験の公開情報を元に言語教育研究センターで作成

\*プレイスメント・テストはTEAP2技能を参照すること

# 語学科目履修上の注意（14年次生以降対象）

## 1. 共通重要事項

### 1) 言語の選び方について

- ①必修科目は、各学科で卒業単位として必要な言語を原則として1年次に履修すること。
- ②選択必修科目が定められている学科は、卒業単位として認められる言語を選び（自言語登録）、必要単位数を履修すること。自言語登録の方法については「履修登録クイックナビ」を参照すること。
- ③必修科目、選択必修科目以外に語学科目を履修した場合、全学共通科目の選択科目に8単位まで算入できる。
- ④学科によっては、③に加え、学科科目の選択に語学科目を算入できる場合がある。学科により言語の種類・単位数は異なるので、「学科別履修指定言語（選択）」(p.168)を参照すること。

### 2) 語学レベルと履修順序について（詳細は、英語p.170～、初習言語p.181～参照）

- ・各言語とも、自身の語学レベルによって履修できる科目が限られている。
- ・原則として、はじめに指定された語学レベルを変更することはできない。ただし、これまでの学習歴によってレベルを変更できる場合がある。この場合は所定のレベルアップの手続きをとること。
- ・言語ごとに指定された履修順序に従って履修すること。

### 3) 履修できる単位数について

- ・1言語につき、各学期2単位を上限とする。ただし英語の選択科目・初習言語のオプション科目および日本語はこの限りではない。
- ・初習言語については、各言語とも、コア科目の初級・中級科目は原則として履修できる単位数はそれぞれ4単位までである。ただしオプション科目はこの限りではない。
- ・同学期中に複数の言語を同時に履修することができる。
- \*コア科目・オプション科目の定義はp.181「2) 科目の種類について」を参照のこと。

### 4) 出席回数について

- ・単位取得の最低条件として、定められた出席回数を守ること。（→p.166「(2) 出席回数について」参照）

### 5) 重複履修について

原則、同一科目を2回以上履修しても卒業要件に算入されない。同一科目とは、原則として科目コードが同じ科目である。ただし、言語やレベルによっては一部重複履修が認められているため、各言語のページで確認すること。

### 6) 語学科目の履修中止について

- ・「必修」および「選択必修」として履修している科目を履修中止することはできない。ただし、自言語登録をした言語を変更する場合は履修中止できる（自言語登録の変更については学事センターに問い合わせること）。
- ・「選択」もしくは卒業要件に算入されない科目として履修している科目は、Loyolaで履修中止することができる。
- ・手続きの詳細はガイドページ「p.33. 履修中止」を参照すること。

語学科目について	学科別履修指定言語
英語	
初習言語について	
ドイツ語	
フランス語	
イタリ語	
中国語	
ロシア語	
イタリア語	
ポロニア語、リカ語、他	
アジアナフ諸語	
履修科目対応表	
日本語	
海外短期語学講座	
開講科目一覧表	

## 2. 概要

### 1) 語学科目の種類

語学科目は、次の22言語である。

- ・英語
- ・日本語
- ・初習言語（ドイツ語、フランス語、イスパニア語、ロシア語、ポルトガル語、イタリア語、中国語、コリア語、ラテン語、タイ語、インドネシア語、アラビア語、ペルシア語、カンボジア語、フィリピン語、ビルマ語、トルコ語、ベトナム語、ヒンディー語、スワヒリ語）

### 2) 出席回数について

語学科目の出席回数を以下のように定める。単位取得の最低条件として、定められた出席回数を守ること。ただし、出席回数を満たせば必ず単位が付与されるというわけではない。出席回数を満たしたうえで、各科目の評価基準に従い成績が付与される。①～⑤いずれも、初回の授業から出欠をカウントする。

なお、言語教育研究センターの科目では、下記に示す特別措置以外の事由（就職活動、ゼミ・部活などの公式な行事、交通遅延、忌引き等）は一切認めていない。出席しなければならない日数は、成績評価の最低限の条件であり、欠席や遅刻の回数が評価に影響を及ぼさないとということではない。急な病気や、特別措置が適用されないような事情が生じたときのために、普段からできるだけ欠席しないように心掛けること。

#### ①週1回の科目（全14回）

11回以上の出席を必須とする。

#### ②週2回の科目（全28回）

23回以上の出席を必須とする。

#### ③週4回の科目（全56回）

46回以上の出席を必須とする。

#### ④週5回の科目（全70回）

59回以上の出席を必須とする。

#### ⑤週10回の科目（全140回）

119回以上の出席を必須とする。

### <特別措置>

以下の内容に当てはまるものは、出席にも欠席にも扱わない。ただし、いずれも授業に出席できない期間が3週間を超える場合は、超えた期間についてはいかなる理由であっても特別措置の対象としない。また2つ以上の事由の合計が3週間を超える場合、超えた期間については特別措置の対象外とする。特別措置が認められた場合の出席回数については、担当教員に確認すること。特別措置の対象者で、出席に替わって課題を課されたものは、その提出が特別措置を受ける条件となる。

- ・病気や怪我のうち、登校できない期間が明記された診断書を提出できる場合（\*1）
- ・上南戦に参加する者のうち、大学からの証明を提出できる場合
- ・裁判員選任等に伴う欠席（p.24に記載された手続きを踏むこと）
- ・教育実習、養護実習、介護等体験、館務実習のうち、証明書を提出できる場合
- ・看護学科の実習で、証明書を提出できる場合

#### （\*1）慢性的な疾患について

期間が明記できない疾患の場合は事前に言語教育研究センター（6号館5階）に相談すること。相談できる期間は、春学期科目の場合4月27日（金）まで、秋学期科目の場合10月19日（金）までとする。

### <遅刻の取扱いについて>

授業開始時間（定刻）より、30分経過しても入室しなかった場合は、その後遅れて入室し授業を受けたとしても、欠席扱いとする。（0時限開講の科目については、定刻より15分経過とする。）

### 3) ナンバリングについて

語学科目のナンバリング（分野名）は以下の通りである。

なお、ナンバリングで表記されている数字3桁はレベルを示しており、その内容は言語によって異なる。

詳細は各言語のページを参照すること。

ナンバリング (分野名)	言語
ENG	英語
GMN	ドイツ語
FRN	フランス語
SPN	イスパニア語
CHN	中国語
KOR	韓国語
RUS	ロシア語
POR	(ブラジル)ポルトガル語
ITL	イタリア語
IND	インドネシア語
TGL	フィリピン語
ARA	アラビア語
THA	タイ語
PER	ペルシア語
CAM	カンボジア語
BUR	ビルマ語
TUR	トルコ語
VIE	ベトナム語
HIN	ヒンディー語
SWA	スワヒリ語
JPN	日本語
PHL	ラテン語

語学科目 について
学科別履修 指定言語
英 語
に 初 習 言 語 に 関 して
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ タ リ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語 、 ブラ ジ ル ポ ル ト ガ ル 語
中 国 語
コ リ ア 語
イ タ リ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語 、 ブラ ジ ル ポ ル ト ガ ル 語
ア ジ ア 、 オ セ ア ニ ア 、 ラ テ ン 語 、 他
履 修 科 目 対 応 表
日 本 語
海 外 短 期 語 学 講 座
開 講 科 目 一 覧 表

### 3. 学科別履修指定言語（必修・選択必修）

以下の表は、各学科で卒業要件としている言語を一覧表にしたものである。各自で以下の表と所属学科の頁を参照の上、履修すること。

\*必修科目は原則として1年次に履修すること。

\*選択必修科目は、すべて同一言語で履修すること。異なる言語を組み合わせることはできない。

\*日本語は、日本語を母語としない学生、及び所属学科の指導により、その履修の必要性が認められた者を対象とする。対象外の者が履修しても卒業要件に算入されない。

学部	学科	必修科目		選択必修科目																備考						
		英語	必要単位数	ドイツ語	フランス語	イスパニア語	中国語	ロシア語	イタリア語	ロシア語	ポルトガル語	ラテン語	インドネシア語	フィリピン語	アラビア語	タイ語	ペルシア語	カンボジア語	ビルマ語		トルコ語	ベトナム語	ヒンディー語	スワヒリ語	日本語	必要単位数
神	神	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	4	
文	哲(英語選択)	※1	4	○	○						○														4	
	哲(ドイツ語選択)	※1	4																						0	
	哲(フランス語選択 14~16年次)	※1	4	○							○														4	
	哲(フランス語選択 17~18年次)	※1	4		○																				4	
	哲(ラテン語選択 14~16年次)	※1	4	○	○																				4	
	史	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	8	※4
	国文	※1	4																						0	
	英文	※2	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	0	
	ドイツ文	※1	4																						0	
	フランス文	※1	4																						0	
総合人間	新聞	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	8	
	教育	※1	4																						0	
	心理	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	4	
	社会	※1	4																						0	
	社会福祉	※1	4																						0	
	看護 (14~16年次)	※3	8																						0	
	看護 (17~18年次)	※1	4																						0	
法	法律	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	8	
	国際関係法	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	8	
	地球環境法	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	8	
経	経済	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	4	
	経営	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	4	
外	英語	※2	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	0	
	ドイツ語	※1	4																						0	
	フランス語	※1	4																						0	
	イスパニア語	※1	4																						0	
	ロシア語	※1	4																						0	
ポルトガル語	※1	4																						0		
国際教養	国際教養	* Bulletin of Information (Faculty of Liberal Arts)を参照のこと																								
総合グローバル	総合グローバル	※1	4																						0	
理工	理工学部 英語コース	* Bulletin of Information (Faculty of Science and Technology)を参照のこと																								
	物質生命理工	※1	4																						0	
	機能創造理工	※1	4																						0	
	情報理工	※1	4																						0	

※1: ACADEMIC COMMUNICATION 1・2 (4単位)を履修

※2: 必修科目として、英語にかわり選択必修科目の中から一言語を選び8単位を履修すること。

※3: 看護英語 (1年次) および (2年次)を履修。詳細はp. 179参照。

※4: 日本史専攻者は学科のページを参照すること。



#### 4. 選択科目

必修科目、選択必修以外に語学科目を履修した場合、全学共通科目の選択科目に8単位まで算入できる（国際教養学部、看護学科（16年次生以前）を除く）。

また、学科によっては、これに加えて学科の選択科目に語学科目を算入できる場合がある。以下の表は、各学科で学科の選択科目に算入できる言語とその上限単位数を一覧表にしたものである。各自で以下の表と所属学科の頁を参照の上、履修すること。

- \*選択科目を履修する学生は、全学共通科目（選択）とするのか学科科目（選択）とするのか、履修登録時に区分を指定して登録すること。
- \*学科の指定言語以外の言語を学科の選択科目の区分に登録し履修することはできるが、その場合は卒業要件に算入されないで注意すること。
- \*上記に関わらず、文学部及び外国語学部の学生で、自学科の専門として学んでいる言語は、履修することはできない。英文学科、英語学科の学生は、英語（選択科目）に限り履修することができるが卒業要件に算入されない。また、当該言語を母語とする者も履修できない。
- \*海外短期語学講座の履修については上記の限りではない。詳細はP.206を確認すること。
- \*また、国際教養学部と看護学科（16年次生以前）の学生は、全学共通科目としての履修は認められない。
- \*日本語は、日本語を母語としない学生、及び所属学科の指導により、その履修の必要性が認められたものを対象とする。対象外の者が履修しても卒業要件に算入されない。なお、翻訳科目については日本語を母語とする学生も履修できるが、詳細はP.205を参照すること。

学部	学科	学科選択科目																	備考							
		上限単位数	英語選択科目	ドイツ語	フランス語	イスパニア語	ロシア語	ポルトガル語	イタリア語	中国語	韓国語	ラテン語	インドネシア語	フィリピン語	アラビア語	タイ語	ベルシア語	カンボジア語		ビルマ語	トルコ語	ベトナム語	ヒンディー語	スワヒリ語	日本語	
神	神	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
文	哲(英語選択)	0																								
	哲(ドイツ語選択)	0																								
	哲(フランス語選択)	0																								
	哲(ラテン語選択)	0																								
	史	4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	英語および選択必修で選択した以外の同一言語を4単位以上修得した場合のみ
	国文	0																								
	英文	0																								
	ドイツ文	0																								
フランス文	0																									
新聞	0																									
総合人間	教育	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	心理	0																								
	社会	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	社会福祉	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同一言語を4単位以上修得した場合のみ
	看護	0																								
法	法律	0																								
	国際関係法	0																								
	地球環境法	0																								
経	経済	0																								
	経営	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
外	英語	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必修で履修した言語以外
	ドイツ語	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	フランス語	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	イスパニア語	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ロシア語	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ポルトガル語	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
国際教養	国際教養	*Bulletin of Information (Faculty of Liberal Arts)を参照のこと																								
総合グローバル	総合グローバル	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※上限単位数については、学科のページを参照すること
理工	理工学部英語コース	*Bulletin of Information (Faculty of Science and Technology)を参照のこと																								
	物質生命理工	0																								
	機能創造理工	0																								
	情報理工	0																								

語学科目について	学科別履修指定言語
英	語
に	初習言語
つ	いて
ド	イツ語
フ	ランス語
イ	スパニッシュ語
中	国語
コ	リア語
イ	タリア語
ポ	ルトガル語
ア	ジアナフ
リ	カ諸語他
履	修科目
対	応表
日	本語
海	外短期
語	学講座
一	開講科目
覧	表

## 1) プレイスメント・テストについて

英語科目を履修するためには、プレイスメント・テストを受けなければならない(国際教養学部・理工学部英語コースの学生を除く)。また、英語科目の履修者以外も、下記に該当する学生はプレイスメント・テストを同日に受験すること。

- ・英文学科・英語学科の学生でこれから基礎科目を履修しようとする者(必修科目のクラス分けの参考とする)。
- ・教員免許状のうち、自学科で定められた教科以外に他教科として「英語」の免許取得を希望する学生が、課程科目の「英語科教育法」(課程センター開講)を履修する場合。
- ・英文学科生が「英語科教育法」(英文学科開講)を履修する場合。

## 【18年次生】

日 時	2018年4月2日(月)午前9時30分集合 [試験時間] 10:00~12:30(予定)
場 所	当日、掲示板にて指示する。
結果発表	2018年4月6日(金) 15:00 [掲示場所] Loyola 掲示板(学事センター [教務])

- ・10:15を過ぎた場合、テストは受験できない。やむを得ない事情で4月2日(月)に受験できなかった学生は、4月6日(金)17時までに言語教育研究センター(6号館5階)へ申し出て、追試を受験すること。
- ・学生証、筆記用具(マークシートのためHBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)を持参すること。
- ・時計を持参すること。携帯電話を時計代わりに使用することはできないので注意すること。

## 【4月2日に受験できなかった学生】

## 【14~17年次生で、まだプレイスメント・テストを受けたことがない学生】

追試日時	2018年4月7日(土)午前9時30分集合 [試験時間] 10:00~12:30(予定)
場 所	当日、掲示板にて指示する。
結果発表	2018年4月9日(月) 11:00 [掲示場所] Loyola 掲示板(学事センター [教務])

- ・14~17年次生で追試の受験を希望する者は、4月6日(金)17時までに言語教育研究センター(6号館5階)にて手続きをすること。詳細はLoyola掲示板(学事センター [教務])を確認すること。
- ・10:15を過ぎた場合、テストは受験できない(追試も受験できなかった場合は、当該年度は英語科目を履修できない)。
- ・学生証、筆記用具(マークシートのためHBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)を持参すること。
- ・時計を持参すること。携帯電話を時計代わりに使用することはできないので注意すること。

## 2) ACADEMIC COMMUNICATIONについて

ACADEMIC COMMUNICATIONは、英文学科、英語学科、国際教養学部、理工学部英語コースを除く全ての学科の必修科目である。

## ●科目の目的

- ・ACADEMIC COMMUNICATION 1(春学期2単位)  
学術的英語運用能力と学習スキルの習得を目指す。
- ・ACADEMIC COMMUNICATION 2(秋学期2単位)  
CLIL(内容言語統合型学習)による英語での内容学習と批判的思考の育成を目指す。

## ●履修の順序

- ・春学期にACADEMIC COMMUNICATION 1を履修した後、秋学期にACADEMIC COMMUNICATION 2を履修すること。
- ・ACADEMIC COMMUNICATION 1と2はそれぞれ学期ごとに独立した科目であり、それぞれ履修登録が必要となる。また成績もそれぞれに付与される。
- ・秋学期(ACADEMIC COMMUNICATION 2)は、抽選科目となっている。同一ブロック内の同一レベルの科目であれば、自由に選択できる(春学期と同じ教員でも別の教員でもよい)。ただし、同一ブロック内に同一レベルの科目がひとつしかない場合は、春学期と同じ教員の科目を履修登録すること。
- ・ACADEMIC COMMUNICATION 1を履修せずにACADEMIC COMMUNICATION 2を履修することはできない。詳細についてはp.172を参照すること。

●ACADEMIC COMMUNICATION の履修時間帯

ACADEMIC COMMUNICATIONは週2回の授業があり、学科によってこの科目を履修する時間帯は下表のとおり決められている。また、ACADEMIC COMMUNICATION 1に関しては各自の履修するクラスについても指定されるので、プレイズメント・テストの結果を確認すること。

【ブロック表】

時間／曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
0		INTRODUCTORY	INTRODUCTORY	INTRODUCTORY	INTRODUCTORY
1	A	D	F	D	F
2	B	E			
3				C	E
4	C		B	A	
5					

ブロック	学科分類
A	神, 教育, 心理, 国文, ドイツ文, 社会福祉
B	史, フランス文, 法律, 新聞
C	ドイツ語, フランス語, ポルトガル語, 総合グローバル
D	経済, 経営, イスパニア語, 社会
E	哲, 看護, 国際関係法, 地球環境法, ロシア語
F	情報理工, 物質生命理工, 機能創造理工

※INTRODUCTORYにレベル分けされた学生はブロックに関係なく、週4回開講、火・水・木・金曜日の0時限(8:15~9:00)のクラスを受講すること。

●レベルと到達目標

プレイズメント・テストの結果に基づき、学生は以下の6レベルに分けられる。

【各レベルの定義】

INTRODUCTORY	初歩的な内容を、読んだり聞いたりして理解し、書いたり話したりして表現することを、これから習得する。最低限の意思疎通をこれから身につける。
ELEMENTARY	基礎的な内容を読んだり聞いたりして、意味を理解できる。自己紹介レベルの内容を書いたり話したりできる。相手がゆっくりと話し、手助けをしてくれるならば、何とか意思疎通ができる。
INTERMEDIATE I	平易な内容を読んだり聞いたりして、全体を理解できる。簡単で日常的な事柄や自分自身のことについては、単純な文章で書いたり話したりできる。日常的で具体的な事柄ならば、その場での必要な意思疎通ができる。
INTERMEDIATE II	標準的レベルの内容を読んだり聞いたりして、主要な点を理解できる。知識や興味がある内容については、一定の長さで話したり書いたりできる。ぎこちなさはあるものの、その場での意思疎通ができる。
ADVANCED I	やや高度な内容を読んだり聞いたりして、主旨を理解できる。ある程度の複雑さを伴う事柄について、明確で詳細な内容を書いたり話したりできる。ある程度の流暢さでその場での意思疎通ができる。
ADVANCED II	高度で長い内容を読んだり聞いたりして、含意まで理解できる。複雑な事柄について、明確かつ詳細で、よく構成された内容を書いたり話したりできる。流暢にその場での意思疎通ができる。社交、勉強、仕事のような目的に応じた使い分けができる。

【各レベルの到達目標】

INTRODUCTORY	簡単な教科書や解説を大筋で読むことができ、トピックに関する説明を大体は聞き取れる。段落構成法に基づくパラグラフを書くことができ、初歩的な質疑応答や口頭発表を行える。
ELEMENTARY	簡単な教科書や解説を読むことができ、トピックに関する説明を聞き取れる。段落構成法に基づく複数のパラグラフを書くことができ、簡単な質疑応答や口頭発表を行える。
INTERMEDIATE I	平易な学術論文や入門書を大意で読むことができ、入門的内容の講義の主要な点を聞き取れる。論文作法に基づく初歩的なエッセイを書くことができ、簡単な議論や口頭発表を行える。

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
初習言語について
ドイツ語
フランス語
イタリ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポルトガル語、ロシア語、他
アジア諸語他
履修科目対応表
日本語
海外短期語学講座
一開講科目表

INTERMEDIATE II	平易な学術論文や入門書を読むことができ、入門的内容の講義を聞き取れる。論文作法に基づく基礎的なエッセイを書くことができ、基本的な議論や口頭発表を行える。
ADVANCED I	標準的な学術論文や専門書を大筋で読むことができ、専門的内容の講義を大体は聞き取れる。論文作法に基づく本格的なエッセイを一定の正確さで書くことができ、議論や口頭発表をある程度の流暢さで行える。
ADVANCED II	標準的な学術論文や専門書を細部まで読むことができ、専門的内容の講義を問題なく聞き取れる。論文作法に基づく本格的なエッセイを正確に書くことができ、議論や口頭発表を流暢に行える。

### 3) AC-TEAP (TEAP4技能試験)の受験について

ACADEMIC COMMUNICATION 2では、1年間の英語力の伸長を測るために、学期末にAC-TEAP (TEAP4技能試験)の受験を全員に義務付けている。ACADEMIC COMMUNICATION 2はAC-TEAP (TEAP4技能試験)の結果も含めて評価されるため、必ず受験すること。

なお、受験日は2日あり、個人ごとに指定される。受験日等の詳細は5月末までにLoyola掲示板(学事センター〔教務])に掲載するので確認すること。また、授業内においても教員から案内する。

#### 【受験日】2018年12月9日(日)、12月16日(日)のいずれか

\*12月22日(土)を予備日とする。

【場所】 上智大学四谷キャンパス

【時間】 9:00~17:00(予定) (開始・終了時間は個人により前後する場合があります)

※持ち物、注意事項は受験票配布時に指示する。

#### 【受験について】

- ・会場は当日指定する。
- ・検定料は、大学負担とする。
- ・個人ごとに指定された日に受験しなければならない。
- ・やむを得ない事情\*により、指定された日に受験できないことがあらかじめ判明している場合は、指定の期間内にLoyolaアンケート/各種申込から手続きの上、予備日(12月22日)に受験すること。指定された日とは別の受験日に受験することはできない。

\*ここでは原則「病気」「三親等内の忌引き」「災害」「交通機関の遅延」「裁判員制度での選任」をさし、予備日受験者には申請後にこれらの証明書の提出を求めることがある。

※ACADEMIC COMMUNICATION 2の履修者以外で、下記の学生は無料で受験することができる。

- ・英文学科の4年次生。希望者は英文学科事務室へ問い合わせること。
- ・英語学科の2年次生。詳細は必修科目の授業で説明する。

英文学科、英語学科についても、受験日等の詳細は5月末までにLoyola掲示板(学事センター〔教務])に掲載する。

### 4) ACADEMIC COMMUNICATION 1・2の再履修について

14~17年次生のうち、ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2の単位を修得していない学生の履修パターンは以下のとおりである。

#### ◆通常履修パターン

1年次春学期	1年次秋学期
ACADEMIC COMMUNICATION 1 (クラス指定)	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (抽選)

#### ◆ACADEMIC COMMUNICATION 1(2単位)の単位を修得できなかった場合、A-①~③のパターンで履修する

##### A-①

1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期
ACADEMIC COMMUNICATION 1 不合格	履修なし	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (クラス指定)	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (抽選)

## A-②

1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期
ACADEMIC COMMUNICATION 1 不合格	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (再履修者用・抽選)	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (再履修者用・抽選)	

## A-③

1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期
ACADEMIC COMMUNICATION 1 不合格	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (再履修者用・抽選)	履修なし	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (抽選)

◆ACADEMIC COMMUNICATION 2(2単位)の単位を修得できなかった場合、B-①または②のパターンで履修する

## B-①

1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期
ACADEMIC COMMUNICATION 1	ACADEMIC COMMUNICATION 2 不合格	履修なし	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (抽選)

## B-②

1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期
ACADEMIC COMMUNICATION 1	ACADEMIC COMMUNICATION 2 不合格	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (再履修者用・抽選)	

## 【パターンA-①】

履修するクラスの時間割ブロックは下表のとおりである。このブロックと他の抽選科目等が重複しないよう履修計画を立てること。

ACADEMIC COMMUNICATION 1の単位未修得者については、所属学科とレベルに応じたクラスを指定し、2018年4月6日(金)15:00に学事センター(教務)掲示板に掲示される新入生プレイスメント・テスト結果一覧に併せて掲示する。各自で確認の上、履修登録期間内に指定のクラスを登録すること。

## 【パターンB-①】

秋学期のACADEMIC COMMUNICATION 2は抽選科目であるため、ACADEMIC COMMUNICATION 2の単位を未修得の学生については、下表のブロックを確認の上、履修登録期間内にレベルに見合った科目を登録すること。

## ●ACADEMIC COMMUNICATION の履修時間帯(再履修者用)

## 〔ブロック表〕

時限／曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
0		INTRODUCTORY	INTRODUCTORY	INTRODUCTORY	INTRODUCTORY
1	A	D	F	D	F
2	B	E			
3				C	E
4	C		B	A	
5					

ブロック	学 科 分 類
A	神, 教育, 心理, ドイツ文, 社会福祉
B	哲, 史, フランス文, 法律, 地球環境法, 新聞, イスパニア語, ポルトガル語
C	ドイツ語, フランス語, 総合グローバル
D	経済, 国文, 経営, 社会
E	国際関係法, ロシア語
F	看護, 情報理工, 物質生命理工, 機能創造理工

※INTRODUCTORYにレベル分けされた学生はブロックに関係なく、週4回開講、火・水・木・金曜日の0時限(8:15~9:00)のクラスを受講すること。

語学科目について
学科別履修指定言語
英
語
に初習言語について
ドイツ語
フランス語
イパニア語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポルトガル語、ロシア語、リカ諸語他
アジアナフ
履修科目対応表
日本語
海外短期語学講座
一開講科目表

【パターンA-②, A-③およびB-②】

再履修・未履修者用科目として、秋学期のACADEMIC COMMUNICATION 1, 春学期のACADEMIC COMMUNICATION 2を少数ながら開講する(ただしINTRODUCTORYを除く)。

2018年度は以下のレベル・時間割で開講するので、学生は時間割上の都合がつけば、これらの科目を登録してよいこととする(但し、抽選科目である)。

開講レベル	対象となるレベル	科目数	時間割
ELEMENTARY	ELEMENTARY	1	・月曜5限および木曜5限
INTERMEDIATE	INTERMEDIATE I INTERMEDIATE II	3	・月曜5限および木曜5限 ・火曜5限および金曜5限 ・水曜4限および水曜5限
ADVANCED	ADVANCED I ADVANCED II	1	・月曜5限および木曜5限

なお、春学期にACADEMIC COMMUNICATION 2を履修した場合のAC-TEAP (TEAP4 技能試験)の受験に関する詳細は5月末までにLoyola 掲示板(学事センター〔教務])に掲載するので確認すること。

## 5) 選択科目について

ACADEMIC COMMUNICATION 1の単位を修得し終えた学生は、各自の興味・必要に応じて1年次秋学期以降に選択科目を履修できる。

### ● 科目の種類

- ・ Academic English :  
アカデミックな科目を体系的に英語で学ぶ。内容言語統合型学習 (CLIL) の手法を用い、科目の基本的な内容やその分野で使用される専門用語、学問分野を英語で身につける方法について学ぶ。
- ・ Professional English :  
専門的な職業分野で使用される英語を学び、仕事を円滑に行うための英語スキルを身につけていく。
- ・ Practical English  
-Skills courses : 日常業務や生活場面で使用される英語を実践的に活用できるよう学習していく。  
-Exam Preparation courses : 英語の資格・能力試験を受験するために必要なスキルを身につける。

### ● レベル

選択科目はレベルが目安のものと、指定されているものがあり、ナンバリングがそれを表している。

#### 【レベル目安】

ENG250: Introductory, Elementary, Intermediate I のレベルの学生を対象

ENG260: Intermediate II, Advanced I, Advanced II のレベルの学生を対象

※あくまでもレベルは目安であるため、Intermediate I の学生が ENG260 の科目を履修することも可能。

#### 【レベル指定】 TOEIC Preparation, TOEFL Preparation のみ、レベルが指定されている。

ENG150: Elementary のレベルの学生のみ履修可

ENG250, 260: Intermediate I, Intermediate II のレベルの学生のみ履修可

ENG250, 260, 350: Intermediate I, Intermediate II, Advanced I のレベルの学生のみ履修可

ENG350, 360: Advanced I, Advanced II のレベルの学生のみ履修可

### ● 履修上の注意

- ・ 英語必修科目4単位分の単位認定を受けた場合は、1年次春学期からの履修も可とする。
- ・ 教員が異なれば(もしくは科目コードが異なれば)、同じ科目名のことを重複して履修することができる。
- ・ レベル指定されているものについては、ACADEMIC COMMUNICATION 1,2のレベルに応じて履修すること。指定されていないものは、レベルの目安を表示しているので、自身の判断で履修すること。
- ・ Practical EnglishのExam Preparation coursesは18年次生以降は、卒業要件に算入できる。17年次生以前が履修しても卒業要件には算入されない。
- ・ 英文学科、英語学科の学生は履修可能だが、卒業要件に算入されないので注意すること。英文学科、英語学科の学生は「Advanced II/上級II」のレベルとして扱う(Loyola上の語学レベルでは便宜上「Advanced II/上級II」と表記される)。
- ・ 国際教養学部、理工英語コースの学生は履修できない。
- ・ 看護学科の17年次生以降は全学共通科目の選択科目に8単位まで算入できるが、16年次生以前は卒業要件に算入されない。

●クロスリスト（学科が定める卒業要件に区分を指定することができる科目）

詳細は履修要覧（学科科目編）の所属学科のページを参照すること。

学部・学科	科目名	組み入れ先の学科科目の要件
哲学科	PHILOSOPHY IN ENGLISH A/B ACADEMIC WRITING	学科選択科目
史学科	HISTORY IN ENGLISH A/B INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A/B CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A/B CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A/B JAPANOLOGY (HISTORY) A/B ENGLISH FOR TRANSLATORS ENGLISH FOR PRESENTATIONS ACADEMIC WRITING ACADEMIC LISTENING	学科選択科目
国文学科	LITERATURE IN ENGLISH A/B JAPANOLOGY (HISTORY) A/B JAPANOLOGY (LITERATURE) A/B	学科選択科目（その他）
仏文学科	LITERATURE IN ENGLISH A/B HISTORY IN ENGLISH A/B PSYCHOLOGY IN ENGLISH A/B PHILOSOPHY IN ENGLISH A/B INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A/B CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A/B CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A/B JAPANOLOGY (HISTORY) A/B JAPANOLOGY (LITERATURE) A/B JAPANOLOGY (TOURISM) A/B ENGLISH FOR INTERPRETERS ENGLISH FOR TRANSLATORS ENGLISH FOR TOURISM ENGLISH FOR JOURNALISM GENERAL BUSINESS ENGLISH ENGLISH FOR PRESENTATIONS WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION ENGLISH FOR NEGOTIATIONS ENGLISH FOR SOCIALIZING ACADEMIC WRITING ACADEMIC LISTENING SPEAKING FOUNDATIONS ACADEMIC SPEAKING	学科選択科目（その他）
新聞学科	ENGLISH FOR JOURNALISM	学科選択科目
教育学科	HISTORY IN ENGLISH A/B PSYCHOLOGY IN ENGLISH A/B PHILOSOPHY IN ENGLISH A/B INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A/B CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A/B CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A/B SCIENCE AND HUMAN LIFE IN ENGLISH A/B ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A/B JAPANOLOGY (HISTORY) A/B JAPANOLOGY (LITERATURE) A/B JAPANOLOGY (TOURISM) A/B ENGLISH FOR PRESENTATIONS ENGLISH FOR NEGOTIATIONS ACADEMIC WRITING SPEAKING FOUNDATIONS	学科選択科目 （学科選択科目に算入できる 語学科目8単位分とは別に計上する）

語学科目 について
学科別履修 指定言語
英 語
初 習 言 語 に つ い て
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ タ リ ア 語
中 国 語
コ リ ア 語
イ タ リ ア 語
ポ ロ ン ド 語、 ラ ト ヴィ ア 語、 リ ト ア ニア 語
ア ジ ア ナ フ リ カ 諸 語 他
履 修 科 目 対 応 表
日 本 語
海 外 短 期 語 学 講 座
一 開 講 科 目 表

学部・学科	科目名	組み入れ先の学科科目の要件
	ACADEMIC SPEAKING	
心理学科	PSYCHOLOGY IN ENGLISH A/B ENGLISH FOR PRESENTATIONS ACADEMIC WRITING	学科選択科目
社会学科	ENGLISH FOR PRESENTATIONS ENGLISH FOR NEGOTIATIONS ENGLISH FOR SOCIALIZING ACADEMIC WRITING ACADEMIC LISTENING SPEAKING FOUNDATIONS ACADEMIC SPEAKING	学科選択科目 (学科選択科目に算入できる 語学科目 8 単位分とは別に計上する)
社会福祉学科	ENGLISH FOR PRESENTATIONS ACADEMIC WRITING	学科選択科目： (他学部・学科講義科目群 (H群))
看護学科	SCIENCE AND HUMAN LIFE IN ENGLISH A/B ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A/B ENGLISH FOR PRESENTATIONS ENGLISH FOR NEGOTIATIONS ENGLISH FOR SOCIALIZING ACADEMIC WRITING	学科選択科目
法学部	LAW IN ENGLISH A/B INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A/B ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A/B ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE GENERAL BUSINESS ENGLISH WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	学科科目C群 (選択科目) (左記科目のうち 8単位まで)
経済学科	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A/B GENERAL BUSINESS ENGLISH ENGLISH FOR PRESENTATIONS WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	学科科目選択・分野 1 (C-1 群) 学科科目選択・分野 2 (C-2 群)
	ECONOMICS IN ENGLISH A/B ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A/B ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE	学科科目選択必修 (B群) なお「経済学部・経済学英語特修プログラム」科目としても組み入れる
経営学科	PSYCHOLOGY IN ENGLISH A/B ECONOMICS IN ENGLISH A/B INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A/B CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A/B CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A/B ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A/B JAPANOLOGY (TOURISM) A/B ENGLISH FOR TOURISM ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE GENERAL BUSINESS ENGLISH ENGLISH FOR PRESENTATIONS WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION ENGLISH FOR NEGOTIATIONS ACADEMIC WRITING	学科科目C群 (選択科目)
理工学部	SCIENCE AND HUMAN LIFE IN ENGLISH A/B ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A/B	学科科目理工共通科目I群選択必修科 学技術英語 (2017年次生以降対象)



6) 単位認定制度について（英文学科，英語学科，国際教養学部，理工英語コースを除く）

申請年度からさかのぼり2年以内に以下の試験を受験し，以下の認定基準を満たすスコアを取得している場合は，所定の手続きを行うことにより，**英語必修科目4単位分**として認定される。また，1年次の春学期の履修登録修正期間終了までに決裁を受けた場合，1年次春学期から選択科目を履修することができる。

〔認定基準〕

試験の種類	認定基準	本学における認定単位数
TOEFL iBT	88点	英語必修科目 4単位分
TOEFL ITP（本学主催に限る）	570点	
TEAP（2技能） ※プレイズメント・テスト含む	164点	
TEAP（4技能） ※AC-TEAP含む	334点	
TEAP CBT	600点	

\*「TEAP（4技能）」試験の結果については，Reading/Listeningのスコア合計が「TEAP（2技能）」試験の認定基準を満たしていたとしても，Reading/Listening/Writing/Speakingの合計スコアで基準を満たしていない限り申請できない。

〔申請期間〕

- 認定された4単位をもって卒業を希望する場合は，以下の期日までに申請手続きを行うこと。なお，期日を過ぎるとの受付は一切行わないので，認定を考える者はスコア到着日も含め受験日をよく確認のうえ早めに受験すること。  
9月卒業希望者：2018年8月3日（金）17:00迄  
3月卒業希望者：2019年2月28日（木）17:00迄
- その他の場合，申請は随時受付するが，単位認定には1ヶ月程度期間を要するため，認定された4単位を理由に履修中止を考えている者は，春学期は4月27日（金），秋学期は10月26日（金）までに申請すること。それ以降の申請の場合，履修中止までに間に合わない可能性もあるので十分注意すること。

〔申請方法〕

学事センター窓口にて，所定用紙「単位認定願（英語）」に記入し，各種試験のオフィシャルスコアのコピーを添えて提出すること。ただし，プレイズメント・テストで164点以上，またはAC-TEAPで334点以上の学生が単位認定を申請する場合，手続きにはオフィシャルスコアに代えて，Loyolaの外国語検定試験の画面を印刷したものの提出も可とする。

※14年次生以降のプレイズメント・テストの結果および2015年度以降に実施したAC-TEAPは，Loyolaの外国語検定試験の画面で確認できる。

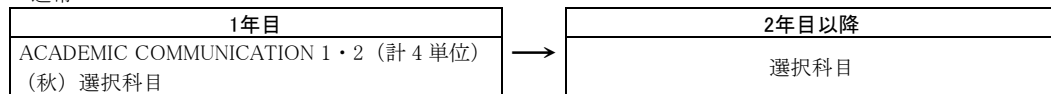
2018年度申請の有効スコア：2016年4月以降受験のもの

〔その他〕

- 認定された場合は，Loyola掲示板で呼出するので，必ず，学事センター窓口にて結果を確認すること。
- 認定を受けた学生は，その時点でレベルが「ADVANCED II」になる。提出後にレベルを下げることはできない。
- 英語必修科目の単位修得後の単位認定申請は受付しない。

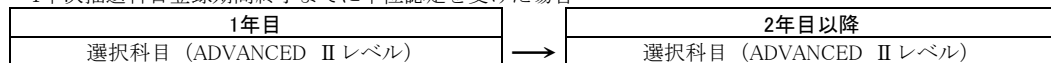
〔単位認定を受けた場合の履修順序について〕

・通常



\*1年目秋学期以降の選択科目のレベルは，1年次に指定されたレベルと同様とする。2年目以降，レベルを上げたい場合は所定の手続きをとること（→「7）レベルアップについて」参照）

・1年次抽選科目登録期間終了までに単位認定を受けた場合



\*ACADEMIC COMMUNICATION 1・2は履修免除とする（履修登録はできない）。

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
初音言語について
ドイツ語
フランス語
イタリ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポロニア語、ハンガリー語、その他
アジアナフ諸言語
履修科目対応表
日本語
海外短期語学講座
一開講科目表

- ・1年次春学期中に単位認定を受けた場合

<b>1年目</b>	→	<b>2年目以降</b>
(春) ACADEMIC COMMUNICATION 1 (2 単位) (秋) 選択科目 (ADVANCED II レベル)		選択科目 (ADVANCED II レベル)

- \* (秋) ACADEMIC COMMUNICATION 2は履修免除とする。  
ACADEMIC COMMUNICATION 1は所定の期間内であれば履修中止も可。

- ・1年次秋学期中に単位認定を受けた場合

<b>1年目</b>	→	<b>2年目以降</b>
(春) ACADEMIC COMMUNICATION 1 (2 単位) (秋) ACADEMIC COMMUNICATION 2 (2 単位) (秋) 選択科目 (ACADEMIC COMMUNICATION と同じレベル)		選択科目 (ADVANCED II レベル)

- \* (秋) ACADEMIC COMMUNICATION 2は所定の期間内であれば履修中止も可。

## 7) レベルアップについて

1年目春学期にACADEMIC COMMUNICATION 1の単位を修得し終えた学生は、1年目秋学期以降に選択科目を履修できる。レベル指定のある選択科目を履修する場合、学生のレベルはACADEMIC COMMUNICATION 1と同じレベルとなるが、2年目以降に現レベルより上のレベルの選択科目を履修したい場合は、以下に示すスコアのいずれかを提出し、レベルアップの手続きをすること。なお、具体的な手続きについては、Loyola掲示板（学事センター〔教務〕）で確認すること。また、ACADEMIC COMMUNICATION 1,2のレベルアップは受付しないので注意すること。

### 各レベルのスコア基準 ※1

レベル	TEAP 2 技能 ※2	TEAP 4 技能 ※3, 4	TEAP CBT	IELTS	TOEFL ITP ※5	TOEFL iBT	TOEIC	英検
ADVANCED II	150	300	540	5.5	523	69	750	準1級
ADVANCED I	135	270	490	5.0	503	62	700	
INTERMEDIATE II	125	250	460	4.5	487	57	650	
INTERMEDIATE I	115	230	430	4.0	467	51	590	2級
ELEMENTARY	90	180	305	3.5	430	39	485	準2級

※1：英検以外のスコアの有効期限は、いずれも提出時より2年以内に取得したものとす。

※2：プレイスメント・テストについてもTEAP2技能とみなす。

※3：TEAP4技能は本学で実施したAC-TEAPのスコアも使用可。

※4：TEAP4技能の結果については、Reading/Listeningのスコア合計がTEAP2技能の認定基準を満たしていたとしても、Reading/Listening/Writing/Speakingの合計スコアで基準を満たしていない限り申請できない。

※5：TOEFL ITPは本学主催の試験以外のスコアでも可。

(例) 現在はELEMENTARYのレベルだが、来年度はINTERMEDIATE Iのレベル指定がある科目を履修したい場合  
→TEAP2技能 115, TEAP4技能 230, TEAP CBT 430, IELTS 4.0, TOEFL ITP 467, TOEFL iBT 51, TOEIC 590以上のいずれかのスコアを取得し、スコアコピーを提出する。

### 【注意】

- ・レベルダウンのためのスコア提出は受付しない。
- ・一度レベルアップした後にその結果を取り消すことはできない。
- ・6)の単位認定を受けた学生は、認定された時点でレベルがADVANCED IIとなるので、レベルアップの手続きをする必要はない。
- ・レベル指定のない科目を履修する場合は、レベルアップの手続きは不要。
- ・16年次生以前の看護学科の学生が、初級から中級へのレベルアップを希望する場合は、上記の「INTERMEDIATE II」のレベルを満たすスコアを提出すること。

# 英語（看護学科 14～16 年次生）

（17 年次生以降は p. 170 を参照）

従来、16年次生以前の学生は看護英語（1年次・2年次）を履修することになっていたが、2018年度より看護英語は全て廃止となった。このため、卒業に必要な単位を修得し終えていない学生は、自身のレベルに見合った ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2（17年次生以降の必修科目）を3)の履修順序に従って履修すること。

## 1) 履修方法について

これらの科目を履修する必要がある学生は、2)の履修時間帯にあるブロックのうち、学科の必修時間割等と重複のない（英語科目を登録可能な）ブロックをすべて所定のフォームに記入の上、各学期の授業開始日の前日までに言語教育研究センター（6号館5階）に提出し、クラスの指定を受けること。ただし、登録できるのは各学期1科目（2単位）、年間2科目（4単位）までである。

## 2) 履修時間帯

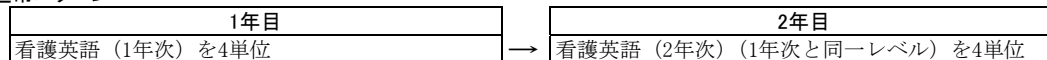
時限／曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
0		INTRODUCTORY	INTRODUCTORY	INTRODUCTORY	INTRODUCTORY
1	A	D	F	D	F
2	B	E			
3				C	E
4	C		B	A	
5					

- ・INTRODUCTORYのレベルを履修する学生は、「ACADEMIC COMMUNICATION (INTRODUCTORY) 1, 2」（火～金、0時限（8:15-9:00）2単位/学期）を履修すること。
- ・再履修、未履修者用科目として、秋学期のACADEMIC COMMUNICATION 1, 春学期のACADEMIC COMMUNICATION 2を少数ながら開講する（ただしINTRODUCTORYを除く）。学生は時間割上の都合がつかば、これらの科目を登録してよいこととする（但し、抽選科目である）。レベルと時間割はp.174を参照のこと。

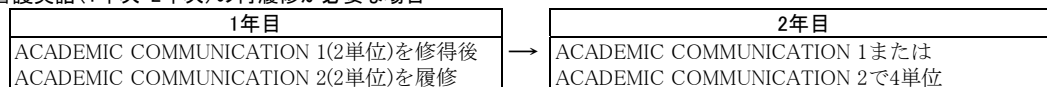
## 3) 履修順序について

看護英語（1年次）の単位を未修得の場合は、ACADEMIC COMMUNICATION 1を修得後にACADEMIC COMMUNICATION 2を履修すること。看護英語（2年次）の単位を未修得の場合、履修の順序は問わない。ただし同科目名の場合、同一教員の科目は不可とする。

### 通常パターン



### 看護英語(1年次・2年次)の再履修が必要な場合



ACADEMIC COMMUNICATION 2を履修した場合は、AC-TEAP（TEAP4技能試験）を必ず受験すること。受験日等の詳細は5月末までにLoyola掲示板（学事センター [教務]）に掲載するので確認すること。また、授業内においても教員から案内する。

## 4) レベルについて

プレイスメント・テストの結果に基づき、学生は「初級」「中級」いずれかのレベルに分けられているが、ACADEMIC COMMUNICATIONを看護英語の読替科目として履修する場合は、プレイスメント・テストの結果に基づき、「INTRODUCTORY」から「ADVANCED II」の6レベルのうち、該当するレベルを言語教育研究センターが指定する。

初 級（1年次）	ゆっくり話された英語を理解し、簡単な質問をしたり、答えたりすることができる。自分や家族、身の回りのことについて簡単な英語で話すことができる。また、やさしい英文を読んだり、簡単な文を書いたりすることができる。
初 級（2年次）	一般的な日常場面で、英語を聞いて理解したり、話したりすることができる。
中 級（1年次・2年次）	いろいろな場面で英語を聞いて理解したり話したりことができ、英語で授業を受けたり学習することもそれほど苦ではない。

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
に初習言語について
ドイツ語
フランス語
イハレ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポロニア語、ラテン語、他
アジアナフ
履修科目表
日本語
海外短期
開講科目表

5) **単位認定制度について**

- ・申請方法，申請期間，申請基準はp.177参照のこと。
- ・認定を受けた場合，看護英語（4単位分）として認定される。
- ・既に4単位以上を修得済の学生が，残りの4単位分の読替科目としてACADEMIC COMMUNICATIONを履修中に認定を受けた場合，これを履修中止することができる。  
ただしその場合，下記の申請期限を守ること。  
春学期：4月27日(金)迄 秋学期：10月26日(金)迄

6) **選択科目について**

看護学学生（13～16年次生）が選択科目を履修した場合，成績評価はつくが，卒業要件に算入されない。

## 初習言語（全般）

初習言語とは、英語・日本語以外の、ドイツ語、フランス語、イスパニア語、ロシア語、ポルトガル語、イタリア語、中国語、コリア語、ラテン語、タイ語、インドネシア語、アラビア語、ペルシア語、カンボジア語、フィリピン語、ビルマ語、トルコ語、ベトナム語、ヒンディー語、スワヒリ語の20言語を指す。

卒業要件となる言語は学科によって異なる（詳細はp.168～169）。なお、文学部および外国語学部の学生で、自学科の専攻として学んでいる言語は履修できない。また、当該言語を母語とするものも、履修できない。母語かどうか判断に迷う場合は、履修登録前に言語教育研究センター窓口（6号館5階）にて相談すること。

### 1) 履修登録の前に

学科の「必修科目」もしくは「選択必修科目」として初習言語を履修する場合、履修する言語を一つ決め「自言語登録」する必要がある。自言語登録を行わない場合、抽選科目へのエントリーはできない。

なお、選択科目としてコア科目（上級科目を除く）を登録する場合は、必修、選択必修の抽選終了後、先着順登録のときにしか登録できない。（抽選科目登録の流れについては、p.29参照）

### 2) 科目の種類について

初習言語は大きく2つの科目群に分けられている。

#### ●コア科目

- ・100番台、200番台、300番台の科目。
- ・「必修」「選択必修」としても、「選択」としても履修できる。

#### ●オプション科目

- ・150番台、250番台の科目。演習科目と検定対策科目がある。
- ・「選択」としてのみ履修できる。
- ・演習科目・検定対策科目とも全学共通科目の選択科目もしくは学科科目（当該言語を学科選択科目として認めている学科のみ）に算入できる。ただし14年次から17年次生が検定対策科目を履修した場合、初習言語で開講しているすべての検定対策科目をあわせて2単位まで全学共通科目の選択科目として算入できる。

### 3) 履修できる単位数について

一つの言語につき、各学期2単位を上限とする。ただし、オプション科目はこれに含まない。また、同学期中に複数の言語を同時に履修することができる。

### 4) 履修順序について（初学者の場合）

#### ●ドイツ語・フランス語・イスパニア語・中国語・コリア語

- ・レベル1から始める。
- ・卒業に必要な単位が4単位の場合は、2学期間（＝1年間）の履修が必要。8単位の場合は、4学期間（＝2年間）の履修が必要である。
- ・必修・選択必修として初習言語を履修する場合、1学期目を1年次生の春学期とすることを推奨する。秋学期から始めることもできるが、開講数が少ないため時間割の調整がつかない可能性がある。

1学期目	2学期目	3学期目	4学期目
総合1(初級) (2単位)	総合2(初級) (2単位)	総合3(中級) (2単位)	総合4(中級) (2単位)

#### ●イタリア語およびその他の言語

- ・初級から始める。
- ・卒業に必要な単位が4単位の場合は、2学期間（＝1年間）の履修が必要。8単位の場合は、4学期間（＝2年間）の履修が必要である。
- ・開講科目の少ない言語については、時間割の都合で2年間で履修できない可能性もある。

1年目	2年目
初級科目（100番台）を 4単位履修	中級科目（200番台）を 4単位履修

語学科目 について
学科別履修 指定言語
英 語
初習言語 について
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
中国語
コリア語
イタリア語
ポルトガル語、 ロシア語、 ペルシア語、 タイ語
アジア 諸語 他
履修科目 対応表
日本語
海外短期 語学講座
開講科目 表

## 5) 履修順序について（既習者の場合）

### ●ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ロシア語・イタリア語

これらの言語を入学以前に学んだことがある学生（既習者）や、その言語を日常的に使用したことのある学生は、各学期の初めに開催されるレベルアップ面接を受け、指定されたレベルから履修を開始すること（詳細はp.183）。

### ●その他の言語

これらの言語を、入学以前に学んだことがある学生（既習者）で、中級以上のレベルからの履修を希望し、授業担当教員が妥当と認めた場合は、中級以上から履修を始めることができる。その場合、言語によっては必要な単位数が揃わないことがあるので、卒業に必要な単位数に問題がないか、各言語のページで確認すること。

## 6) 単位を取得できなかった場合

卒業に必要な科目（自言語登録している科目）で単位を取得できなかった場合、履修順序は下記のとおりとなる。

### ●ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ロシア語

- ・不合格だった場合、次の学期に前学期と同じ科目を履修することができる。教員は前学期と同じでも、異なってもよい。

例) 1学期目の総合1(初級)が不合格だった場合、①または②のパターンで履修する。

①

1学期目	2学期目	3学期目	4学期目	5学期目
総合1(初級) (2単位) <b>不合格</b>	総合1(初級) (2単位)	総合2(初級) (2単位)	総合3(中級) (2単位)	総合4(中級) (2単位)

②

1学期目	2学期目	3学期目	4学期目	5学期目	6学期目
総合1(初級) (2単位) <b>不合格</b>	履修せず	総合1(初級) (2単位)	総合2(初級) (2単位)	総合3(中級) (2単位)	総合4(中級) (2単位)

\*①の方が早く修得し終わるが、2学期目が秋学期の場合、「総合1(初級)」の開講数が少ないため、時間割の都合上履修できない場合がある。その場合は②のパターンで履修すること。

### ●イタリア語およびその他の言語

- ・不合格だった場合、同じ科目が開講される学期まで履修できない。また、中級を履修するためには、初級（コア科目）を4単位履修し終えなければならない。

例1) 1学期目の初級が片方不合格だった場合

1年目春学期	1年目秋学期	2年目春学期	2年目秋学期	3年春学期	3年目秋学期
初級I(Ⅱa)-1	初級I(Ⅱa)-2	履修できない	履修できない	中級I(Ⅱa)-1	中級I(Ⅱa)-2
初級II(Ⅱb)-1 <b>不合格</b>	履修できない	初級II(Ⅱb)-1	初級II(Ⅱb)-2	中級II(Ⅱb)-1	中級II(Ⅱb)-2

例2) 1学期目の初級が両方とも不合格だった場合

1年目春学期	1年目秋学期	2年目春学期	2年目秋学期	3年春学期	3年目秋学期
初級I(Ⅱa)-1 <b>不合格</b>	履修できない	初級I(Ⅱa)-1	初級I(Ⅱa)-2	中級I(Ⅱa)-1	中級I(Ⅱa)-2
初級II(Ⅱb)-1 <b>不合格</b>	履修できない	初級II(Ⅱb)-1	初級II(Ⅱb)-2	中級II(Ⅱb)-1	中級II(Ⅱb)-2

例3) 2学期目の初級が片方不合格だった場合

1年目春学期	1年目秋学期	2年目春学期	2年目秋学期	3年春学期	3年目秋学期
初級Ⅰ(Ⅱa)-1	初級Ⅰ(Ⅱa)-2	履修できない	履修できない	中級Ⅰ(Ⅱa)-1	中級Ⅰ(Ⅱa)-2
初級Ⅱ(Ⅱb)-1	初級Ⅱ(Ⅱb)-2 <b>不合格</b>	履修できない	初級Ⅱ(Ⅱb)-2	中級Ⅱ(Ⅱb)-1	中級Ⅱ(Ⅱb)-2

例4) 2学期目の初級が両方とも不合格だった場合

1年目春学期	1年目秋学期	2年目春学期	2年目秋学期	3年春学期	3年目秋学期
初級Ⅰ(Ⅱa)-1	初級Ⅰ(Ⅱa)-2 <b>不合格</b>	履修できない	初級Ⅰ(Ⅱa)-2	中級Ⅰ(Ⅱa)-1	中級Ⅰ(Ⅱa)-2
初級Ⅱ(Ⅱb)-1	初級Ⅱ(Ⅱb)-2 <b>不合格</b>	履修できない	初級Ⅱ(Ⅱb)-2	中級Ⅱ(Ⅱb)-1	中級Ⅱ(Ⅱb)-2

7) 科目のレベル・ナンバリングについて

●ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ロシア語

これらの言語は、2016年度までは初級・中級・上級の3つのレベルに分けられていたが、2017年度より1~5までの5つのレベルに分けられた。原則として、レベル1から履修を初め、所定の科目を修得した場合、次学期から次のレベルに進む。

それぞれの科目には、レベルごとに履修できる科目の種類を意味するナンバリングが付番されている。レベルごとの履修条件および履修可能科目ナンバリングは下記の通り。ただし、p.181の履修順序を守ること。

レベル	履修できる条件	履修可能科目ナンバリング
1	-	100番台, 150番台
2	総合1(初級)を修得済	
3	総合2(初級)を修得済	150番台, 200番台, 250番台
4	総合3(中級)を修得済	
5	総合4(中級)を修得済	250番台, 300番台

●イタリア語およびその他の言語

これらの言語は、初級・中級・上級の3つのレベルに分けられている(中級・上級のない言語もある)。原則として、初級から履修を初め、所定の科目を4単位(タイ・ペルシア・カンボジア・ビルマ・スワヒリ語は2単位)修得した場合、次学期から次のレベルに進む。

それぞれの科目には、レベルごとに履修できる科目の種類を意味するナンバリングが付番されている。レベルごとの履修条件および履修可能科目ナンバリングは下記の通り。

レベル	履修できる条件	履修可能科目ナンバリング
初級	-	100番台, 150番台
中級	初級(コア)科目を2もしくは4単位修得済(オプション科目は除く)	150番台, 200番台, 250番台
上級	中級(コア)科目を2もしくは4単位修得済(オプション科目は除く)	250番台, 300番台

8) レベルアップについて

既習者や、長期休暇中に海外短期語学講座を履修する等して、指定されたレベルより上のレベルの履修を希望する場合、下記の手続きをとること。

●ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ロシア語・イタリア語

- ・各学期の初めに開催されるレベルアップ面接を受け、指定されたレベルから履修を開始する。
- ・レベルアップ面接の日程は、各学期履修登録前にLoyolaに掲示する。
- ・一度受けた面接の結果を取り消すことはできない。また、レベルダウンを目的とした面接は受けつけない。
- ・「レベル5」(イタリア語の場合は「上級」)以上から履修を始める場合、言語によっては必要な単位数が揃わないことがあるので、卒業に必要な単位数に問題がないか、各言語のページで確認すること。

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
初習言語について
ドイツ語
フランス語
イタリ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポロニア語、ロシア語、語
アジアナフ
履修科目表
日本語
海外短期語学講座
開講科目表

●その他の言語

- ・授業担当教員が妥当と認めた場合は、中級以上から履修を始めることができる。その場合、言語によっては必要な単位数が揃わないことがあるので、卒業に必要な単位数に問題がないか、各言語のページで確認すること。

9) 履修モデル

初習言語は、各学生の目標や学習スタイルに合わせて履修計画を組めるよう設計されている。各自、目標を設定し効率よく学べるよう履修計画をたてて学習すること。

なお、言語別／目的別の履修モデルについては言語教育研究センターのウェブサイトで紹介している。

(<http://www.sophia-cler.jp/>)

10) 2015年度以前に入学した学生へ

- ・2016年度に、ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語の初級・中級においてカリキュラム変更を行っており、旧科目の履修者（再履修者）用の科目は、2016年度をもって廃止となった。従って、2015年度以前に履修を開始した上記語学科目において、順当に単位を修めていない場合は、2018年度には指定された科目を履修しなければならない。詳細は、各言語のページを参照するとともに、p.198以降の「履修科目対応表」を確認すること。
- ・過去に1単位科目（〇〇語中級A-1やB-1）で中級科目4単位を修得し終わった14～15年次生は、ドイツ語、フランス語、スペイン語については新しい総合科目（中級）も選択科目として履修できる。登録希望の学生は、履修登録期間中に言語教育研究センター窓口申し出ること。



# ドイツ語

## 1) 自言語（必修・選択必修）としてレベル1から履修する場合

- ・下記の履修順序で履修すること。
- ・卒業に必要な単位が4単位の場合は、2学期間の履修が必要。8単位の場合は、4学期間の履修が必要である。
- ・総合1・2・3・4は同一教員でも、それぞれ異なる教員でも履修できる。
- ・同じ科目名のものは重複履修できない。

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	1	100	ドイツ語総合1（初級）	週2回/ 2単位	コア科目
2学期目	2	100	ドイツ語総合2（初級）	週2回/ 2単位	コア科目
3学期目	3	200	ドイツ語総合3（中級）	週2回/ 2単位	コア科目
4学期目	4	200	ドイツ語総合4（中級）	週2回/ 2単位	コア科目

## 2) 自言語（必修・選択必修）としてレベル2以上から履修する場合

- ・レベルアップ面接で許可を受けた者だけが、レベル2以上から履修を始めることができる（p.183参照）。
- ・下記の履修順序で履修すること。
- ・卒業に必要な単位が4単位の場合は、2学期間の履修が必要。8単位の場合は、4学期間の履修が必要である。
- ・総合2・3・4は同一教員でも、異なる教員でも履修できる。
- ・同じ科目名のものは重複履修できない。ただし上級科目については、担当教員が異なれば同じ科目名のものを履修できる。
- ・春学期開講の「総合2（初級）」・「総合4（中級）」および秋学期開講の「総合1（初級）」・「総合3（中級）」は、開講数が少ないため時間割の調整がつかない可能性があるので注意すること。

### ●レベル2から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	2	100	ドイツ語総合2（初級）	週2回/ 2単位	コア科目
2学期目	3	200	ドイツ語総合3（中級）	週2回/ 2単位	コア科目
3学期目	4	200	ドイツ語総合4（中級）	週2回/ 2単位	コア科目
4学期目	5	300	ドイツ語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/ 1単位×2科目	コア科目

### ●レベル3から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	3	200	ドイツ語総合3（中級）	週2回/ 2単位	コア科目
2学期目	4	200	ドイツ語総合4（中級）	週2回/ 2単位	コア科目
3学期目	5	300	ドイツ語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/ 1単位×2科目	コア科目
4学期目	5	300	ドイツ語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/ 1単位×2科目	コア科目

### ●レベル4から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	4	200	ドイツ語総合4（中級）	週2回/ 2単位	コア科目
2学期目	5	300	ドイツ語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/ 1単位×2科目	コア科目
3学期目	5	300	ドイツ語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/ 1単位×2科目	コア科目
4学期目	5	300	ドイツ語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/ 1単位×2科目	コア科目

### ●レベル5から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	5	300	ドイツ語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/ 1単位×2科目	コア科目
2学期目	5	300	ドイツ語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/ 1単位×2科目	コア科目
3学期目	5	300	ドイツ語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/ 1単位×2科目	コア科目
4学期目	5	300	ドイツ語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/ 1単位×2科目	コア科目

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
初習言語について
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポロニア語、ラテン語、語
アジアナフ諸語他
履修科目表
日本語
海外短期語学講座
一開講科目表

### 3) 選択科目としてドイツ語を履修する場合

- ・選択科目としてドイツ語を履修する場合は、下記の科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修する。
- ・ドイツ語を初めて履修する者は、100番台もしくは150番台の科目から選択すること。なお、150番台の科目を履修する場合、100番台の科目を同時履修するか、もしくは修得済みであることが望ましい。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。ただし上級科目およびオプション科目については、担当教員が異なれば同じ科目名ものを履修できる。
- ・選択科目として履修する者は、春学期のみもしくは秋学期のみの履修も可。ただし、コア科目であるドイツ語総合は、1→2→3→4の履修順序を守ること。

ナンバリング	科目	修得単位	備考	履修可能なレベル
100	ドイツ語総合1(初級)	週2回/2単位	コア科目	1
100	ドイツ語総合2(初級)	週2回/2単位	コア科目	2
150	ドイツ語演習 I A	週1回/1単位	オプション科目	1~4
150	ドイツ語演習 I B	週1回/1単位	オプション科目	
200	ドイツ語総合3(中級)	週2回/2単位	コア科目	3
200	ドイツ語総合4(中級)	週2回/2単位	コア科目	4
250	ドイツ語演習 II A	週1回/1単位	オプション科目	3~5
250	ドイツ語演習 II B	週1回/1単位	オプション科目	
250	ドイツ語検定対策 II A	週1回/1単位	オプション科目(検定対策)	
250	ドイツ語検定対策 II B	週1回/1単位	オプション科目(検定対策)	
300	ドイツ語上級A~H	週1回/1単位	コア科目	

### 4) さらにドイツ語を勉強したい人へ

- ・自言語としてドイツ語を勉強している者は、コア科目に加え、下記のオプション科目・検定対策科目を同時に履修することができる。
- ・オプション科目及びオプション科目(検定対策)を履修した場合、選択科目の扱いとなる。全学共通科目の選択科目として8単位まで算入することができる。また、学科によっては、学科科目の選択科目にも算入できる(p.169参照)。
- ・ただし、17年次生以前の学生が「オプション科目(検定対策)」を履修する場合は、全ての検定対策科目をあわせて2単位まで、全学共通科目の選択科目として算入可能な8単位にのみ含めることができる。
- ・ドイツ語を初めて履修する者は、150番台の科目から選択すること。
- ・オプション科目については、担当教員が異なれば同じ科目名ものを履修できる。

ナンバリング	科目	修得単位	備考	履修可能なレベル
150	ドイツ語演習 I A	週1回/1単位	オプション科目	1~4
150	ドイツ語演習 I B	週1回/1単位	オプション科目	
250	ドイツ語演習 II A	週1回/1単位	オプション科目	3~5
250	ドイツ語演習 II B	週1回/1単位	オプション科目	
250	ドイツ語検定対策 II A	週1回/1単位	オプション科目(検定対策)	
250	ドイツ語検定対策 II B	週1回/1単位	オプション科目(検定対策)	

### 5) 2015年度以前にドイツ語を履修し、まだ必要な単位を取り終わっていない人へ

2016年度よりカリキュラム変更が行われたため、単位の取得状況によって、今年度の取得できる科目が異なる。詳細は、「履修科目対応表」(p.198)を参照すること。

# フランス語

## 1) 自言語（必修・選択必修）としてレベル1から履修する場合

- ・下記の履修順序で履修すること。
- ・卒業に必要な単位が4単位の場合は、2学期間の履修が必要。8単位の場合は、4学期間の履修が必要である。
- ・総合1・2・3・4は同一教員でも、それぞれ異なる教員でも履修できる。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	1	100	フランス語総合1（初級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	2	100	フランス語総合2（初級）	週2回/2単位	コア科目
3学期目	3	200	フランス語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目
4学期目	4	200	フランス語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目

## 2) 自言語（必修・選択必修）としてレベル2以上から履修する場合

- ・レベルアップ面接で許可を受けた者だけが、レベル2以上から履修を始めることができる（p.183参照）。
- ・下記の履修順序で履修すること。
- ・卒業に必要な単位が4単位の場合は、2学期間の履修が必要。8単位の場合は、4学期間の履修が必要である。
- ・総合2・3・4は同一教員でも、異なる教員でも履修できる。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。ただし上級科目については、担当教員が異なれば同じ科目名ものを履修できる。
- ・春学期開講の「総合2（初級）」・「総合4（中級）」および秋学期開講の「総合1（初級）」・「総合3（中級）」は、開講数が少ないため時間割の調整がつかない可能性があるので注意すること。

### ●レベル2から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	2	100	フランス語総合2（初級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	3	200	フランス語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目
3学期目	4	200	フランス語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目
4学期目	5	300	①フランス語上級A～P, ②ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) A～Dのうち2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目

### ●レベル3から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	3	200	フランス語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	4	200	フランス語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目
3学期目	5	300	①フランス語上級A～P, ②ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) A～Dのうち2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目
4学期目	5	300	①フランス語上級A～P, ②ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) A～Dのうち2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目

### ●レベル4から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	4	200	フランス語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	5	300	①フランス語上級A～P, ②ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目
3学期目	5	300	①フランス語上級A～P, ②ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目
4学期目	5	300	①フランス語上級A～P, ②ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目

語学科目 について
学科別履修 指定言語
英 語
に 初 習 言 語 について
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ タ リ ア 語
中 国 語
コ リ ア 語
イ タ リ ア 語
ポ ロ ン ド 語、 ラ ト ヴィ ア 語、 リ ト ア ニア 語、 リ カ 諸 語 他
履 修 科 目 表
日 本 語
海 外 短 期 語 学 講 座
一 開 講 科 目 表

●レベル5から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	5	300	①フランス語上級A～P, ②ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目
2学期目	5	300	①フランス語上級A～P, ②ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目
3学期目	5	300	①フランス語上級A～P②ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目
4学期目	5	300	①フランス語上級A～P, ②ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目

3) 選択科目としてフランス語を履修する場合

- ・選択科目としてフランス語を履修する場合は、下記の科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修する。
- ・フランス語を初めて履修する者は、100番台もしくは150番台の科目から選択すること。なお、150番台の科目を履修する場合、100番台の科目を同時履修するか、もしくは修得済みであることが望ましい。
- ・同じ科目名のあるものは重複履修できない。ただし上級科目およびオプション科目については、担当教員が異なれば同じ科目名のあるものを履修できる。
- ・選択科目として履修する者は、春学期のみもしくは秋学期のみの履修も可。ただし、コア科目であるフランス語総合は、1→2→3→4の履修順序を守ること。

ナンバリング	科目	修得単位	備考	履修可能なレベル
100	フランス語総合1 (初級)	週2回/2単位	コア科目	1
100	フランス語総合2 (初級)	週2回/2単位	コア科目	2
150	フランス語演習 I A	週1回/1単位	オプション科目	1～4
150	フランス語演習 I B	週1回/1単位	オプション科目	
200	フランス語総合3 (中級)	週2回/2単位	コア科目	3
200	フランス語総合4 (中級)	週2回/2単位	コア科目	4
250	フランス語演習 II A	週1回/1単位	オプション科目	3～5
250	フランス語演習 II B	週1回/1単位	オプション科目	
250	フランス語検定対策 II A	週1回/1単位	オプション科目(検定対策)	
250	フランス語検定対策 II B	週1回/1単位	オプション科目(検定対策)	
300	フランス語上級A～P	週1回/1単位	コア科目	5
300	ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) A～D	週2回/2単位	コア科目	5

4) さらにフランス語を勉強したい人へ

- ・自言語としてフランス語を勉強している者は、コア科目に加え、下記のオプション科目・検定対策科目を同時に履修することができる。
- ・オプション科目及びオプション科目(検定対策)を履修した場合、選択科目の扱いとなる。全学共通科目の選択科目として8単位まで算入することができる。また、学科によっては、学科科目の選択科目にも算入できる (p.169参照)。
- ・ただし17年次生以前の学生が「オプション科目(検定対策)」を履修する場合は、全ての検定対策科目をあわせて2単位まで、全学共通科目の選択科目として算入可能な8単位にのみ含めることができる (p.220参照)。
- ・フランス語を初めて履修する者は、150番台の科目から選択すること。
- ・オプション科目については、担当教員が異なれば同じ科目名のあるものを履修できる。

ナンバリング	科目	修得単位	備考	履修可能なレベル
150	フランス語演習 I A	週1回/1単位	オプション科目	1～4
150	フランス語演習 I B	週1回/1単位	オプション科目	
250	フランス語演習 II A	週1回/1単位	オプション科目	3～5
250	フランス語演習 II B	週1回/1単位	オプション科目	
250	フランス語検定対策 II A	週1回/1単位	オプション科目(検定対策)	
250	フランス語検定対策 II B	週1回/1単位	オプション科目(検定対策)	

5) 2015年度以前にフランス語を履修し、まだ必要な単位を取り終わっていない人へ

2016年度よりカリキュラム変更が行われたため、単位の取得状況によって、今年度の取得できる科目が異なる。詳細は「履修科目対応表」(p.199)を参照すること。

# イスパニア語

## 1) 自言語（必修・選択必修）としてレベル1から履修する場合

- ・下記の履修順序で履修すること。
- ・卒業に必要な単位が4単位の場合は、2学期間の履修が必要。8単位の場合は、4学期間の履修が必要である。
- ・総合1・2・3・4は同一教員でも、それぞれ異なる教員でも履修できる。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	1	100	イスパニア語総合1（初級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	2	100	イスパニア語総合2（初級）	週2回/2単位	コア科目
3学期目	3	200	イスパニア語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目
4学期目	4	200	イスパニア語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目

## 2) 自言語（必修・選択必修）としてレベル2以上から履修する場合

- ・レベルアップ面接で許可を受けた者だけが、レベル2以上から履修を始めることができる（p.183参照）。
- ・下記の履修順序で履修すること。
- ・卒業に必要な単位が4単位の場合は、2学期間の履修が必要。8単位の場合は、4学期間の履修が必要である。
- ・総合2・3・4は同一教員でも、異なる教員でも履修できる。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。ただし上級科目については、担当教員が異なれば同じ科目名ものを履修できる。
- ・春学期開講の「総合2（初級）」・「総合4（中級）」および秋学期開講の「総合1（初級）」・「総合3（中級）」は、開講数が少ないため時間割の調整がつかない可能性があるので注意すること。

### ●レベル2から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	2	100	イスパニア語総合2（初級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	3	200	イスパニア語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目
3学期目	4	200	イスパニア語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目
4学期目	5	300	①イスパニア語上級A～H、②ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目

### ●レベル3から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	3	200	イスパニア語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	4	200	イスパニア語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目
3学期目	5	300	①イスパニア語上級A～H、②ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目
4学期目	5	300	①イスパニア語上級A～H、②ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目

### ●レベル4から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	4	200	イスパニア語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	5	300	①イスパニア語上級A～H、②ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目
3学期目	5	300	①イスパニア語上級A～H、②ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目
4学期目	5	300	①イスパニア語上級A～H、②ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目

語学 科別 履修 について
英 語
初 習 言 語 について
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ タ リ ア 語
ポ ル ン ド 語 、 ロ シ ヤ 語 、 ウ クライ ナ 語
ア ジ ア ナ ン グ 諸 語 他
履 修 科 目 表
日 本 語
海 外 短 期 語 学 講 座
一 開 講 科 目 表

●レベル5から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	5	300	①イスパニア語上級A～H, ②ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目
2学期目	5	300	①イスパニア語上級A～H, ②ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目
3学期目	5	300	①イスパニア語上級A～H, ②ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目
4学期目	5	300	①イスパニア語上級A～H, ②ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) A～Dの中から2単位分	①週1回/1単位 ②週2回/2単位	コア科目

3) 選択科目としてイスパニア語を履修する場合

- ・選択科目としてイスパニア語を履修する場合は、下記の科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修する。
- ・イスパニア語を初めて履修する者は、100番台もしくは150番台の科目から選択すること。なお、150番台の科目を履修する場合、100番台の科目を同時履修するか、もしくは修得済みであることが望ましい。
- ・同じ科目名のものは重複履修できない。ただし上級科目およびオプション科目については、担当教員が異なれば同じ科目名のものを履修できる。
- ・選択科目として履修する者は、春学期のみもしくは秋学期のみの履修も可。ただし、コア科目であるイスパニア語総合は、1→2→3→4の履修順序を守ること。

ナンバリング	科目	修得単位	備考	履修可能なレベル
100	イスパニア語総合1 (初級)	週2回/2単位	コア科目	1
100	イスパニア語総合2 (初級)	週2回/2単位	コア科目	2
150	イスパニア語演習 I A	週1回/1単位	オプション科目	1～4
150	イスパニア語演習 I B	週1回/1単位	オプション科目	
200	イスパニア語総合3 (中級)	週2回/2単位	コア科目	3
200	イスパニア語総合4 (中級)	週2回/2単位	コア科目	4
250	イスパニア語演習 II A	週1回/1単位	オプション科目	3～5
250	イスパニア語演習 II B	週1回/1単位	オプション科目	
300	イスパニア語上級A～H	週1回/1単位	コア科目	5
300	ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) A～D	週2回/2単位	コア科目	5

4) さらにイスパニア語を勉強したい人へ

- ・自言語としてイスパニア語を勉強している者は、コア科目に加え、下記のオプション科目を同時に履修することができる。
- ・オプション科目を履修した場合、選択科目の扱いとなる。全学共通科目の選択科目として8単位まで算入することができる。また、学科によっては、学科科目の選択科目にも算入できる (p.169参照)。
- ・イスパニア語を初めて履修する者は、150番台の科目から選択すること。
- ・オプション科目については、担当教員が異なれば同じ科目名のものを履修できる。

ナンバリング	科目	修得単位	備考	履修可能なレベル
150	イスパニア語演習 I A	週1回/1単位	オプション科目	1～4
150	イスパニア語演習 I B	週1回/1単位	オプション科目	
250	イスパニア語演習 II A	週1回/1単位	オプション科目	3～5
250	イスパニア語演習 II B	週1回/1単位	オプション科目	

5) 2015年度以前にイスパニア語を履修し、まだ必要な単位を取り終わってない人へ

2016年度よりカリキュラム変更が行われたため、単位の取得状況によって、今年度の取得できる科目が異なる。詳細は、「履修科目対応表」(p.200)を参照すること。

# 中国語

## 1) 自言語（必修・選択必修）としてレベル1から履修する場合

- ・下記の履修順序で履修すること。
- ・卒業に必要な単位が4単位の場合は、2学期間の履修が必要。8単位の場合は、4学期間の履修が必要である。
- ・総合1・2・3・4は同一教員でも、それぞれ異なる教員でも履修できる。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	1	100	中国語総合1（初級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	2	100	中国語総合2（初級）	週2回/2単位	コア科目
3学期目	3	200	中国語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目
4学期目	4	200	中国語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目

## 2) 自言語（必修・選択必修）としてレベル2以上から履修する場合

- ・レベルアップ面接で許可を受けた者だけが、レベル2以上から履修を始めることができる（p.183参照）。
- ・下記の履修順序で履修すること。
- ・卒業に必要な単位が4単位の場合は、2学期間の履修が必要。8単位の場合は、4学期間の履修が必要である。
- ・総合2・3・4は同一教員でも、異なる教員でも履修できる。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。ただし上級科目については、担当教員が異なれば同じ科目名ものを履修できる。
- ・春学期開講の「総合2（初級）」・「総合4（中級）」および秋学期開講の「総合1（初級）」・「総合3（中級）」は、開講数が少ないため時間割の調整がつかない可能性があるので注意すること。

### ●レベル2(初級)から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	2	100	中国語総合2（初級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	3	200	中国語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目
3学期目	4	200	中国語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目
4学期目	5	300	中国語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目

### ●レベル3(中級)から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	3	200	中国語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	4	200	中国語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目
3学期目	5	300	中国語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目
4学期目	5	300	中国語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目

### ●レベル4(中級)から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	4	200	中国語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	5	300	中国語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目
3学期目	5	300	中国語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目
4学期目	5	300	中国語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目

### ●レベル5(上級)から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	5	300	中国語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目
2学期目	5	300	中国語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目
3学期目	5	300	中国語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目
4学期目	5	300	中国語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポリアンガ語、語
アジアナフ諸語他
履修科目表
日本語
海外短期語学講座
一開講科目表

### 3) 選択科目として中国語を履修する場合

- ・選択科目として中国語を履修する場合は、下記の科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修する。
- ・中国語を初めて履修する者は、100番台の科目から選択すること。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。ただし上級科目およびオプション科目については、担当教員が異なれば同じ科目名ものを履修できる。
- ・選択科目として履修する者は、春学期のみもしくは秋学期のみの履修も可。ただし、コア科目である中国語総合は、1→2→3→4の履修順序を守ること。

ナンバリング	科目	修得単位	備考	履修可能なレベル
100	中国語総合1（初級）	週2回/2単位	コア科目	1
100	中国語総合2（初級）	週2回/2単位	コア科目	2
200	中国語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目	3
200	中国語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目	4
250	中国語演習ⅡA	週1回/1単位	オプション科目	3～5
250	中国語演習ⅡB	週1回/1単位	オプション科目	
250	中国語検定対策ⅡA	週1回/1単位	オプション科目(検定対策)	
250	中国語検定対策ⅡB	週1回/1単位	オプション科目(検定対策)	
300	中国語上級A～H	週1回/1単位	コア科目	
				5

### 4) さらに中国語を勉強したい人へ

- ・自言語として中国語を勉強している者は、コア科目に加え、下記のオプション科目・検定対策科目を同時に履修することができる。
- ・オプション科目を履修した場合、選択科目の扱いとなる。全学共通科目の選択科目として8単位まで算入することができる。また、学科によっては、学科科目の選択科目にも算入できる（p.169参照）。
- ・ただし、17年次生以前の学生が「オプション科目（検定対策）」を履修する場合は、全ての検定対策科目をあわせて2単位まで、全学共通科目の選択科目として算入可能な8単位にのみ含めることができる（p.226参照）。
- ・オプション科目については、担当教員が異なれば同じ科目名ものを履修できる。

ナンバリング	科目	修得単位	備考	履修可能なレベル
250	中国語演習ⅡA	週1回/1単位	オプション科目	3～5
250	中国語演習ⅡB	週1回/1単位	オプション科目	
250	中国語検定対策ⅡA	週1回/1単位	オプション科目(検定対策)	
250	中国語検定対策ⅡB	週1回/1単位	オプション科目(検定対策)	

### 5) 2015年度以前に中国語を履修し、まだ必要な単位を取り終わってない人へ

2016年度よりカリキュラム変更が行われたため、単位の取得状況によって、今年度の取得できる科目が異なる。詳細は、「履修科目対応表」（p.201）を参照すること。



# コリア語

## 1) 自言語（必修・選択必修）としてレベル1から履修する場合

- ・下記の履修順序で履修すること。
- ・卒業に必要な単位が4単位の場合は、2学期間の履修が必要。8単位の場合は、4学期間の履修が必要である。
- ・総合1・2・3・4は同一教員でも、それぞれ異なる教員でも履修できる。
- ・同じ科目名のものは重複履修できない。

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	1	100	コリア語総合1（初級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	2	100	コリア語総合2（初級）	週2回/2単位	コア科目
3学期目	3	200	コリア語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目
4学期目	4	200	コリア語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目

## 2) 自言語（必修・選択必修）としてレベル2以上から履修する場合

- ・レベルアップ面接で許可を受けた者だけが、レベル2以上から履修を始めることができる（p.183参照）。
- ・下記の履修順序で履修すること。
- ・卒業に必要な単位が4単位の場合は、2学期間の履修が必要。8単位の場合は、4学期間の履修が必要である。
- ・総合2・3・4は同一教員でも、異なる教員でも履修できる。
- ・同じ科目名のものは重複履修できない。ただし上級科目については、担当教員が異なれば同じ科目名のものを履修できる。
- ・春学期開講の「総合2（初級）」・「総合4（中級）」および秋学期開講の「総合1（初級）」・「総合3（中級）」は、開講数が少ないため時間割の調整がつかない可能性があるので注意すること。

### ●レベル2から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	2	100	コリア語総合2（初級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	3	200	コリア語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目
3学期目	4	200	コリア語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目
4学期目	5	300	コリア語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目

### ●レベル3から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	3	200	コリア語総合3（中級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	4	200	コリア語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目
3学期目	5	300	コリア語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目
4学期目	5	300	コリア語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目

### ●レベル4から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	4	200	コリア語総合4（中級）	週2回/2単位	コア科目
2学期目	5	300	コリア語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目
3学期目	5	300	コリア語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目
4学期目	5	300	コリア語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目

### ●レベル5から履修する場合

履修時期	レベル	ナンバリング	科目	修得単位	備考
1学期目	5	300	コリア語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目
2学期目	5	300	コリア語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目
3学期目	5	300	コリア語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目
4学期目	5	300	コリア語上級A～H（のうちいずれか2科目）	週1回/1単位×2科目	コア科目

語学 科別 履修 につ いて
学 科 別 履 修 指 定 言 語
英 語
に っ つ い て
初 習 言 語
ド イ ッ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ タ リ ア 語
中 国 語
コ リ ア 語
イ タ リ ア 語
ポ ロ ン ド 語、 ラ シ ア 語、 独 語
ア ジ ア ナ フ リ カ 語 他
履 修 科 目 対 応 表
日 本 語
海 外 短 期 語 学 講 座
一 開 講 科 目 表

### 3) 選択科目としてコリア語を履修する場合

- ・選択科目としてコリア語を履修する場合は、下記の科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修する。
- ・コリア語を初めて履修する者は、100番台の科目から選択すること。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。ただし上級科目およびオプション科目については、担当教員が異なれば同じ科目名ものを履修できる。
- ・選択科目として履修する者は、春学期のみもしくは秋学期のみの履修も可。ただし、コア科目であるコリア語総合は、1→2→3→4の履修順序を守ること。

ナンバリング	科目	修得単位	備考	履修可能なレベル
100	コリア語総合1 (初級)	週2回/2単位	コア科目	1
100	コリア語総合2 (初級)	週2回/2単位	コア科目	2
200	コリア語総合3 (中級)	週2回/2単位	コア科目	3
200	コリア語総合4 (中級)	週2回/2単位	コア科目	4
250	コリア語演習ⅡA	週1回/1単位	オプション科目	3～5
250	コリア語演習ⅡB	週1回/1単位	オプション科目	
300	コリア語上級A～H	週1回/1単位	コア科目	5

### 4) さらにコリア語を勉強したい人へ

- ・自言語としてコリア語を勉強している者は、コア科目に加え、下記のオプション科目を同時に履修することができる。
- ・オプション科目を履修した場合、選択科目の扱いとなる。全学共通科目の選択科目として8単位まで算入することができる。また、学科によっては、学科科目の選択科目にも算入できる (p.169参照)。
- ・オプション科目については、担当教員が異なれば同じ科目名ものを履修できる。

ナンバリング	科目	修得単位	備考	履修可能なレベル
250	コリア語演習ⅡA	週1回/1単位	オプション科目	3～5
250	コリア語演習ⅡB	週1回/1単位	オプション科目	

### 5) 2015年度以前にコリア語を履修し、まだ必要な単位を取り終わっていない人へ

2016年度よりカリキュラム変更が行われたため、単位の取得状況によって、今年度の取得できる科目が異なる。詳細は、「履修科目対応表」(p.201)を参照すること。

# イタリア語

## 1) 自言語（必修・選択必修）として初級コア科目（100番台）を履修する場合

- ・秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同一教員，同一時間割）を履修しなければならない。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。
- ・初級科目4単位を修得した場合，次年度に中級科目に進むことができる。初級科目は4単位を超えて履修することはできない。

履修時期	ナンバリング	科目	修得単位	備考
春学期	100	イタリア語初級Ⅱa-1	週1回/1単位	コア科目
春学期	100	イタリア語初級Ⅱb-1	週1回/1単位	
秋学期	100	イタリア語初級Ⅱa-2	週1回/1単位	
秋学期	100	イタリア語初級Ⅱb-2	週1回/1単位	

## 2) 自言語（必修・選択必修）として中級コア科目（200番台）を履修する場合

- ・秋学期は，春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同一教員，同一時間割）を履修しなければならない。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。
- ・中級科目4単位を修得した場合，次年度に上級科目に進むことができる。中級科目は4単位を超えて履修することはできない。

履修時期	ナンバリング	科目	修得単位	備考
春学期	200	イタリア語中級Ⅱa-1	週1回/1単位	コア科目
春学期	200	イタリア語中級Ⅱb-1	週1回/1単位	
秋学期	200	イタリア語中級Ⅱa-2	週1回/1単位	
秋学期	200	イタリア語中級Ⅱb-2	週1回/1単位	

## 3) 自言語（必修・選択必修）として上級コア科目（300番台）を履修する場合

- ・春学期のみ，もしくは秋学期のみの履修も可。
- ・上級科目については，担当教員が異なれば同じ科目名ものを履修できる。

履修時期	ナンバリング	科目	修得単位	備考
春学期	300	イタリア語上級A-1	週1回/1単位	コア科目
春学期	300	イタリア語上級B-1	週1回/1単位	
秋学期	300	イタリア語上級A-2	週1回/1単位	
秋学期	300	イタリア語上級B-2	週1回/1単位	

\*2014年度開講科目「イタリア語上級-1,-2」とは別内容であるため，イタリア語上級-1,-2を履修済みの場合も，イタリア語上級A・Bを履修することが可能。

## 4) 選択科目としてイタリア語を履修する場合

- ・選択科目としてイタリア語を履修する場合は，上記の1)～3)のコア科目のうち，自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修するか，下記のオプション科目から必要単位数分を履修する。ただし，演習科目は250番台なので，100番台または200番台のコア科目4単位を履修し終えた者か，レベルアップ面接で「中級」または「上級」にプレイスされた者が履修できる。
- ・オプション科目については，担当教員が異なれば同じ科目名ものを履修できる。

科目名	ナンバリング	単位	備考
イタリア語演習ⅡA, ⅡB	250	週1回/1単位	オプション科目

\*春学期のみ，もしくは秋学期のみの履修も可。

## 5) イタリア語初級・中級を秋学期から再履修する場合

「-1」の単位を修得済みであるものの「-2」の単位を未修得である場合，秋学期に再履修者として「-2」の単位を履修する（抽選登録）。詳細は9月にLoyolaの学事センター教務掲示板に掲載する。

語学科目について
学科別履修指定言語
英
語
に初習言語について
ドイツ語
フランス語
イタリ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポルトガル語、フランス語、語
アジアナフ
リカ諸語他
履修科目表
日本語
海外短期語学講座
一開講科目表

## ロシア語・(ブラジル)ポルトガル語

### 1) 自言語(必修・選択必修)として履修する場合

- ・秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」を履修しなければならない。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。
- ・初級科目 4 単位を修得した場合、次年度に中級科目に進むことができる。初級・中級科目は 4 単位を超えて履修することはできない。

履修時期	ナンバリング	科目	修得単位
春学期	100	初級Ⅰ-1	週1回/1単位
春学期	100	初級Ⅱ-1	週1回/1単位
秋学期	100	初級Ⅰ-2	週1回/1単位
秋学期	100	初級Ⅱ-2	週1回/1単位

履修時期	ナンバリング	科目	修得単位
春学期	200	中級Ⅰ-1	週1回/1単位
春学期	200	中級Ⅱ-1	週1回/1単位
秋学期	200	中級Ⅰ-2	週1回/1単位
秋学期	200	中級Ⅱ-2	週1回/1単位

### 2) 選択科目として履修する場合

選択科目として履修する場合は、上記の 1) のコア科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修する。

### 3) 更に学びたい学生のために

中級科目を 4 単位修得した学生は、ロシア語学科、ポルトガル語学科の学科専門科目のうち、以下に記載された科目を語学科目として履修することができる。

履修を希望する学生は、履修登録期間中に学事センター語学科目担当へ成績証明書と願書(自由書式)を提出すること。願書を提出しない場合、語学科目として履修することができない。履修登録期間終了後は語学科目への変更手続き等は一切できないので注意すること。

科目コード	授業科目	単位	備考
690135	ロシア語文法研究1	2	外国語学部開講科目
690136	ロシア語文法研究2	2	外国語学部開講科目
690126	ロシア語文献研究A-1	2	外国語学部開講科目
690127	ロシア語文献研究A-2	2	外国語学部開講科目
690128	ロシア語文献研究B	2	外国語学部開講科目
690131	現代ロシア語研究1	2	外国語学部開講科目
690132	現代ロシア語研究2	2	外国語学部開講科目
690125	ロシア語通訳法入門	2	外国語学部開講科目
690137	ロシア語アクティブ・コミュニケーション1	2	外国語学部開講科目
690138	ロシア語アクティブ・コミュニケーション2	2	外国語学部開講科目
690129	ロシア語原書講読 1	2	外国語学部開講科目
690130	ロシア語原書講読 2	2	外国語学部開講科目
580511	総合ポルトガル語A-1	1	ポルトガル語学科開講科目
580515	総合ポルトガル語C-1	1	ポルトガル語学科開講科目
580521	総合ポルトガル語F-1	1	ポルトガル語学科開講科目
580522	総合ポルトガル語F-2	1	ポルトガル語学科開講科目

## ラテン語

ラテン語を選択必修として履修する場合は下記に定められた履修順序を守ること。

### 1) 科目の種類および履修順序…全科目、週2回・2単位

1年目	2年目
ラテン語ⅠA	ラテン語ⅡA
ラテン語ⅠB	ラテン語ⅡB

## アジア・アフリカ諸語

アジア・アフリカ諸語を選択必修として履修する場合は下記に定められた履修順序を守ること。  
選択科目として履修する場合は、自分のレベルに該当するものを必要単位数を履修すること。

### 1) 科目の種類および履修順序…全科目、週1回・1単位

言語名	1年目(春学期)	1年目(秋学期)	2年目(春学期)	2年目(秋学期)	3年目(春学期)	3年目(秋学期)
レベル (ナンバリング)	初級 (100番台)		中級 (200番台)		上級 (300番台)	
インドネシア語	初級A-1 } 初級B-1 } ※ 初級C-1 }	初級A-2 } 初級B-2 } ※ 初級C-2 }	中級1	中級2	上級1	上級2
フィリピン語	初級文法1 初級読本1	初級文法2 初級読本2	中級1	中級2	上級1	上級2
アラビア語	初級A-1 } 初級B-1 } ※ 初級C-1 }	初級A-2 } 初級B-2 } ※ 初級C-2 }	中級1	中級2	上級1	上級2
タイ語	初級1	初級2	中級1	中級2		
ペルシア語	初級1	初級2	中級1	中級2		
カンボジア語	初級1	初級2	中級1	中級2		
ビルマ語	初級1	初級2				
トルコ語	初級1	初級2				
ベトナム語	初級1	初級2				
ヒンディー語	初級1	初級2				
スワヒリ語	初級1	初級2	中級1	中級2		

#### <注意事項>

- ・※の科目を選択必修として履修する場合、インドネシア語とアラビア語の初級科目は、原則として初級A,B,Cの3科目のうち2科目を選び、秋学期はその続きを履修すること(計4単位)。選択必修または選択のどちらかで履修する場合でも、初級科目は4単位を超えて履修することができない。
- ・原則として、「2」の科目を履修するためには、「1」の単位を修得するか、それと同等の学力があることを前提とする。
- ・中級科目を履修するためには、初級科目を4単位修得するか、それと同等の学力があることを前提とする。
- ・上級科目を履修するためには、中級科目の単位をすべて修得するか、それと同等の学力があることを前提とする。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。

<2016年度までにインドネシア語またはアラビア語の単位をとり終わっていない学生へ>

2017年度より、インドネシア語とアラビア語の初級科目が2科目から3科目に変更になり、「初級文法」と「初級読本」科目は、それぞれ「初級A」、「初級B」という名称に変更した(以下の科目対応表を確認すること)。

旧科目を修得済みの学生は、それに相当する新科目は履修できない。また旧科目の続き(「-2」)を未修得の学生は、新科目の「-2」を履修すること。

#### 科目対応表

新科目名称	旧科目名称	新科目名称	旧科目名称
インドネシア語初級A-1	旧「インドネシア語初級文法1」	アラビア語初級A-1	旧「アラビア語初級文法1」
インドネシア語初級A-2	旧「インドネシア語初級文法2」	アラビア語初級A-2	旧「アラビア語初級文法2」
インドネシア語初級B-1	旧「インドネシア語初級読本1」	アラビア語初級B-1	旧「アラビア語初級読本1」
インドネシア語初級B-2	旧「インドネシア語初級読本2」	アラビア語初級B-2	旧「アラビア語初級読本2」
インドネシア語初級C-1	※新設科目	アラビア語初級C-1	※新設科目
インドネシア語初級C-2	※新設科目	アラビア語初級C-2	※新設科目

語学科目  
指定言語  
英  
語  
初習言語  
ドイツ語  
フランス語  
イタリ  
ア語  
中国語  
ロシア語  
イタリア語  
ポロ  
ン語  
ハン  
ガリー  
語  
アジ  
ア・ア  
フリ  
カ諸  
語他  
履修  
科目  
対  
応  
表  
日  
本  
語  
海  
外  
短  
期  
語  
学  
講  
座  
一  
開  
講  
科  
目  
表

## 履修科目対応表（14・15年次生対象）（ドイツ語）

■2017年度までに、初習言語の単位を取り終わっていない学生は、下記の表を参照し、必要な科目を履修すること。

- ・1学期に履修できる単位は2単位までである。
- ・必修科目との時間割重複により、以下の表通りに履修できない場合は、履修登録期間中に言語教育研究センター窓口にお問い合わせのこと。
- ・春学期に「総合2（初級）」を履修し終えた学生が、引き続き中級科目を履修したい場合、秋学期開講の「総合3（中級）」を履修できる。ただし、秋学期開講の「総合3（中級）」は開講数が少ないため、時間割の調整がつかない可能性があるため注意すること。

### ●初級

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過 単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
初級 A-1				1	総合1（初級）	総合2（初級）	4	1	※1
初級 B-1				1	総合1（初級）	総合2（初級）	4	1	※1
初級総合（コミ）-1				2	総合2（初級）		2	0	※2
初級総合（読解）-1				2	総合2（初級）		2	0	※2
初級 A-1	初級 A-2			2	総合2（初級）		2	0	※1
初級 B-1	初級 B-2			2	総合2（初級）		2	0	※1
初級 A-1	初級 B-1			2	総合2（初級）		2	0	※2
初級 A-1	初級 A-2	初級 B-1		3	総合2（初級）		2	1	※1
初級 B-1	初級 B-2	初級 A-1		3	総合2（初級）		2	1	※1
初級総合（コミ）-1	初級総合（コミ）-2			4	総合3（中級）	総合4（中級）	4	0	※2
初級総合（読解）-1	初級総合（読解）-2			4					
初級 A-1	初級 A-2	初級 B-1	初級 B-2	4					

### ●中級

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過 単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
中級 A-1				1	総合3（中級）	総合4（中級）	4	1	※1
中級 B-1				1	総合3（中級）	総合4（中級）	4	1	※1
中級総合（コミ）-1				2	総合4（中級）		2	0	※2
中級 A-1	中級 A-2			2	総合4（中級）		2	0	※1
中級 B-1	中級 B-2			2	総合4（中級）		2	0	※1
中級 A-1	中級 B-1			2	総合4（中級）		2	0	※2
中級 A-1	中級 A-2	中級 B-1		3	総合4（中級）		2	1	※1
中級 B-1	中級 B-2	中級 A-1		3	総合4（中級）		2	1	※1
中級総合（コミ）-1	中級総合（コミ）-2			4	中級から履修をはじめ、8単位必要な学生は、上級科目を4単位分履修すること		4	0	※2
中級 A/B/C-1 & 中級 A/B/C-2				4					

※1 履修希望の学生は、履修登録期間中に言語教育研究センター窓口にて申し出ること。希望に応じて超過単位の区分を全学共通の選択（学科のカリキュラムによっては学科選択のいずれか）へ付け替える。

※2 履修希望の学生は、履修登録期間中に Loyola にて各自登録すること。

### ●上級

- ・必要単位数分を、上級（A～H）の中から履修すること。
- ・旧カリキュラムと新カリキュラムは科目の内容が異なるため、同じアルファベットがついた科目を履修してもよい。

例)「ドイツ語上級A(コミュニケーション総合)-1,-2」(2015年度科目)と「ドイツ語上級A」(2016年度以降の科目)は重複履修可。ただし、「ドイツ語上級A」は隔年開講のため、2018年度は開講するが、2019年度は開講しない。

## 履修科目対応表（14・15年次生対象）（フランス語）

- 2017年度までに、初習言語の単位を取り終わっていない学生は、下記の表を参照し、必要な科目を履修すること。
  - ・1学期に履修できる単位は2単位までである。
  - ・必修科目との時間割重複により、以下の表通りに履修できない場合は、履修登録期間中に言語教育研究センター窓口にお問い合わせすること。
  - ・春学期に「総合2（初級）」を履修し終えた学生が、引き続き中級科目を履修したい場合、秋学期開講の「総合3（中級）」を履修できる。ただし、秋学期開講の「総合3（中級）」は開講数が少ないため、時間割の調整がつかない可能性があるので注意すること。

### ●初級

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過 単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
初級 A-1				1	総合1（初級）	総合2（初級）	4	1	※1
初級 B-1				1	総合1（初級）	総合2（初級）	4	1	※1
初級総合-1				2	総合2（初級）		2	0	※2
初級 A-1	初級 A-2			2	総合2（初級）		2	0	※1
初級 B-1	初級 B-2			2	総合2（初級）		2	0	※1
初級 A-1	初級 B-1			2	総合2（初級）		2	0	※2
初級 A-1	初級 A-2	初級 B-1		3	総合2（初級）		2	1	※1
初級 B-1	初級 B-2	初級 A-1		3	総合2（初級）		2	1	※1
初級総合-1	初級総合-2			4	総合3（中級）	総合4（中級）	4	0	※2
初級 A-1	初級 A-2	初級 B-1	初級 B-2	4					

### ●中級

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過 単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
中級 A-1				1	総合3（中級）	総合4（中級）	4	1	※1
中級 B-1				1	総合3（中級）	総合4（中級）	4	1	※1
中級総合-1				2	総合4（中級）		2	0	※2
中級 A-1	中級 A-2			2	総合4（中級）		2	0	※1
中級 B-1	中級 B-2			2	総合4（中級）		2	0	※1
中級 A-1	中級 B-1			2	総合4（中級）		2	0	※2
中級 A-1	中級 A-2	中級 B-1		3	総合4（中級）		2	1	※1
中級 B-1	中級 B-2	中級 A-1		3	総合4（中級）		2	1	※1
中級総合-1	中級総合-2			4	中級から履修をはじめ、8単 位必要な学生は、上級科目を 4単位分履修すること		4	0	※2
中級 A/B/C/D-1 & 中級 A/B/C/D-2				4					

※1 履修希望の学生は、履修登録期間中に言語教育研究センター窓口にて申し出ること。希望に応じて超過単位の区分を全学共通の選択（学科のカリキュラムによっては学科選択のいずれか）へ付け替える。

※2 履修希望の学生は、履修登録期間中に Loyola にて各自登録すること。

### ●上級

- ・必要単位数分を、上級（A～P）、ADVANCED FRENCH（INTEGRATED SKILLS）A～Dの中から履修すること。
  - ・旧カリキュラムと新カリキュラムは科目の内容が異なるため、同じアルファベットがついた科目を履修してもよい。
- 例）「フランス語上級A（コミュニケーション）-1,-2」（2015年度科目）と「フランス語上級A」（2016年度以降の科目）は重複履修可。ただし、「フランス語上級A」は隔年開講のため、2018年度は開講するが、2019年度は開講しない。

語学科目 について
学科別履修 指定言語
英
語
に 初習言語 ついて
ドイツ語
フランス語
イハレ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ロシア語、 ポルトガル語、 フランス語、 他
アジアナフ リカ諸語他
履修科目 対応表
日本語
海外短期 語学講座
一開講科目 覧表

## 履修科目対応表（14・15年次生対象）（イスパニア語）

■2017年度までに、初習言語の単位を取り終わっていない学生は、下記の表を参照し、必要な科目を履修すること。

- ・1学期に履修できる単位は2単位までである。
- ・必修科目との時間割重複により、以下の表通りに履修できない場合は、履修登録期間中に言語教育研究センター窓口にお問い合わせのこと。
- ・春学期に「総合2（初級）」を履修し終えた学生が、引き続き中級科目を履修したい場合、秋学期開講の「総合3（中級）」を履修できる。ただし、秋学期開講の「総合3（中級）」は開講数が少ないため、時間割の調整がつかない可能性があるため注意すること。

### ●初級

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過 単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
初級 A-1				1	総合1（初級）	総合2（初級）	4	1	※1
初級 B-1				1	総合1（初級）	総合2（初級）	4	1	※1
初級総合-1				2	総合2（初級）		2	0	※2
初級 A-1	初級 A-2			2	総合2（初級）		2	0	※1
初級 B-1	初級 B-2			2	総合2（初級）		2	0	※1
初級 A-1	初級 B-1			2	総合2（初級）		2	0	※2
初級 A-1	初級 A-2	初級 B-1		3	総合2（初級）		2	1	※1
初級 B-1	初級 B-2	初級 A-1		3	総合2（初級）		2	1	※1
初級総合-1	初級総合-2			4	総合3（中級）	総合4（中級）	4	0	※2
初級 A-1	初級 A-2	初級 B-1	初級 B-2	4					

### ●中級

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過 単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
中級 A-1				1	総合3（中級）	総合4（中級）	4	1	※1
中級 B-1				1	総合3（中級）	総合4（中級）	4	1	※1
中級総合-1				2	総合4（中級）		2	0	※2
中級 A-1	中級 A-2			2	総合4（中級）		2	0	※1
中級 B-1	中級 B-2			2	総合4（中級）		2	0	※1
中級 A-1	中級 B-1			2	総合4（中級）		2	0	※2
中級 A-1	中級 A-2	中級 B-1		3	総合4（中級）		2	1	※1
中級 B-1	中級 B-2	中級 A-1		3	総合4（中級）		2	1	※1
中級総合-1	中級総合-2			4	中級から履修をはじめ、8単位必要な学生は、上級科目を4単位分履修すること		4	0	※2
中級 A/B/C-1 & 中級 A/B/C-2				4					

※1 履修希望の学生は、履修登録期間中に言語教育研究センター窓口にて申し出ること。希望に応じて超過単位の区分を全学共通の選択（学科のカリキュラムによっては学科選択のいずれか）へ付け替える。

※2 履修希望の学生は、履修登録期間中に Loyola にて各自登録すること。

### ●上級

- ・必要単位数分を、上級（A～H）、ADVANCED SPANISH（INTEGRATED SKILLS）A～Dの中から履修すること。
- ・旧カリキュラムと新カリキュラムは科目の内容が異なるため、同じアルファベットがついた科目を履修してもよい。

例）「イスパニア語上級A（コミュニケーション）-1,-2」（2015年度科目）と「イスパニア語上級A」（2016年度以降の科目）は重複履修可。ただし、「イスパニア語上級A」は隔年開講のため、2018年度は開講するが、2019年度は開講しない。



## 履修科目対応表（14・15年次生対象）（中国語・コリア語）

- 2017年度までに、初習言語の単位を取り終わっていない学生は、下記の表を参照し、必要な科目を履修すること。
- ・1学期に履修できる単位は2単位までである。
- ・必修科目との時間割重複により、以下の表通りに履修できない場合は、履修登録期間中に言語教育研究センター窓口にお問い合わせすること。
- ・春学期に「総合2（初級）」を履修し終えた学生が、引き続き中級科目を履修したい場合、秋学期開講の「総合3（中級）」を履修できる。ただし、秋学期開講の「総合3（中級）」は開講数が少ないため、時間割の調整がつかない可能性があるので注意すること。

### ●初級

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過 単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
初級-1				1	総合1（初級）	総合2（初級）	4	1	※1
初級-1	初級-1			2	総合2（初級）		2	0	※2
初級-1	初級-2			2	総合2（初級）		2	0	※1
初級-1	初級-2	初級-1		3	総合2（初級）		2	1	※1
初級-1	初級-2	初級-1	初級-2	4	総合3（中級）	総合4（中級）	4	0	※2

※ 初級-1と-2の担当教員は異なってもよい。

### ●中級

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過 単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
中級-1				1	総合3（中級）	総合4（中級）	4	1	※1
中級-1	中級-1			2	総合4（中級）		2	0	※2
中級-1	中級-2			2	総合4（中級）		2	0	※1
中級-1	中級-2	中級-1		3	総合4（中級）		2	1	※1
中級-1	中級-2	中級-1	中級-2	4	中級から履修をはじめ、8単位必要な学生は、上級科目を4単位分履修すること		4	0	※2

※1 履修希望の学生は、履修登録期間中に言語教育研究センター窓口にて申し出ること。希望に応じて超過単位の区分を全学共通の選択（学科のカリキュラムによっては学科選択のいずれか）へ付け替える。

※2 履修希望の学生は、履修登録期間中に Loyola にて各自登録すること。

### ●上級

- ・必要単位数分を、上級（A～H）の中から履修すること。
- ・旧カリキュラムと新カリキュラムは科目の内容が異なるため、同じアルファベットがついた科目を履修してもよい。

例）「中国語上級A-1,-2」（2015年度科目）と「中国語上級A」（2016年度以降の科目）は重複履修可。ただし、「中国語上級A」は隔年開講のため、2018年度は開講するが、2019年度は開講しない。

語学科目 について
学科別履修 指定言語
英 語
に つ い て
初 習 言 語
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ タ リ ア 語
中 国 語
コ リ ア 語
イ タ リ ア 語
ポ ー ル ン ド 語、 ス ロ バ キ ア 語、 ウ ェ ン ズ ラ 語
ア ジ ア ナ フ リ カ 諸 語 他
履 修 科 目 対 応 表
日 本 語
海 外 短 期 語 学 講 座
一 覧 表

## 日本語

### 1) 履修上の注意

【国際教養学部正規生・理工学部英語コース正規生について】

自分が所属する学部の“BULLETIN OF INFORMATION 2018-2019”の日本語科目についての説明箇所および言語教育研究センターが発行する冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

【国際教養学部正規生・理工学部英語コース正規生以外の学部正規生について】

日本語は、日本語を母語としない学生もしくは日本語で授業が行われる教育機関における就学期間が短い日本人学生で、所属学科の指導によりその履修の必要性が認められた者を対象とする。履修の条件、履修可能な科目、及び卒業要件への算入については、下記2)、3)を参照すること。

【交換留学生について】

言語教育研究センターが発行する冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

### 2) 学部（国際教養学部及び理工学部英語コースを除く）正規生で日本語を母語としない学生について

- a) 「必修科目」、「選択必修科目」、「選択科目」に算入可能な科目（所属学科により異なる、p.168～169参照）

### 〈アカデミック日本語〉

下記の科目についてはLoyola上で履修登録を行なうこと。なお、2016年度よりアカデミック日本語の科目構成が新しくなり、2017年度以降は旧科目（アカデミック日本語ⅠA～ⅠD）は開講されない。新科目の単位を修得したことのある学生、または初めてアカデミック日本語を履修する学生は①の履修順序に従って履修登録をすること。2016年度までに旧科目の単位を修得したことがあり、さらに続きの新科目を履修したい場合は②の表の通りとなる。

#### 科目の種類

科目名	修得単位	開講期
JPN431 アカデミック日本語1-1	週2回/2単位	春学期
JPN432 アカデミック日本語1-2	週2回/2単位	秋学期
JPN441 アカデミック日本語2-1	週2回/2単位	春学期
JPN442 アカデミック日本語2-2	週2回/2単位	秋学期

①新科目の単位を修得したことのある学生、または初めてアカデミック日本語を履修する学生

以下の通り履修すること。

#### ◆履修順序

1学期目・2学期目	→	3学期目以降
1-1 および 1-2 を履修（計4単位分）		2-1 および 2-2 を履修（計4単位分）

※アカデミック日本語 1-1 と 1-2 の履修順序は問わないが、各2単位ずつ修得した後でなければ、アカデミック日本語 2-1 および 2-2 を履修することが出来ない（2-1 と 2-2 の履修順序は問わない）。但し、事前に日本語担当教員の許可を得、所定の手続きを経たときにはこの限りではない。

②2016年度までに旧アカデミック日本語の単位を修得したことがある学生

これまでの修得単位によって、2018年度に履修する科目が異なる。

新科目は1科目2単位のため、場合によっては修得単位が4単位を超える。希望に応じて超過単位の区分を全学共通の選択（学科のカリキュラムによっては学科の選択）に付け替えることも可能。

【IA・IBの既習者】

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
IA				1	1-1	1-2	4	1	※1
IB				1	1-1	1-2	4	1	※1
IA	IA			2	1-1 または 1-2		2	0	※2
IB	IB			2	1-1 または 1-2		2	0	※2
IA	IB			2	1-1 または 1-2		2	0	※2
IA	IA	IB		3	1-1 または 1-2		2	1	※1
IB	IB	IA		3	1-1 または 1-2		2	1	※1
IA	IA	IB	IB	4	2-1	2-2	4	0	※2

※1 履修希望の学生は、履修登録期間中に学事センター窓口にて申し出ること。

※2 履修希望の学生は、履修登録期間中にLoyolaにて各自登録すること。

【IIA～IIDの既習者】

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
IIA				1	2-1	2-2	4	1	※1
IIA	II B			2	2-1 または 2-2		2	0	※2
IIA	II B	II C		3	2-1 または 2-2		2	1	※3

※1 2017年度までに履修が終わっている科目が、II B～IIDの場合も同様とする。

履修希望の学生は、履修登録期間中に学事センター窓口にて申し出ること。

※2 2017年度までに履修が終わっている科目が、IIA～IIDの中のいかなる組み合わせでも、2単位修得している場合は同様とする。履修希望の学生は、履修登録期間中にLoyolaにて各自登録すること。

※3 2017年度までに履修が終わっている科目が、IIA～IIDの中のいかなる組み合わせでも、3単位修得している場合は同様とする。履修希望の学生は、履修登録期間中に学事センター窓口にて申し出ること。

※①、②ともに「必修科目」「選択必修科目」「選択科目」のいずれの区分に算入可能であるかについては学科により異なる。詳しくは、p.168～169及び該当する学科のページを参照すること。

〈留学生のための日本経済入門〉

本科目は、日本語のCLIL（内容言語統合型学習）科目である。大学の学習・研究活動に必要な日本語力や学習スキルの獲得と、経済学の専門的な知識・理解を同時に深めることを目標とする。授業は、経済を専門とする教員と、日本語を教授する教員が担当する。内容は春学期と秋学期で異なるため、いずれかの科目のみの履修も、両科目の履修も可とする。また、先述の「アカデミック日本語」との同時履修も可とする。日本語を母語としない経済学部正規生の履修を優先とするが、定員に空きがある場合は他学部の学生の履修も認める。科目の詳細および履修登録の手続きについては言語教育研究センターが発行する冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”およびシラバスを確認すること。

科目名	修得単位	開講期
JPN445 留学生のための日本経済入門1	週2回/2単位	春学期
JPN446 留学生のための日本経済入門2	週2回/2単位	秋学期

b) 「選択科目」にのみ算入可能な科目

下記の「ビジネス日本語」科目群は、主にビジネス・コミュニケーションや企業文化等を学びたい留学生を対象とした科目である。科目の詳細および履修登録の手続きについては言語教育研究センターが発行する冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

語学科目 について
学科別履修 指定言語
英 語
に 初 習 言 語 に つ い て
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ タ リ ア 語
中 国 語
コ リ ア 語
イ タ リ ア 語
ポ ロ ン ド 語 、 ラ シ ア 語 、 ウ クライ ナ 語
ア ジ ア ナ フ リ カ 諸 語 他
履 修 科 目 表
日 本 語
海 外 短 期 語 学 講 座
一 開 講 科 目 表

## 〈ビジネス日本語〉

科目の種類	修得単位
JPN311 Business Japanese 1	週2回/2単位
JPN312 Business Japanese 2	週2回/2単位
JPN315 Business Japanese (Preparation for Internship) ※1	週1回/1単位

※1 本科目は、春学期と秋学期の内容が同じであるため、いずれかの学期のみ履修できる。Business Japanese 1, 2との同時履修も可とする。科目の詳細はシラバスを確認すること。

### 3) 学部（国際教養学部及び理工学部英語コースを除く）正規生で、大学入学以前に日本語で授業が行われる教育機関における就学期間が短い日本人学生について

一定の経歴にあてはまる場合と、あてはまらない場合によって、履修条件が下記のとおり異なる。いずれの場合も、履修に際し所属学科の許可が必要となるので、事前に学事センターに相談すること。修得単位は「全学共通科目選択科目（語学科目）」もしくは「学科選択科目」（学科が日本語の算入を認めている場合のみ）に算入される。ただし、所属学科の指導により、p.168の「学科別履修指定言語（必修・選択必修）」として日本語を選択することが望ましい場合は、事前に所属学科の許可を得て、学事センターにて履修登録の手続きをすること。

ア) 日本語で授業が行われている高校を卒業した者、若しくは日本の高校卒業ではないが、日本語で授業が行われる中学・高校で少なくとも4年間過ごした者

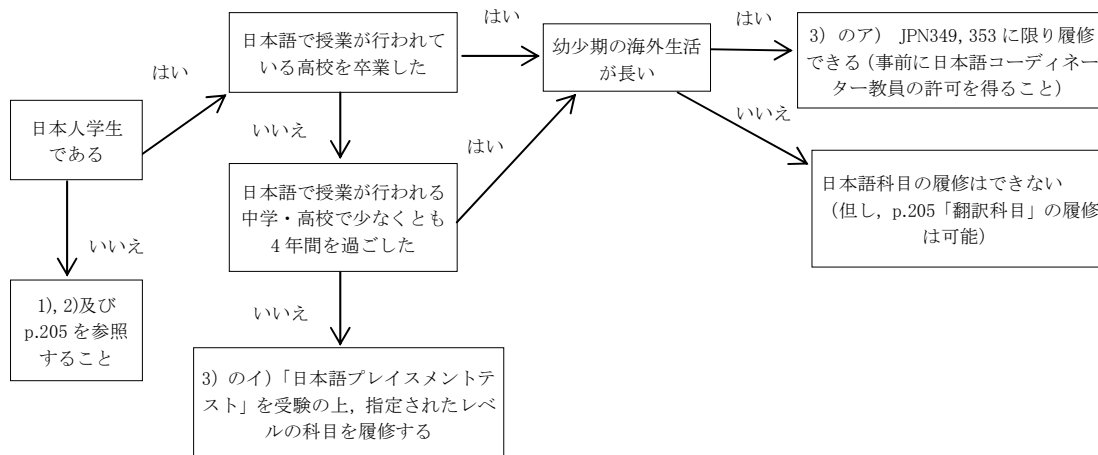
原則として日本語科目の履修はできないが、幼少期の海外生活が長いという理由で日本語科目の履修を希望する場合には、日本語コーディネーター教員の許可を得た上でJPN349・JPN353に限り履修できる（JPN349→JPN353の順で履修すること）。この場合、日本語プレイスメント・テストの受験は不要。但し、Loyola上での履修登録はできない。「日本語科目登録用紙」に必要事項を記載の上、春は4月18日（水）、秋は10月4日（木）の午後5時までに学事センターに提出すること。

イ) ア) に該当しない場合

「日本語プレイスメント・テスト」を受験の上、下記の科目のうち指定されたレベルの日本語科目をLoyola上で履修登録する。日本語プレイスメント・テストについては、冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

科目の種類	修得単位
JPN340 Reading & Writing (Basics)	週2回/2単位
JPN341 Reading & Writing I	週2回/2単位
JPN342 Reading & Writing II	週2回/2単位
JPN343 Reading & Writing III	週2回/2単位
JPN349 Japanese Literacy 1 ※1	週2回/2単位
JPN353 Japanese Literacy 2	週2回/4単位

※1: JPN352 Japanese Literacy 1 (4単位) に代わり、2016年度より JPN349 (2単位) が開講された。



## 〈翻訳科目〉

「翻訳科目」は学部正規生・交換留学生とともに、一定の条件を満たすことにより履修することができる。

### 【国際教養学部正規生・理工学部英語コースに在籍する学生について】

自分が所属する学部の“BULLETIN OF INFORMATION 2018-2019”の日本語科目についての説明箇所および冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

### 【国際教養学部正規生・理工学部英語コース以外の学部・コースに在籍する学生について】

下記科目は「日本語科目」に分類されるが、英語力について一定の条件を満たした場合に履修することができる。英語力の条件についてはp.32「国際教養学部開講科目の履修について」を参照し、履修登録手続きの際に証明となる書類を持参すること。

修得単位は「全学共通科目選択科目」（語学科目を8単位まで算入可能）もしくは所属学科で日本語科目の算入が認められている場合に限り「学科科目選択科目」として卒業要件に算入される。

履修登録は学事センター窓口で行うこと。

科目の種類	修得単位
JPN405 Translating English to Japanese 1	週2回/4単位
JPN406 Translating English to Japanese 2	週2回/4単位
JPN407 Translating Japanese to English	週2回/4単位

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
初習言語について
ドイツ語
フランス語
イハニ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポロニア語、ハンガリー語、スロバキア語
アジアナフリカ諸語他
履修科目対応表
日本語
海外短期語学講座
開講科目一覧表

### [海外短期語学講座]

- ・本学で開講される事前指導を含む所定のプログラムを修了し、海外での講座(プログラム)に参加して所定の成果を修めたものは、単位が付与され、成績評価は「P」となる。年間最高履修限度には算入されない。
- ・開講期が春のものは夏期休業中に、秋のものは春期休業中に実施される。スケジュールが重ならないことを前提に、同学期に複数の講座を履修することもできる。また、重複履修も可とする。
- ・卒業を予定している最終学期開講のプログラムにも参加可能だが、単位は付与されないので注意すること。
- ・英語圏の講座で付与された単位は語学選択科目として算入され、英語圏以外の講座の単位は、語学選択必修もしくは選択科目として算入される。ただし、文学部及び外国語学部の学生で、自学科の専門として学んでいる言語の講座は、履修することはできるが、卒業要件には算入されない。
- ・参加の手続きについては、海外短期語学講座の事前説明会で確認すること。また参加資格、申込期間等詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。  
 ＊香港中文大学、韓国カトリック大学、韓国外国語大学については、本学との交換協定に基づき実施されるため、授業料は免除となる。ただし国際教養学部生が単位認定された場合は2単位分の授業料が発生する。

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考	履修年次
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） McGill	2	春・秋	言語教育研究センター教員			1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） University of North Carolina at Charlotte	2	春	言語教育研究センター教員			1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） Auckland	2	春・秋	言語教育研究センター教員			1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） UC-Davis	2	春・秋	言語教育研究センター教員			1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） Queensland	2	秋	言語教育研究センター教員			1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） Wollongong	2	秋	言語教育研究センター教員			1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） British Columbia	2	春・秋	言語教育研究センター教員			1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） Manchester	2	春	言語教育研究センター教員			1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） Otago	2	秋	言語教育研究センター教員			1～4
N99112	TAN101	海外短期語学講座（ドイツ語） Freiburg	2	春	言語教育研究センター教員			1～4
N99113	TAN102	海外短期語学講座（フランス語） Angers	2	秋	言語教育研究センター教員			1～4
N99113	TAN102	海外短期語学講座（フランス語） Franche-Comté	2	春	言語教育研究センター教員			1～4
N99113	TAN102	海外短期語学講座（フランス語） McGill	2	秋	言語教育研究センター教員			1～4
N99114	TAN103	海外短期語学講座（イスパニア語） Universitat Autònoma de Barcelona	2	秋	言語教育研究センター教員			1～4
N99115	TAN104	海外短期語学講座（中国語） 香港中文	2	春	言語教育研究センター教員			1～4
N99115	TAN104	海外短期語学講座（中国語） 北京	2	秋	言語教育研究センター教員			1～4
N99116	TAN105	海外短期語学講座（コリア語） 韓国カトリック	2	春	言語教育研究センター教員			1～4
N99116	TAN105	海外短期語学講座（コリア語） 西江	2	休講	言語教育研究センター教員			1～4
N99116	TAN105	海外短期語学講座（コリア語） 韓国外国語	2	春・秋	言語教育研究センター教員			1～4
N99117	TAN106	海外短期語学講座（イタリア語） Università per Stranieri di Perugia	2	春	言語教育研究センター教員			1～4
N99118	TAN107	海外短期語学講座（ポルトガル語） Universidade de Coimbra	2	春	NEVES Mauro			1～4

# 語学科目担当一覧表

## ○英語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	外国語	備考	履修年次
<b>[INTRODUCTORY]</b>									
850075	ENG100	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTRODUCTORY)	2	春	佐藤 敬典	一			1
850076	ENG100	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTRODUCTORY)	2	秋	佐藤 敬典	一		[30名]	1
<b>[ELEMENTARY]</b>									
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	MCEVOY Jason	A			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	MCEVOY Jason	A		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	峰松 愛子	A			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	峰松 愛子	A		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*岩川 倫子	A			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*岩川 倫子	A		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*佐野 陽子	A			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*佐野 陽子	A		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	峰松 愛子	B			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	峰松 愛子	B		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	LEE Sarah	B			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	LEE Sarah	B		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*下川 舞子	B			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*下川 舞子	B		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	杉木 良明	C			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	杉木 良明	C		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*松村 純	C			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*松村 純	C		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*佐野 陽子	C			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*佐野 陽子	C		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*岩川 倫子	D			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*岩川 倫子	D		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*JARVIS Stephan	D			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*JARVIS Stephan	D		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*山ノ内 麻美	D			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*山ノ内 麻美	D		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*中村 美帆子	E			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*中村 美帆子	E		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*小室 龍之介	E			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*小室 龍之介	E		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*上田 法子	E			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*上田 法子	E		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	MACKENZIE Graham	F			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	MACKENZIE Graham	F		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	MCEVOY Jason	F			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	MCEVOY Jason	F		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	峰松 愛子	F			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	峰松 愛子	F		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	LEE Sarah	F			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	LEE Sarah	F		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*小幡 裕子	F			1

語学科目  
について  
指定言語  
英  
語  
初習言語  
ドイツ語  
フランス語  
イタリ  
ア語  
中国語  
ロシア語  
イタリ  
ア語  
ロシア語、  
フィンラン  
ディ語、  
リカ諸語  
他  
履修科目  
対心表  
日本語  
海外短期  
語学講座  
開講科目  
一覧表

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	ブ ロ ク	外 国 語	備 考	履 修 年 次
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*小幡裕子	F		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	深澤英美	F			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	深澤英美	F		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*小室龍之介	F			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*小室龍之介	F		[30名]	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	FERREIRA Daniel	F			1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	FERREIRA Daniel	F		[30名]	1
<b>[INTERMEDIATE I ]</b>									
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*ウルヴィル漆原伸江	A			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*ウルヴィル漆原伸江	A		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	深澤英美	A			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	深澤英美	A		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*佐々木孝幸	A			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*佐々木孝幸	A		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	HOWELL Brian	A			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	HOWELL Brian	A		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*中村亜希	B			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*中村亜希	B		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*中小路晴茂	B			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*中小路晴茂	B		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	深澤英美	B			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	深澤英美	B		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*白倉綾乃	B			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*白倉綾乃	B		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*ウルヴィル漆原伸江	B			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*ウルヴィル漆原伸江	B		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	HOWELL Brian	B			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	HOWELL Brian	B		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*高橋 恵	C			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*高橋 恵	C		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*BUCKINGHAM Suzanne	C			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*BUCKINGHAM Suzanne	C		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	深澤英美	C			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	深澤英美	C		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*佐々木孝幸	C			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*佐々木孝幸	C		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	横本勝也	D			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	横本勝也	D		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*坂口世良	D			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*坂口世良	D		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*HARRISON David	D			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*HARRISON David	D		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	今井康博	D			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	今井康博	D		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	峰松愛子	D			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	峰松愛子	D		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	OBARA Diane	D			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	OBARA Diane	D		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	峰松愛子	E			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	峰松愛子	E		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*田中みんね	E			1



科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	ブ ロ ッ ク	外 国 語	備 考	履 修 年 次
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*田 中 みんね	E		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*鈴 木 由 美	E			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*鈴 木 由 美	E		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*田 中 みんね	F			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*田 中 みんね	F		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	OBARA Diane	F			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	OBARA Diane	F		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*HILL Kent	F			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*HILL Kent	F		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	HOWELL Brian	F			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	HOWELL Brian	F		[30名]	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*AULD Alison	F			1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*AULD Alison	F		[30名]	1
<b>[INTERMEDIATE II]</b>									
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	ACOSTA Elisa	A			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	ACOSTA Elisa	A		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	DUPLICE John	A			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	DUPLICE John	A		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*武 岡 由 樹 子	A			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*武 岡 由 樹 子	A		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*HIGH Cameron	A			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*HIGH Cameron	A		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	ACOSTA Elisa	B			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	ACOSTA Elisa	B		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	TYNDALL Regan	B			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	TYNDALL Regan	B		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*HOSKINS Jeffrey	B			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*HOSKINS Jeffrey	B		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	FERREIRA Daniel	B			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	FERREIRA Daniel	B		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*浦 口 理 麻	B			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*浦 口 理 麻	B		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*作 間 和 子	B			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*作 間 和 子	B		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*角 田 美 知	B			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*角 田 美 知	B		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*武 岡 由 樹 子	C			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*武 岡 由 樹 子	C		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*吉 岡 愛 子	C			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*吉 岡 愛 子	C		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	藤 田 保	C			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	藤 田 保	C		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*荒 井 貴 和	C			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*荒 井 貴 和	C		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*油 木 田 美 由 紀	C			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*油 木 田 美 由 紀	C		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*NOHARA Jun	D			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*NOHARA Jun	D		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	FERREIRA Daniel	D			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	FERREIRA Daniel	D		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	ACOSTA Elisa	D			1

語学科目  
指定言語  
英  
語  
初習言語  
ドイツ語  
フランス語  
イハレ語  
中国語  
ロシア語  
イタリア語  
ロシア語、  
フィンランド語、  
リカ諸語他  
履修科目  
日本語  
海外短期  
開講科目  
一覧表

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	ブロッ ク	外 国 語	備考	履修 年次
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	ACOSTA Elisa	D		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*CHEW Valencia	D			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*CHEW Valencia	D		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	DUPLICE John	D			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	DUPLICE John	D		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	TYNDALL Regan	D			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	TYNDALL Regan	D		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	横本勝也	E			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	横本勝也	E		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*NOHARA Jun	E			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*NOHARA Jun	E		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	OBARA Diane	E			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	OBARA Diane	E		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*馬 上 紗矢香	E			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*馬 上 紗矢香	E		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	ACOSTA Elisa	E			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	ACOSTA Elisa	E		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*YOUNG Danica	F			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*YOUNG Danica	F		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	TYNDALL Regan	F			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	TYNDALL Regan	F		[30名]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	横本勝也	F			1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	横本勝也	F		[30名]	1

[ADVANCED I]

850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	*PIEROWAY Carolyn	A			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	*PIEROWAY Carolyn	A		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	DUPLICE John	B			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	DUPLICE John	B		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	*下 郡 祐次郎	B			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	*下 郡 祐次郎	B		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	ACOSTA Elisa	C			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	ACOSTA Elisa	C		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	DUPLICE John	C			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	DUPLICE John	C		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	HOWELL Brian	C			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	HOWELL Brian	C		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	*HIGH Cameron	C			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	*HIGH Cameron	C		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	HOWELL Brian	D			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	HOWELL Brian	D		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	佐藤敬典	D			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	佐藤敬典	D		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	CUNNINGHAM Neale	D			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	CUNNINGHAM Neale	D		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	DUPLICE John	E			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	DUPLICE John	E		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	CUNNINGHAM Neale	E			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	CUNNINGHAM Neale	E		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	CLOSE Natalie	E			1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	CLOSE Natalie	E		[30名]	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	CLOSE Natalie	F			1

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	外国語	備考	履修年次
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	CLOSE Natalie	F		[30名]	1
<b>[ADVANCED II]</b>									
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	LEE Sarah	A			1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	LEE Sarah	A		[30名]	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	MCEVOY Jason	B			1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	MCEVOY Jason	B		[30名]	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	LEE Sarah	C			1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	LEE Sarah	C		[30名]	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	MCEVOY Jason	C			1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	MCEVOY Jason	C		[30名]	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	TYNDALL Regan	C			1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	TYNDALL Regan	C		[30名]	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	*BUSSINGER Clarence	D			1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	*BUSSINGER Clarence	D		[30名]	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	LEE Sarah	D			1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	LEE Sarah	D		[30名]	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	CLOSE Natalie	D			1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	CLOSE Natalie	D		[30名]	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	*BUSSINGER Clarence	E			1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	*BUSSINGER Clarence	E		[30名]	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	TYNDALL Regan	E			1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	TYNDALL Regan	E		[30名]	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	CUNNINGHAM Neale	F			1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	CUNNINGHAM Neale	F		[30名]	1

○英語（再履修者向け）

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	外国語	備考	履修年次
<b>[ELEMENTARY]</b>									
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	秋	杉木良明	—		[30名]	1～4
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	春	杉木良明	—		[30名]	1～4
<b>[INTERMEDIATE]</b>									
850017	ENG205	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE)	2	秋	藤田保	—		[30名]	1～4
850018	ENG205	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE)	2	春	藤田保	—		[30名]	1～4
850017	ENG205	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE)	2	秋	逸見 シャンタール	—		[30名]	1～4
850018	ENG205	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE)	2	春	逸見 シャンタール	—		[30名]	1～4
850017	ENG205	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE)	2	秋	MACKENZIE Graham	—		[30名]	1～4
850018	ENG205	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE)	2	春	MACKENZIE Graham	—		[30名]	1～4
<b>[ADVANCED]</b>									
850019	ENG305	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED)	2	秋	今井康博	—		[30名]	1～4
850020	ENG305	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED)	2	春	今井康博	—		[30名]	1～4

語学科目  
について  
指定言語  
英  
語  
に  
初  
習  
言  
語  
に  
関  
心  
有  
る  
者  
は  
ド  
イ  
ツ  
語  
フ  
ラ  
ン  
ス  
語  
イ  
タ  
リ  
ア  
語  
中  
国  
語  
コ  
リ  
ア  
語  
イ  
タ  
リ  
ア  
語  
ポ  
ロ  
ン  
ド  
語  
、  
ラ  
ト  
ビ  
ア  
語  
、  
リ  
ト  
ア  
ニ  
ヤ  
語  
、  
リ  
ト  
ア  
ニ  
ヤ  
語  
他  
履  
修  
科  
目  
対  
応  
表  
日  
本  
語  
海  
外  
短  
期  
語  
学  
講  
座  
開  
講  
科  
目  
一  
覧  
表

## ○英語（選択科目）

選択科目はレベルが目安のものと、指定されているものがあり、ナンバリングがそれを表している。詳細は p.174 を参照のこと。

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	外国語	備考	履修年次
<b>[A. ACADEMIC ENGLISH]</b>									
854842	ENG250	LITERATURE IN ENGLISH A	2	春	山口 和彦	—		[30名]	1～4
854844	ENG250	LITERATURE IN ENGLISH B	2	休講		—		[30名]	1～4
854843	ENG260	LITERATURE IN ENGLISH A	2	秋	山口 和彦	—		[30名]	1～4
854845	ENG260	LITERATURE IN ENGLISH B	2	休講		—		[30名]	1～4
854825	ENG250	HISTORY IN ENGLISH A	2	春	* 小幡 裕子	—		[30名]	1～4
854827	ENG250	HISTORY IN ENGLISH B	2	秋	* 小幡 裕子	—		[30名]	1～4
854826	ENG260	HISTORY IN ENGLISH A	2	春	* DURHAM Robert	—		[30名]	1～4
854828	ENG260	HISTORY IN ENGLISH B	2	秋	* DURHAM Robert	—		[30名]	1～4
854850	ENG250	PSYCHOLOGY IN ENGLISH A	2	春	* ALINE David	—		[30名]	1～4
854852	ENG250	PSYCHOLOGY IN ENGLISH B	2	休講		—		[30名]	1～4
854851	ENG260	PSYCHOLOGY IN ENGLISH A	2	秋	* ALINE David	—		[30名]	1～4
854853	ENG260	PSYCHOLOGY IN ENGLISH B	2	休講		—		[30名]	1～4
854846	ENG250	PHILOSOPHY IN ENGLISH A	2	春	MORRELL Audrey	—		[30名]	1～4
854848	ENG250	PHILOSOPHY IN ENGLISH B	2	休講		—		[30名]	1～4
854847	ENG260	PHILOSOPHY IN ENGLISH A	2	秋	MORRELL Audrey	—		[30名]	1～4
854849	ENG260	PHILOSOPHY IN ENGLISH B	2	休講		—		[30名]	1～4
850268	ENG250	ECONOMICS IN ENGLISH A	2	春	* GOULD Timothy	—		[30名]	1～4
854800	ENG250	ECONOMICS IN ENGLISH B	2	秋	* GOULD Timothy	—		[30名]	1～4
850269	ENG260	ECONOMICS IN ENGLISH A	2	春	横本 勝也	—		[30名]	1～4
854801	ENG260	ECONOMICS IN ENGLISH B	2	秋	横本 勝也	—		[30名]	1～4
854833	ENG260	LAW IN ENGLISH A	2	春	* GOULD Timothy	—		[30名]	1～4
854868	ENG260	LAW IN ENGLISH B	2	秋	* GOULD Timothy	—		[30名]	1～4
854829	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2	春	* HARRISON David	—		[30名]	1～4
854831	ENG250	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2	秋	* HARRISON David	—		[30名]	1～4
854830	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2	春	* FRANCO Ed	—		[30名]	1～4
854832	ENG260	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2	秋	* FRANCO Ed	—		[30名]	1～4
850264	ENG250	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A	2	春	* 椿 まゆみ	—		[30名]	1～4
850266	ENG250	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH B	2	秋	* 椿 まゆみ	—		[30名]	1～4
850265	ENG260	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A	2	春	* 堀口 佐知子	—		[30名]	1～4
850267	ENG260	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH B	2	秋	* 堀口 佐知子	—		[30名]	1～4
850260	ENG250	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A	2	春	* 中山 千尋	—		[30名]	1～4
850262	ENG250	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH B	2	秋	* 中山 千尋	—		[30名]	1～4
850261	ENG260	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A	2	春	* RENJEL Renee	—		[30名]	1～4
850263	ENG260	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH B	2	秋	* RENJEL Renee	—		[30名]	1～4
854855	ENG250	SCIENCE AND HUMAN LIFE IN ENGLISH A	2	春	* 篠田 愛理	—		[30名]	1～4
854857	ENG250	SCIENCE AND HUMAN LIFE IN ENGLISH B	2	秋	* 篠田 愛理	—		[30名]	1～4
854819	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A	2	春	* 中小路 春茂	—		[30名]	1～4
854821	ENG250	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B	2	秋	* 中小路 春茂	—		[30名]	1～4
854870	ENG250	JAPANOLOGY (LITERATURE) A	2	春	* 中村 美帆子	—		[30名]	1～4
854871	ENG250	JAPANOLOGY (LITERATURE) B	2	秋	* 中村 美帆子	—		[30名]	1～4
854880	ENG260	JAPANOLOGY (LITERATURE) A	2	春	ISHERWOOD Christopher	—		[30名]	1～4
854881	ENG260	JAPANOLOGY (LITERATURE) B	2	秋	ISHERWOOD Christopher	—		[30名]	1～4
854872	ENG250	JAPANOLOGY (HISTORY) A	2	春	OBARA Diane	—		[30名]	1～4
854873	ENG250	JAPANOLOGY (HISTORY) B	2	秋	OBARA Diane	—		[30名]	1～4
854874	ENG250	JAPANOLOGY (TOURISM) A	2	春	* YOUNG Danica	—		[30名]	1～4

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	外国語	備考	履修年次
854875	ENG250	JAPANOLOGY (TOURISM) B	2	秋	* YOUNG Danica	—		[30名]	1～4
854882	ENG260	JAPANOLOGY (TOURISM) A	2	春	CLOSE Natalie	—		[30名]	1～4
854883	ENG260	JAPANOLOGY (TOURISM) B	2	秋	CLOSE Natalie	—		[30名]	1～4
854884	ENG250	HEALTH AND WELFARE IN ENGLISH A	2	春	OBARA Diane	—		[30名]	1～4
854885	ENG250	HEALTH AND WELFARE IN ENGLISH B	2	秋	OBARA Diane	—		[30名]	1～4
<b>[B. PROFESSIONAL ENGLISH]</b>									
854802	ENG250	ENGLISH FOR INTERPRETERS	2	春	* 榎原 奈津子	—		[30名]	1～4
854802	ENG250	ENGLISH FOR INTERPRETERS	2	秋	* 榎原 奈津子	—		[30名]	1～4
854803	ENG260	ENGLISH FOR INTERPRETERS	2	春	* 高橋 絹子	—		[30名]	1～4
854803	ENG260	ENGLISH FOR INTERPRETERS	2	秋	* 高橋 絹子	—		[30名]	1～4
854818	ENG260	ENGLISH FOR TRANSLATORS	2	春	* 浦口 理麻	—		[30名]	1～4
854818	ENG260	ENGLISH FOR TRANSLATORS	2	秋	* 浦口 理麻	—		[30名]	1～4
854818	ENG260	ENGLISH FOR TRANSLATORS	2	春	逸見 シャンダール	—		[30名]	1～4
854818	ENG260	ENGLISH FOR TRANSLATORS	2	秋	逸見 シャンダール	—		[30名]	1～4
854818	ENG260	ENGLISH FOR TRANSLATORS	2	春	* 坂口 世良	—		[30名]	1～4
854818	ENG260	ENGLISH FOR TRANSLATORS	2	秋	* 坂口 世良	—		[30名]	1～4
854814	ENG250	ENGLISH FOR TOURISM	2	春	* 堀口 佐知子	—		[30名]	1～4
854814	ENG250	ENGLISH FOR TOURISM	2	秋	* 堀口 佐知子	—		[30名]	1～4
854814	ENG250	ENGLISH FOR TOURISM	2	春	* 浦口 理麻	—		[30名]	1～4
854814	ENG250	ENGLISH FOR TOURISM	2	秋	* 浦口 理麻	—		[30名]	1～4
854815	ENG260	ENGLISH FOR TOURISM	2	春	EDWARDS Susan	—		[30名]	1～4
854815	ENG260	ENGLISH FOR TOURISM	2	秋	EDWARDS Susan	—		[30名]	1～4
854815	ENG260	ENGLISH FOR TOURISM	2	春	* 鈴木 由美	—		[30名]	1～4
854815	ENG260	ENGLISH FOR TOURISM	2	秋	* 鈴木 由美	—		[30名]	1～4
854804	ENG250	ENGLISH FOR JOURNALISM	2	春	* 岡部 了也	—		[30名]	1～4
854804	ENG250	ENGLISH FOR JOURNALISM	2	秋	* 岡部 了也	—		[30名]	1～4
854805	ENG260	ENGLISH FOR JOURNALISM	2	春	* 坂口 世良	—		[30名]	1～4
854805	ENG260	ENGLISH FOR JOURNALISM	2	秋	* 坂口 世良	—		[30名]	1～4
854816	ENG250	ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE	2	春	* 島崎 正彦	—		[30名]	1～4
854816	ENG250	ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE	2	秋	* 島崎 正彦	—		[30名]	1～4
<b>[C. PRACTICAL ENGLISH]</b>									
● Skills Courses									
854823	ENG250	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1	春	* 島崎 正彦	—		[30名]	1～4
854823	ENG250	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1	秋	* 島崎 正彦	—		[30名]	1～4
854823	ENG250	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1	春	* 高橋 絹子	—		[30名]	1～4
854823	ENG250	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1	秋	* 高橋 絹子	—		[30名]	1～4
854824	ENG260	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1	春	* 松井 恵美子	—		[30名]	1～4
854824	ENG260	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1	秋	* 松井 恵美子	—		[30名]	1～4
854824	ENG260	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1	春	CLOSE Natalie	—		[30名]	1～4
854824	ENG260	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1	秋	CLOSE Natalie	—		[30名]	1～4
854808	ENG250	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1	春	* PIEROWAY Carolyn	—		[30名]	1～4
854808	ENG250	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1	秋	* PIEROWAY Carolyn	—		[30名]	1～4
854809	ENG260	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1	春	* 吉岡 愛子	—		[30名]	1～4
854809	ENG260	ENGLISH FOR PRESENTATIONS	1	秋	* 吉岡 愛子	—		[30名]	1～4
854859	ENG250	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1	春	* FARIA Geraldo	—		[30名]	1～4
854859	ENG250	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1	秋	* FARIA Geraldo	—		[30名]	1～4
854860	ENG260	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1	春	* 高橋 恵	—		[30名]	1～4
854860	ENG260	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1	秋	* 高橋 恵	—		[30名]	1～4
854806	ENG250	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1	春	* 鈴木 由美	—		[30名]	1～4
854806	ENG250	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1	休講		—		[30名]	1～4

語学科目  
について

指定言語

英  
語

初  
習  
言  
語

ド  
イ  
ツ  
語

フ  
ラ  
ン  
ス  
語

イ  
タ  
リ  
ア  
語

中  
国  
語

コ  
リ  
ア  
語

イ  
タ  
リ  
ア  
語

ポ  
ル  
ン  
ド  
語、  
リ  
ト  
ア  
ン  
語、  
ス  
ロ  
バ  
キ  
ア  
語

ア  
ジ  
ア  
ナ  
フ  
リ  
カ  
諸  
語  
他

履  
修  
科  
目  
対  
応  
表

日  
本  
語

海  
外  
短  
期  
語  
学  
講  
座

開  
講  
科  
目  
一  
覧  
表

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	外国語	備考	履修年次
854807	ENG260	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1	休講		—		[30名]	1～4
854807	ENG260	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1	秋	* 鈴木 由美	—		[30名]	1～4
854812	ENG250	ENGLISH FOR SOCIALIZING	1	春	* FRANCO Ed	—		[30名]	1～4
854812	ENG250	ENGLISH FOR SOCIALIZING	1	休講		—		[30名]	1～4
854869	ENG260	ENGLISH FOR SOCIALIZING	1	休講		—		[30名]	1～4
854869	ENG260	ENGLISH FOR SOCIALIZING	1	秋	* FRANCO Ed	—		[30名]	1～4
850258	ENG250	ACADEMIC WRITING	1	春	FERREIRA Daniel	—		[20名]	1～4
850258	ENG250	ACADEMIC WRITING	1	秋	FERREIRA Daniel	—		[20名]	1～4
850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1	春	LOCKE Brian	—		[20名]	1～4
850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1	秋	LOCKE Brian	—		[20名]	1～4
850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1	春	* 篠田 愛理	—		[20名]	1～4
850259	ENG260	ACADEMIC WRITING	1	秋	* 篠田 愛理	—		[20名]	1～4
854876	ENG250	ACADEMIC LISTENING	1	春	FERREIRA Daniel	—		[30名]	1～4
854876	ENG250	ACADEMIC LISTENING	1	秋	FERREIRA Daniel	—		[30名]	1～4
854876	ENG250	ACADEMIC LISTENING	1	春	CUNNINGHAM Neale	—		[30名]	1～4
854876	ENG250	ACADEMIC LISTENING	1	秋	CUNNINGHAM Neale	—		[30名]	1～4
854877	ENG260	ACADEMIC LISTENING	1	春	CUNNINGHAM Neale	—		[30名]	1～4
854877	ENG260	ACADEMIC LISTENING	1	秋	CUNNINGHAM Neale	—		[30名]	1～4
854879	ENG250	SPEAKING FOUNDATIONS	1	春	横本 勝也	—		[20名]	1～4
854879	ENG250	SPEAKING FOUNDATIONS	1	秋	横本 勝也	—		[20名]	1～4
854878	ENG260	ACADEMIC SPEAKING	1	春	逸見 シャンタール	—		[20名]	1～4
854878	ENG260	ACADEMIC SPEAKING	1	秋	逸見 シャンタール	—		[20名]	1～4

●Exam Preparation Courses

854865	ENG250, 260	TOEFL PREPARATION	1	春	* 松村 純	—		[30名]	1～4
854865	ENG250, 260	TOEFL PREPARATION	1	秋	* 松村 純	—		[30名]	1～4
854866	ENG350, 360	TOEFL PREPARATION	1	春	* 馬上 紗矢香	—		[30名]	1～4
854866	ENG350, 360	TOEFL PREPARATION	1	秋	* 馬上 紗矢香	—		[30名]	1～4
854866	ENG350, 360	TOEFL PREPARATION	1	春	* 吉岡 愛子	—		[30名]	1～4
854866	ENG350, 360	TOEFL PREPARATION	1	秋	* 吉岡 愛子	—		[30名]	1～4
854861	ENG150	TOEIC PREPARATION	1	春	* 松村 純	—		[30名]	1～4
854861	ENG150	TOEIC PREPARATION	1	秋	* 松村 純	—		[30名]	1～4
854861	ENG150	TOEIC PREPARATION	1	春	* 小幡 裕子	—		[30名]	1～4
854861	ENG150	TOEIC PREPARATION	1	秋	* 小幡 裕子	—		[30名]	1～4
854867	ENG250, 260, 350	TOEIC PREPARATION	1	春	* 大島 有子	—		[30名]	1～4
854867	ENG250, 260, 350	TOEIC PREPARATION	1	秋	* 大島 有子	—		[30名]	1～4

## ○ドイツ語

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
<b>[初級総合](コア科目)</b>							
850149	GMN100	ドイツ語総合1 (初級)	2	春	*清水紀子 *KANEMATSU Nina		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合2 (初級)	2	秋	*清水紀子 *KANEMATSU Nina		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合1 (初級)	2	春	*栗田圭子 *BRIEL Rita		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合2 (初級)	2	秋	*栗田圭子 *BRIEL Rita		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合1 (初級)	2	春	川名真矢 *BACHMAIER Elvira		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合2 (初級)	2	秋	川名真矢 *BACHMAIER Elvira		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合1 (初級)	2	春	岩崎大輔 *高橋文子		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合2 (初級)	2	秋	岩崎大輔 *高橋文子		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合1 (初級)	2	春	*高橋文子 *栗田圭子		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合2 (初級)	2	秋	*高橋文子 *栗田圭子		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合1 (初級)	2	春	岩崎大輔 *BACHMAIER Elvira		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合2 (初級)	2	秋	岩崎大輔 *BACHMAIER Elvira		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合1 (初級)	2	春	正木晶子 ZEMSAUER Christian		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合2 (初級)	2	秋	正木晶子 ZEMSAUER Christian		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合1 (初級)	2	春	*清水紀子 *小笠原藤子		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合2 (初級)	2	秋	*清水紀子 *小笠原藤子		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合1 (初級)	2	春	*栗田圭子 *久野直人		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合2 (初級)	2	秋	*栗田圭子 *久野直人		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合1 (初級)	2	春	正木晶子 *BRIEL Rita		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合2 (初級)	2	秋	正木晶子 *BRIEL Rita		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合1 (初級)	2	春	正木晶子 *立川睦美		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合2 (初級)	2	秋	正木晶子 *立川睦美		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合1 (初級)	2	春	岩崎大輔 *横山淳子		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合2 (初級)	2	秋	岩崎大輔 *横山淳子		[30名]

語学科目 について
学科別履修 指定言語
英 語
初習言語 について
ドイツ語
フランス語
イタリ ア語
中国語
ロシア語
イタリ ア語
ポルトガ ル語、 フランス語、 英語
アジアナ ン諸語他
履修科目 対応表
日本語
海外短期 語学講座
開講科目 一覧表

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
850149	GMN100	ドイツ語総合 1 (初級)	2	春	* 栗田圭子 * 藤沢 David		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合 2 (初級)	2	秋	* 栗田圭子 * 藤沢 David		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合 1 (初級)	2	春	岩崎大輔 * 栗田圭子		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合 2 (初級)	2	秋	岩崎大輔 * 栗田圭子		[30名]
850150	GMN120	ドイツ語総合 2 (初級)	2	春	岩崎大輔 * 水野真紀子		[30名]
850149	GMN100	ドイツ語総合 1 (初級)	2	秋	岩崎大輔 * 水野真紀子		[30名]
<b>[演習](オプション科目)</b>							
850191	GMN150	ドイツ語演習 I A (文法)	1	春	* 立川睦美		※注1, 3 旧「演習IA (スキル重視型)」と同科目
850192	GMN150	ドイツ語演習 I B (文法)	1	秋	* 立川睦美		※注1, 3 旧「演習IB (スキル重視型)」と同科目
850193	GMN150	ドイツ語演習 I A (読解)	1	休講			
850194	GMN150	ドイツ語演習 I B (読解)	1	休講			
<b>[中級総合](コア科目)</b>							
850171	GMN200	ドイツ語総合 3 (中級)	2	春	岩崎大輔 * 米山かおる		[30名]
850172	GMN220	ドイツ語総合 4 (中級)	2	秋	岩崎大輔 * 米山かおる		[30名]
850171	GMN200	ドイツ語総合 3 (中級)	2	春	* 本田博之 * YANAGITA Nancy		[30名]
850172	GMN220	ドイツ語総合 4 (中級)	2	秋	* 本田博之 * YANAGITA Nancy		[30名]
850171	GMN200	ドイツ語総合 3 (中級)	2	春	* 吉村暁子 * DRASCHAN Juergen		[30名]
850172	GMN220	ドイツ語総合 4 (中級)	2	秋	* 吉村暁子 * DRASCHAN Juergen		[30名]
850171	GMN200	ドイツ語総合 3 (中級)	2	春	* 小笠原藤子 * 米山かおる		[30名]
850172	GMN220	ドイツ語総合 4 (中級)	2	秋	* 小笠原藤子 * 米山かおる		[30名]
850171	GMN200	ドイツ語総合 3 (中級)	2	春	正木晶子 * YANAGITA Nancy		[30名]
850172	GMN220	ドイツ語総合 4 (中級)	2	秋	正木晶子 * YANAGITA Nancy		[30名]
850171	GMN200	ドイツ語総合 3 (中級)	2	春	* 高橋文子 * 吉村暁子		[30名]
850172	GMN220	ドイツ語総合 4 (中級)	2	秋	* 高橋文子 * 吉村暁子		[30名]
850171	GMN200	ドイツ語総合 3 (中級)	2	春	川名真矢 * 藤沢 David		[30名]
850172	GMN220	ドイツ語総合 4 (中級)	2	秋	川名真矢 * 藤沢 David		[30名]
850171	GMN200	ドイツ語総合 3 (中級)	2	春	* 立川睦美 * 本田博之		[30名]



科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
850172	GMN220	ドイツ語総合4 (中級)	2	秋	*立川 睦美 *本田 博之		[30名]
850171	GMN200	ドイツ語総合3 (中級)	2	春	正木 晶子 *DRASCHAN Juergen		[30名]
850172	GMN220	ドイツ語総合4 (中級)	2	秋	正木 晶子 *DRASCHAN Juergen		[30名]
850172	GMN220	ドイツ語総合4 (中級)	2	春	岩崎 大輔 *横山 淳子		[30名]
850171	GMN200	ドイツ語総合3 (中級)	2	秋	岩崎 大輔 *横山 淳子		[30名]
<b>[演習・検定対策科目](オプション科目)</b>							
850110	GMN250	ドイツ語演習IIA (ドイツ語圏の文化)	1	春	*長谷川 悦朗		※注2, 3
850111	GMN250	ドイツ語演習IIB (ドイツ語圏の文化)	1	秋	*横山 淳子		※注2, 3
850112	GMN250	ドイツ語演習IIA (読解)	1	春	*立川 睦美		※注2, 3
850113	GMN250	ドイツ語演習IIB (読解)	1	秋	*立川 睦美		※注2, 3
850114	GMN250	ドイツ語検定対策IIA	1	春	岩崎 大輔		※注2, 3, 6
850115	GMN250	ドイツ語検定対策IIB	1	秋	岩崎 大輔		※注2, 3, 6
<b>[上級](コア科目)</b>							
850189	GMN300	ドイツ語上級 A	1	春	CONSTANTINESCU Cezar		隔年開講
850190	GMN300	ドイツ語上級 B	1	秋	CONSTANTINESCU Cezar		隔年開講
850195	GMN300	ドイツ語上級 C	1	春	*新倉 真矢子		隔年開講
850196	GMN300	ドイツ語上級 D	1	秋	*新倉 真矢子		隔年開講
850197	GMN300	ドイツ語上級 E	1	休講			隔年開講
850198	GMN300	ドイツ語上級 F	1	休講			隔年開講
850199	GMN300	ドイツ語上級 G	1	休講			隔年開講
850200	GMN300	ドイツ語上級 H	1	休講			隔年開講

※注1: レベル1~4の学生のみ履修可

※注2: レベル3~5の学生のみ履修可

※注3: 13年次以前の学生は履修できるが卒業要件外となる

※注6: 17年次以前の学生は、あわせて2単位までしか卒業要件に算入されない (p.181の2) 参照

語学科目  
について  
指定言語  
英  
語  
に  
初  
習  
言  
語  
に  
関  
心  
有  
る  
者  
は  
こ  
の  
欄  
に  
記  
入  
し  
て  
お  
願  
い  
し  
ま  
す  
。

ドイツ語  
フランス語  
イタリヤ語  
中国語  
ロシア語  
イタリア語  
ポルトガル語、  
スペイン語、  
語  
アジア  
アフリカ  
諸語  
他  
履修科目  
対  
応  
表  
日  
本  
語  
海  
外  
短  
期  
語  
学  
講  
座  
一  
開  
講  
科  
目  
表

## ○フランス語

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	外 国 語	備考
[初級総合](コア科目)							
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	* FAYOLLE Simon * 大柳 貴		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	* FAYOLLE Simon * 大柳 貴		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	* MEHRENBARGER 眞紀 * VELOSO Christelle		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	* MEHRENBARGER 眞紀 * VELOSO Christelle		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	* 山 邑 久仁子 * MAILLEUX Coline		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	* 山 邑 久仁子 * MAILLEUX Coline		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	北村 亜矢子 * MAILLEUX Coline		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	北村 亜矢子 * MAILLEUX Coline		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	* 岡 見 さ え * LOPEZ Emmanuel		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	* 岡 見 さ え * LOPEZ Emmanuel		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	DURRENBERGER Vincent * 室 井 幾世子		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	DURRENBERGER Vincent * 室 井 幾世子		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	* GAILLARD Nicolas * 猪 口 好 彦		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	* GAILLARD Nicolas * 猪 口 好 彦		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	* 角 津 美 愛 * PIRIOU Vincent		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	* 角 津 美 愛 * PIRIOU Vincent		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	* MAILLEUX Coline * 榎 本 恵 子		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	* MAILLEUX Coline * 榎 本 恵 子		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	* 角 津 美 愛 * FAYOLLE Simon		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	* 角 津 美 愛 * FAYOLLE Simon		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	北村 亜矢子 * RAMON Antoine		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	北村 亜矢子 * RAMON Antoine		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	DURRENBERGER Vincent * MEHRENBARGER 眞紀		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	DURRENBERGER Vincent * MEHRENBARGER 眞紀		[30名]

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	* CARIO Vincent * 大柳 貴		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	* CARIO Vincent * 大柳 貴		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	DURRENBERGER Vincent * 横田 千晶		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	DURRENBERGER Vincent * 横田 千晶		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	春	* MAILLEUX Coline * FAYOLLE Simon		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	秋	* MAILLEUX Coline * FAYOLLE Simon		[30名]
850407	FRN120	フランス語総合2 (初級)	2	春	* 横田 千晶 * JAFFRÉDO Sébastien		[30名]
850406	FRN100	フランス語総合1 (初級)	2	秋	* 横田 千晶 * JAFFRÉDO Sébastien		[30名]
<b>[演習] (オプション科目)</b>							
850455	FRN150	フランス語演習 IA (スキルアップ-文法)	1	春	* 二川 比利美		※注1, 3 旧「演習IA (スキルアップ)」と同科目
850456	FRN150	フランス語演習 IB (スキルアップ-文法)	1	秋	* 二川 比利美		※注1, 3 旧「演習B (スキルアップ)」と同科目
850451	FRN150	フランス語演習 IA (スキルアップ-発音・会話)	1	春	DURRENBERGER Vincent		授業内抽選※注1, 3, 4
850452	FRN150	フランス語演習 IB (スキルアップ-発音・会話)	1	秋	DURRENBERGER Vincent		授業内抽選※注1, 3, 4
<b>[中級総合] (コア科目)</b>							
850443	FRN200	フランス語総合3 (中級)	2	春	* FAYOLLE Simon * 岩井 俊一		[30名]
850444	FRN220	フランス語総合4 (中級)	2	秋	* FAYOLLE Simon * 岩井 俊一		[30名]
850443	FRN200	フランス語総合3 (中級)	2	春	* GAILLARD Nicolas * 黒木 朋興		[30名]
850444	FRN220	フランス語総合4 (中級)	2	秋	* GAILLARD Nicolas * 黒木 朋興		[30名]
850443	FRN200	フランス語総合3 (中級)	2	春	* 松浦 寛 * 浅井 幸夫		[30名]
850444	FRN220	フランス語総合4 (中級)	2	秋	* 松浦 寛 * 浅井 幸夫		[30名]
850443	FRN200	フランス語総合3 (中級)	2	春	* 三浦 直希 * 湯原 かの子		[30名]
850444	FRN220	フランス語総合4 (中級)	2	秋	* 三浦 直希 * 湯原 かの子		[30名]
850443	FRN200	フランス語総合3 (中級)	2	春	* 井上 美穂 * POUPI Damien		[30名]
850444	FRN220	フランス語総合4 (中級)	2	秋	* 井上 美穂 * POUPI Damien		[30名]
850443	FRN200	フランス語総合3 (中級)	2	春	* PIRIOU Vincent * 三浦 直希		[30名]
850444	FRN220	フランス語総合4 (中級)	2	秋	* PIRIOU Vincent * 三浦 直希		[30名]
850443	FRN200	フランス語総合3 (中級)	2	春	* 白須 貴志 * 白石 嘉治		[30名]

語学科目  
指定言語  
英  
語  
に  
つ  
い  
て  
初  
習  
言  
語  
ド  
イ  
ツ  
語  
フ  
ラ  
ン  
ス  
語  
イ  
タ  
リ  
ア  
語  
中  
国  
語  
コ  
リ  
ア  
語  
イ  
タ  
リ  
ア  
語  
ポ  
ル  
ト  
ガ  
ル  
語  
、  
ル  
語  
ア  
ジ  
ア  
ナ  
フ  
リ  
カ  
諸  
語  
他  
履  
修  
科  
目  
対  
応  
表  
日  
本  
語  
語  
学  
講  
座  
海  
外  
短  
期  
一  
開  
講  
科  
目  
一  
覽  
表

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
850444	FRN220	フランス語総合4 (中級)	2	秋	*白須貴志 *白石嘉治		[30名]
850443	FRN200	フランス語総合3 (中級)	2	春	*CARIO Vincent *二川佳巳		[30名]
850444	FRN220	フランス語総合4 (中級)	2	秋	*CARIO Vincent *二川佳巳		[30名]
850443	FRN200	フランス語総合3 (中級)	2	春	*浅井幸夫 *山上昌子		[30名]
850444	FRN220	フランス語総合4 (中級)	2	秋	*浅井幸夫 *山上昌子		[30名]
850444	FRN220	フランス語総合4 (中級)	2	春	*黒木朋興 *山上昌子		[30名]
850443	FRN200	フランス語総合3 (中級)	2	秋	*黒木朋興 *山上昌子		[30名]
<b>[演習・検定対策科目](オプション科目)</b>							
850463	FRN250	フランス語演習 II A (フランス語圏の言語と文化)	1	休講			
850464	FRN250	フランス語演習 II B (フランス語圏の言語と文化)	1	休講			
850465	FRN250	フランス語演習 II A (スキルアップ)	1	春	*加藤行男		※注2, 3
850466	FRN250	フランス語演習 II B (スキルアップ)	1	秋	*加藤行男		※注2, 3
850461	FRN250	フランス語検定対策II A (仏検3級)	1	春	*猪口好彦		授業内抽選※注2, 3, 4, 6
850462	FRN250	フランス語検定対策II B (仏検準2級・2級)	1	秋	*猪口好彦		授業内抽選※注2, 3, 4, 6
<b>[上級] (コア科目)</b>							
850486	FRN300	フランス語上級 A	1	春	*VELOSO Christelle		隔年開講
850487	FRN300	フランス語上級 B	1	秋	*VELOSO Christelle		隔年開講
850488	FRN300	フランス語上級 C	1	春	DURRENBERGER Vincent		隔年開講, 授業内抽選※注4
850489	FRN300	フランス語上級 D	1	秋	DURRENBERGER Vincent		隔年開講, 授業内抽選※注4
850490	FRN300	フランス語上級 E	1	春	北村 亜矢子		隔年開講, 授業内抽選※注4
850491	FRN300	フランス語上級 F	1	秋	北村 亜矢子		隔年開講, 授業内抽選※注4
850492	FRN300	フランス語上級 G	1	春	*POUPI Damien		隔年開講
850493	FRN300	フランス語上級 H	1	秋	*POUPI Damien		隔年開講
850494	FRN300	フランス語上級 I	1	休講			隔年開講
850495	FRN300	フランス語上級 J	1	休講			隔年開講
850496	FRN300	フランス語上級 K	1	休講			隔年開講
850497	FRN300	フランス語上級 L	1	休講			隔年開講
850498	FRN300	フランス語上級 M	1	休講			隔年開講
850499	FRN300	フランス語上級 N	1	休講			隔年開講
850500	FRN300	フランス語上級 O	1	休講			隔年開講
850467	FRN300	フランス語上級 P	1	休講			隔年開講
FRN211	FRN300	ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) A	2	春	DURRENBERGER Vincent *GAILLARD Nicolas		隔年開講
FRN212	FRN300	ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) B	2	秋	DURRENBERGER Vincent *GAILLARD Nicolas		隔年開講
FRN213	FRN300	ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) C	2	休講			隔年開講
FRN214	FRN300	ADVANCED FRENCH (INTEGRATED SKILLS) D	2	休講			隔年開講

※注1: レベル1~4の学生のみ履修可

※注2: レベル3~5の学生のみ履修可

※注3: 13年次以前の学生は履修はできるが卒業要件外となる

※注4: 授業内抽選についてはシラバスを確認すること

※注6: 17年次以前の学生は、あわせて2単位までしか卒業要件に算入されない (p.181の2) 参照)

## ○イスパニア語

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
<b>[初級総合](コア科目)</b>							
850537	SPN100	イスパニア語総合1 (初級)	2	春	*安 富 雄 平 * SEGÚ SUBIRÁ José Oriol		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合2 (初級)	2	秋	*安 富 雄 平 * SEGÚ SUBIRÁ José Oriol		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合1 (初級)	2	春	*西 田 依 麻 * ALASTRUEY Txabi		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合2 (初級)	2	秋	*西 田 依 麻 * ALASTRUEY Txabi		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合1 (初級)	2	春	*河 崎 佳 代 * 山浦 アンヘラ		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合2 (初級)	2	秋	*河 崎 佳 代 * 山浦 アンヘラ		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合1 (初級)	2	春	* LOPEZ Nuria * 池 田 朋 洋		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合2 (初級)	2	秋	* LOPEZ Nuria * 池 田 朋 洋		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合1 (初級)	2	春	*河 崎 佳 代 * SHINTANI Roxana		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合2 (初級)	2	秋	*河 崎 佳 代 * SHINTANI Roxana		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合1 (初級)	2	春	*大 場 樹 精 * ALASTRUEY Txabi		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合2 (初級)	2	秋	*高 橋 沙 恵 子 * ALASTRUEY Txabi		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合1 (初級)	2	春	*池 田 朋 洋 * TAKAYAMA Patricia		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合2 (初級)	2	秋	*池 田 朋 洋 * TAKAYAMA Patricia		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合1 (初級)	2	春	*菅 原 昭 江 * OTAMENDI Vicente		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合2 (初級)	2	秋	*菅 原 昭 江 * OTAMENDI Vicente		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合1 (初級)	2	春	*千 代 勇 一 * PEDRIZA Luis		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合2 (初級)	2	秋	*千 代 勇 一 * PEDRIZA Luis		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合1 (初級)	2	春	中 島 さやか		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合2 (初級)	2	秋	中 島 さやか		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合1 (初級)	2	春	DE ARCOS PASTOR Angustias * 柏 木 典 子		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合2 (初級)	2	秋	DE ARCOS PASTOR Angustias * 柏 木 典 子		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合1 (初級)	2	春	*大 場 樹 精 * SEGÚ SUBIRÁ José Oriol		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合2 (初級)	2	秋	*高 橋 沙 恵 子 * SEGÚ SUBIRÁ José Oriol		[30名]

語学科目 について
指定言語 英
語
初習言語 について
ドイツ語
フランス語
イタリ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポルトガル語、 スペイン語、 フランス語
アジアナ リカ諸語他
履修科目 対応表
日本語
海外短期 語学講座
開講科目 一覧表

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	外 国 語	備考
850537	SPN100	イスパニア語総合 1 (初級)	2	春	DE ARCOS PASTOR Angustias * 高木 和子		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合 2 (初級)	2	秋	DE ARCOS PASTOR Angustias * 高木 和子		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合 1 (初級)	2	春	* 藤井 礼奈 * MORENO Concha		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合 2 (初級)	2	秋	* 藤井 礼奈 * MORENO Concha		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合 1 (初級)	2	春	中島 さやか DE ARCOS PASTOR Angustias		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合 2 (初級)	2	秋	中島 さやか DE ARCOS PASTOR Angustias		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合 1 (初級)	2	春	廣 康 好 美		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合 2 (初級)	2	秋	廣 康 好 美		[30名]
850538	SPN120	イスパニア語総合 2 (初級)	2	春	* 藤井 礼奈 * SHINTANI Roxana		[30名]
850537	SPN100	イスパニア語総合 1 (初級)	2	秋	* 高橋 沙恵子 * SHINTANI Roxana		[30名]
<b>[演習](オプション科目)</b>							
850581	SPN150	イスパニア語演習 IA(スキルアップ)	1	春	* 仲道 慎治		※注1, 3
850582	SPN150	イスパニア語演習 IB(スキルアップ)	1	秋	* 仲道 慎治		※注1, 3
850583	SPN150	イスパニア語演習 IA(イスパニア語圏の言語と文化)	1	春	* 千代 勇一		※注1, 3
850584	SPN150	イスパニア語演習 IB(イスパニア語圏の言語と文化)	1	秋	* 千代 勇一		※注1, 3
<b>[中級総合](コア科目)</b>							
850549	SPN200	イスパニア語総合 3 (中級)	2	春	* 安富雄 平 * AIT MORENO Isaac		[30名]
850550	SPN220	イスパニア語総合 4 (中級)	2	秋	* 安富雄 平 * AIT MORENO Isaac		[30名]
850549	SPN200	イスパニア語総合 3 (中級)	2	春	* 仲道 慎治 * SHINTANI Roxana		[30名]
850550	SPN220	イスパニア語総合 4 (中級)	2	秋	* 仲道 慎治 * SHINTANI Roxana		[30名]
850549	SPN200	イスパニア語総合 3 (中級)	2	春	中島 さやか		[30名]
850550	SPN220	イスパニア語総合 4 (中級)	2	秋	中島 さやか		[30名]
850549	SPN200	イスパニア語総合 3 (中級)	2	春	DE ARCOS PASTOR Angustias * 菅原 昭江		[30名]
850550	SPN220	イスパニア語総合 4 (中級)	2	秋	DE ARCOS PASTOR Angustias * 菅原 昭江		[30名]
850549	SPN200	イスパニア語総合 3 (中級)	2	春	* 河崎 佳代 * AIT MORENO Isaac		[30名]
850550	SPN220	イスパニア語総合 4 (中級)	2	秋	* 河崎 佳代 * AIT MORENO Isaac		[30名]
850549	SPN200	イスパニア語総合 3 (中級)	2	春	* 藤井 礼奈 * PEDRIZA Luis		[30名]
850550	SPN220	イスパニア語総合 4 (中級)	2	秋	* 藤井 礼奈 * PEDRIZA Luis		[30名]

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
850549	SPN200	イスパニア語総合3 (中級)	2	春	DE ARCOS PASTOR Angustias * 柏木典子		[30名]
850550	SPN220	イスパニア語総合4 (中級)	2	秋	DE ARCOS PASTOR Angustias * 柏木典子		[30名]
850549	SPN200	イスパニア語総合3 (中級)	2	春	* 西田依麻 * 山浦 アンヘラ		[30名]
850550	SPN220	イスパニア語総合4 (中級)	2	秋	* 西田依麻 * 山浦 アンヘラ		[30名]
850549	SPN200	イスパニア語総合3 (中級)	2	春	* 大森洋子 * OTAMENDI Vicente		[30名]
850550	SPN220	イスパニア語総合4 (中級)	2	秋	* 大森洋子 * OTAMENDI Vicente		[30名]
850549	SPN200	イスパニア語総合3 (中級)	2	春	DE ARCOS PASTOR Angustias * 高木和子		[30名]
850550	SPN220	イスパニア語総合4 (中級)	2	秋	DE ARCOS PASTOR Angustias * 高木和子		[30名]
850549	SPN200	イスパニア語総合3 (中級)	2	春	廣康好美 * FOWLER Arthur		[30名]
850550	SPN220	イスパニア語総合4 (中級)	2	秋	廣康好美 * FOWLER Arthur		[30名]
850550	SPN220	イスパニア語総合4 (中級)	2	春	* 大場樹精 * OTAMENDI Vicente		[30名]
850549	SPN200	イスパニア語総合3 (中級)	2	秋	* 高橋沙恵子 * OTAMENDI Vicente		[30名]
<b>[演習](オプション科目)</b>							
850587	SPN250	イスパニア語演習IIA (スキルアップ)	1	春	中島 さやか		※注2, 3
850588	SPN250	イスパニア語演習IIB (スキルアップ)	1	秋	中島 さやか		※注2, 3
850585	SPN250	イスパニア語演習IIA (イスパニア語圏の言語と文化)	1	春	* 四宮瑞枝		※注2, 3
850586	SPN250	イスパニア語演習IIB (イスパニア語圏の言語と文化)	1	秋	* 四宮瑞枝		※注2, 3
<b>[上級](コア科目)</b>							
850569	SPN300	イスパニア語上級 A	1	春	中島 さやか		隔年開講, 授業内抽選※注4
850570	SPN300	イスパニア語上級 B	1	秋	中島 さやか		隔年開講, 授業内抽選※注4
850571	SPN300	イスパニア語上級 C	1	春	DE ARCOS PASTOR Angustias		隔年開講
850572	SPN300	イスパニア語上級 D	1	秋	DE ARCOS PASTOR Angustias		隔年開講
850573	SPN300	イスパニア語上級 E	1	休講			隔年開講
850574	SPN300	イスパニア語上級 F	1	休講			隔年開講
850575	SPN300	イスパニア語上級 G	1	休講			隔年開講
850576	SPN300	イスパニア語上級 H	1	休講			隔年開講
SPN211	SPN300	ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) A	2	春	廣康好美 * MORENO Concha		隔年開講
SPN212	SPN300	ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) B	2	秋	廣康好美 * MORENO Concha		隔年開講
SPN213	SPN300	ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) C	2	休講			隔年開講
SPN214	SPN300	ADVANCED SPANISH (INTEGRATED SKILLS) D	2	休講			隔年開講

※注1: レベル1~4の学生のみ履修可

※注2: レベル3~5の学生のみ履修可

※注3: 13年次以前の学生は履修はできるが卒業要件外となる

※注4: 授業内抽選についてはシラバスを確認すること

語学科目 について
学科履修 指定言語
英 語
に つ い て
初 習 言 語
ド イ ッ 語
フ ラ ン ス 語
イ タ リ ア 語
中 国 語
コ リ ア 語
イ タ リ ア 語
ポ ル ン ダ 語 、 ラ シ ア 語 、 ル シ ア 語
ア ジ ア ナ ン グ 諸 語 他
履 修 科 目 対 応 表
日 本 語
海 外 短 期 語 学 講 座
開 講 科 目 一 覧 表

○中国語

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
<b>[初級総合](コア科目)</b>							
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*島田 亜実 *翁 環		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	*島田 亜実 *翁 環		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*翁 環 *江 秀華		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	*翁 環 *江 秀華		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*費中 裕貴 *原 燕		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	*費中 裕貴 *原 燕		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*黄 琬婷 *蘇 明		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	*黄 琬婷 *蘇 明		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*永倉 百合子 *馮 日珍		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	*永倉 百合子 *馮 日珍		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*王 熙萍 *島田 亜実		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	*王 熙萍 *島田 亜実		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*胡 興智 *佐々木 俊雄		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	*胡 興智 *佐々木 俊雄		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*中 裕貴 *王 熙萍		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	*中 裕貴 *王 熙萍		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*馮 小喆琳 *陶 小喆琳		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	*馮 小喆琳 *陶 小喆琳		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*費 燕和 *曹 泰		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	*費 燕和 *曹 泰		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*曹 泰和子 *岩井 泰伸		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	*曹 泰和子 *岩井 泰伸		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*姚 南赤 *劉 光		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	*姚 南赤 *劉 光		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	*廉 虹南 *姚 虹南		[30名]



科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	* 廉 虹 * 姚 南		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	黄 琬 * 植 松 公 婷 彦		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	黄 琬 * 植 松 公 婷 彦		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	春	* 馮 小 * 江 秀 喆 華		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	秋	* 馮 小 * 張 喆 彤		[30名]
850720	CHN120	中国語総合2 (初級)	2	春	* 植 松 公 彦 * 佐々木 俊 雄		[30名]
850719	CHN100	中国語総合1 (初級)	2	秋	* 植 松 公 彦 * 佐々木 俊 雄		[30名]
<b>[中級総合](コア科目)</b>							
850729	CHN200	中国語総合3 (中級)	2	春	* 翁 環 * 王 熙 萍		[30名]
850730	CHN220	中国語総合4 (中級)	2	秋	* 翁 環 * 王 熙 萍		[30名]
850729	CHN200	中国語総合3 (中級)	2	春	費 燕 * 姚 南		[30名]
850730	CHN220	中国語総合4 (中級)	2	秋	費 燕 * 姚 南		[30名]
850729	CHN200	中国語総合3 (中級)	2	春	* 馮 日 珍 * 中 原 裕 貴		[30名]
850730	CHN220	中国語総合4 (中級)	2	秋	* 馮 日 珍 * 中 原 裕 貴		[30名]
850729	CHN200	中国語総合3 (中級)	2	春	* 永 倉 百合子 * 劉 光 赤		[30名]
850730	CHN220	中国語総合4 (中級)	2	秋	* 永 倉 百合子 * 劉 光 赤		[30名]
850729	CHN200	中国語総合3 (中級)	2	春	* 佐々木 俊 雄 * 中 原 裕 貴		[30名]
850730	CHN220	中国語総合4 (中級)	2	秋	* 佐々木 俊 雄 * 中 原 裕 貴		[30名]
850729	CHN200	中国語総合3 (中級)	2	春	費 燕 * 島 田 亜 実		[30名]
850730	CHN220	中国語総合4 (中級)	2	秋	費 燕 * 島 田 亜 実		[30名]
850729	CHN200	中国語総合3 (中級)	2	春	* 石 井 友 美 * 翁 環		[30名]
850730	CHN220	中国語総合4 (中級)	2	秋	* 石 井 友 美 * 翁 環		[30名]
850729	CHN200	中国語総合3 (中級)	2	春	* 王 環 * 姚 南 萍		[30名]
850730	CHN220	中国語総合4 (中級)	2	秋	* 王 環 * 姚 南 萍		[30名]
850729	CHN200	中国語総合3 (中級)	2	春	* 劉 光 赤 * 馮 小 喆		[30名]
850730	CHN220	中国語総合4 (中級)	2	秋	* 劉 光 赤 * 馮 小 喆		[30名]

語学科目  
指定言語  
英  
語  
に  
つ  
い  
て  
初  
習  
言  
語  
ド  
イ  
ッ  
語  
フ  
ラ  
ン  
ス  
語  
イ  
タ  
リ  
ア  
語  
中  
国  
語  
コ  
リ  
ア  
語  
イ  
タ  
リ  
ア  
語  
ポ  
ル  
ト  
ガ  
リ  
語  
、  
ロ  
シ  
ア  
語  
、  
リ  
カ  
諸  
語  
他  
ア  
ジ  
ア  
ナ  
フ  
履  
修  
科  
目  
対  
応  
表  
日  
本  
語  
海  
外  
短  
期  
語  
学  
講  
座  
開  
講  
科  
目  
一  
覧  
表

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
850730	CHN220	中国語総合4 (中級)	2	春	* 江 秀 華 * 石 井 友 美		[30名]
850729	CHN200	中国語総合3 (中級)	2	秋	* 江 秀 華 * 石 井 友 美		[30名]

### [演習・検定対策科目](オプション科目)

850741	CHN250	中国語演習ⅡA(中国語圏の言葉と文化)	1	春	* 胡 興 智		※注2, 3
850742	CHN250	中国語演習ⅡB(中国語圏の言葉と文化)	1	秋	* 胡 興 智		※注2, 3
850751	CHN250	中国語検定対策ⅡA (4級)	1	春	* 永 倉 百合子		※注2, 3, 6
850752	CHN250	中国語検定対策ⅡB (3級)	1	秋	* 永 倉 百合子		※注2, 3, 6

### [上級A~H](コア科目)

850760	CHN300	中国語上級 A	1	春	黄 琬 婷		隔年開講
850761	CHN300	中国語上級 B	1	秋	黄 琬 婷		隔年開講
850762	CHN300	中国語上級 C	1	春	費 燕		隔年開講
850763	CHN300	中国語上級 D	1	秋	費 燕		隔年開講
850764	CHN300	中国語上級 E	1	休講			隔年開講
850765	CHN300	中国語上級 F	1	休講			隔年開講
850766	CHN300	中国語上級 G	1	休講			隔年開講
850767	CHN300	中国語上級 H	1	休講			隔年開講

※注2：レベル3～5の学生のみ履修可

※注3：13年次以前の学生は履修はできるが卒業要件外となる

※注6：17年次以前の学生は、あわせて2単位までしか卒業要件に算入されない (p.181の2) 参照)

## ○ 코리아語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
<b>[初級総合](コア科目)</b>							
850853	KOR100	코리아語総合1 (初級)	2	春	* 李 善 姫 * 高 橋 梓		[30名]
850854	KOR120	코리아語総合2 (初級)	2	秋	* 李 善 姫 * 高 橋 梓		[30名]
850853	KOR100	코리아語総合1 (初級)	2	春	* 山 崎 亜希子 * 孫 英 玉		[30名]
850854	KOR120	코리아語総合2 (初級)	2	秋	* 山 崎 亜希子 * 孫 英 玉		[30名]
850853	KOR100	코리아語総合1 (初級)	2	春	* 金 平 アラン * 香 織		[30名]
850854	KOR120	코리아語総合2 (初級)	2	秋	* 金 平 アラン * 香 織		[30名]
850853	KOR100	코리아語総合1 (初級)	2	春	* 大 坪 祐 子 * 全 相 律		[30名]
850854	KOR120	코리아語総合2 (初級)	2	秋	* 大 坪 祐 子 * 全 相 律		[30名]
850853	KOR100	코리아語総合1 (初級)	2	春	* 亀 井 みどり * 孫 英 玉		[30名]
850854	KOR120	코리아語総合2 (初級)	2	秋	* 亀 井 みどり * 孫 英 玉		[30名]
850853	KOR100	코리아語総合1 (初級)	2	春	* 高 橋 梓 * 権 在 淑		[30名]
850854	KOR120	코리아語総合2 (初級)	2	秋	* 高 橋 梓 * 権 在 淑		[30名]

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
850853	KOR100	コリア語総合1 (初級)	2	春	*孫英 玉 *野間 秀 樹		[30名]
850854	KOR120	コリア語総合2 (初級)	2	秋	*孫英 玉 *野間 秀 樹		[30名]
850853	KOR100	コリア語総合1 (初級)	2	春	*金ア ラン *平香 織		[30名]
850854	KOR120	コリア語総合2 (初級)	2	秋	*金ア ラン *平香 織		[30名]
850853	KOR100	コリア語総合1 (初級)	2	春	*金ア ラン *亀井 みどり		[30名]
850854	KOR120	コリア語総合2 (初級)	2	秋	*金ア ラン *亀井 みどり		[30名]
850854	KOR120	コリア語総合2 (初級)	2	春	*大坪 祐子 *大権 在 淑		[30名]
850853	KOR100	コリア語総合1 (初級)	2	秋	*大坪 祐子 *大権 在 淑		[30名]
<b>[中級総合] (コア科目)</b>							
850863	KOR200	コリア語総合3 (中級)	2	春	*黒澤 朋子 *高 榎 旭		[30名]
850864	KOR220	コリア語総合4 (中級)	2	秋	*黒澤 朋子 *高 榎 旭		[30名]
850863	KOR200	コリア語総合3 (中級)	2	春	*野間 秀樹 *李 善 姫		[30名]
850864	KOR220	コリア語総合4 (中級)	2	秋	*野間 秀樹 *李 善 姫		[30名]
850863	KOR200	コリア語総合3 (中級)	2	春	*金ア ラン *大坪 祐子		[30名]
850864	KOR220	コリア語総合4 (中級)	2	秋	*金ア ラン *大坪 祐子		[30名]
850863	KOR200	コリア語総合3 (中級)	2	春	*全相 律梓 *高 橋		[30名]
850864	KOR220	コリア語総合4 (中級)	2	秋	*全相 律梓 *高 橋		[30名]
850864	KOR220	コリア語総合4 (中級)	2	春	*権在 淑子 *大坪 祐子		[30名]
850863	KOR200	コリア語総合3 (中級)	2	秋	*権在 淑子 *大坪 祐子		[30名]
<b>[演習] (オプション科目)</b>							
850882	KOR250	コリア語演習IIA (コリアの言葉と文化)	1	春	金 アラン		※注2, 3
850883	KOR250	コリア語演習IIB (コリアの言葉と文化)	1	秋	金 アラン		※注2, 3
<b>[上級A~H] (コア科目)</b>							
850875	KOR300	コリア語上級 A	1	春	*高 榎 旭		隔年開講
850876	KOR300	コリア語上級 B	1	秋	*高 榎 旭		隔年開講
850877	KOR300	コリア語上級 C	1	春	金 アラン		隔年開講
850878	KOR300	コリア語上級 D	1	秋	金 アラン		隔年開講
850879	KOR300	コリア語上級 E	1	休講			隔年開講
850880	KOR300	コリア語上級 F	1	休講			隔年開講
850890	KOR300	コリア語上級 G	1	休講			隔年開講
850891	KOR300	コリア語上級 H	1	休講			隔年開講

※注2：レベル3～5の学生のみ履修可

※注3：13年次以前の学生は履修はできるが卒業要件外となる

語学科目  
指定言語  
英  
語  
初習言語  
ドイツ語  
フランス語  
イハニ語  
中国語  
コリア語  
イタリア語  
ロシア語、  
ポルトガル語、  
語学講座  
履修科目  
日本語  
海外短期  
開講科目  
一覧表

## ○イタリア語

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
<b>[初級・中級・上級](コア科目)</b>							
810033	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	堤 康 徳		[30名]
810034	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	堤 康 徳		※注5
810033	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	*横 田 さやか		[30名]
810034	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	*横 田 さやか		※注5
810033	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	*柴 田 瑞 枝		[30名]
810034	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	*柴 田 瑞 枝		※注5
810033	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	堤 康 徳		[30名]
810034	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	堤 康 徳		※注5
810033	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	*MAGGIA Federica		[30名]
810034	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	*MAGGIA Federica		※注5
810035	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	*MAGGIA Federica		[30名]
810036	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	*MAGGIA Federica		※注5
810035	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	*MAGGIA Federica		[30名]
810036	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	*MAGGIA Federica		※注5
810035	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	*MAGGIA Federica		[30名]
810036	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	*MAGGIA Federica		※注5
810035	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	*MAGGIA Federica		[30名]
810036	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	*MAGGIA Federica		※注5
810035	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	*FORMISANO Carla		[30名]
810036	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	*FORMISANO Carla		※注5
810043	ITL211	イタリア語中級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	*横 田 さやか		[30名]
810044	ITL211	イタリア語中級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	*横 田 さやか		※注5
810043	ITL211	イタリア語中級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	堤 康 徳		[30名]
810044	ITL211	イタリア語中級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	堤 康 徳		※注5

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
810043	ITL211	イタリア語中級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	堤 康 徳		[30名]
810044	ITL211	イタリア語中級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	堤 康 徳		※注5
810045	ITL212	イタリア語中級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	堤 康 徳		[30名]
810046	ITL212	イタリア語中級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	堤 康 徳		※注5
810045	ITL212	イタリア語中級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	* MAGGIA Federica		[30名]
810046	ITL212	イタリア語中級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	* MAGGIA Federica		※注5
810045	ITL212	イタリア語中級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	* FORMISANO Carla		[30名]
810046	ITL212	イタリア語中級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	* FORMISANO Carla		※注5
850971	ITL310	イタリア語上級A (イタリアの言語と社会・歴史) -1	1	春	堤 康 徳		
850972	ITL310	イタリア語上級A (イタリアの言語と社会・歴史) -2	1	秋	堤 康 徳		
850973	ITL310	イタリア語上級B (イタリアの言語と文学) -1	1	春	堤 康 徳		
850974	ITL310	イタリア語上級B (イタリアの言語と文学) -2	1	秋	堤 康 徳		
<b>[演習](オプション科目)</b>							
850981	ITL250	イタリア語演習ⅡA (イタリア語とイタリア文化)	1	春	堤 康 徳		※注2, 3
850982	ITL250	イタリア語演習ⅡB (イタリア語とイタリア文化)	1	秋	堤 康 徳		※注2, 3

※注2：レベル3～5の学生のみ履修可

※注3：13年次以前の学生は履修はできるが卒業要件外となる

※注5：春学期の同一教員同一時間割の「-1」修得済の学生のみ履修可（ただし、秋学期科目のみの再履修者を除く）

## ○ロシア語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
895916	RUS111	ロシア語初級Ⅰ-1	1	春	* 佐 藤 貴 之		
895917	RUS111	ロシア語初級Ⅰ-2	1	秋	* 佐 藤 貴 之		
895914	RUS112	ロシア語初級Ⅱ-1	1	春	* MALTSEVA Svetlana		
895915	RUS112	ロシア語初級Ⅱ-2	1	秋	* MALTSEVA Svetlana		
892027	RUS211	ロシア語中級Ⅰ-1	1	春	佐 山 豪 太		
892028	RUS211	ロシア語中級Ⅰ-2	1	秋	佐 山 豪 太		
892025	RUS212	ロシア語中級Ⅱ-1	1	春	* 鈴 木 佑 也		
892026	RUS212	ロシア語中級Ⅱ-2	1	秋	* 鈴 木 佑 也		

語学科目 について
指定言語 履修
英
語
に 初 習 言 語 に つ い て
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ タ リ ア 語
中 国 語
コ リ ア 語
イ タ リ ア 語
ポ ロ ン ド 語 、 ラ シ ア 語 、 フ ラ ン ス 語
ア ジ ア ナ フ リ カ 諸 語 他
履 修 科 目 対 応 表
日 本 語
海 外 短 期 語 学 講 座
一 開 講 科 目 一 覽 表

## ○（ブラジル）ポルトガル語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
891033	POR111	(ブラジル) ポルトガル語初級Ⅰ-1	1	春	GIBO Lucila		
891034	POR111	(ブラジル) ポルトガル語初級Ⅰ-2	1	秋	* 木場 アンジェラ 信恵		
891037	POR112	(ブラジル) ポルトガル語初級Ⅱ-1	1	春	* ANTUNES Aline		
891038	POR112	(ブラジル) ポルトガル語初級Ⅱ-2	1	秋	* ANTUNES Aline		
850613	POR211	(ブラジル) ポルトガル語中級Ⅰ-1	1	春	* 荻野 恵		
850614	POR211	(ブラジル) ポルトガル語中級Ⅰ-2	1	秋	* 荻野 恵		
850615	POR212	(ブラジル) ポルトガル語中級Ⅱ-1	1	春	* BRANDAO Renato		
850616	POR212	(ブラジル) ポルトガル語中級Ⅱ-2	1	秋	* BRANDAO Renato		

## ○アジア・アフリカ諸語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
<b>[インドネシア語]</b>							
821003	IND111	インドネシア語初級A-1	1	春	* 西野 恵子		旧「インドネシア語初級文法1」
821004	IND112	インドネシア語初級A-2	1	秋	* 西野 恵子		旧「インドネシア語初級文法2」※注5
821005	IND121	インドネシア語初級B-1	1	春	* KUSHAJATIE Ajiek		旧「インドネシア語初級読本1」
821006	IND122	インドネシア語初級B-2	1	秋	* KUSHAJATIE Ajiek		旧「インドネシア語初級読本2」※注5
821007	IND131	インドネシア語初級C-1	1	春	* 小池 まり子		
821008	IND132	インドネシア語初級C-2	1	秋	* 小池 まり子		※注5
821021	IND211	インドネシア語中級1	1	春	* 西野 恵子		
821022	IND212	インドネシア語中級2	1	秋	* 西野 恵子		
821031	IND311	インドネシア語上級1	1	春	* KUSHAJATIE Ajiek		
821032	IND312	インドネシア語上級2	1	秋	* KUSHAJATIE Ajiek		
<b>[フィリピン語]</b>							
822001	TGL111	フィリピン語初級文法1	1	春	* 田中和彦		
822002	TGL112	フィリピン語初級文法2	1	秋	* 田中和彦		
822011	TGL121	フィリピン語初級読本1	1	春	* FELIPE Imelda		
822012	TGL122	フィリピン語初級読本2	1	秋	* FELIPE Imelda		
822021	TGL211	フィリピン語中級1	1	春	* 田中和彦		
822022	TGL212	フィリピン語中級2	1	秋	* 田中和彦		
822031	TGL311	フィリピン語上級1	1	春	* FELIPE Imelda		
822032	TGL312	フィリピン語上級2	1	秋	* FELIPE Imelda		
<b>[アラビア語]</b>							
824003	ARA111	アラビア語初級A-1	1	春	* 高橋 圭		旧「アラビア語初級文法1」
824004	ARA112	アラビア語初級A-2	1	秋	* 高橋 圭		旧「アラビア語初級文法2」※注5
824005	ARA121	アラビア語初級B-1	1	春	* 関 佳奈子		旧「アラビア語初級読本1」
824006	ARA122	アラビア語初級B-2	1	秋	* 関 佳奈子		旧「アラビア語初級読本2」※注5
824007	ARA131	アラビア語初級C-1	1	春	* 野口 舞子		
824008	ARA132	アラビア語初級C-2	1	秋	* 野口 舞子		※注5
824021	ARA211	アラビア語中級1	1	春	辻上 奈美江		
824022	ARA212	アラビア語中級2	1	秋	辻上 奈美江		
824031	ARA311	アラビア語上級1	1	春	* 中野 さやか		
824032	ARA312	アラビア語上級2	1	秋	* 中野 さやか		

※注5：春学期と同一教員同一時間割の「-1」修得済の学生のみ履修可（ただし、秋学期科目のみの再履修者を除く）

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
<b>[タイ語]</b>							
825001	THA111	タイ語初級1	1	春	*佐々木 浩 士		
825002	THA112	タイ語初級2	1	秋	*佐々木 浩 士		
825021	THA211	タイ語中級1	1	春	*佐々木 浩 士		
825022	THA212	タイ語中級2	1	秋	*佐々木 浩 士		
<b>[ペルシア語]</b>							
826001	PER111	ペルシア語初級1	1	春	*鈴木 珠 里		
826002	PER112	ペルシア語初級2	1	秋	*鈴木 珠 里		
826021	PER211	ペルシア語中級1	1	春	*鈴木 珠 里		
826022	PER212	ペルシア語中級2	1	秋	*鈴木 珠 里		
<b>[カンボジア語]</b>							
823001	CAM111	カンボジア語初級1	1	春	*福 富 友 子		
823002	CAM112	カンボジア語初級2	1	秋	*福 富 友 子		
823011	CAM211	カンボジア語中級1	1	春	*ニム ソティーブン		
823012	CAM212	カンボジア語中級2	1	秋	*ニム ソティーブン		
<b>[ビルマ語]</b>							
827001	BUR111	ビルマ語初級1	1	春	*斎 藤 紋 子		
827002	BUR112	ビルマ語初級2	1	秋	*斎 藤 紋 子		
<b>[トルコ語]</b>							
830001	TUR111	トルコ語初級1	1	春	澤 江 史 子		
830002	TUR112	トルコ語初級2	1	秋	澤 江 史 子		
<b>[ベトナム語]</b>							
831001	VIE111	ベトナム語初級1	1	春	*菊 池 百 里 子		
831002	VIE112	ベトナム語初級2	1	秋	*菊 池 百 里 子		
<b>[スワヒリ語]</b>							
829001	SWA111	スワヒリ語初級1	1	春	*角 谷 征 昭		
829002	SWA112	スワヒリ語初級2	1	秋	*角 谷 征 昭		
829003	SWA211	スワヒリ語中級1	1	春	*角 谷 征 昭		
829004	SWA212	スワヒリ語中級2	1	秋	*角 谷 征 昭		
<b>[ヒンディー語]</b>							
828001	HIN111	ヒンディー語初級1	1	春	*足 立 享 祐		
828002	HIN112	ヒンディー語初級2	1	秋	*足 立 享 祐		

### ○ラテン語（哲学科開講）

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	外国語	備考
122208	PHL102	ラテン語ⅠA	2	春	佐 藤 直 子		
122209	PHL103	ラテン語ⅠB	2	秋	佐 藤 直 子		
122206	PHL202	ラテン語ⅡA	2	春	*芝 元 航 平 *村 上 寛		
122207	PHL203	ラテン語ⅡB	2	秋	*芝 元 航 平 *村 上 寛		

語学科目 について
指定言語
英
語
初習言語 について
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
ロシア語
イタリヤ語
ポルトガル語、 スペイン語、 フランス語、 イタリア語
アジアナフ リカ諸語他
履修科目 対応表
日本語
海外短期 語学講座
開講科目 一覧表

ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考
<b>日本語科目</b>							
JPN111	JAPANESE 1 日本語 I	4	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN112	JAPANESE 2 日本語 II	4	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN150	JAPANESE M1 日本語M I	4	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN180	INTENSIVE JAPANESE 1 集中日本語 I	8	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN200	JAPANESE M2 日本語M II	4	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN211	JAPANESE 3 日本語 III	4	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN212	JAPANESE 4 日本語 IV	4	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN250	JAPANESE M3 日本語M III	4	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN270	INTENSIVE JAPANESE 2 集中日本語 II	8	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN280	INTENSIVE JAPANESE 3 集中日本語 III	8	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN290	INTEGRATED JAPANESE 1 総合日本語 1	8	春・秋	Japanese instructor	1～4		言語教育研究センター所属 ノンディグリー生（漢字圏）用科目
JPN300	INTEGRATED JAPANESE 2 総合日本語 2	8	春・秋	Japanese instructor	1～4		言語教育研究センター所属 ノンディグリー生（漢字圏）用科目
JPN310	INTEGRATED JAPANESE 3 総合日本語 3	8	春・秋	Japanese Instructor	1～4		言語教育研究センター所属 ノンディグリー生（漢字圏）用科目
JPN311	BUSINESS JAPANESE 1 ビジネス日本語 I	2	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN312	BUSINESS JAPANESE 2 ビジネス日本語 II	2	春・秋	Japanese instructor	1～4		[25名]
JPN315	BUSINESS JAPANESE (PREPARATION FOR INTERNSHIP) インターンシップのためのビジネス日本語	1	春・秋	米 澤 昌 子	1～4		[25名]
JPN321	ADVANCED JAPANESE 1 日本語上級 I	4	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN322	ADVANCED JAPANESE 2 日本語上級 II	4	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN340	READING & WRITING (BASIC) 日本語特別講座（基礎）	2	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN341	READING & WRITING 1 日本語特別講座 I	2	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN342	READING & WRITING 2 日本語特別講座 II	2	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN343	READING & WRITING 3 日本語特別講座 III	2	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN349	JAPANESE LITERACY 1 日本語表現 I	2	春・秋	Japanese instructor	2～4		旧JPN352 JAPANESE LITERACY 1
JPN353	JAPANESE LITERACY 2 日本語表現 II	4	春・秋	Japanese instructor	2～4		
JPN370	INTENSIVE JAPANESE 4 集中日本語 IV	8	春・秋	Japanese instructor	1～4		
JPN431	ACADEMIC JAPANESE 1-1 アカデミック日本語1-1	2	春	佐 藤 紀美子	1～4		
JPN432	ACADEMIC JAPANESE 1-2 アカデミック日本語1-2	2	秋	佐 藤 紀美子	1～4		



ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	履修年次	外国語	備考
JPN441	ACADEMIC JAPANESE 2-1 アカデミック日本語2-1	2	春	*相ヶ瀬 千 草	1～4		
JPN442	ACADEMIC JAPANESE 2-2 アカデミック日本語2-2	2	秋	*相ヶ瀬 千 草	1～4		
JPN445	INTRODUCTION TO JAPANESE ECONOMIC STUDIES FOR INTERNATIONAL STUDENTS 1 留学生のための日本経済入門1	2	春	佐 藤 紀美子 *日 吉 精 嗣	1～4		[25名] 経済学部正規生優先科目
JPN446	INTRODUCTION TO JAPANESE ECONOMIC STUDIES FOR INTERNATIONAL STUDENTS 2 留学生のための日本経済入門2	2	秋	佐 藤 紀美子 *日 吉 精 嗣	1～4		[25名] 経済学部正規生優先科目

翻訳科目*							
JPN405	TRANSLATING ENGLISH TO JAPANESE : THEORY AND PRACTICE 1 英文和訳 I	4	春	*香 取 芳 和	1～4		
JPN406	TRANSLATING ENGLISH TO JAPANESE : THEORY AND PRACTICE 2 英文和訳 II	4	秋	*香 取 芳 和	1～4		
JPN407	TRANSLATING JAPANESE TO ENGLISH : THEORY AND PRACTICE 和文英訳	4	春・秋	*高 橋 絹 子	1～4		

\*「翻訳科目」は、日本語科目として分類される。

語学科目 について
学科別履修 指定言語
英 語
初習言語 について
ドイツ語
フランス語
イハニ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポロニア語、 ハンガリー語、 スロバキア語
アジアナフ リカ諸語他
履修科目 対応表
日本語
海外短期 語学講座
開講科目 一覧表

# 7 外国語科目 (13年次生以前対象)

外国語科目について

学科別履修指定言語

英語

初習言語について

ドイツ語・フランス語・イスパニア語・中国語・コリア語

イタリア語

ロシア語・(ブラジル)ポルトガル語

アジア・アフリカ諸語他

日本語

海外短期語学講座・開講科目一覧表

外国語科目  
について

学科別履修  
指定言語

英語

初習言語  
について

独・仏・西・  
中・コリア語

イタリア語

ロシア語・  
ポルトガル語

アジア・ア  
フリカ諸語  
他

日本語

海外短期  
語学講座  
一覧表

---

# 外国語科目履修上の注意（13年次生以前対象）

---

## 1. 共通重要事項

### 1) カリキュラムの変更について

2016年度より一部の言語でカリキュラムが大幅に変更となった。未修得の科目がある場合は、各言語のページおよび履修登録期間前に掲載されるLoyolaの掲示を熟読の上、不足している科目を履修すること。

### 2) 全学共通科目としての外国語

- ・『全学共通科目としての外国語』は、全ての学科で同一言語8単位必修となっている。
- ・学科によって、履修を指定している言語の種類が異なるので、「学科別履修指定言語」（p.239～240）を参照すること。
- ・全学共通科目としての外国語は、各学科で指定された必修8単位の他に履修しても、全学共通科目の選択必修及び選択科目には含まれない。

### 3) 学科科目としての外国語

- ・『学科科目としての外国語』とは、全学共通科目としての外国語の他に、学科独自に卒業要件として定める外国語のことである。
- ・学科によって、履修を指定している言語の種類が異なるので、「学科別履修指定言語」（p.239～240）を参照すること。『学科科目としての外国語』の履修を、卒業要件として課していない学科もある。詳細は所属学科のページを参照のこと。

### 4) 履修区分について

外国語科目を履修登録する場合、あらかじめ区分を選択し登録することが必要となる。『全学共通科目としての外国語』、『学科科目としての外国語』どちらの区分として登録するか、自分の卒業要件や履修状況を確認のうえ間違いのないように登録すること。

### 5) 履修できる単位数について

- ・1言語につき、各学期2単位、年間4単位を上限とする。ただし英語の選択科目・初習言語のオプション科目および日本語はこの限りではない。
- ・各言語とも、初級、中級科目は原則として履修できる単位数は4単位までである。ただし英語の選択科目および初習言語のオプション科目はこの限りではない。
- ・同学期中に複数の言語を同時に履修することができる。

### 6) 語学レベルと履修順序について（詳細は、英語p.241～、初習言語p.245～参照）

- ・各言語とも、自身の語学レベルによって履修できる科目が限られている。
- ・原則として、はじめに指定された語学レベルを変更することはできない。ただし、これまでの学習歴によってレベルを変更できる場合がある。この場合は所定のレベルアップの手続きをとること。
- ・言語ごとに指定された履修順序に従って履修すること。

### 7) 出席回数について

- ・単位取得の最低条件として、定められた出席回数を守ること。（→p.237「2）出席回数について」参照）

### 8) 重複履修について

原則、同一科目を2回以上履修しても卒業要件に算入されない。同一科目とは、原則として科目コードが同じ科目である。ただし、言語やレベルによっては一部重複履修が認められているため、各言語のページで確認すること。

### 9) 外国語科目の履修中止について（重要）

- ・外国語科目については、全学共通科目、学科科目にかかわらず原則としてLoyolaを通じて履修中止することはできない。ただし、履修言語の変更を希望する場合と選択科目もしくは卒業要件に算入されない科目を履修している場合に限り、学事センター窓口で「履修中止」の申請を認める。
- ・履修中止を希望する場合は、履修中止申請期間に、履修成績照会画面のコピーを持参のうえ学事センター語学科目担当に相談すること。
- ・詳細はp.33「履修中止願による申請」を参照すること。

外国語科目 について
学 科 別 履 修 指 定 言 語
英 語
初 習 言 語 に つ い て
独・仏・西・ 中 コ リ ア 語
イ タ リ ア 語
ロ シ ア 語 ・ ポ ル ト ガ ル 語
ア ジ ア ・ ア フ リ カ 語 語 他
日 本 語
海 外 講 義 期 間 講 義 目 録

## 2. 概要

### 1) 外国語科目の種類

語学科目は、次の22言語である。

- ・英語
- ・日本語
- ・初習言語（ドイツ語、フランス語、イスパニア語、ロシア語、ポルトガル語、イタリア語、中国語、韓国語、ラテン語、タイ語、インドネシア語、アラビア語、ペルシア語、カンボジア語、フィリピン語、ビルマ語、トルコ語、ベトナム語、ヒンディー語、スワヒリ語）

### 2) 出席回数について

外国語科目の出席回数を以下のように定める。単位取得の最低条件として、定められた出席回数を守ること。ただし、出席回数を満たせば必ず単位が付与されるというわけではない。出席回数を満たしたうえで、各科目の評価基準に従い成績が付与される。①～⑤いずれも、初日の授業から出欠をカウントする。

なお、言語教育研究センターの科目では、下記に示す特別措置以外の事由（就職活動、ゼミ・部活などの公式な行事、交通遅延、忌引き等）は一切認めていない。出席しなければならない日数は、成績評価の最低限の条件であり、欠席や遅刻の回数が評価に影響を及ぼさないということではない。急な病気や、特別措置が適用されないような事情が生じたときのために、普段からできるだけ欠席しないように心掛けること。

#### ①週1回の科目（全14回）

11回以上の出席を必須とする。

#### ②週2回の科目（全28回）

23回以上の出席を必須とする。

#### ③週4回の科目（全56回）

46回以上の出席を必須とする。

#### ④週5回の科目（全70回）

59回以上の出席を必須とする。

#### ⑤週10回の科目（全140回）

119回以上の出席を必須とする。

### <特別措置>

以下の内容に当てはまるものは、出席にも欠席にも扱わない。ただし、いずれも授業に出席できない期間が**3週間を超える場合は、超えた期間についてはいかなる理由であっても特別措置の対象としない**。また2つ以上の事由の合計が3週間を超える場合、超えた期間については特別措置の対象外とする。特別措置が認められた場合の出席回数については、担当教員に確認すること。特別措置の対象者で、出席に替わって課題を課されたものは、その提出が特別措置を受ける条件となる。

- ・ 病気や怪我のうち、登校できない期間が明記された診断書を提出できる場合（\*1）
- ・ 上南戦に参加する者のうち、大学からの証明を提出できる場合
- ・ 裁判員選任等に伴う欠席（p.24に記載された手続きを踏むこと）
- ・ 教育実習、養護実習、介護等体験、館務実習のうち、証明書を提出できる場合
- ・ 看護学科の実習で、証明書を提出できる場合

（\*1）慢性的な疾患について

期間が明記できない疾患の場合は事前に言語教育研究センター（6号館5階）に相談すること。相談できる期間は、春学期科目の場合4月27日（金）まで、秋学期科目の場合10月19日（金）までとする。

### <遅刻の取扱いについて>

授業開始時間（定刻）より、30分経過しても入室しなかった場合は、その後遅れて入室し授業を受けたとしても、欠席扱いとする。（0時限開講の科目については、定刻より15分経過とする。）

### 3) ナンバリングについて

語学科目のナンバリング（分野名）は以下の通りである。

なお、ナンバリングで表記されている数字3桁はレベルを示しており、その内容は言語によって異なる。詳細は各言語のページを参照すること。

ナンバリング（分野名）	言語
ENG	英語
GMN	ドイツ語
FRN	フランス語
SPN	イスパニア語
CHN	中国語
KOR	韓国語
RUS	ロシア語
POR	(ブラジル)ポルトガル語
ITL	イタリア語
IND	インドネシア語
TGL	フィリピン語
ARA	アラビア語
THA	タイ語
PER	ペルシア語
CAM	カンボジア語
BUR	ビルマ語
TUR	トルコ語
VIE	ベトナム語
HIN	ヒンディー語
SWA	スワヒリ語
JPN	日本語
PHL	ラテン語

## 2. 学科別履修指定言語（13年次生以前）

以下の表は、各学科で卒業要件としている外国語を一覧表にしたものである。各自で以下の表と所属学科の頁を参照の上、履修すること。学科開講の指定言語（●で表示）については、各学科のページを参照すること。

注）「全学」は全学共通科目としての外国語を、「学科」は学科科目としての外国語をあらわす。

学部	学科	登録区分	英語	ドイツ語	フランス語	イスパニア語	ロシア語	ポルトガル語	中国語	韓国語	インドネシア語	フィリピン語	イタリア語	タイ語	ベルシア語	ラテン語	カンボジア語	ビルマ語	トルコ語	ベトナム語	ヒンディー語	スワヒリ語	日本語（*3）	履修度	単位数	備考		
			全学	学科	全学	学科	全学	学科	全学	学科	全学	学科	全学	学科	全学	学科	全学	学科	全学	学科	全学	学科	全学				学科	
神	神	全学	○																					必修	8			
		学科	○	○													○								選択	*1	*2	
文	哲 (ドイツコース)	全学		●																					必修	8	哲学科指定外国語*1	
		学科	○	●	○												○								必修	6	ドイツ語は哲学科指定外国語*1	
	哲 (英語コース)	全学	○																							必修	8	
		学科	●	○	○																					必修	8	英語は哲学科指定外国語*1
	史	全学	○																							必修	8	
		学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										○	必修	8	日本史専攻者の単位については*1
		学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	選択	4	必修で選択した以外の外国語
	国文	全学	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○											○	必修	8	原則として英語*1
		学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										○	選択	6	*2
	英文	全学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											○	必修	8	
		学科																										
	ドイツ文	全学	○																							必修	8	
		学科																										
	フランス文	全学	○																							必修	8	
学科																												
新聞	全学	○																							必修	8		
	学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											○	必修	8		
総合人間	教育	全学	○	○	○																				必修	8		
		学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択	4	*2
	心理	全学	○																							必修	8	
		学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	必修	4	
	社会	全学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必修	8	
		学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	選択	4~8	*1, 2
	社会福祉	全学	○																							必修	8	
		学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	選択	4	
	看護	全学	○																							必修	8	*4
		学科																										
法	法律	全学	○	○	○																				必修	8		
		学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										○	必修	8	*2	
	国際関係法	全学	○	○	○																				必修	8		
		学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											○	必修	8	*2	
地球環境法	全学	○	○	○																					必修	8		
	学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											○	必修	8	*2	
経済	経済	全学	○																						必修	8		
		学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	必修	4	
	経営	全学	○																							必修	8	
		学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	必修	4	

外国語科目  
について  
指定言語

英

初習言語  
について

独・仏・西・  
中  
コリア語

イタリア語

ロシア語・  
ポルトガル語

アジア・ア  
フリカ諸語他

日本語

海外短期  
学講義  
科目一  
覧表

学部	学科	登録区分	英語	ドイツ語	フランス語	イスパニア語	ロシア語	ポルトガル語	中国語	コリア語	インドネシア語	フィリピン語	アラビア語	イタリア語	タイ語	ペルシア語	ラテン語	カンボジア語	ビルマ語	トルコ語	ベトナム語	ヒンディー語	スワヒリ語	日本語(*3)	履修度	単位数	備考		
外国語	英語 (10年次生)	全学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必修	8			
		学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択	4	*2	
	英語 (11~13年次生)	全学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必修	8		
		学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択	4	*2	
	ドイツ語 (11~13年次生)	全学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必修	8		
		学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択	4	*2	
	フランス語 (10年次生)	全学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必修	8		
		学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択	4	*2	
	フランス語 (11~13年次生)	全学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必修	8	
		学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択	4	*2
	イスパニア語 (10~13年次生)	全学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必修	8	
		学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択	4	*2
	ロシア語 (11~13年次生)	全学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必修	8	
		学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択	4	*2
ポルトガル語 (10年次生以前)	全学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必修	8		
	学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ポルトガル語 (11~13年次生)	全学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必修	8		
	学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択	4	*2	
理工	物質生命理工	全学	○																						必修	8			
		学科																											
	機能創造理工	全学	○																							必修	8		
		学科																											
情報理工	全学	○																							必修	8			
	学科																												

\*1 詳細は各学科のページを参照すること。

\*2 全学共通科目で選択した以外の外国語を選択すること。

\*3 日本語は、日本語を母語としない学生、及び所属学科の指導により、その履修の必要性が認められた者を対象とする。対象外の者が履修しても卒業要件に算入されない。なお、翻訳科目については日本語を母語とする学生も履修できるが、詳細はP.225を参照すること。

\*4 詳細はP.179を参照すること。

## 英語 (看護学科(13年次生)はp.179を参照)

13年次生以前の学生向け再履修者用科目は2017年度に廃止となった。このため、卒業に必要な単位を修得し終えていない学生は、以下の説明を読み、自身のレベルに見合ったACADEMIC COMMUNICATION 1, 2(14年次生以降の必修科目)を、正しい履修順序に沿って履修すること。なお、当該科目は週2回の2単位科目であり、必要単位数が奇数の場合も同科目を履修する必要がある。

### 1) プレイメント・テストについて

英語科目を履修するためには、プレイメント・テストを受けなければならない(国際教養学部・理工学部英語コースの学生を除く)。下記に該当する学生はプレイメント・テストを受験すること。なお、受験希望者は4月6日(金)17時までに、言語教育研究センター(6号館5階)にて手続きをすること。詳細はLoyola掲示板(学事センター[教務])を確認すること。

- ・英語の履修が必要な学生のうち、プレイメント・テスト未受験の者。
- ・教員免許状のうち、自学科で定められた教科以外に他教科として「英語」の免許取得を希望する学生が、課程科目の「英語科教育法」(課程センター開講)を履修する場合。
- ・英文学科生が「英語科教育法」(英文学科開講)を履修する場合。

### 【これまでにプレイメント・テストを受けたことがない学生】

日 時	2018年4月7日(土) 午前9時30分集合 [試験時間] 10:00~12:30(予定)
場 所	当日、掲示板にて指示する
結果発表	2018年4月9日(月) 11:00 [掲示場所] Loyola掲示板(学事センター[教務])

- ・10:15を過ぎた場合、テストは受験できない。この場合、当該年度は英語科目を履修することはできない。
- ・学生証、筆記用具(マークシートのためHBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)を持参すること。
- ・時計を持参すること。携帯電話を時計代わりに使用することはできないので注意すること。

### 2) レベルについて

プレイメント・テストの結果に基づき、学生は下記の6つのレベルに分けられる。

プレイメント・テスト後に英語をはじめ履修する学生は、以下 3) を参照し、指定されたレベルの科目を選んで履修すること(プレイメント・テストで指定されたレベルを変更することは一切認められない)。

なお、2学期目以降のレベルについてはp.242を参照すること。

基礎	これまでまったく、あるいはほとんど英語を勉強したことがない。
初 級	ゆっくり話された英語を理解し、簡単な質問をしたり、答えたりすることができる。自分や家族、身の回りのことについて簡単な英語で話すことができる。また、やさしい英文を読んだり、簡単な文を書いたりすることができる。
中級Ⅰ	一般的な日常場面で、英語を聞いて理解したり、話したりすることがなんとかできる。
中級Ⅱ	いろいろな場面で英語を聞いて理解したり話したりことができ、英語で授業を受けたり学習することもそれほど苦ではない。
上級Ⅰ	英語を読み、書き、聞いて理解することがかなりできるが、これらの能力をさらに高めたい。
上級Ⅱ	読む、書く、話す、聞くことのすべてがかなり楽にできるが、さまざまな媒体・資料を用いて、分析・総括・議論の機会を増やし、英語運用能力をさらに高めたい。

### 3) 履修方法について

これらの科目を履修する必要のある学生は、4)の履修時間帯にあるブロックのうち、学科の必修時間割等と重複のない(英語科目を登録可能な)ブロックをすべて所定のフォームに記入の上、各学期の授業開始日の前日までに言語教育研究センター(6号館5階)に提出し、クラスの指定を受けること。ただし、登録できるのは各学期1科目(2単位)、年間2科目(4単位)までである。

外国語科目について
学科別履修指定言語
英語
に初習言語について
中・独・仏・西・ロシア語
イタリア語
ポルトガル語
ロシア語・ポルトガル語
リビア語・アラブ語
日本語
海外短期・長期・海外研修・海外実習



現在のレベル	新科目	修得単位	旧科目
基礎	ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2 (INTRODUCTORY)	週4回/各学期2単位 (ただし1回は45分)	基礎英語
初級	ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2 (ELEMENTARY)	週2回/各学期2単位	英語初級(総合) -1, -2
中級 I	ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2 (INTERMEDIATE I)	週2回/各学期2単位	英語中級 I -1, -2 英語中級(読解) -1, -2 英語中級(作文) -1, -2
中級 II	ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2 (INTERMEDIATE II)	週2回/各学期2単位	英語中級 II -1, -2 英語中級(読解) -1, -2 英語中級(作文) -1, -2
上級 I	ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2 (ADVANCED I)	週2回/各学期2単位	英語上級 I -1, -2
上級 II	ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2 (ADVANCED II)	週2回/各学期2単位	英語上級 II -1, -2

#### 4) 履修時間帯

- ・基礎の学生は、「ACADEMIC COMMUNICATION (INTRODUCTORY) 1, 2」(火～金, 0時限(8:15-9:00) 2単位/学期)を履修すること。
- ・初級～上級 II の学生は, 3) の履修方法にあるとおり, 以下のブロックのうち, 学科の必修時間割と重複のない(英語科目を登録可能な)ブロックをすべて申し出ること。

時限/曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
0		INTRODUCTORY	INTRODUCTORY	INTRODUCTORY	INTRODUCTORY
1	A	D	F	D	F
2	B	E			
3				C	E
4	C		B	A	
5					

- ・ACADEMIC COMMUNICATION 2を履修した場合は, AC-TEAP (TEAP4技能試験)を必ず受験すること。受験日等の詳細は5月末までにLoyola掲示板(学事センター [教務])に掲載するので確認すること。また, 授業内においても教員から案内する。

#### 5) 履修順序について

原則として, 以下の順序に従って履修すること。ただし同科目名の場合, 同一教員の科目は不可とする。

##### ● 残りの単位数による順序

残りの必要単位数	1学期目	2学期目	3学期目	4学期目
7～8単位	ACADEMIC COMMUNICATION 1または2 (現在のレベル)	ACADEMIC COMMUNICATION 1または2 (同一レベル)	ACADEMIC COMMUNICATION 1または2 (同一レベル) ※1	ACADEMIC COMMUNICATION 1または2 (同一レベル) ※1
5～6単位	ACADEMIC COMMUNICATION 1または2 (現在のレベル)	ACADEMIC COMMUNICATION 1または2 (同一レベル)	ACADEMIC COMMUNICATION 1または2 (同一レベル) ※1	
3～4単位	ACADEMIC COMMUNICATION 1または2 (現在のレベル)	ACADEMIC COMMUNICATION 1または2 (同一レベル)		
1～2単位	ACADEMIC COMMUNICATION 1または2 (現在のレベル)			

※1 現在のレベルが「基礎」または「初級」の場合で, 残りの必要単位数が5単位以上の場合, 同一レベルではなく, ひとつ上のレベルで履修すること(次頁の「現在のレベルによる履修順序」を参照)。

●現在のレベルによる履修順序

現在のレベル	履修順序 (残り単位が5単位以上の場合)
基礎	INTRODUCTORY → ELEMENTARY
初級	ELEMENTARY → INTERMEDIATE I
中級Ⅰ	INTERMEDIATE I → 同一レベルのままとする
中級Ⅱ	INTERMEDIATE II → 同一レベルのままとする
上級Ⅰ	ADVANCED I → 同一レベルのままとする
上級Ⅱ	ADVANCED II → 同一レベルのままとする

6) 単位認定制度について (英文学科, 英語学科, 国際教養学部, 理工英語コースを除く)

申請年度からさかのぼり2年以内に以下の試験を受験し, 以下の認定基準を満たすスコアを取得している場合は, 所定の手続きを行うことにより, **卒業に必要な一般外国語としての単位** (英語:4単位) として認定される。認定された場合, 学生のレベルは「**上級Ⅱ**」となる (提出後にレベルを下げることはできない)。

〔認定基準〕

試験の種類	認定基準	本学における認定単位数
TOEFL iBT	88 点	英語 4単位分
TOEFL ITP (本学主催に限る)	570 点	
TEAP (2技能) ※プレイスメント・テスト含む	164 点	
TEAP (4技能) ※AC-TEAP含む	334 点	
TEAP CBT	600 点	

\*「TEAP (4技能)」試験の結果については, Reading/Listeningのスコア合計が「TEAP (2技能)」試験の認定基準を満たしていたとしても, Reading/Listening/Writing/Speakingの合計スコアで基準を満たしていない限り申請できない。

〔申請期間〕

- 認定された4単位をもって卒業を希望する場合は, 以下の期日までに申請手続きを行うこと。なお, 期日を過ぎての受付は一切行わないので, 認定を考える者はスコア到着日も含め受験日をよく確認のうえ早めに受験すること。  
9月卒業希望者: 2018年8月3日 (金) 17:00迄  
3月卒業希望者: 2019年2月22日 (金) 17:00迄
- その他の場合, 申請は随時受付するが, 単位認定には1ヶ月程度期間を要するため, 認定された4単位を理由に履修中止を考えている者は, 春学期は4月27日(金), 秋学期は10月26日(金)までに申請すること。それ以降の申請の場合, 履修中止までに間に合わない可能性もあるので十分注意すること。

〔申請方法〕

学事センター窓口にて, 所定用紙「単位認定願 (英語)」に記入し, 各種試験のオフィシャルスコアのコピーを添えて提出すること。ただし, プレイスメント・テストで164点以上, またはAC-TEAPで334点以上の学生が単位認定を申請する場合, 手続きにはオフィシャルスコアに代えて, Loyolaの外国語検定試験の画面を印刷したものの提出も可とする。

※14年次生以降のプレイスメント・テストの結果および2015年度以降に実施したAC-TEAPは, Loyolaの外国語検定試験の画面で確認できる。

2018年度申請の有効スコア: 2016年4月以降受験のもの

〔その他〕

- 1) 認定された場合は, Loyola掲示板で呼出するので, 必ず, 学事センター窓口にて結果を確認すること。
- 2) 認定を受けた学生は, 卒業に必要な外国語としての英語科目の残りの単位があれば, 必ず**ACADEMIC COMMUNICATION 1, 2 (ADVANCED II)**を履修すること。指定以外の科目を履修した場合, 卒業要件に算入されないので注意すること。  
ただし, すでに英語4単位分を修得済みの学生が単位認定を申請する場合, 過去に履修したレベルは問わない(修得済みの単位は卒業に必要な単位として認められる)。

外国語科目について
指定言語履修
英
語
に初習言語について
中独仏西・
イタリア語
ポルトガル語・
ロシア語・
アジア・アフリカ諸語他
日本語
科学海外短期講習英語

## 7) レベルアップについて

指定されたレベルよりも上のクラスでの履修を希望する場合は、以下に示すスコアのいずれかを提出し、レベルアップの手続きをすること。なお、具体的な手続きについては、Loyola掲示板（学事センター〔教務〕）で確認すること。

各レベルのスコア基準 ※1

レベル	TEAP 2 技能 ※2	TEAP 4 技能 ※3, 4	TEAP CBT	IELTS	TOEFL ITP ※5	TOEFL iBT	TOEIC	英検
上級 II	150	300	540	5.5	523	69	750	準1級
上級 I	135	270	490	5.0	503	62	700	
中級 II	125	250	460	4.5	487	57	650	
中級 I	115	230	430	4.0	467	51	590	2級
初級	90	180	305	3.5	430	39	485	準2級

※1：英検以外のスコアの有効期限は、いずれも提出時より2年以内を取得したもとする。

※2：プレイスメント・テストについても TEAP2 技能とみなす。

※3：TEAP4技能は本学で実施したAC-TEAPのスコアも使用可。

※4：TEAP4技能の結果については、Reading/Listeningのスコア合計がTEAP2技能の認定基準を満たしていたとしても、Reading/Listening/Writing/Speakingの合計スコアで基準を満たしていない限り申請できない。

※5：TOEFL ITP は本学主催の試験以外のスコアでも可。

(例) 現在は中級IIのレベルだが、上級Iにレベルアップしたい場合

→TEAP2 技能 135, TEAP4 技能 270, TEAP CBT490, IELTS5.0, TOEFL ITP 503, TOEFL iBT 62, TOEIC 700 以上のいずれかのスコアを取得し、スコアコピーを提出する。

### 【注意】

- ・レベルダウンのためのスコア提出は受付しない。
- ・一度レベルアップした後にその結果を取り消すことはできない。
- ・6) の単位認定を受けた学生は、認定された時点でレベルが上級IIとなるので、レベルアップの手続きをする必要はない。
- ・レベル指定のない科目（選択科目など）を履修する場合は、レベルアップの手続きは不要。

## 8) 選択科目について

卒業に必要な英語科目を履修し終えた学生は、選択科目を履修してもよい。ただし、成績評価はつくが、選択科目は卒業要件に算入されない。科目一覧および詳細については p.212~を参照すること。なお、13 年次以前の看護学科生が選択科目を履修した場合も、成績評価はつくが、卒業要件に算入されない。

## 初習言語（全般）

初習言語とは、英語・日本語以外の、ドイツ語、フランス語、イスパニア語、ロシア語、ポルトガル語、イタリア語、中国語、コリア語、ラテン語、タイ語、インドネシア語、アラビア語、ペルシア語、カンボジア語、フィリピン語、ビルマ語、トルコ語、ベトナム語、ヒンディー語、スワヒリ語の20言語を指す。

卒業要件となる言語は学科によって異なる（詳細はp.239～240）。なお、文学部および外国語学部の学生で、自学科の専攻として学んでいる言語は履修できない。また、当該言語を母語とするものも、履修できない。母語かどうか判断に迷う場合は、履修登録前に言語教育研究センター窓口（6号館5階）にて相談すること。

### 1) 科目の種類について

初習言語は、大きく2つの科目群に分けられている。

[コア科目]・・・100番台、200番台、300番台の科目。「必修」「選択必修」または学科の「選択」科目として履修できる。学科によって要件が異なるため、p.239～240の「学科別履修指定言語」を参照すること。

[オプション科目]・・・150番台、250番台の科目。卒業要件にかかわらず科目としてのみ履修可能。

オプション科目は同一言語履修上限（半期2単位）には含まれない。

### 2) 科目のレベル・ナンバリングについて

#### ●ドイツ語・フランス語・イスパニア語・中国語・コリア語

2016年度までは初級・中級・上級の3つのレベルに分けられていたが、上記の5言語については、2017年度から、1～5までの5つのレベルに分けられた。原則として、レベル1から履修を初め、所定の科目を修得した場合、次学期から次のレベルに進む。

それぞれの科目には、レベルごとに履修できる科目の種類を意味するナンバリングが付番されている。レベルごとの履修条件および履修可能科目ナンバリングは下記の通り。

レベル	履修できる条件	履修可能科目ナンバリング
1	-	100 番台, 150 番台
2	総合1(初級)を修得済	
3	総合2(初級)を修得済	150 番台, 200 番台, 250 番台
4	総合3(中級)を修得済	
5	総合4(中級)を修得済	250 番台, 300 番台

※原則として、同じレベルのコア科目は2単位を越えて履修できない。ただし、オプション科目はその限りではない。

#### ●イタリア語およびその他の言語

これらの言語は、初級・中級・上級の3つのレベルに分けられている（中級・上級のない言語もある）。原則として、初級から履修を初め、所定の科目を4単位（タイ・ペルシア・カンボジア・ビルマ・スワヒリ語は2単位）修得した場合、次学期から次のレベルに進む。

それぞれの科目には、レベルごとに履修できる科目の種類を意味するナンバリングが付番されている。レベルごとの履修条件および履修可能科目ナンバリングは下記の通り。

レベル	履修できる条件	履修可能科目ナンバリング
初級	-	100 番台, 150 番台
中級	初級(コア)科目を2もしくは4単位修得済(オプション科目は除く)	150 番台, 200 番台, 250 番台
上級	中級(コア)科目を2もしくは4単位修得済(オプション科目は除く)	250 番台, 300 番台

※原則として、同じレベルのコア科目は4単位を越えて履修できない。ただし、オプション科目はその限りではない。

### 3) 履修できる単位数について

一つの言語につき、各学期2単位を上限とする。ただし、オプション科目はこれに含まない。また、同学期中に複数の言語を同時に履修することができる。

### 4) レベルアップについて

既習者や、長期休暇中に海外短期語学講座を履修する等して、指定されたレベルより上のレベルの履修を希望する場合、下記の手続きをとること。

外国語科目について
学科別履修指定言語
英語
初習言語について
独・仏・西・中・コリア語
イタリア語
ロシア語・ポルトガル語
アジア・アラブ諸語他
日本語
海外短期語学講座科目一覧表

- ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・イタリア語
  - ・各学期の初めに開催されるレベルアップ面接を受け、指定されたレベルから履修を開始する。
  - ・レベルアップ面接の日程は、各学期履修登録前にLoyolaに掲示する。
  - ・一度受けた面接の結果を取り消すことはできない。また、レベルダウンを目的とした面接は受けつけない。
  - ・「レベル5」（イタリア語の場合は「上級」）以上から履修を始める場合、言語によっては必要な単位数が揃わないことがあるので、卒業に必要な単位数に問題がないか、各言語のページで確認すること。
  
- その他の言語
  - ・授業担当教員が妥当と認めた場合は、中級以上から履修を始めることができる。その場合、言語によっては必要な単位数が揃わないことがあるので、卒業に必要な単位数に問題がないか、各言語のページで確認すること。

## ドイツ語・フランス・イスパニア語・中国語・コリア語

### 1) はじめて履修する学生

2018年度にこれらの言語を初めて履修するものは、p.185～195の14年次生以降を対象とした各言語のページを参照すること。なお、そのページの記載に関わらず、「オプション科目」は13年次以前の学生には卒業要件外となる。

### 2) まだ必要な単位を取り終わってない学生

2016年度以前にこれらの言語を履修し、まだ必要な単位を取り終わっていないものは、2016年度よりカリキュラム変更が行われたため、単位の取得状況によって、今年度の取得できる科目が異なる。詳細は、次ページの表を参照すること。

外国語科目について
学科別履修指定言語
英語
初習言語について
独・仏・西・中・コリア語
イタリア語
ロシア語・ポルトガル語
アジア・アフリカ諸語他
日本語
海外短期集中講座 海外短期集中講座

■2017年度までに初習言語の単位を取り終わっていない学生は、下記の表を参照し、必要な単位数分の科目を履修すること。

なお、2014年度以降に初めて初習言語の単位を修得した者は、p.198～201の14年次生以降を対象とした履修科目対応表を参照すること。

- ・1学期に履修できる単位は2単位までである。
- ・必修科目との時間割重複により、以下の表通りに履修できない場合は、履修登録期間中に学事センター窓口に行くこと。

科目の表記について：

- ・-1は春学期開講科目、-2は秋学期開講科目を指す（通年科目については記載していないが、-1と-2を合わせたものとなる）
- ・週1回科目とは、例えば初級Ⅱa・Ⅱb、初級A・B、中国語・コリア語の初級科目等、週1回開講していた科目を指す
- ・週2回科目とは、例えば初級Ⅰ、初級総合等、週2回開講していた科目を指す
- ・①と②は異なる科目の種類（例えば、初級Aと初級B）を指すものとする

●初級

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
①週1回 科目-1				1	総合1(初級)	総合2(初級)	4	1	※1
週2回 科目-1				2	総合2(初級)		2	0	※2
①週1回 科目-1	①週1回 科目-2			2	総合2(初級)		2	0	※1
①週1回 科目-1	②週1回 科目-1			2	総合2(初級)		2	0	※2
①週1回 科目-1	①週1回 科目-2	②週1回 科目-1		3	総合2(初級)		2	1	※1
初級科目4単位分				4	総合3(中級)	総合4(中級)	4	0	※2

●中級

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
①週1回 科目-1				1	総合3(中級)	総合4(中級)	4	1	※1
週2回 科目-1				2	総合4(中級)		2	0	※2
①週1回 科目-1	①週1回 科目-2			2	総合4(中級)		2	0	※1
①週1回 科目-1	②週1回 科目-1			2	総合4(中級)		2	0	※2
①週1回 科目-1	①週1回 科目-2	②週1回 科目-1		3	総合4(中級)		2	1	※1
中級科目4単位分				4	中級から履修をはじめ、8単位必要な学生は、上級科目を4単位分履修すること。		4	0	※2

※1 履修希望の学生は、履修登録期間中に学事センター窓口にて申し出ること。超過単位は卒業要件には含まれない。

※2 履修希望の学生は、履修登録期間中に Loyola にて各自登録すること。

●上級

- ・必要単位数分を、上級(A～P)の中から履修すること。
- ・旧カリキュラムと新カリキュラムは科目の内容が異なるため、同じアルファベットがついた科目を履修してもよい。

例)「ドイツ語上級A(コミュニケーション総合)-1,-2」(2015年度科目)と「ドイツ語上級A」(2016年度以降の科目)は重複履修可。ただし、「ドイツ語上級A」は隔年開講のため、2018年度は開講するが、2019年度は開講しない。

# イタリア語

## 1) イタリア語の履修について

2018年度に初めてイタリア語を履修する学生は、下記①の通り履修すること。

初級コア科目4単位を履修し終えたものは、翌年度から中級の履修ができる。その際は②の通り履修すること。  
また、中級コア科目4単位を履修し終えたものは、翌年度から上級の履修ができる。その際は③のとおり履修すること。

\* 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同一教員、同一時間割）を履修しなければならない。

ただし上級科目については、春学期のみ、秋学期のみの履修も可。

\* 同じ科目名ものは重複履修できない。ただし、上級科目については、担当教員が異なる場合のみ、重複履修ができる。

\* 「-1」の単位を修得済みであるものの「-2」の単位を未修得である場合、秋学期に再履修者として「-2」の単位を履修する（抽選登録）。詳細は9月に Loyola の学事センター教務掲示板に掲載する。

①

履修時期	ナンバリング	科目	修得単位	備考
春学期	100	イタリア語初級Ⅱa-1	週1回/1単位	コア科目
春学期	100	イタリア語初級Ⅱb-1	週1回/1単位	コア科目
秋学期	100	イタリア語初級Ⅱa-2	週1回/1単位	コア科目
秋学期	100	イタリア語初級Ⅱb-2	週1回/1単位	コア科目

②

履修時期	ナンバリング	科目	修得単位	備考
春学期	200	イタリア語中級Ⅱa-1	週1回/1単位	コア科目
春学期	200	イタリア語中級Ⅱb-1	週1回/1単位	コア科目
秋学期	200	イタリア語中級Ⅱa-2	週1回/1単位	コア科目
秋学期	200	イタリア語中級Ⅱb-2	週1回/1単位	コア科目

③

履修時期	ナンバリング	科目	修得単位	備考
春学期	300	イタリア語上級A-1	週1回/1単位	コア科目
春学期	300	イタリア語上級B-1	週1回/1単位	コア科目
秋学期	300	イタリア語上級A-2	週1回/1単位	コア科目
秋学期	300	イタリア語上級B-2	週1回/1単位	コア科目

※1年目に初級Ⅱa-1, -2 (2単位) のみを修得した学生は、2年目は中級Ⅱa-1, -2 (2単位) と、修得していない初級Ⅱb-1, -2 (2単位) を合わせて履修することもできる。

※1年目に初級Ⅱb-1, -2 (2単位) のみを修得した学生は、2年目は中級Ⅱb-1, -2 (2単位) と、修得していない初級Ⅱa-1, -2 (2単位) を合わせて履修することもできる。

※2015年度より、2種類の上級科目が開講されたため、中級から履修した場合でも8単位修得可能となった。ただし、上級科目はそれぞれ1クラスずつしか開講されないため、時間割に注意すること。

※2014年度開講科目「イタリア語上級-1, -2」と「イタリア語上級A・B」は別内容であるため、「イタリア語上級-1, -2」を履修済みの場合も、「イタリア語上級A・B」を履修することが可能。

## 2) さらにイタリア語を学びたい学生のために

卒業に必要な単位に算入できないが、下記の新カリキュラム用オプション科目を履修することができる。これらの科目は、春学期のみ、あるいは秋学期のみの履修も可能。

### オプション科目

科目名	ナンバリング	修得単位	備考
イタリア語演習ⅡA, ⅡB	250	週1回/1単位	オプション科目

外国語科目について	独・仏・西・中・コリア語
学科別履修指定言語	英
語	英
初習言語について	独・仏・西・中・コリア語
イタリア語	イタリア語
ポルトガル語	ポルトガル語
ロシア語	ロシア語
アジア・アフリカ諸語他	アジア・アフリカ諸語他
日本語	日本語
海外短期集中講座科目一覧表	海外短期集中講座科目



## ロシア語・(ブラジル)ポルトガル語

### 1) 科目内容

レベル (ナンバリング)	科目名	修得単位
初級 (100番台)	初級 I -1, -2	週1回1単位, 年間2単位
	初級 II -1, -2	
中級 (200番台)	中級 I -1, -2	
	中級 II -1, -2	

### 2) 履修順序

1年目	2年目
初級 I -1, -2	中級 I -1, -2
初級 II -1, -2	中級 II -1, -2

- 3) 中級科目を4単位修得した学生は、ロシア語学科、ポルトガル語学科の学科専門科目のうち、以下に記載された科目を外国語科目として履修することができる。ただし、卒業要件には算入されない。  
履修を希望する学生は、履修登録期間中に学事センター語学科目担当へ成績証明書と願書（自由書式）を提出すること。

科目コード	授業科目	単位	備考
690135	ロシア語文法研究1	2	外国語学部開講科目
690136	ロシア語文法研究2	2	外国語学部開講科目
690126	ロシア語文献研究A-1	2	外国語学部開講科目
690127	ロシア語文献研究A-2	2	外国語学部開講科目
690128	ロシア語文献研究B	2	外国語学部開講科目
690131	現代ロシア語研究1	2	外国語学部開講科目
690132	現代ロシア語研究2	2	外国語学部開講科目
690125	ロシア語通訳法入門	2	外国語学部開講科目
690137	ロシア語アクティブ・コミュニケーション1	2	外国語学部開講科目
690138	ロシア語アクティブ・コミュニケーション2	2	外国語学部開講科目
690129	ロシア語原書講読1	2	外国語学部開講科目
690130	ロシア語原書講読2	2	外国語学部開講科目
580511	総合ポルトガル語A-1	1	ポルトガル語学科開講科目
580515	総合ポルトガル語C-1	1	ポルトガル語学科開講科目
580521	総合ポルトガル語F-1	1	ポルトガル語学科開講科目
580522	総合ポルトガル語F-2	1	ポルトガル語学科開講科目

## ラテン語（哲学科開講科目）

### 1) 科目の種類および履修順序…全科目，週2回・2単位

1年目	2年目
ラテン語ⅠA ラテン語ⅠB	ラテン語ⅡA ラテン語ⅡB

## アジア・アフリカ諸語

アジア・アフリカ諸語を選択必修として履修する場合は，下記に定められた履修順序を守ること。選択科目として履修する場合は，自分のレベルに該当するものを必要単位数分履修すること。

### 1) 科目の種類および履修順序…全科目，週1回・1単位

言語名	1年目(春学期)	1年目(秋学期)	2年目(春学期)	2年目(秋学期)	3年目(春学期)	3年目(秋学期)
レベル (ナンバリング)	初級 (100番台)		中級 (200番台)		上級 (300番台)	
インドネシア語	初級A-1 初級B-1 初級C-1 } ※	初級A-2 初級B-2 初級C-2 } ※	中級1	中級2	上級1	上級2
フィリピン語	初級文法1 初級読本1	初級文法2 初級読本2	中級1	中級2	上級1	上級2
アラビア語	初級A-1 初級B-1 初級C-1 } ※	初級A-2 初級B-2 初級C-2 } ※	中級1	中級2	上級1	上級2
タイ語	初級1	初級2	中級1	中級2		
ペルシア語	初級1	初級2	中級1	中級2		
カンボジア語	初級1	初級2	中級1	中級2		
ビルマ語	初級1	初級2				
トルコ語	初級1	初級2				
ベトナム語	初級1	初級2				
ヒンディー語	初級1	初級2				
スワヒリ語	初級1	初級2	中級1	中級2		

#### <注意事項>

- ・※の科目を選択必修として履修する場合，インドネシア語とアラビア語の初級科目は，原則として初級A,B,Cの3科目のうち2科目を選び，秋学期はその続きを履修すること（計4単位）。選択必修または選択のどちらで履修する場合でも，初級科目は4単位を超えて履修することができない。
- ・原則として，「-2」の科目を履修するためには，「-1」の単位を修得するか，それと同等の学力があることを前提とする
- ・中級科目を履修するためには，初級科目を4単位修得するか，それと同等の学力があることを前提とする。また上級科目を履修するためには，中級科目の単位をすべて修得するか，それと同等の学力があることを前提とする。
- ・同じ科目名ものは重複履修できない。
- ・タイ語上級は2014年度より廃止となった。

#### <2016年度までにインドネシア語またはアラビア語の単位をとり終わっていない学生へ>

2017年度より，インドネシア語とアラビア語の初級科目が2科目から3科目に変更になり，「初級文法」と「初級読本」科目は，それぞれ「初級A」，「初級B」という名称に変更した（以下の科目対応表を確認すること）。

旧科目を修得済みの学生は，それに相当する新科目は履修できない。また旧科目の続き（「-2」）を未修得の学生は，それに新科目の「-2」を履修すること。

#### <科目対応表>

新科目名称	旧科目名称
インドネシア語初級A-1	旧「インドネシア語初級文法1」
インドネシア語初級A-2	旧「インドネシア語初級文法2」
インドネシア語初級B-1	旧「インドネシア語初級読本1」
インドネシア語初級B-2	旧「インドネシア語初級読本2」
インドネシア語初級C-1	※新設科目
インドネシア語初級C-2	※新設科目

新科目名称	旧科目名称
アラビア語初級A-1	旧「アラビア語初級文法1」
アラビア語初級A-2	旧「アラビア語初級文法2」
アラビア語初級B-1	旧「アラビア語初級読本1」
アラビア語初級B-2	旧「アラビア語初級読本2」
アラビア語初級C-1	※新設科目
アラビア語初級C-2	※新設科目

## 日本語

### 1) 履修上の注意

【国際教養学部正規生・理工学部英語コース正規生について】

自分が所属する学部の“BULLETIN OF INFORMATION 2018-2019”の日本語科目についての説明箇所および言語教育研究センターが発行する冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

【国際教養学部正規生・理工学部英語コース正規生以外の学部正規生について】

日本語は、日本語を母語としない学生もしくは日本語で授業が行われる教育機関における就学期間が短い日本人学生で、所属学科の指導によりその履修の必要性が認められた者を対象とする。履修の条件、履修可能な科目、及び卒業要件への算入については、下記2)、3)を参照すること。

【交換留学生について】

言語教育研究センターが発行する冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

### 2) 学部（国際教養学部及び理工学部英語コースを除く）正規生で日本語を母語としない学生について

- a) 「必修科目」、「選択必修科目」、「選択科目」に算入可能な科目（所属学科により異なる、p.239～240参照）

### 〈アカデミック日本語〉

下記の科目についてはLoyola上で履修登録を行なうこと。なお、2016年度よりアカデミック日本語の科目構成が新しくなり、2017年度以降は旧科目（アカデミック日本語ⅠA～ⅠD）は開講されない。新科目の単位を修得したことのある学生、または初めてアカデミック日本語を履修する学生は①の履修順序に従って履修登録をすること。2016年度までに旧科目の単位を修得したことがあり、さらに続きの新科目を履修したい場合は②の表の通りとなる。

#### 科目の種類

科目名	修得単位	開講期
JPN431 アカデミック日本語1-1	週2回/2単位	春学期
JPN432 アカデミック日本語1-2	週2回/2単位	秋学期
JPN441 アカデミック日本語2-1	週2回/2単位	春学期
JPN442 アカデミック日本語2-2	週2回/2単位	秋学期

（「アカデミック日本語（ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅡC、ⅡD）」は、2013年度以前に開講した「日本語上級（ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅡC、ⅡD）」の各科目とそれぞれ同一科目とみなす。）

- ①新科目の単位を修得したことのある学生、または初めてアカデミック日本語を履修する学生

以下の通り履修すること。

#### ◆履修順序

1 学期目・2 学期目	→	3 学期目以降
1-1 および 1-2 を履修（計4単位分）		2-1 および 2-2 を履修（計4単位分）

※アカデミック日本語1-1と1-2の履修順序は問わないが、各2単位ずつ修得した後でなければ、アカデミック日本語2-1および2-2を履修することが出来ない（2-1と2-2の履修順序は問わない）。但し、事前に日本語担当教員の許可を得、所定の手続きを経たときにはこの限りではない。

- ②2016年度までに旧アカデミック日本語の単位を修得したことのある学生

これまでの修得単位によって、今年度に履修する科目が異なる。

新科目は1科目2単位のため、場合によっては修得単位が4単位を超えるが、その超過分は卒業に必要な単位には算入されない。

【IA・IBの既習者】

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
IA				1	1-1	1-2	4	1	※1
IB				1	1-1	1-2	4	1	※1
IA	IA			2	1-1 または 1-2		2	0	※2
IB	IB			2	1-1 または 1-2		2	0	※2
IA	IB			2	1-1 または 1-2		2	0	※2
IA	IA	IB		3	1-1 または 1-2		2	1	※1
IB	IB	IA		3	1-1 または 1-2		2	1	※1
IA	IA	IB	IB	4	2-1	2-2	4	0	※2

※1 履修希望の学生は、履修登録期間中に学事センター窓口にて申し出ること。

※2 履修希望の学生は、履修登録期間中にLoyolaにて各自登録すること。

【IIA～IIDの既習者】

2017年度までに履修が終わっている科目					2018年度に履修する科目			超過単位	備考
科目1	科目2	科目3	科目4	単位数	科目1	科目2	単位数		
IIA				1	2-1	2-2	4	1	※1
IIA	IIB			2	2-1 または 2-2		2	0	※2
IIA	IIB	IIIC		3	2-1 または 2-2		2	1	※3

※1 2017年度までに履修が終わっている科目が、IIB～IIDの場合も同様とする。

履修希望の学生は、履修登録期間中に学事センター窓口にて申し出ること。

※2 2017年度までに履修が終わっている科目が、IIA～IIDの中のいかなる組み合わせでも、2単位修得している場合は同様とする。履修希望の学生は、履修登録期間中にLoyolaにて各自登録すること。

※3 2017年度までに履修が終わっている科目が、IIA～IIDの中のいかなる組み合わせでも、3単位修得している場合は同様とする。履修希望の学生は、履修登録期間中に学事センター窓口にて申し出ること。

※①、②ともに「必修科目」「選択必修科目」「選択科目」のいずれの区分に算入可能であるかについては学科により異なる。詳しくは、p.239～240及び該当する学科のページを参照すること。

## 〈留学生のための日本経済入門〉

本科目は、日本語のCLIL（内容言語統合型学習）科目である。大学の学習・研究活動に必要な日本語力や学習スキルの獲得と、経済学の専門的な知識・理解を同時に深めることを目標とする。授業は、経済を専門とする教員と、日本語を教授する教員が担当する。内容は春学期と秋学期で異なるため、いずれかの科目のみの履修も、両科目の履修も可とする。また、先述の「アカデミック日本語」との同時履修も可とする。日本語を母語としない経済学部正規生の履修を優先とするが、定員に空きがある場合は他学部の学生の履修も認める。科目の詳細および履修登録の手続きについては言語教育研究センターが発行する冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”およびシラバスを確認すること。

科目名	修得単位	開講期
JPN445 留学生のための日本経済入門1	週2回/2単位	春学期
JPN446 留学生のための日本経済入門2	週2回/2単位	秋学期

### b) 「選択科目」にのみ算入可能な科目

下記の「ビジネス日本語」科目群は、主にビジネスコミュニケーションや企業文化等を学びたい留学生を対象とした科目である。科目の詳細および履修登録の手続きについては言語教育研究センターが発行する冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

外国語科目 について	
指定言語 履修	
英 語	
に 初 習 言 語 て	
中 独 コ リ ア 語	
イ タ リ ア 語	
ポ ル ト ガ ル 語	ロ シ ア 語 ・ ラ ト ビ ア 語
リ ア 語 他	ア ジ ア 語 ・ ラ チ ン 語 他
日 本 語	
学 海 外 講 義 一 覧 表	海 外 短 期 講 義 語

## 〈ビジネス日本語〉

科目の種類	修得単位
JPN311 Business Japanese 1	週2回/2単位
JPN312 Business Japanese 2	週2回/2単位
JPN315 Business Japanese (Preparation for Internship) ※1	週1回/1単位

※1 本科目は、春学期と秋学期の内容が同じであるため、いずれかの学期のみ履修できる。Business Japanese 1, 2との同時履修も可とする。科目の詳細はシラバスを確認すること。

### 3) 学部（国際教養学部及び理工学部英語コースを除く）正規生で、大学入学以前に日本語で授業が行われる教育機関における就学期間が短い日本人学生について

一定の経歴にあてはまる場合と、あてはまらない場合によって、履修条件が下記のとおり異なる。いずれの場合も、履修に際し所属学科の許可が必要となるので、事前に学事センターに相談すること。修得単位は「学科選択科目」に日本語の算入を認めている場合のみ算入される。ただし、所属学科の指導により、p. 239～240の「学科別履修指定言語（13年次生以前）」に基づき「必修」として日本語を履修することが望ましい場合は、事前に所属学科の許可を得て、学事センターにて履修登録の手続きをすること。

ア) 日本語で授業が行われている高校を卒業した者、若しくは日本の高校卒業ではないが、日本語で授業が行われる中学・高校で少なくとも4年間過ごした者

原則として日本語科目の履修はできないが、幼少期の海外生活が長いというような理由で日本語科目の履修を希望する場合には、日本語コーディネーター教員の許可を得た上で JPN349・JPN353 に限り履修できる（JPN349→JPN353 の順で履修すること）。この場合、日本語プレイスメント・テストの受験は不要。但し、Loyola 上での履修登録はできない。「日本語科目登録用紙」に必要事項を記載の上、春は4月18日（水）、秋は10月4日（木）の午後5時までに学事センターに提出すること。

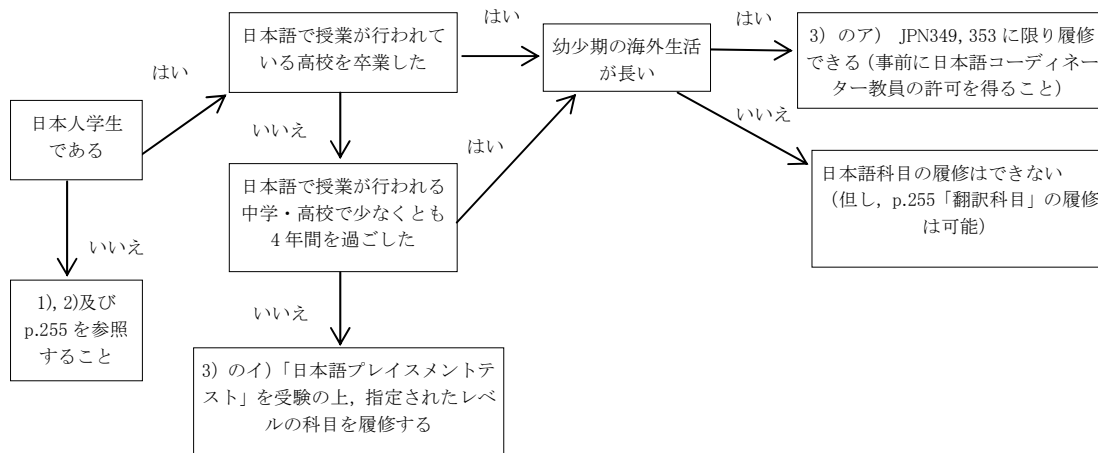
イ) ア) に該当しない場合

「日本語プレイスメント・テスト」を受験の上、下記の科目のうち指定されたレベルの日本語科目を Loyola 上で履修登録する。日本語プレイスメント・テストについては、冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

科目の種類	修得単位
JPN340 Reading & Writing (Basics)	週2回/2単位
JPN341 Reading & Writing I	週2回/2単位
JPN342 Reading & Writing II	週2回/2単位
JPN343 Reading & Writing III	週2回/2単位
JPN349 Japanese Literacy 1 ※1 ※2	週2回/2単位
JPN353 Japanese Literacy 2 ※2	週2回/4単位

※1: JPN352 Japanese Literacy 1 (4単位) に代わり、2016年度より JPN349 (2単位) が開講された。

※2: 「JPN349」、「JPN353」は2013年度以前に開講した「JPN350 College Skills」「JPN351 Japanese Composition」それぞれと同一科目とみなす。



## 〈翻訳科目〉

「翻訳科目」は学部正規生・交換留学生とともに、一定の条件を満たすことにより履修することができる。

### 【国際教養学部正規生・理工学部英語コースに在籍する学生について】

自分が所属する学部の“BULLETIN OF INFORMATION 2018-2019”の日本語科目についての説明箇所および冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

### 【国際教養学部正規生・理工学部英語コース以外の学部・コースに在籍する学生について】

英語力について一定の条件を満たした場合に、下記科目を履修することができる。英語力の条件についてはp.32「国際教養学部開講科目の履修について」を参照し、履修登録手続きの際に証明となる書類を持参すること。  
修得単位は「他学部・他学科科目」として算入される（学科によっては、他学部・他学科科目の卒業要件への算入に関して制限を設けているので、注意すること）。

履修登録は学事センター窓口で行うこと。

科目の種類	修得単位
JPN405 Translating English to Japanese 1	週2回/4単位
JPN406 Translating English to Japanese 2	週2回/4単位
JPN407 Translating Japanese to English	週2回/4単位

外国語科目について
学科別履修指定言語
英語
初習言語について
独・仏・西・中コリア語
イタリア語
ロシア語・ポルトガル語
アジア・アフリカ諸語他
日本語
海外短期集中講座

## 海外短期語学講座

- ・本学で開講される事前指導を含む所定のプログラムを修了し、海外での講座（プログラム）に参加して所定の成果を修めたものは、単位が付与され、成績評価は「P」となる。年間最高履修限度には算入されない。
- ・開講期が春のものは夏期休業中に、秋のものは春期休業中に実施される。スケジュールが重ならないことを前提に、同学期に複数の講座を履修することもできる。また、重複履修も可とする。
- ・卒業を予定している最終学期開講のプログラムにも参加可能だが、単位は付与されないので注意すること。
- ・いずれの講座で付与された単位も、外国語科目の単位に算入される。ただし、英語については、すでに本単位を含めて卒業に必要な単位を満たしている場合、さらに英語必修科目の履修登録をすることはできない。また、当該言語が卒業要件に算入されるか否かは学科ごとに異なる。「学科別履修指定言語」（p.239～p.240）を参照すること。（文学部および外国語学部の学生で、自学科の専門として学んでいる言語の講座は、履修することはできるが卒業要件には算入されない。）
- ・参加の手続については、海外短期語学講座の事前説明会で確認すること。また参加資格、申込期間等詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。
- \* 香港中文大学、韓国カトリック大学、韓国外国語大学については、本学との交換協定に基づき実施されるため、授業料は免除となる。ただし国際教養学部生が単位認定された場合は2単位分の授業料が発生する。
- \* 開講科目についてはp.206を参照すること。

## 外国語科目担当一覧表

### ○英語（選択科目）

13年次生以前の学生は卒業要件に関わらない科目として履修可能。詳細はp.212～（14年次生以降の担当一覧表のページ）参照

### ○初習言語

14年次生以降の担当一覧表（p.215～）を参照。なお、オプション科目については卒業要件に係わらない科目として履修可能。

### ○日本語

14年次生以降の担当一覧表（p.232～）を参照。